科目名及び担当者名一覧

美容生活文化学科

美容文化コース　１年次科目

区分	科　目　名	担　当　者　名	頁
教養科目	ライフデザインⅠ（年間行事）	専　任　教　員	2
	教　養　演　習　Ⅰ	安　田　裕　樹	1
	倫　理　学　入　門	髙　岡　潤　徳	19
	外国語Ⅰ（英会話）	Clinton Robert Carlyle	4
	韓国語会話ⅠA	沈　　玉　均	5
	ライフデザイン演習1（集中）	専　任　教　員	6
	インターンシップ（集中）	吉　田　　巖	7
	ボランティアⅠ（集中）	吉　田　　巖	8
専門科目	美　容　保　健　Ⅰ	田　中　宏　一	9
	香　粧　品　化　学　Ⅰ	田　中　宏　一	10
	美　容　技　術　理　論　Ⅰ	中　尾　友　香	11
	美　容　技　術　理　論　Ⅱ	中　尾　友　香	12
	美　容　文　化　実　習　1	伊　藤　美　香	13
	美　容　文　化　実　習　2	中尾　友香・田中　宏一	14
	メイクベーシック	岩嵜　明奈・藤木　有希子	15
教養科目	教　養　演　習　Ⅱ	安　田　裕　樹	16
	接客マナー演習	後　藤　弥　雪	17
	医　学　概　論	永　野　美　里	18
	社　会　福　祉　概　論	鷺　森　　正	3
	和　装　着　付　け	藤田　千鶴・水谷　千秋	20
	ライフデザイン演習2（集中）	専　任　教　員	21
	ホスピタリティ演習	新　谷　涼　子	140
	韓　国　語　会　話　ⅠB	沈　　玉　均	22
	情　報　処　理　演　習　Ⅰ	岡石績絵子	23
専門科目	衛　生　管　理　Ⅰ	伊　藤　愛　美	25
	美　容　技　術　理　論　Ⅲ	伊　藤　美　香	26
	美　容　文　化　実　習　3	中　尾　友　香	27
	美　容　文　化　実　習　4	中尾　友香・伊藤　美香	28
	ジェルネイル	遠　藤　江　美	29

美容文化コース　２年次科目

区分	科目名	担当者名	頁
教養科目	ライフデザインⅡ（年間行事）	専任教員	30
	ボランティアⅡ（集中）	吉田　巖	31
	外国語Ⅱ（英会話）	Clinton Robert Carlyle	32
	韓国語会話ⅠA	沈　玉均	5
	障害者福祉概論	金澤　あつ子	33
	心理学入門	今峰　大樹	34
	教養演習Ⅲ	安田　裕樹・水谷　千秋	35
専門科目	美容関係法規・制度	水谷　千秋	36
	運営管理	水谷　千秋	24
	美容文化論Ⅰ	田中　裕二	37
	衛生管理Ⅱ	永野　美里	38
	美容技術理論Ⅳ	伊藤　美香	39
	美容文化実習５	田中　宏一	40
	美容文化実習６	中尾　友香	41
	美容文化演習Ⅰ	永野　美里	42
	ゼミナールⅠ	専任教員	200～210
教養科目	ライフデザインⅢ（海外研修）	専任教員	64
	韓国語会話ⅠB	沈　玉均	22
専門科目	香粧品化学Ⅱ	田中　宏一	43
	衛生管理Ⅲ	伊藤　愛美	44
	美容文化論Ⅱ	田中　裕二	45
	美容技術理論Ⅴ	伊藤　美香	46
	美容文化実習７	田中　宏一	47
	美容文化実習８	田中　宏一	48
	美容保健Ⅲ	永野　美里	49
	美容文化演習Ⅱ	永野　美里	50
	美容文化演習Ⅲ（集中）	永野　美里	51
	ゼミナールⅡ	専任教員	200～210

ビューティーメイクコース　１年次科目

区分	科目名	担当教員	頁
教養科目	ライフデザインⅠ（年間行事）	専任教員	2
	教養セミナーⅠ	安田裕樹	65
	食と健康	泉谷宜宏	52
	接客マナー	後藤弥雪	53
	インターンシップ（集中）	吉田巖	66
	ライフデザイン演習1（集中）	専任教員	6
	韓国語会話ⅠA	沈玉均	5
	ボランティアⅠ	吉田巖	8
専門科目群	デッサン	田中裕二	54
	メイク理論Ⅰ	新谷涼子	55
	メイクⅠ	新谷　涼子・増田　京子	56
	メイクⅡ	新谷　涼子・岩嵜　明奈	57
	パーソナルカラー理論Ⅰ	田中裕二	58
	特殊メイク（集中）	岩咲希　しのぶ	59
	ネイルⅠ	遠藤江美	60
	ネイルアドバンス	小川浩美	61
教養科目	教養セミナーⅡ	安田裕樹	62
	倫理学概論	髙岡潤徳	149
	外国語Ⅰ（英会話）	Clinton Robert Carlyle	4
	韓国語会話ⅠB	沈玉均	22
	和装着付け	藤田　千鶴・水谷　千秋	20
	ホスピタリティ演習	新谷涼子	140
	ライフデザイン演習2（集中）	専任教員	21
専門科目	メイク理論Ⅱ	新谷涼子	67
	メイクⅢ	新谷　涼子・増田　京子	68
	メイクⅣ	新谷　涼子・岩嵜　明奈	69
	パーソナルカラー理論Ⅱ	田中裕二	70
	文書処理演習Ⅰ	岡石績絵子	71
	エステティックⅠ	久保優子	72
	ネイルⅡ	遠藤江美	73

ビューティーメイクコース ２年次科目

区分	科目名	担当教員	頁
教養科目	ライフデザインⅡ（年間行事）	専任教員	30
	情報処理演習Ⅰ	岡石績絵子	23
	日本国憲法	髙岡潤徳	114
	韓国語会話ⅠA	沈玉均	5
	ボランティアⅡ	吉田巖	29
専門科目	ゼミナールⅠ	専任教員	200～210
	メイクアドバンスⅠ	岩嵜 明奈・新谷 涼子	74
	メイクカウンセリング	岩嵜明奈	75
	ネイルⅢ	遠藤江美	76
	エステティックⅡ	久保優子	77
	撮影Ⅰ	新谷涼子	78
	ブライダルⅠ	岩嵜 明奈・増田 京子	79
	女性の発達心理学	今峰大樹	80
	日本語の教養	水谷千秋	81
	歴史と現代	水谷千秋	82
教養科目	ライフデザインⅢ（海外研修）	専任教員	64
	心理学	今峰大樹	213
	障害者福祉論	金澤あつ子	83
	外国語Ⅱ（英会話）	Clinton Robert Carlyle	32
	韓国語会話ⅠB	沈玉均	22
専門科目	ゼミナールⅡ	専任教員	200～210
	社会心理学	今峰大樹	84
	メイクアドバンスⅡ	新谷 涼子・岩嵜 明奈	85
	撮影Ⅱ	新谷涼子	86
	ネイルⅣ	遠藤江美	87
	メイクアドバンスⅢ	岩嵜 明奈・新谷 涼子	88
	香粧品学	泉谷宜宏	106
	ブライダルⅡ	岩嵜 明奈・増田 京子	89

舞台芸術コース　１年次科目

区分	科目名	担当教員	頁
教養科目	ライフデザインⅠ（年間行事）	専任教員	2
	教養セミナーⅠ	安田裕樹	65
	日本国憲法	鷺森正	99
	女性の医学	永野美里	90
	インターンシップ	吉田巖	66
	ライフデザイン演習1（集中）	専任教員	6
	韓国話会話ⅠA	沈玉均	5
	ボランティアⅠ	吉田巖	8
専門科目	表現	宇仁菅真	91
	演技実習Ⅰ	稲葉恵子	92
	照明研究	今西俊夫	93
	ボーカル研究	煌海ルイセ	94
	パーソナルカラー理論Ⅰ	田中裕二	58
	メイクベーシック	岩嵜　明奈・藤木　有希子	15
	ジェルネイル	遠藤江美	96
	ヒップホップダンスⅠ	Ｈａｓｓｙ	97
	文学入門	水谷千秋	125
	アニメ・イラスト基礎Ⅰ	川原伊織	98
教養科目	教養セミナーⅡ	安田裕樹	62
	接客マナー	後藤弥雪	197
	外国語Ⅰ（英会話）	Clinton Robert Carlyle	4
	韓国話会話ⅠB	沈玉均	22
	和装着付け	藤田　千鶴・水谷　千秋	20
	倫理学概論	髙岡潤徳	149
	ホスピタリティ演習	新谷涼子	140
	ライフデザイン演習2	専任教員	21
専門科目	音響研究	原野功	100
	照明実習Ⅰ	今西俊夫	101
	演技実習Ⅱ	稲葉恵子	102
	声優実習Ⅰ（ナレーション）	宇仁菅真	103
	ポピュラー音楽Ⅰ	中島岳	104
	ジャズダンスⅠ	ＡＹＡＮＡ	105
	香粧品学	泉谷宜宏	106
	文書処理演習Ⅰ	岡石績絵子	71
	アニメ・イラスト基礎Ⅱ	川原伊織	107

舞台芸術コース　２年次科目

区分	科目名	担当教員	頁
教養科目	ライフデザインⅡ（年間行事）	専任教員	30
	ボランティアⅡ	吉田　巖	31
	韓国語会話ⅠA	沈　玉均	5
	情報処理演習Ⅰ	三宅　香代子	212
専門科目	ゼミナールⅠ	専任教員	200～210
	音響実習	原野　功	108
	照明実習Ⅱ	今西　俊夫	109
	声優実習Ⅱ（アニメアフレコ実習）	宇仁菅　真	110
	ポピュラー音楽Ⅱ	中島　岳	111
	演技実習Ⅲ	宇仁菅　真	112
	ミザンス（ステージング）	煌　海　ルイセ	113
	撮影Ⅰ	新谷　涼子	114
	ブライダルⅠ	岩嵜　明奈・増田　京子	79
	日本語の教養	水谷　千秋	81
	ヒップホップダンスⅡ	Ｈａｓｓｙ	116
	ジャズダンスⅡ	ＡＹＡＮＡ	117
	歴史と現代	水谷　千秋	82
	ステージメイク（集中）	新谷　涼子	124
	アニメ・イラスト研究Ⅰ	川原　伊織	118
教養科目	ライフデザインⅢ（海外研修）	専任教員	64
	外国語Ⅱ（英会話）	Clinton Robert Carlyle	32
	韓国語会話ⅠB	沈　玉均	22
	芸術と文明	水谷　千秋	119
	心理学	今峰　大樹	213
	障害者福祉論	金澤　あつ子	83
専門科目	ゼミナールⅡ	専任教員	200～210
	舞台スタッフワーク	宇仁菅 真 ほか	120
	舞台芸術論	宇仁菅　真	121
	音響実習Ⅱ	原野　功	122
	社会心理学	今峰　大樹	84
	声優実習Ⅲ（外国映画アフレコ）	宇仁菅　真	123
	ブライダルⅡ	岩嵜　明奈・増田　京子	89
	アニメ・イラスト応用Ⅰ	川原　伊織	126

幼児教育コース　１年次科目

区分	科目名	担当教員	頁
教養科目	ライフデザインⅠ（年間行事）	専任教員	2
	教養セミナーⅠ	安田裕樹	65
	健康科学	足立博子	127
	情報処理演習Ⅰ	三宅香代子	23
	外国語Ⅰ（英会話）	Clinton Robert Carlyle	4
	韓国語会話ⅠA	沈玉均	5
	女性の医学	永野美里	90
	ライフデザイン演習Ⅰ（集中）	専任教員	6
	ボランティアⅠ	吉田巖	8
専門科目	社会的養護Ⅰ	鷺森正	128
	保育の心理学	谷芳恵	129
	保育内容総論	小川深香	130
	保育内容演習Ⅰ（健康）	永野美里	131
	保育内容演習Ⅱ（人間関係）	金澤あつ子	132
	保育原理	泉谷宜宏	133
	乳児保育Ⅰ	辻富士子	134
	造形Ⅰ	田中裕二	135
	音楽Ⅰ	寺田真綾	136
	こども音楽療育概論	寺田　真綾・今峰　大樹	137
	保育内容演習Ⅴ（表現）	前田享美	138
教養科目	教養セミナーⅡ	安田裕樹	62
	健康科学実習Ⅰ	足立博子	139
	ライフデザイン演習2（集中）	専任教員	21
	日本国憲法	鷺森正	99
	韓国語会話ⅠB	沈玉均	22
	ホスピタリティ演習	新谷涼子	140
専門科目	保育実習Ⅰ（保育所）	保育実習連絡委員会	141
	保育実習指導Ⅰ（保育所）	前田享美	142
	乳児保育Ⅱ	辻富士子	143
	障害児保育Ⅰ	金澤あつ子	144
	保育実習Ⅰ（施設）	保育実習連絡委員会	145
	保育実習指導Ⅰ（施設）	金澤あつ子	146
	保育実践演習Ⅰ	南口みどり	147
	音楽Ⅱ	寺田真綾	148
	音楽Ⅴ（合唱）	寺田真綾	150
	造形Ⅱ	田中裕二	151
	表現（読み聞かせ）	宇仁菅真	152
	子どもの保健	小川深香	153
	子どもの理解と援助	谷芳恵	154
	子どもの食と栄養Ⅰ	永野美里	155
	子ども家庭支援の心理学	谷芳恵	95
	こども音楽療育演習	寺田真綾	156
	チャイルドヘアメイク演習１（ヘアー）	伊藤美香	157

幼児教育コース　２年次科目

区分	科目名	担当教員	頁
教養科目	ライフデザインⅡ	専任教員	7
	ボランティアⅡ	吉田　巖	29
	外国語Ⅱ（英会話）	Clinton Robert Carlyle	26
	情報処理演習Ⅱ	三宅　香代子	211
	韓国語ⅠA	沈　玉均	105
専門科目	社会福祉	鷺森　正	158
	子どもの食と栄養Ⅱ	永野　美里	159
	保育の計画と評価	谷　芳恵	160
	保育内容演習Ⅲ（環境）	小川　深香	161
	障害児保育Ⅱ	金澤　あつ子	162
	音楽Ⅲ（ピアノ）	寺田　真綾	163
	音楽Ⅵ（合奏）	寺田　真綾	164
	幼児体育Ⅰ	足立　博子	165
	言葉（絵本）	宇仁菅　真	166
	保育実習Ⅱ	保育実習連絡委員会	167
	保育実習Ⅲ	保育実習連絡委員会	168
	保育実習指導Ⅱ	辻　富士子	169
	保育実習指導Ⅲ	金澤　あつ子	170
	保育実践演習Ⅱ	南口　みどり	171
	チャイルドヘアーメイク演習２（メイク）	岩嵜　明奈	172
	子どもの健康と安全	泉谷　宜宏	173
	ゼミナールⅠ	専任教員	200～210
教養科目	ライフデザインⅢ（海外研修）	専任教員	64
	韓国語ⅠB	沈　玉均	22
	芸術と文明	水谷　千秋	119
専門科目	ゼミナールⅡ	専任教員	200～210
	子ども家庭福祉	南口　みどり	174
	社会的養護Ⅱ	鷺森　正	175
	子育て支援	泉谷　宜宏	176
	保育者論	小川　深香	177
	人間関係論	鷺森　正	178
	地域福祉論	金澤　あつ子	179
	子どもの心理学	今峰　大樹	180
	子ども家庭支援論	小川　深香	181
	保育内容演習Ⅳ（言葉）	水谷　千秋	182
	音楽Ⅳ（ピアノ）	寺田　真綾	183
	幼児体育Ⅱ	足立　博子	184
	こども音楽療育実習	寺田　真綾	185

キャリア教養コース　１年次科目

区分	科目名	担当者名	頁
教養科目	ライフデザインⅠ	専任教員	2
	教養セミナーⅠ	安田裕樹	65
	韓国語会話ⅠA	沈玉均	5
	外国語Ⅰ（英会話）	Clinton Robert Carlyle	4
	女性の医学	永野美里	90
	食と健康	泉谷宜宏	52
	日本国憲法	鷺森正	99
	インターンシップ	吉田巖	66
	ライフデザイン演習Ⅰ（集中）	専任教員	6
	ボランティアⅠ	吉田巖	8
	キャリア演習Ⅰ	寺田真綾	186
専門科目	生活の科学	泉谷宜宏	187
	文学入門	水谷千秋	125
	パーソナルカラー理論Ⅰ	田中裕二	58
	デッサン	田中裕二	54
	キャリアデザイン概論Ⅰ	後藤弥雪	188
	ジェルネイル	遠藤江美	96
	メイクベーシック	岩嵜　明奈・藤木　有希子	15
	アニメ・イラスト基礎Ⅰ	川原伊織	98
	キャリア調理実習Ⅰ	水谷　千秋・調理実習委員会	189
	キャリア調理実践実習Ⅰ	水谷　千秋・調理実習委員会	190
教養科目	教養セミナーⅡ	安田裕樹	62
	接客マナー	後藤弥雪	197
	和装着付け	藤田　千鶴・水谷　千秋	20
	情報処理演習Ⅰ	三宅香代子	214
	キャリア演習Ⅱ	水谷千秋	191
	韓国語会話ⅠB	沈玉均	22
	法学概論	鷺森正	63
	倫理学概論	髙岡潤徳	149
	ホスピタリティ演習	新谷涼子	140
	ライフデザイン演習2（集中）	専任教員	21
専門科目	パーソナルカラー理論Ⅱ	田中裕二	70
	キャリアデザイン概論Ⅱ	宇仁菅真	192
	文書処理演習Ⅰ	岡石績絵子	71
	香粧品学	泉谷宜宏	106
	エステティックⅠ	久保優子	72
	アニメ・イラスト基礎Ⅱ	川原伊織	107
	キャリア調理実習Ⅱ	水谷　千秋・調理実習委員会	193
	キャリア調理実践実習Ⅱ	水谷　千秋・調理実習委員会	194

キャリア教養コース　２年次科目

区分	科目名	担当者名	頁
教養科目	ライフデザインⅡ（年間行事）	専任教員	30
	外国語Ⅱ（英会話）	Clinton Robert Carlyle	32
	韓国語会話ⅠA	沈　玉均	5
	ボランティアⅡ	吉田　巖	8
専門科目	ゼミナールⅠ	専任教員	200～210
	エステティックⅡ	久保優子	77
	撮影Ⅰ	新谷涼子	78
	ブライダルⅠ	岩嵜　明奈・増田　京子	79
	文書処理演習Ⅱ	岡石績絵子	195
	女性の発達心理学	今峰大樹	80
	歴史と現代	水谷千秋	82
	日本語の教養	水谷千秋	81
	アニメイラスト研究Ⅰ	川原伊織	118
	キャリアデザイン概論Ⅲ	後藤弥雪	115
教養科目	ライフデザインⅢ（海外研修）	専任教員	64
	芸術と文明	水谷千秋	119
	障害者福祉論	金澤あつ子	83
	韓国語会話Ⅱ	沈　玉均	196
	韓国語会話ⅠB	沈　玉均	22
専門科目	ゼミナールⅡ	専任教員	200～210
	ブライダルⅡ	岩嵜　明奈・増田　京子	79
	心理学	今峰大樹	213
	社会心理学	今峰大樹	84
	文学の世界	水谷千秋	198
	アニメイラスト応用Ⅰ	川原伊織	126
	キャリアデザイン概論Ⅳ	髙岡潤徳	199

令和７年度 開講ゼミナール

担　当　者	科　目	頁
水　谷　千　秋	ゼミナールⅠ	200
	ゼミナールⅡ	201
宇仁菅　　真	ゼミナールⅠ	202
	ゼミナールⅡ	203
新　谷　涼　子	ゼミナールⅠ	204
寺　田　真　綾	ゼミナールⅠ	205
	ゼミナールⅡ	206
岩　嵜　明　奈	ゼミナールⅡ	207
	ゼミナールⅡ	208
田　中　宏　一	ゼミナールⅡ	209
伊　藤　美　香		
	ゼミナールⅡ	210

令和６・７年度 入学生用　社会福祉主事任用資格関係科目

区分	科目名	担当教員	頁
社会福祉主事任用資格科目	社会福祉概論	鷺森　正	3
	法学概論	鷺森　正	63
	保育原理	泉谷宜宏	133
	心理学	今峰大樹	213
	教育原理	泉谷宜宏	149
	障害者福祉概論	金澤あつ子	33
	障害者福祉論	金澤あつ子	83
	医学概論	永野美里	18
	社会福祉	鷺森　正	158

教養演習Ⅰ

美容文化コース

1年次　　前　　期　　安田裕樹

(1)ナンバー

K101

(2)授業の到達目標

社会に出てから求められる教養を広く身につける。

(3)授業の概要

人文科学、自然科学の分野に関する内容を広く学ぶ。また、毎回の授業で時事問題を取り上げて学習する。

(4)卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)と当該授業科目の関連

リベラルアーツ、コミュニケーション力

(5)準備学習

前回の授業内容を復習する(60分)。次回の授業内容を調べる(60分)。

(6)授業の進行計画

① 自然科学分野(1) 日本の地理・歴史分野(1) 時事問題(1)
② 自然科学分野(2) 日本の地理・歴史分野(2) 時事問題(2)
③ 自然科学分野(3) 日本の地理・歴史分野(3) 時事問題(3)
④ 自然科学分野(4) 日本の地理・歴史分野(4) 時事問題(4)
⑤ 自然科学分野(5) 日本の地理・歴史分野(5) 時事問題(5)
⑥ 自然科学分野(6) 日本の地理・歴史分野(6) 時事問題(6)
⑦ 自然科学分野(7) 日本の地理・歴史分野(7) 時事問題(7)
⑧ 日本語表現(1) 日本の地理・歴史分野(8) 時事問題(8)
⑨ 日本語表現(2) 日本の地理・歴史分野(9) 時事問題(9)
⑩ 日本語表現(3) 日本の地理・歴史分野(10) 時事問題(10)
⑪ 日本語表現(4) 日本の地理・歴史分野(11) 時事問題(11)
⑫ 日本語表現(5) 日本の地理・歴史分野(12) 時事問題(12)
⑬ 日本語表現(6) 日本の地理・歴史分野(13) 時事問題(13)
⑭ まとめ(1)
⑮ まとめ(2)
⑯ テスト

(7)課題に対するフィールドバックの方法

小テストを行う場合は返却して解答を解説する。課題を課す場合はコメントを付けて返却する。

(8)成績評価の方法と基準

テストとレポートにより評価します。テスト80%、平常点20%

(9)教科書・参考書・教材費

プリントを配布します。

ライフデザインⅠ（年間行事）

全コース　　1年次　　専任教員

(1)ナンバー

Ｋ１１２

(2)授業の到達目標

本学の建学の精神に基づいた年間行事に参加し、自立した女性となる礎をつくる。

(3)授業の概要

宿泊セミナーやスポーツ、クリスマスパーティーなどの年間行事に参加し、取り組む。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

コミュニケーション力・自ら考え、伝える力

(5)準備学習とそれに必要な時間

必要な場合、学園祭やクリスマスパーティーに向けての準備を行う。

(6)授業の進行計画

① オリエンテーション(短大での学びの方法・メディアリテラシーを知る)
② オリエンテーション（18歳成人制度・詐欺に遭わないために)
③ 新入生宿泊セミナー（初日・マナー研修)
④ 新入生宿泊セミナー（初日・建学の精神の研修・SNSのつきあい方)
⑤ 新入生宿泊セミナー（初日・心身の健康についての研修)
⑥ 新入生宿泊セミナー（二日目・ホテルでの宿泊・団体生活の研修)
⑦ スポーツフエスティバル～個人競技～
⑧ スポーツフエスティバル～団体競技～
⑨ スポーツフエスティバル～クラスの応援～
⑩ 学園祭～準備～
⑪ 学園祭～舞台発表とその観覧～
⑫ 学園祭～後片付け～
⑬ クリスマスパーティー～テーブルマナー研修～
⑭ クリスマスパーティー～舞台発表とその観覧～
⑮ ルーブリック評価
⑯

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出したレポートには、コメントを書いて返却する。

(8)成績評価の方法と基準

諸行事への参加・取り組みの状況とルーブリック評価による。

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書】

【 参考書 】

【 教材費 】

社会福祉概論

美容文化コース

１年次　　後期　　鷲森　正

（１）ナンバー

Ｋ１０４

（２）授業の到達目標

社会福祉とは何かを理解する。社会保障における弱者(児童・老人・母子・障害者)について視点を持つ。また、社会福祉の歴史・社会福祉の基本的な事項を理解する。

（３）授業の概要

社会保障制度の４本柱(社会保険・公的扶助・社会福祉・公衆衛生)を学び、特に今日の社会福祉を取り巻く高齢化社会と少子化の現状と課題など社会福祉とは何かという問題について理解を深めていく。

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と該当授業科目の関連

リベラルアーツ・社会貢献・充実した人生

（５）準備学習とそれに必要な時間

平素から社会福祉に関するニュース・記事に関心を持ってもらいたい。講義で学んだことをしっかり復習し(６０分)課題演習に取り組みより理解を深める(６０分)

（６）授業の進行計画

① 社会保障制度の歴史
② 社会保障制度の４本柱
③ 日本を取り巻く高齢化社会と少子化
④ 介護保険と少子化対策
⑤ 公的扶助と社会福祉・社会的弱者の救済
⑥ 日本国憲法における基本的人権
⑦ 基本的人権と社会福祉
⑧ 社会保障制度の課題
⑨ 医療保険・年金保険・その他の社会保険
⑩ 生活保護制度の実態
⑪ 児童家庭福祉の法律と施設
⑫ 子ども虐待への対応
⑬ ヤングケアラーについて
⑭ ヤングケアラー支援事例(演習)
⑮ 社会福祉の今後の課題
⑯ テスト

（７）課題に対するフィードバックの方法

授業のまとめとして演習課題を行い。次授業で復習を行う。

（８）成績評価の方法と基準

課題演習(平常点を兼ねる)３０％・テスト７０％

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】新プリマーズ社会福祉【第６版】　ミネルヴァ書房(２２００円)
【 参考書 】

【 教材費 】

外国語Ⅰ（英会話）

全コース

1年次　　前期・後期　　名前　クリントン

(1)ナンバー

Ｋ１１５

(2)授業の到達目標

英語の基本語彙や発音を覚え、実際の会話で英語を使えるようになる。

(3)授業の概要

「英語ができない」「間違えたら恥ずかしい」「英語がしゃべりたいけど、自信がない」と思っている人が多くないですか。この授業では、ペアーワーク又はグループワーク中心で、毎回英語を使います。間違いから学び、話す経験から自信を備える授業です。語彙的とコミュニケーション的なアプローチで、外国の方々と交流するための基本の会話とフレーズを実際に使えるようになります。会話中心ですので、出席とパーティシペーションが必要です。

(4)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

コミュニケーション力

(5)準備学習とそれに必要な時間

特記事項なし

(6)授業の進行計画

① Orientation (Goals, rules, grading and attendence)
② Greetings and introductions, Pronunciation practice
③ How are you? (The verb be, and Wh - and Yen/No questions
④ Do you understand? (Imperative orders and instructions) *Class room English
⑤ This is my room. (There is and There are)
⑥ When do you get up? (Do/Does; Yes/No questions and short answers)
⑦ Who's this? (Wh - questions)
⑧ That's a great shirt! (Some and any with plural nouns)
⑨ Review of unit 1-6
⑩ Where are you from? (Wh - questions and nationalities)
⑪ I love music! (Hobbies, activities and free time)
⑫ My future plans.(To be and V - ing)
⑬ Family members. (Describing people's appearance and personality)
⑭ Review of unit 7-11
⑮ Practice Test
⑯ Final Test

(7)課題に対するフィードバックの方法

授業毎に課題を出し、次の授業時に回収。次回の授業までにチェックして、生徒に返却。

(8)成績評価の方法と基準

平常点30%、パーティシペーション30%、テスト・その他40%

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】English FIRSTHAND ACCESS（３，２５６円　税込み)
【 参考書
【 教材費 】

韓国語会話ＩＡ

全コース

１年次　　前期　　沈　玉均

(１)ナンバー

Ｈ１０７

(２)授業の到達目標

韓国語の基本文型と語彙を覚え、短い会話表現ができるようになる。

(３)授業の概要

韓国語の文字に対する理解と発音をはじめ、読み・書きができるように学習していく。正確できれいな発音と聞き取りの練習を繰り返すことによって、韓国語の基本語彙と文法に習熟していく。本科目では「読む書く聞く」の４基本技能のうち特に「聞く」と「話す」を重視し、毎回の授業内で小テストを行う。

(４)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

リベラルアーツ　・自分で考え、伝える力

(５)準備学習とそれに必要な時間

授業概要を読んでおくこと（２時間）、前回の授業を振り返ること（1時間）・教科書の該当箇所を再読しておくこと（1時間）

(６)授業の進行計画

① ガイダンス～ハングルのしくみについて～
② 第１課　母音⑴～単母音について～
③ 第２課　子音⑴～平音について～
④ 第3課　子音⑵～平音について～
⑤ 第4課　子音⑶～鼻音について～
⑥ 第5課　子音⑷～激音について～
⑦ 第6課　子音⑸～濃音について～
⑧ 第7課　母音⑵～二重母音について～
⑨ 第8課　パッチム～終声について～
⑩ 第9課　発音の変化～不規則な発音について～
⑪ 第10課　単語の調べ方および日本語のハングル表記方法～日本語の発音をハングルで～
⑫ 第11課　大学生ですか？　韓国語で自己紹介の練習
⑬ 第12課　会社員ではありません。～名詞の否定表現～
⑭ まとめ①　（１課～６課の復習をした後テスト）～自分の名前をハングルで書く～
⑮ まとめ②（７課～12課の復習をした後テスト）～韓国語で簡単な自己紹介をする～
⑯

(７)課題に対するフィードバックの方法

小テストの答案を授業内で返却し、解説する。

(８)成績評価の方法と基準

平常点50％、小テスト20％、授業内試験30%

(９)教科書・参考書・教材費

厳基珠・金三順・金天鶴・申鉉竣・吉川友丈『韓国語の初歩〈改訂版〉』2,420円

ライフデザイン演習１

全コース

１年次　集中　専任教員

(1)ナンバー

Ｋ１１０

(2)授業の到達目標

美容文化コース、ビューティーメイクコース、舞台芸術コース、保育士コース、教養コースに関する基本となる知識の概要を学ぶ。

(3)授業の概要

美容実習・メイク等の実習・ダンス・演技等の実習、保育内容の実習、教養を涵養するための講座など、各コースの根幹となる基礎的な内容について、実習を中心に学習していく。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

美容生活文化・リベラルアーツ

(5)準備学習とそれに必要な時間

(6)授業の進行計画

① オリエンテーション・本学の建学の精神について
② 各コース（美容・メイク・舞台・保育・教養）に分かれての演習・実習
③ 各コース（美容・メイク・舞台・保育・教養）に分かれての演習・実習
④ 各コース（美容・メイク・舞台・保育・教養）に分かれての演習・実習
⑤ 各コース（美容・メイク・舞台・保育・教養）に分かれての演習・実習
⑥ 各コース（美容・メイク・舞台・保育・教養）に分かれての演習・実習
⑦ 各コース（美容・メイク・舞台・保育・教養）に分かれての演習・実習
⑧ 各コース（美容・メイク・舞台・保育・教養）に分かれての演習・実習
⑨ 各コース（美容・メイク・舞台・保育・教養）に分かれての演習・実習
⑩ 各コース（美容・メイク・舞台・保育・教養）に分かれての演習・実習
⑪ 各コース（美容・メイク・舞台・保育・教養）に分かれての演習・実習
⑫ 各コース（美容・メイク・舞台・保育・教養）に分かれての演習・実習
⑬ 各コース（美容・メイク・舞台・保育・教養）に分かれての演習・実習
⑭ 各コース（美容・メイク・舞台・保育・教養）に分かれての演習・実習
⑮ 各コース（美容・メイク・舞台・保育・教養）に分かれての演習・実習
⑯

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出したレポートには、コメントを書いて返却する。小テストをした場合は、答案を授業内で返却し、解説する。

(8)成績評価の方法と基準

演習・実習への取り組み状況30%、レポート・小テスト70%で評価する。

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書】
【 参考書 】
【 教材費 】

インターンシップ

美容文化コース

1年次　前期　　吉田　巖

実務家教員による授業科目

（1） ナンバー

Ｋ１１９

（2）授業の到達目標

美容師として現場で働く環境を肌で感じ、職業意識を養い、職業選択の要素の一つとする。

（3）授業の概要

在学中に自らの専攻である美容師の就業体験を行うことにより、将来の職業を見据えたコミュニケーション力や協調性、スキルの向上を目指します。将来の職業選択で美容の道を考えている学生はもちろん、それ以外の学生も、選択科目ではありますが、積極的な履修を期待しています。尚、交通費、食費等は原則すべて自己負担、報酬は原則無しです。

（4）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

自ら考え伝える力

（5）準備学習とそれに必要な時間

実習先の決定と実習先での心がまえ等の事前把握。

（6）授業の進行計画

①事前指導として、実習先との連絡調整と実習先でのマナー等の習得。

②現場実習として、のべ 40 時間以上の職業体験。

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

＜実習の流れ＞

1．実習先の自己開拓

プリント①の「注意事項―サロンにお願いに行くとき・・・」を参考に依頼する。

2．実習受け入れ先の決定

プリント②の「受け入れのお願い（依頼）」、③「実習表記入の仕方」及び「実習表」を持参してお願いする。

3．実習の開始

実習プリント①の「注意事項―実習時の・・・」を参考に実習を実施。

4．実習の終了・報告

返却された「実習表」と作製した④「レポート」（インターンシップを体験して）を提出する。

（注）①～④、実習表は別途配布する。

⑮事後指導として、実習表と感想レポートの提出。

⑯

（7）課題に対するフィードバックの方法

提出したレポートには、コメントを書いて返却する。

（8）成績評価の方法と基準

受け入れ先の担当者のコメント（30%）と実習者のレポート（40%）、及び全体的な参加意欲、態度（30%）で総合的に評価する。

（9）教科書・参考書・教材費

【教科書】特になし。

【参考書】必要に応じて紹介する。教材費は不要。

【教材費】※「短期大学学生総合保障制度」に加入済みであること。

ボランティアⅠ

全コース

1年次　前・後期　　吉田　巖

（1） ナンバー

Ｋ１１９

（2）授業の到達目標

学生生活初年度における学習経験や知識・技術などを生かしたボランティア活動を通じて、社会人力や奉仕精神豊かな自立的女性への成長を目指す。

（3）授業の概要

①活動範囲は、福祉団体や福祉施設、教育機関、公共機関等とする。主に担任教員を通じて紹介するが、自己開拓した場合は担当者に相談すること。

②実習時間は、のべ 40 時間以上とする。

③実習は、原則無償とする。

（4）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

コミュニケーション力・リベラルアーツ

（5）準備学習とそれに必要な時間

①入学後の学生生活・勉学等のふりかえり

②実習先の状況理解（事前指導・事前訪問等を含む）。

（6）授業の進行計画

①オリエンテーション

②事前指導（ボランティアごと、随時）

③ボランティア実習（のべ 40 時間）

④　〃

⑤　〃

⑥　〃

⑦　〃

⑧　〃

⑨　〃

⑩　〃

⑪　〃

⑫　〃

⑬　〃

⑭　〃

⑮事後報告（報告会・記録・レポート提出）

⑯

＜実習の流れ＞

Ⅰ．「ボランティア参加届」①-A・①-B を提出
　→確認後（割印）、左側①-A を返却

Ⅱ．参加届①-A と「誓約書」②を実習先へ提出

Ⅲ．実習開始
　「ボランティア活動報告」③（学友会・O.C.等）または「ボランティア実習記録」④（毎日）をその都度作成
　→実習終了（延べ 40 時間以上）

Ⅳ．「ボランティア実習レポート」⑤を作成

Ⅴ．「活動報告」③または「実習記録」④と実習レポート」⑤を提出

（注）①～⑤は別途配布する

（7）課題に対するフィードバックの方法

提出したレポートには、コメントを書いて返却する。

（8）成績評価の方法と基準

ボランティア実習記録（80%）とレポート（20%）で総合評価する。

（9）教科書・参考書・教材費

【教科書】特になし

【参考書】プリントを配布し、必要に応じて紹介する。

【教材費】※「短期大学学生総合保障制度」に加入済みであること。

美容保健Ⅰ
美容文化コース

1年次　前期　田中　宏一

美容師として勤務した経験を生かし、美容所に於いて実際に役立つ知識と技術を指導する。

(1) ナンバー
Ｂ１０５

(2) 授業の到達目標
美容技術の基礎となる人体組織の構造と機能に関する科学的、系統的な知識の習得を目的とする。

(3) 授業の概要
人体各部の名称並びに頭部、顔部及び頸部の解剖学的特徴（骨格、筋、神経含む）を講義する。

(4) 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連
美容の知識・技術

(5) 準備学習とそれに必要な時間
事前に教科書の授業対象範囲を一読し、大まかな内容を理解しておくこと。
前回授業時の内容を教科書にて復習（60分）、次回授業時の内容を教科書にて予習（60分）

(6) 授業の進行計画
① 授業オリエンテーション
② 頭部、顔部、頸部の体表解剖学
③ 骨格器系のあらましと骨の種類
④ 骨格器系とそのはたらき
⑤ 筋系のあらましと筋の種類
⑥ 主な骨格筋とそのはたらき
⑦ 神経系のなりたち
⑧ 中枢神経と末梢神経
⑨ 頭部、顔部、頸部の体表解剖学～神経系までの復習と小テスト
⑩ 感覚器系　～視覚・聴覚・平衡感覚
⑪ 血液・免疫系のあらまし
⑫ 循環器系の仕組み
⑬ 呼吸器系　気道と肺について
⑭ 消化器系のあらまし
⑮ 消化器系の仕組みとはたらき
⑯ 期末テスト

(7) 課題に関するフィードバックの方法
実施したテストの答案を授業内で返却及び解説をする。

(8) 成績評価の方法と基準
10回以上の出席で受験資格とする。2回の授業内テストで60%以上の得点で評価する。

(9) 教科書・参考書・教材費
教科書：「理容・美容保健」（社団法人　日本理容美容教育センター）※　必修教材費に含む
プリント等適宜配布

香粧品化学Ⅰ
美容文化コース

1年次　前期　田中　宏一

美容師として勤務した経験を生かし、美容所に於いて実際に役立つ知識と技術を指導する。

(1) ナンバー
Ｂ１０８

(2) 授業の到達目標
美容技術の基礎となる香粧品に関する科学的、体系的な知識の習得を目的とする。

(3) 授業の概要
香粧品に用いられる水性・油性原料、界面活性剤、その他原料について学ぶ

(4) 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連
美容の知識・技術

(5) 準備学習とそれに必要な時間
事前に教科書の授業対象範囲を一読し、大まかな内容を理解しておくこと。
前回授業時の内容を教科書にて復習（60分）、次回授業時の内容を教科書にて予習（60分）

(6) 授業の進行計画
① 香粧品概論　～身近な香粧品の剤形と処方と基剤
② 水性原料、溶媒、油性原料について
③ 水性原料、溶媒、油性原料の練習問題解答解説
④ 界面活性剤について
⑤ 界面活性剤の練習問題解答解説
⑥ 高分子化合物、スタイリング剤について
⑦ 高分子化合物、スタイリング剤の練習問題解答解説
⑧ 色材と香料について
⑨ 色材と香料の練習問題解答解説
⑩ その他配合原料について
⑪ その他配合原料の練習問題解答解説
⑫ まとめ復習①
⑬ まとめ復習②
⑭ まとめ復習③
⑮ まとめ復習④
⑯ テスト

(7) 課題に関するフィードバックの方法
実施したテストの答案を授業内で返却及び解説をする。

(8) 成績評価の方法と基準
10回以上の出席で期末テスト受験資格とする。
授業内大テスト70%、授業内の小テスト30%で評価する

(9) 教科書・参考書・教材費
教科書：「香粧品化学」（社団法人　日本理容美容教育センター）※　必修教材費に含む
プリント等適宜配布

美容技術理論　Ⅰ

美容文化コース

1年次　　前期　　中尾　友香

美容師として勤務した経験を生かして美容所において実際に役立つ知識と技術を指導する。

⑴ナンバー

B112

⑵授業の到達目標

理論を理解することで技術を深く学ぶことができる。その為に基礎的な理論を学び、美容技術にも生かすことが目標である。

⑶授業の概要

序章（美容技術理論を学ぶにあたって）・美容用具・シャンプーイング・ヘアデザイン・ヘアカッティングについての理論を学ぶ

⑷卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

美容の知識、技術　自分で考え伝える力

⑸準備学習とそれに必要な時間

「美容技術理論Ⅰ」の復習をしておくこと授業の内容を復習する（120分）

⑹授業の進行計画

① 序章　（美容技術理論を学ぶことの重要性）

② 序章（人体各部の名称）

③ 美容道具（美容技術における道具）

④ 美容道具（コーム・ブラシ・シザーズ）

⑤ 美容道具（ヘアアイロン・ヘアスチーマー・ヘアドライヤー）

⑥ シャンプーイング総論

⑦ シャンプーイング（シャンプー技術について）

⑧ リンス・トリートメント総論

⑨ リンス・トリートメント（トリートメント技術について）

⑩ ヘアデザイン（美容とデザイン）

⑪ ヘアデザイン（デザインの原理）

⑫ ヘアカッティング（美容刃物・シザーズとレザーについて）

⑬ ヘアカッティング（ヘアカッティングの基礎理論）

⑭ ヘアカッティング（シザーズによるカット技法）

⑮ ヘアカッティング（レザーによるカット技法）

⑯ 期末テスト

⑺課題に対するフィードバック

小テストを行う場合は答案を授業内で返却し、解説する

⑻成績評価の方法と基準

開講授業回数の2／3以上の出席で、期末テストの受験資格とする。評価は期末テストで行う。

⑼教科書・参考書・教材費

教科書 「美容技術理論Ⅰ」（公益社団法人　日本理容美容教育センター）※必須材料費に含む 「ワークブック」（公益社団法人　日本理容美容教育センター）※必須材料費に含む
プリント等配布

美容技術理論　Ⅱ

美容文化コース

1年次　　前期　　中尾　友香

美容師として勤務した経験を生かして美容所において実際に役立つ知識と技術を指導する。

⑴ナンバー

B113

⑵授業の到達目標

理論を理解することで技術を深く学ぶことができる。その為に基礎的な理論を学び、美容技術にも生かすことが目標である。

⑶授業の概要

パーマネントウェーブ・ヘアセッティング・ヘアカラーリングについての理論を学ぶ

美容の知識、技術　自分で考え伝える力

⑸準備学習とそれに必要な時間

「美容技術理論Ⅰ」の復習をしておくこと授業の内容を復習する（120分）

⑹授業の進行計画

① パーマネントウェーブ（パーマネントウェーブの歴史と現在）

② パーマネントウェーブ（パーマネントウェーブの理論）

③ パーマネントウェーブ（パーマネントウェーブのウェーブ剤の分類）

④ パーマネントウェーブ（パーマネントウェーブ技術）

⑤ パーマネントウェーブ（縮毛矯正）

⑥ ヘアセッティング（ヘアセッティングとは）

⑦ ヘアセッティング（ヘアパーティング・ヘアシェーピング）

⑧ ヘアセッティング（ヘアカーリング・ヘアウェービング）

⑨ ヘアセッティング（ローラーカーリング・ブロードライ・アイロンセッティング）

⑩ ヘアセッティング（バックコーミング・アップスタイル・ウィッグとヘアピース）

⑪ ヘアカラーリング（ヘアカラーリング概論・ヘアカラー種類）

⑫ ヘアカラーリング（ヘアカラーのタイプ別特徴・染毛のメカニズム）

⑬ ヘアカラーリング（色の基本・毛髪のレベルとアンダートーン）

⑭ ヘアカラーリング（染毛剤使用時の注意事項・パッチテスト）

⑮ ヘアカラーリング（酸化染毛剤の技術手順・酸性染毛料の技術手順）

⑯ 期末テスト

⑺課題に対するフィードバック

小テストを行う場合は答案を授業内で返却し、解説する

⑻成績評価の方法と基準

開講授業回数の2／3以上の出席で、期末テストの受験資格とする。評価は期末テストで行う。

⑼教科書・参考書・教材費

教科書 「美容技術理論Ⅰ」（公益社団法人　日本理容美容教育センター）※必須材料費に含む 「ワークブック」（公益社団法人　日本理容美容教育センター）※必須材料費に含む
プリント等配布

美容文化実習　1

美容文化コース

1年次　　前期　　伊藤美香

〔実務家教員による授業科目〕美容師として勤務した経験を生かして美容所において実際に役立つ知識と技術を指導する。

⑴ナンバー

B118

⑵授業の到達目標

美容技術の基礎トレーニングとして、ワインデェイング技術を取得することを一つの目標とする。美容文化実2で修得したカット技術をもとにデザインを考えオリジナル作品を仕上げる。

⑶授業の概要

美容技術には必ずそれを裏付ける理論がある。この講座では基礎となる技術の理論を理解し実践できるようにトレーニングしていく。

⑷卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

美容の知識、技術　自分で考え伝える力

⑸準備学習

教科書「美容技術理論Ⅰ」を熟読し、理論と技術の関係性を理解し授業に臨むこと。授業内容を240分復習すること

⑹授業の進行計画

A	B
① 授業オリエンテーション	① 美容道具について
② ワインディング理論と実践　ブロッキング（センター）	② ワインディング理論と実践　ブロッキング（バックサイド）
③ ワインディング理論と実践　ブロッキング（サイド）	③ ワインディング理論と実践　ブロッキング（全頭）
④ ワインディング理論と実践　ブロッキング（タイム）	④ ワインディング理論と実践　（スライス）
⑤ ワインディング理論と実践　（パネルの角度）	⑤ ワインディング理論と実践　（コーミング）
⑥ ワインディング理論と実践　上巻き説明	⑥ ワインディング理論と実践　上巻き（センター）
⑦ ワインディング理論と実践　上巻き（右バックサイド）	⑦ ワインディング理論と実践　上巻き（右サイド）
⑧ ワインディング理論と実践　上巻き（左バックサイド）	⑧ ワインディング理論と実践　上巻き（左サイド）
⑨ ワインディング理論と実践　下巻き　説明	⑨ ワインディング理論と実践　下巻き　（センター）
⑩ ワインディング理論と実践　下巻き　（左バックサイド）	⑩ ワインディング理論と実践　下巻き　（右バックサイド）
⑪ ワインディング理論と実践　全頭　①（タイム）	⑪ ワインディング理論と実践　全頭　①（バランス確認）
⑫ ワインディング理論と実践　全頭　②（タイム）	⑫ ワインディング理論と実践　全頭　②（バランス確認）
⑬ ワインディング理論と実践　全頭　③（タイム）	⑬ ワインディング理論と実践　全頭　③（バランス確認）
⑭ ワインディング理論と実践　全頭　④（タイム）	⑭ ワインディング理論と実践　全頭　④（バランス確認）
⑮ ワインディング理論と実践　全頭　⑤（タイム）	⑮ ワインディング理論と実践　全頭　⑤（バランス確認）
⑯ テスト	⑯ テスト

⑺課題に対するフィードバック

授業内での作品を評価し改善点を伝える。

⑻成績評価の方法と基準

規定開講数の80％以上を出席のこと。各テスト、提出物、授業態度、学習意欲を総合的に評価する。

⑼教科書・参考書・教材費

教科書 「美容技術理論Ⅰ」（公益社団法人　日本理容美容教育センター）美容実習道具一式　※上記教材は、必修教材費に含む

美容文化実習　2

美容文化コース

1年次　　前期　　田中宏一　中尾　友香

美容師として勤務した経験を生かして美容所において実際に役立つ知識と技術を指導する。

⑴ナンバー

B119

⑵授業の到達目標

美容技術のカットスタイル、カットデザインを学び、ヘアカット作品をつくりあげイメージを形にするプロセスを学習する。

⑶授業の概要

美容技術には必ずそれを裏付ける理論がある。この講座では基礎となる技術の理論を理解し実践できるようにトレーニングしていく。また自由制作を通して、発想力やデザイン力を身に付けて

⑷卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

美容の知識、技術　センス・マナー　自分で考え伝える力

⑸準備学習とそれに必要な時間

教科書「美容技術理論Ⅰ」を熟読し、理論と技術の関係性を理解し授業に臨むこと。授業内容を240分復習すること

⑹授業の進行計画

① 授業オリエンテーション、美容道具について
② カットスタイルについての基礎知識①（基本の4スタイルについて）
③ カットスタイルについての基礎知識②（シザーワーク　ブロッキングについて）
④ カットデザインについての基礎知識（展開図について）
⑤ ベーシックヘアカット①（ワンレングスカット　ブロッキング　）
⑥ ベーシックヘアカット②（ワンレングスカット　スタイル）
⑦ ベーシックヘアカット③（グラデーションカット　ブロッキング）
⑧ ベーシックヘアカット④（グラデーションカット　スタイル）
⑨ ベーシックヘアカット⑤（レイヤーカット　ブロッキング）
⑩ ベーシックヘアカット⑥（レイヤーカット　スタイル）
⑪ ベーシックヘアカット⑦（セイムレングスカット　ブロッキング）
⑫ ベーシックヘアカット⑧（セイムレングスカット　スタイル）
⑬ ウィッグ作品制作①（カットスタイルの組み合わせについて）
⑭ ウィッグ作品制作②（カラーについての知識　実践）
⑮ ウィッグ作品制作③（展開図の作成）
⑯ ウィッグ作品制作④

⑺課題に対するフィードバック

授業内での作品を評価し改善点を伝える。

⑻成績評価の方法と基準

規定開講数の80％以上を出席のこと。各テスト、提出物、授業態度、学習意欲を総合的に評価する。

⑼教科書・参考書・教材費

教科書 「美容技術理論Ⅰ」（公益社団法人　日本理容美容教育センター）美容実習道具一式
※上記教材は、必修教材費に含む

メイクベーシック

美容文化コース／舞台芸術コース／教養コース

1年次　　前　期　　岩　嵜　明　奈
藤　木　有希子

実務家教員による授業科目　長年にわたり、大手化粧品会社に所属し、百貨店の美容部員として接客・マネジメント等の業務の経験や、メイクアップアーティストとしてメディアの第一線で活躍した経験を活かし、メイク業界の現場で実際に役立つ知識を指導する

(1)ナンバー

Ｂ１３１

(2)授業の到達目標

後期学期末に実施するケサランパサランメイクアップ検定初級者試験の合格を目標とする。

(3)授業の概要

メイク技術は女性にとって日常生活で必要とされる技術と考えられる。前半は自分の顔分析を行い、自分に似合うメイクを発見し、習得する。後半は相モデルの顔分析を行い、メイク技法を提案できる技術を習得する。

(4)卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)と当該授業科目の関連

美容生活文化

自分で考え、伝える力

(5)準備学習とそれに必要な時間

授業内で習得した基本的なメイクテクニック技術を日常生活に取り入れ、メイクツールや化粧品に触れる。
また検定試験合格の為、各自復習と練習が必要である。

(6)授業の進行計画

① 授業説明・教材配布・メイク道具とセッテイング
② 顔分析・肌分析・スキンケア・ベースメイク実習
③ スキンケア・ベースメイク・カバーリング実習
④ アイブロウメイク実習①ナチュラル
⑤ アイブロウメイク実習②アーチ
⑥ アイブロウメイク実習③シャープ
⑦ アイメイク実習
⑧ リップメイク実習
⑨ チークメイク・ハイライト・ローライト実習
⑩ イメージメイク(ナチュラル)
⑪ イメージメイク(キュート)
⑫ イメージメイク(クール)
⑬ トータルメイク(相モデル)実習
⑭ トータルメイク(相モデル)実習
⑮ ケサランパサランメイクアップ検定初級者試験説明・デモンストレーション
⑯ ケサランパサランメイクアップ検定初級者試験

(7)課題に対するフィードバックの方法

作品の仕上がりやブラシワークをチェックし作業工程や苦手箇所を手直しフィードバックする。

(8)成績評価の方法と基準

授業への取り組み姿勢,意欲　平常点70％　　実技試験・技術点30％で評価を行う。

(9)教科書・参考書・教材費

【　教科書　】　なし

【　参考書　】　なし

【　教材費　】　メイクアップ教材　　￥43，200（共同教材費含む）

教養演習Ⅱ

美容文化コース

1年次　　後　期　　安田　裕樹

(1)ナンバー

K102

(2)授業の到達目標

社会に出てから求められる教養を広く身につける。

(3)授業の概要

人文科学、自然科学の分野に関する内容を広く学ぶ。また、毎回の授業で時事問題を取り上げて学習する。

(4)卒業認定・学位授与(ディプロマポリシー)と当該授業科目の関連

リベラルアーツ、コミュニケーション力

(5)準備学習

前回の授業で使用したプリントの内容を復習する(60分)。次回の授業内容を調べる(60分)

(6)授業の進行計画

① 自然科学分野(1) 世界の地理・歴史分野(1)　時事問題(1)
② 自然科学分野(2) 世界の地理・歴史分野(2)　時事問題(2)
③ 自然科学分野(3) 世界の地理・歴史分野(3)　時事問題(3)
④ 自然科学分野(4) 世界の地理・歴史分野(4)　時事問題(4)
⑤ 自然科学分野(5) 世界の地理・歴史分野(5)　時事問題(5)
⑥ 自然科学分野(6) 世界の地理・歴史分野(6)　時事問題(6)
⑦ 自然科学分野(7) 世界の地理・歴史分野(7)　時事問題(7)
⑧ 日本語表現(1) 世界の地理・歴史分野(8)　時事問題(8)
⑨ 日本語表現(2) 世界の地理・歴史分野(9)　時事問題(9)
⑩ 日本語表現(3) 世界の地理・歴史分野(10)　時事問題(10)
⑪ 日本語表現(4) 世界の地理・歴史分野(11)　時事問題(11)
⑫ 日本語表現(5) 世界の地理・歴史分野(12)　時事問題(12)
⑬ 日本語表現(6) 世界の地理・歴史分野(13)　時事問題(13)
⑭ まとめ(1)
⑮ まとめ(2)
⑯ テスト

(7)課題に対するフィールドバックの方法

小テストを行う場合は、返却して解答を解説する。課題を課す場合は、コメントを付けて返却する。

(8)成績評価の方法と基準

テストとレポートにより評価します。テスト80%、平常点20%

(9)教科書・参考書・教材費

プリントを配布します。

接客マナー演習

美容文化コース

１年次　　後期　　後藤　弥雪

（１）ナンバー

Ｋ１２１

（２）授業の到達目標

ビジネス、特に接客におけるマナーを身につけ、社会人として必要となる実践的な知識を定着させる。接客業以外でも活躍できるようなコミュニケーション能力を身につける。

（３）授業の概要

前半では、接客業を中心としたビジネスにおける最低限のマナーの知識を習得する。
後半では、就職についての知識を深めた後、
実際に接客業で働いている方々の講演を聞くことで、より自身が働いているイメージを膨らませる。

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

センス・マナー、社会貢献・充実した人生

（５）準備学習

企業講演の前には、該当企業について調べておくこと。

（６）授業の進行計画

① オリエンテーション
② ことば遣い・敬語
③ ビジネスメールの基本マナー
④ 文書の取り扱い・封筒の書き方
⑤ 慶事・弔事
⑥ 来客応対
⑦ コミュニケーション
⑧ 就職活動の基礎知識
⑨ 求人の見つけ方①
⑩ 求人の見つけ方②
⑪ 求人の見つけ方③
⑫ 接客マナー演習①
⑬ 接客マナー演習②
⑭ 接客マナー演習③
⑮ 接客マナー演習④
⑯ 接客マナー演習⑤
⑰ 筆記試験（A）
⑱ 筆記試験（B）
⑲ まとめ

（７）課題に対するフィードバックの方法

提出レポートに対しコメントをつけ返却する。

（８）成績評価の方法と基準

筆記試験５０％、平常点５０％

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】プリントにて配布
【 参考書 】
【 教材費 】

医学概論

美容文化コース

１年次　後期　　永　野　美　里

(1)ナンバー

Ｋ１０５

(2)授業の到達目標

まず、自分の身体の仕組みを知る。女性ホルモンのバランスを知り、体調や精神に与える影響を学ぶ。また、女性の「体質」をきっちり理解することで、心身のセルフコントロールをできるよう目指す。

(3)授業の概要

美容に携わる時、身体や心の仕組み、皮膚の構造、生理機能を理解しておくことは大切である。そこで、授業ではまず健康のとらえ方や女性の身体の構造と概要について理解を深めるよう講義を行い、問題解決能力を身につけてほしい。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

広い教養、美容の知識・技術

(5)準備学習

前授業で配布されたプリントを確認しておく(60分）。毎回次回の授業内容を伝えるので、自己学習してくる（60分）。

(6)授業の進行計画

① オリエンテーション

② 脳神経学

③ 人体の構造と器官

④ 人体の神経構造と役割

⑤ 皮膚構造

⑥ 皮膚付属器官の構造

⑦ 皮膚・皮膚付属器官の機能

⑧ 人体の呼吸器について

⑨ 人体の消化器官について

⑩ 人体の内分泌器について

⑪ 人体の内分泌器が及ぼす作用について

⑫ 精神保健

⑬ 人体の恒常性

⑭ 生理機能

⑮ 疾病の成り立ち

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出したレポートにはコメントを書いて返却する。

(8)成績評価の方法と基準

平常点・受講態度（60％）、授業での提出物（40％）

(9)教科書・参考書・教材費

適宜プリント配布
共同使用教材、実習費として1000円
参考書
適宜紹介する。

倫理学入門(やさしい哲学)

美容文化コース

１年次　前期　　髙岡　潤徳

(１)ナンバー

Ｋ１３２

(２)授業の到達目標

古今東西それぞれの特色に満ちた倫理思想に触れ、教養を培うと共に、自らが充実した人生を生きていく上での糧とする。

(３)授業の概要

各思想の代表的な人物史を中心に、答えの出ない問題を学生と一緒に考えていく

(４)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と該当授業科目の関連

リベラルアーツ・広い教養・充実した人生

(５)準備学習とそれに必要な時間

(６)授業の進行計画

① 倫理学とは
② ギリシア思想(アリストテレス)
③ キリスト教(イエス)
④ イスラーム(ムハンマド)
⑤ 仏教(ゴータマ･シッダッタ)
⑥ 中国の思想(孔子)
⑦ 人間の尊厳(パスカル)
⑧ 科学革命と自然観(デカルト)
⑨ 社会契約の思想(ルソー)
⑩ ドイツ観念論(カント)
⑪ イギリス功利主義(アダム･スミス)
⑫ 社会主義の思想(マルクス)
⑬ 実存主義（キルケゴール)
⑭ 現代の思想(フロイト)
⑮ 現代のヒューマニズム(ガンディー)
⑯ テスト

(７)課題に対するフィードバックの方法

各項目ごとに演習課題を行い、次の授業で復習・確認を行う。

(８)成績評価の方法と基準

演習課題(平常点を含む)３０％・テスト７０％

(９)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】いちばんやさしい哲学の本　　彩図社　　沢辺有司著　　￥667＋税
【 参考書 】

【 教材費 】

和装着付け

美容・ビューティー・舞台芸術・キャリア教養コース

１年次　後期　藤田千鶴・水谷千秋

(１)ナンバー

Ｈ１０８

(２)授業の到達目標

○自装15分以内
○帯結び 半袖でちょうちょ結び・貝の口　、名古屋帯でお太鼓結びの修得
○他装　留め帯と二重太鼓の習得。

(３)授業の概要

日本の伝統美である着物の着付け技術を苦しくなく、早く楽に着崩れしない技術を学院オリジナルの小物を使用し、習得する。帯結びは半袖帯、名古屋帯、基本的なバランス調和で美しく仕上げる技術とそれに伴う知識の習得を目標にする。後半５時間は和装の歴史を学ぶ。

(４)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

美容生活文化

(５)準備学習とそれに必要な時間

予習…着物の名称をテキストで覚える。復習…実技とくに小物の使い方と着物の着付けの手順とコツ

(６)授業の進行計画

① 小物選びと長襦袢までの着付け
② 着物の着かたと半襦袢のお太鼓帯とたたみかた
③ 着物の着かたと半襦袢のお太鼓帯（ちょうちょ　貝の口）とたたみかた
④ 着物の着かたと袋帯でふくらスズメの結び方
⑤ 着物の着せ方と袋帯でお文庫の結び方　半袖帯のテスト練習。
⑥ 着物の装いTP0　ペーパーテスト
⑦ 実技テスト
⑧ 留め帯の着かたと二重太鼓
⑨ 着物の着かたと手結びのお太鼓結び
⑩ 花嫁展示
⑪ 和装の歴史ー古代
⑫ 和装の歴史ー中世
⑬ 和装の歴史ー安土桃山から寛永
⑭ 和装の歴史ー元禄から化政
⑮ 和装の歴史ー幕末から近代
⑯ テスト・発表・授業のまとめ

(７)課題に対するフィードバックの方法

実技テスト・ペーパーテストの結果ははがきで伝える。

(８)成績評価の方法と基準

基礎知識テスト50パーセント、実技テスト40パーセント、学習態度10パーセント

(９)教科書・参考書・教材費

教科書『きものへの道』【教材費】33,000円。その他（指導中必要に応じ紹介）３級認定料等。※希望者のみ　別途販売（税込み）Mサイズ肌着1,573円。裾除け3,245円。長襦袢7,040円。足袋1980円、半幅帯3861円(全て予定)　（注意）着物・帯のある方は必ず持参してください。家にない人には若干貸し出しはありますが、枚数は限定されています。肌着、裾除け、長襦袢、半幅帯、足袋は必ず必要です。授業をでも購入できますが、各自用意していただいてかまいません。

ライフデザイン演習2

全コース

１年次　集中　専任教員

(1)ナンバー

Ｋ１１１

(2)授業の到達目標

美容文化コース、ビューティーメイクコース、舞台芸術コース、保育士コース、教養コースに関する基本となる知識の概要を学ぶ。

(3)授業の概要

美容実習・メイク等の実習・ダンス・演技等の実習、保育内容の実習、教養を涵養するための講座など、各コースの根幹となる基礎的な内容について、実習を中心に学習していく。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

美容生活文化・コミュニケーション力

(5)準備学習とそれに必要な時間

予習と復習。その日の復習をしっかりして次の日の授業に臨む。

(6)授業の進行計画

① 開講にあたってのオリエンテーション。本学の建学の精神について
② 各コース（美容・メイク・舞台・保育・教養）に分かれての演習・実習
③ 各コース（美容・メイク・舞台・保育・教養）に分かれての演習・実習
④ 各コース（美容・メイク・舞台・保育・教養）に分かれての演習・実習
⑤ 各コース（美容・メイク・舞台・保育・教養）に分かれての演習・実習
⑥ 各コース（美容・メイク・舞台・保育・教養）に分かれての演習・実習
⑦ 各コース（美容・メイク・舞台・保育・教養）に分かれての演習・実習
⑧ 各コース（美容・メイク・舞台・保育・教養）に分かれての演習・実習
⑨ 各コース（美容・メイク・舞台・保育・教養）に分かれての演習・実習
⑩ 各コース（美容・メイク・舞台・保育・教養）に分かれての演習・実習
⑪ 各コース（美容・メイク・舞台・保育・教養）に分かれての演習・実習
⑫ 各コース（美容・メイク・舞台・保育・教養）に分かれての演習・実習
⑬ 各コース（美容・メイク・舞台・保育・教養）に分かれての演習・実習
⑭ 各コース（美容・メイク・舞台・保育・教養）に分かれての演習・実習
⑮ 各コース（美容・メイク・舞台・保育・教養）に分かれての演習・実習
⑯

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出したレポートには、コメントを書いて返却する。小テストをした場合は、答案を授業内で返却し、解説する。

(8)成績評価の方法と基準

演習・実習への取り組み状況と30％と、毎回の授業のレポート、テスト等70％で評価する。

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書】なし

韓国語会話ＩＢ

全コース

１年次　　後期　　沈 玉均

（1）ナンバー

Ｈ１０８

（2）授業の到達目標

韓国語の日常会話の習得によって隣国の文化に関心を持つ。

（3）授業の概要

韓国語の文字と発音をはじめ初歩的な日常会話の習得を目的とする。本科目では、「読む・書く・聞く・話す」のうち「聞く」と「話す」を重視する。加えて個々の場面における初歩的な韓国語によるコミュニケーション能力を身につけるため、毎回の授業で小テストを行う。

（4）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

リベラルアーツ・自分で考え、伝える力

（5）準備学習とそれに必要な時間

韓国語会話1Ａの授業を振り返ること（8時間）、教科書の該当箇所を再読しておくこと。

（6）授業の進行計画

① 第13課　どこで習いますか。～丁寧な表現について～
② 第13課　練習問題～答案を授業内で解説する～
③　 数字のまとめ～漢数字、固有数字の使い方について～
④ 第14課　暑くありませんか～否定表現について～
⑤ 第14課　練習問題～答案を授業内で解説する～
⑥ 第15課　誕生日はいつですか～自分のことについて語る～
⑦ 第15課　練習問題～答案を授業内で解説する～
⑧ 第16課　どこに住んでいますか～動詞の丁寧な表現について～
⑨ 第16課　練習問題～答案を授業内で解説する～
⑩ 第17課　先生はいらっしゃいますか～尊敬表現について～
⑪ 第17課　練習問題～答案を授業内で解説する～
⑫ 第18課　何をお探しですか～お店で会話ができる～
⑬ 第18課　練習問題～答案を授業内で解説する～
⑭ まとめ
⑮ まとめ
⑯

（7）課題に対するフィードバックの方法

小テストの答案を授業内で返却し、解説する。

（8）成績評価の方法と基準

平常点５０％、小テスト２０％、授業内試験30％

（9）教科書・参考書・教材費

厳基珠・金三順・金天鶴・申鉉竣・吉川友丈『韓国語の初歩〈改訂版〉』2,420円

情報処理演習Ⅰ

美容文化・ビューティーメイク・舞台芸術コース・幼児教育コース

１・２年次　前・後期　　岡石　績絵子

(1)ナンバー

Ｋ１０７

(2)授業の到達目標

将来社会人として美容業界や保育園などて働く場合、コンピュータを常識として活用する能力「コンピュータ・リテラシー」が求められる。こうした業界のニーズに応えられる情報処理検定資格を目標に学習する。

(3)授業の概要

コンピュータ及び情報機器・媒体についての知識を学び、その操作・活用が出来るようになると共に文部科学省後援の「文書デザイン検定試験」などの上級検定試験に対応した授業を進める。

(4)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

コミュニケーション力

(5)準備学習とそれに必要な時間

キーボードマスターなどのソフトを使用して、キーボードを速く打つブラインドタッチの練習をさせる。

(6)授業の進行計画

① パソコンの基本操作とタイピング
② 文書作成の基本　文字の書式設定・段落設定
③ 図形の挿入　図形の書式設定
④ 検定試験の科目説明と各級の内容　文書デザイン検定の演習・解説
⑤ 文書デザイン検定３級演習・解説
⑥ 文書デザイン検定３級演習
⑦ 文書デザイン検定２級演習・解説
⑧ 文書デザイン検定２級演習
⑨ パソコンスピード認定試験解説演習
⑩ パソコンスピード・文書デザイン演習（１級受験希望学生にも対応する）
⑪ 文書デザイン検定２級・３級演習
⑫ 文書デザイン検定２級・３級演習
⑬ 文書デザイン検定２級・３級演習
⑭ 課題・美容サロン開店広告文書作成
⑮ テスト前の質疑応答・要点確認整理
⑯ 期末テスト

(7)課題に対するフィードバックの方法

課題提出は授業内で解説する。

(8)成績評価の方法と基準

課題提出を重視する。
検定試験を受験した学生には試験結果も成績評価に加算する。
平常点３０％、課題提出３０％、期末・模擬テスト４０％

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】『30時間アカデミック情報リテラシーOffice2016』 実教出版1,430円（税込）
【 参考書 】 『文書デザイン検定試験模擬問題集』 ３級
『文書デザイン検定試験模擬問題集』 ２級／１級編
『表計算情報処理技能検定試験模擬問題集』 ３級／２級編
『パソコンスピード認定試験模擬問題集』（検定協会出版）

運営管理

美容文化コース

２年次　前期　水谷千秋

(1)ナンバー

Ｂ１１７

(2)授業の到達目標

経営管理の基本的事項を学習することによって、美容業における科学的な経営管理手法の重要性を認識させ、美容所の経営に役立たせる。

(3)授業の概要

１．税金について　2．労務管理　３．社会保障　の3点について、美容業における実例を用いて理解させる。特に美容所の経営の実態を見学させ、美容の経営管理について、具体的な知識を習得させること。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

美容の技術・知識

(5)準備学習とそれに必要な時間

予習・テキストをあらかじめ読んでおく（60分）。復習・その日読んだ部分のテキストを読み直す（60分）

(6)授業の進行計画

① 経営とは・経営者とは
② 経営資源と経営戦略
③ 美容業界の概要
④ 資金の管理・収支と損益
⑤ 会計の考え方
⑥ 税金の制度
⑦ 税金の申告
⑧ 労働者の権利・労働基準法
⑨ 労務管理
⑩ 社会保険ー公的年金ー
⑪ 社会保険ー医療保険ー
⑫ 社会保険ー労働保険ー
⑬ 社会保険のまとめ
⑭ マーケティング
⑮ 接客の実践
⑯ テスト

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出したレポートには、コメントを書いて返却する。

(8)成績評価の方法と基準

テスト80%　平常点20%

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】「運営管理」（日本理容美容教育センター）
【 参考書 】
【 参考書 】
【 教材費 】

衛生管理Ⅰ

美容文化コース

1年次　　前　期　　伊藤　愛美

美容所において実際に必要な知識と技術を指導する。

(1)ナンバー

Ｂ１０２

(2)授業の到達目標

国家試験合格を目標とし、衛生管理技術の正しい知識をみにつける。

(3)授業の概要

公衆衛生領域での正しい知識と情報を学ぶ必要がある。この講義では、衛生環境について、公衆衛生と環境衛生、感染症、衛生管理技術について系統的に講義する。

(4)卒業認定・学位授与の方針(デイプロマポリシー)と当該授業科目の関連

美容の知識・技術　自分で考え、伝える力

(5)準備学習とそれに必要な時間

教科書「衛生管理」を熟読し、理解を深める。覚えなければならない項目の復習

(6)授業の進行計画

① 公衆衛生の意義と課題・発展の歴史

② 公衆衛生の具体的な課題と領域

③ 理容師・美容師と公衆衛生

④ 予防衛生の意義と予防医学

⑤ 疫学の重要性と予防衛生の推進

⑥ 母子保健・成人・老人保健

⑦ 精神保健・栄養と食物

⑧ 環境衛生のあらまし

⑨ 空気・水・日光

⑩ 衣食住と健康

⑪ 上・下水道と廃棄物

⑫ 衛生害虫とネズミ

⑬ 公害と環境保全

⑭ 理容師・美容師と公衆衛生

⑮ 総合復習

⑯ 期末テスト

(7)課題に対するフィードバックの方法

テストの答案を授業内で返却し、解説する。

(8)成績評価の方法と基準

平常点30％テスト70％にて評価します。

(9)教科書・参考書・教材費

「衛生管理」（社）日本理容美容教育センター＊必修教材費に含む

必要に応じてプリント配布します。

美容技術理論Ⅲ

美容文化コース

１年次　　後　期　　伊藤　美香

サロンワークにおいて実際に役立つ知識と技術を指導する。

（１）ナンバー

Ｂ１１４

（２）授業の到達目標

技術には、その裏付けとなる理論がある。正しい理論に裏打ちされていることによって初めて技術として生きてくるのは、どんな技術においても共通していることである。本講義において美容技術理論を正確に学びそれを実際の技術に活かしていくことを目的とする。

（３）授業の概要

頭部以外の美容技術（エステティック　ネイル　メイクアップ　着付け）及び日本髪についての講義をする。

（４）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

（５）準備学習

事前に教科書の講義対象範囲を一読する(60分)。

（６）授業の進行計画

① エステティック理論Ⅰ（エステティック概論）
② エステティック理論Ⅱ（フェイシャルケア　ボディケア技術概論）
③ ネイル技術理論Ⅰ（ネイル技術理論）
④ ネイル技術理論Ⅱ（ネイル技術と公衆衛生）
⑤ ネイル技術理論Ⅲ（アーティフィシャルネイル）
⑥ メイクアップ理論Ⅰ（メイクアップ概論）
⑦ メイクアップ理論Ⅱ（スキンケア　ベース　アイ　アイブロウメイクアップ）
⑧ メイクアップ理論Ⅲ（リップ　ブラッシュオンメイクアップ　まつ毛エクステンション）
⑨ エステティック・ネイル・メイクアップまとめ
⑩ 日本髪理論Ⅰ（日本髪の由来）
⑪ 日本髪理論Ⅱ（日本の結髪技術）
⑫ 着付け技術理論Ⅰ（着付けの目的　名称）
⑬ 着付け技術理論Ⅱ（留袖着付け　振袖着付け技術）
⑭ 着付け技術理論Ⅲ（和装　洋装花嫁）
⑮ 日本髪・着付けまとめ
⑯ 期末テスト

（７）課題に対するフィードバック

小テストを行う場合は答案を授業内で返却し解説する。

（８）成績評価の方法と基準

開講授業2/3以上の出席で期末テスト受験資格とする。評価は平常点20%　テスト80%

（９）教科書・参考書・教材費

教科書「美容技術理論」（公益社団法人　日本理容美容教育センター）※必須教材費に含む

プリント配布

美容文化実習3

美容文化コース

1年次　　後期　　中尾　友香

〔実務家教員による授業科目〕美容師として勤務した経験を生かして美容所において実際に役立つ知識と技術を指導する。

⑴ナンバー

B120

⑵授業の到達目標

日本理容美容教育センターABEアイラッシュジュニアディレクター資格取得を目標とシャンプー実習の基礎技術を学ぶ。

⑶授業の概要

まつ毛エクステンションは現代において急速に需要が高まっているものの、「ファッション」として捉えているいるのが現状である。よって技術だけが先走り、理論が十分に理解されないまま施術が行われていることが問題となっている。当授業では理容美容研修センター監修のカリキュラム、理論60％実習40％で進め、どのようなトラブルにも対応できる事故の無い安全な施術を行える技術者を育成する。 シャンプー実習は基本の手技を学ぶ。

⑷卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

美容の知識、技術　自分で考え伝える力

⑸準備学習とそれに必要な時間

授業の内容を復習する（240分）

⑹授業の進行計画

① 授業内容説明　教科書配布
② 教材配布　教材説明　学科（まつ毛エクステンション用具1）
③ 学科（まつ毛エクステンションの用具2）　実習（まつ毛の分割1：ウィッグ）
④ 学科（まつ毛エクステンションの技術1）　実習（テープの装着、まつ毛の分割2：ウィッグ）
⑤ 学科（まつ毛エクステンションの技術2）　実習（テープの装着、まつげ装着1：ウィッグ）
⑥ 学科（衛生管理1　病原微生物）　実習（テープの装着　まつげ装着2：ウィッグ）
⑦ 学科（衛生管理2　消毒法の種類）　実習（テープの装着　まつ毛装着3：ウィッグ）
⑧ 学科（保健1　目に関する知識）　実習（テープの装着～リムービング1：ウィッグ）
⑨ 学科（保健2　皮膚とまつ毛に関する知識）　実習（テープの装着～リムービング2：ウィッグ）
⑩ 学科（カウンセリング1　カウンセリングの目的）実習（ウィッグによる20分タイム計測1）
⑪ 学科（カウンセリンの実際）　実習（ウィッグによる20分タイム計測2）
⑫ ABE　jounior deirector試験対策
⑬ 総合テスト　まつ毛装着
⑭ シャンプー実習　基本手技
⑮ シャンプー実習　人頭実践
⑯ **シャンプー実習　実技テスト**

⑺成績評価の方法と基準

小テストを行う場合は答案を授業内で返却し、解説する。技術に対し評価し改善点を伝える。

⑻成績評価の方法と基準

規定開講数の80％以上を出席のこと。各テスト、提出物、授業態度、学習意欲を総合的に評価する。

⑼教科書・参考書・教材費

・テキスト「まつ毛エクステンション」（日本理美容教育センター）　￥ 495
・まつ毛エクステンション実習教材費　検定費　　￥22580

美容文化実習　4

美容文化コース

1年次　　後期　　中尾　友香・伊藤美香

美容師として勤務した経験を生かして美容所において実際に役立つ知識と技術を指導する。

⑴ナンバー

B121

⑵授業の到達目標

美容技術の基礎トレーニングとして、オールウェーブセッティンング技術を取得することを一つの目標とする。

⑶授業の概要

美容師国家試験課題のオールウェーブセッティング技術の基礎とヘアセットの基礎を学び、技術の習得をする。

⑷卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

美容の知識、技術　自分で考え伝える力

⑸準備学習とそれに必要な時間

教科書「美容技術理論Ⅰ」を熟読し、理論と技術の関係性を理解し授業に臨むこと。授業内容を240分復習すること

⑹授業の進行計画

	A	B
①	授業オリエンテーション	オールウェーブセッティング技術と実践　道具の説明
②	オールウェーブセッティング技術と実践　全頭バランスについて	オールウェーブセッティング技術と実践　手技について
③	オールウェーブセッティング技術と実践　コームの持ち方	オールウェーブセッティング技術と実践　②　ハーフウェーブの作り方
④	オールウェーブセッティング技術と実践　7段構成　実践（1・2段）	オールウェーブセッティング技術と実践　7段構成　実践（3.4段）
⑤	オールウェーブセッティング技術と実践　7段構成　実践（5・6段）	オールウェーブセッティング技術と実践　7段構成　実践（全頭）
⑥	オールウェーブセッティング技術と実践　1段目　構成　説明	オールウェーブセッティング技術と実践　1段目　（スカルプチュアカール）
⑦	オールウェーブセッティング技術と実践　3段目　構成　説明	オールウェーブセッティング技術と実践　3段目　（スカルプチュアカール）
⑧	オールウェーブセッティング技術と実践　4段目　構成　説明	オールウェーブセッティング技術と実践　4段目　（リフトカール（右巻き））
⑨	オールウェーブセッティング技術と実践　5段目　構成　説明	オールウェーブセッティング技術と実践　5段目　（リフトカール（左巻き））
⑩	オールウェーブセッティング技術と実践　6段目　構成　説明	オールウェーブセッティング技術と実践　6段目　（メイポールカール）
⑪	オールウェーブセッティング技術と実践　7段目　構成　説明	オールウェーブセッティング技術と実践　7段目　（クロッキノールカール）
⑫	テスト	ヘアセットの基礎理論と実践　道具の使い方
⑬	ヘアセットの基礎理論と実践　ポニーテール　バランスについて	ヘアセットの基礎理論と実践　基本の編み方
⑭	ヘアセットの基礎理論と実践　面のスタイル　基本	ヘアセットの基礎理論と実践　面のスタイル　応用
⑮	ヘアセットの基礎理論と実践　作品作り（見本作品作成）	ヘアセットの基礎理論と実践　作品作り（オリジナル作品作成）
⑯	人体モデルでのヘアメイク作品作り	人体モデルでのヘアメイク作品撮影

⑺課題に対するフィードバック

授業内での作品を評価し改善点を伝える。

⑻成績評価の方法と基準

規定開講数の80％以上を出席のこと。各テスト、提出物、授業態度、学習意欲等で評価する。

⑼教科書・参考書・教材費

教科書 「美容技術理論Ⅰ」（公益社団法人　日本理容美容教育センター）美容実習道具一式
※上記教材は、必修教材費に含む

ジェルネイル

美容文化コース

１年次　後　期　　遠　藤　江　美

(1)ナンバー

Ｂ１２９

(2)授業の到達目標

ジェルネイルの基礎知識を理解した上でＪＮＡジェル検定初級筆記試験の取得を目指す。
またジェルネイルアートの様々なアート技法を学びます。

(3)授業の概要

ネイリストの基礎を中心に検定合格レベルを目標に実技・学科を進めて行き技術を身につける。

(4)卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)と当該授業科目の関連

ネイルの専門的な技術と知識を取得する。主に専門科目により、ネイルに関する理解を深め豊かな表現力を身につけ、社会の一員として貢献できる実践力を身につけている。

(5)授業の進行計画

① オリエンテーション（教材配布・準備~片付け、検定の説明）
② テーブルセッティング　・ジェル材料学
③ プレパレーション①
④ プレパレーション②
⑤ ジェルカラーリング①
⑥ ジェルカラーリング②
⑦ ＪＮＡジェルネイル技能検定初級学科・課題アート
⑧ ＪＮＡジェルネイル技能検定初級学科・課題アート
⑨ ジェルアート
⑩ ジェルアート
⑪ ジェルアート
⑫ ジェルアート
⑬ フットジェル
⑭ ネイルチップ制作
⑮ ネイルチップ制作
⑯ ＪＮＡジェル検定初級筆記試験

＊JNAジェルネイル初級筆記試験を受験する方は指定カリキュラムの履修時間があります。

(6)課題に対するフィードバックの方法

授業課題をチェックし苦手分野を軌道修正していく。

(7)成績評価の方法と基準

積極的に授業に取り組んで頂きたく実習態度を重視する。欠席した分の制作は全て作成が必要。欠席は4回以上は検定受験資格はあるが単位不認定とする。遅刻は2回で欠席扱いとなる。

(8)教科書・参考書・教材費

【教科書】JNECテクニカルシステム(テキスト1冊)
【教材費】

ジェルネイル教材一式	30,000円
JNAジェルネイル技能検定初級検定料（希望者のみ）	9,900円

＊ジェルネイルでまれにアレルギーを引き起こす場合があります。皮膚疾患やアレルギーがある場合は医師に相談してから履修してください。

ライフデザインⅡ（年間行事）

全コース

2年次　　（集中）　　専任教員

(1)ナンバー

Ｋ１１３

(2)授業の到達目標

本学の建学の精神、教育理念に基づいた年間行事に参加することで、社会に貢献し、自立した女性となる礎をつくる。

(3)授業の概要

大学生活の要となる授業の履修計画からチーム力を競うスポーツフェスティバル、コースの趣向を凝らしたクリスマスパーティーなどの年間行事の企画・運営・報告書作成に取り組む。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

コミュニケーション力・自ら考え、伝える力

(5)準備学習とそれに必要な時間

必要な場合は、家庭において学園祭やクリスマスパーティーに向けての準備を行う。

(6)授業の進行計画

① オリエンテーション（初日）
② オリエンテーション（二日目）
③ スポーツフエスティバル～準備～
④ スポーツフエスティバル～個人競技～
⑤ スポーツフエスティバル～団体競技～
⑥ スポーツフエスティバル～クラスの応援～
⑦ スポーツフエスティバル～後片付け～
⑧ 学園祭～準備～
⑨ 学園祭～舞台発表とその観覧～
⑩ 学園祭～催しの実践～
⑪ 学園祭～後片付け～
⑫ クリスマスパーティー～テーブルマナー研修～
⑬ クリスマスパーティー～テーブルマナーの実践～
⑭ クリスマスパーティー～舞台発表とその観覧～
⑮ ルーブリック評価
⑯

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出したレポートには、コメントを書いて返却する。

(8)成績評価の方法と基準

諸行事への参加・取り組みの状況とルーブリック評価による。

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書】
【 参考書 】
【 教材費 】

ボランティアⅡ

全コース

1年次　前・後期　　吉田　巖

（1） ナンバー

Ｋ１２０

（2）授業の到達目標

学生生活初年度における学習経験や知識・技術などを生かしたボランティア活動を通じて、社会人力や奉仕精神豊かな自立的女性への成長を目指す。

（3）授業の概要

①活動範囲は、福祉団体や福祉施設、教育機関、公共機関等とする。主に担任教員を通じて紹介するが、自己開拓した場合は担当者に相談すること。

②実習時間は、のべ 40 時間以上とする。

③実習は、原則無償とする。

（4）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

コミュニケーション力・リベラルアーツ

（5）準備学習とそれに必要な時間

①入学後の学生生活・勉学等のふりかえり

②実習先の状況理解（事前指導・事前訪問等を含む）。

（6）授業の進行計画

①オリエンテーション

②事前指導（ボランティアごと、随時）

③ボランティア実習（のべ 40 時間）

④　〃

⑤　〃

⑥　〃

⑦　〃

⑧　〃

⑨　〃

⑩　〃

⑪　〃

⑫　〃

⑬　〃

⑭　〃

⑮事後報告（報告会・記録・レポート提出）

⑯

＜実習の流れ＞

Ⅰ．「ボランティア参加届」①-A・①-B を提出
→確認後（割印）、左側①-A を返却

Ⅱ．参加届①-A と「誓約書」②を実習先へ提出

Ⅲ．実習開始
「ボランティア活動報告」③（学友会・O.C.等）または「ボランティア実習記録」④（毎日）をその都度作成
→実習終了（延べ 40 時間以上）

Ⅳ．「ボランティア実習レポート」⑤を作成

Ⅴ．「活動報告」③または「実習記録」④と実習レポート」⑤を提出

（注）①～⑤は別途配布する

（7）課題に対するフィードバックの方法

提出したレポートには、コメントを書いて返却する。

（8）成績評価の方法と基準

ボランティア実習記録（80%）とレポート（20%）で総合評価する。

（9）教科書・参考書・教材費

【教科書】特になし

【参考書】プリントを配布し、必要に応じて紹介する。

【教材費】※「短期大学学生総合保障制度」に加入済みであること。

外国語Ⅱ（英会話）

全コース

2年次　　前期・後期　　名前　クリントン

(1)ナンバー

Ｋ１１６

(2)授業の到達目標

英語の基本語彙や発音を覚え、実際の会話で英語を使えるようになる。

(3)授業の概要

「もっと英語でしゃべりたい。」「どんな表現を使っていいかな？」「やっぱり練習が必要...」と考える人に向かって授業です。この授業では、ペアーワーク又はグループワーク中心で、毎回英語を使います。自分の英語をレベルアップして、会話によって英語の文法を分かるようになります。会話中心ですので、出席とパーティシペーションが必要です。

(4)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

コミュニケーション力

(5)準備学習とそれに必要な時間

特記事項なし

(6)授業の進行計画

① Orientation (Goals, rules, grading and attendence)
② I love weekends! (Frequency adverbs)
③ Lets eat! (Count and non-count nouns with several, a lot of, many, afew, much and a little)
④ I really enjoy it! (Present continuous - actions happening now)
⑤ Welcome to my home. (Prepositions and location)
⑥ Where did you go? (Simple past tense)
⑦ Will I be famous? (Will and be going to Yes/No questions)
⑧ Review of unit 1-6
⑨ I love fashion! (Adjective order)
⑩ How do I get there? (Prepositions of location)
⑪ What's that? (Singular and plural forms: it/this/that and they/these/those)
⑫ What's your (Future plans, possibilities, and predictions)
⑬ What do you like to do? (Gerunds (verb + ing) and infinitives (to + verb))
⑭ Review of unit 7-12
⑮ Practice Test
⑯ Final Test

(7)課題に対するフィードバックの方法

授業毎に課題を出し、次の授業時に回収。次回の授業までにチェックして、生徒に返却。

(8)成績評価の方法と基準

平常点30%、パーティシペーション30%、テスト・その他40%

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】English FIRSTHAND ACCESS　（３，２５６円税込み）
【 参考書 】
【 教材費 】

障害者福祉概論

美容文化コース

2年次　前期　金澤あつ子

(1) ナンバー

Ｋ１０６

(2) 授業の到達目標

障害＝バリアを理解し、障害を背負った人たちと健常な人が隔たりなく生活していくために社会はどうあるべきかを授業の中で考えていくことを目標とする。

(3) 授業の概要

できる限り事例に則しながら障害に対する基本的な理解の方法や主要なサービスの規程、自治体で利用できる障害者福祉関連制度などについて教

(4) ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

自分で考え、伝える力

(5) 準備学習

日頃より社会福祉等に関心を持ち、新聞、書籍より一般知識を習得しておく

前回の授業で読んだ教科書とノートを読み返す(60分)。次回に読む教科書

(6) 授業の進行計画

① 「障害」の概念
② バリアの具体例、障害者福祉の基礎と展開、課題
③ バリアの具体例、障害者福祉の基礎と展開、課題
④ 障害の診断と療育。家族や親のサポート。就学支援
⑤ 障害の診断と療育。家族や親のサポート。就学支援
⑥ 障害の多様化、発達障害、重度、高齢化への対応
⑦ 障害の多様化、発達障害、重度、高齢化への対応
⑧ 福祉制度、障害者の権利とその侵害について。障害者差別
⑨ 福祉制度、障害者の権利とその侵害について。障害者差別
⑩ 生活基盤形成のための制度の利用と理解
⑪ 生活基盤形成のための制度の利用と理解
⑫ 自立を目指す（心的自立、経済的自立）
⑬ 自立を目指す（心的自立、経済的自立）
⑭ ボランティアの役割と育成
⑮ 障害者福祉の事例
⑯

(7) 課題に対するフィードバックの方法

提出されたレポート、テストの答案にコメントをつけ返却

(8) 成績評価の方法と基準

期末試験成績、出席状況、レポート課題等により総合的に評価する。

(9) 教科書・参考書・教材費

【 教科書 】 竹端寛　山下幸子　尾崎剛志　著 『障害者福祉』
ミネルヴァ書房　2020年　2860 円

心理学入門

美容文化コース

２年次　　前期　　今峰　大樹

実務家教員による授業科目

臨床心理士、公認心理師として、現在もカウンセリングに従事している経験を生かし、
実社会のコミュニケーションに役立つ臨床心理の知識と技術を指導する。

（１）ナンバー

Ｋ１２８

（２）授業の到達目標

心理学の基礎知識を幅広く学び、他者や自分についての理解を深め、様々な視点から物事を捉えらるようになること。

（３）授業の概要

心理学諸領域の基礎知識や考え方を講義する。講義方法：PowerPointを用いて実施。毎講義、前回の復習小テストを実施する。

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と該当授業科目の関連

「コミュニケーション力」獲得に関連する講義。

（５）準備学習とそれに必要な時間

復習小テストのための準備および授業内容の復習（30分）。

（６）授業の進行計画

① オリエンテーション：心理学とは
② 生理心理学
③ 知覚心理学
④ 記憶
⑤ 認知心理学
⑥ 学習心理学
⑦ 動悸づけ
⑧ 人格心理学
⑨ 発達心理学
⑩ 犯罪心理学
⑪ 社会心理学
⑫ 集団心理学
⑬ 家族心理学
⑭ 臨床心理学
⑮ 講義のまとめ
⑯ 学期末試験

（７）課題に対するフィードバックの方法

復習小テストについては、講義中に採点・解説を実施。

（８）成績評価の方法と基準

学期末試験（30%）、毎講義はじめに行う復習小テスト（10%）、平常点と受講態度（60%）

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】
【 参考書 】*適宜紹介

教養演習Ⅲ

美容文化コース

2年次　　前　期　　水谷　千秋 ・ 安田　裕樹

(1)ナンバー

K135

(2)授業の到達目標

社会に出てから求められる教養を広く身につける。

(3)授業の概要

人文科学、自然科学の分野に関する内容を広く学ぶ。また、毎回の授業で時事問題を取り上げて学習する。

(4)卒業認定・学位授与(ディプロマポリシー)と当該授業科目の関連

リベラルアーツ、コミュニケーション力

(5)準備学習

前回の授業で使用したプリントの内容を復習する(60分)。次回の授業内容を調べる(60分)

(6)授業の進行計画

① 自然科学分野(1) 人文科学分野(1)　時事問題(1)
② 自然科学分野(2) 人文科学分野(2)　時事問題(2)
③ 自然科学分野(3) 人文科学分野(3)　時事問題(3)
④ 自然科学分野(4) 人文科学分野(4)　時事問題(4)
⑤ 自然科学分野(5) 人文科学分野(5)　時事問題(5)
⑥ 自然科学分野(6) 人文科学分野(6)　時事問題(6)
⑦ 自然科学分野(7) 人文科学分野(7)　時事問題(7)
⑧ 自然科学(8) 社会科学分野(1)　時事問題(8)
⑨ 日本語表現(1) 社会科学分野(2)　時事問題(9)
⑩ 日本語表現(2) 社会科学分野(3)　時事問題(10)
⑪ 日本語表現(3) 社会科学分野(4)　時事問題(11)
⑫ 日本語表現(4) 社会科学分野(5)　時事問題(12)
⑬ 日本語表現(5) 社会科学分野(6)　時事問題(13)
⑭ まとめ(1)
⑮ まとめ(2)
⑯ テスト

(7)課題に対するフィールドバックの方法

小テストを行う場合は、返却して解答を解説する。課題を課す場合はコメントを付けて返却する。

(8)成績評価の方法と基準

テストとレポートにより評価します。テスト80%、平常点20%

(8)教科書・参考書・教材費

プリントを配布します。

美容関係法規・制度

美容文化コース

２年次　前期　　水谷千秋

(1)ナンバー

Ｂ１０１

(2)授業の到達目標

美容師法の目的は、美容師の資格を定めるとともに、美容業を衛生面から規制することにより、公衆衛生の向上を図ることにある。この講義によって、衛生法規・とくに美容師法とその関連法規の主旨と理念をしっかり理解し、美容師としてふさわしい知識を得る。

(3)授業の概要

社会における法の役割から始まって、憲法・法律・政令・省令・条例など法制度の概要、美容師法の理念と目的、衛生法規と衛生行政について。とりわけ美容師法の内容について詳しく解説する。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

美容の知識・技術

(5)準備学習とそれに必要な時間

教科書をよく読んでくこと。予習・テキストをあらかじめ読んでおく（60分）。復習・その日読んだ部分のテキストを読み直す（60分）

(6)授業の進行計画

① 美容師法とはなにか
② 社会における法の役割
③ 衛生法規の概要
④ 衛生行政の概要
⑤ 衛生行政の種類と機関
⑥ 美容師法の目的と体系
⑦ 用語の定義
⑧ 美容師法概説
⑨ 美容師の免許と登録
⑩ 管理美容師・美容師の義務
⑪ 美容所の衛生管理
⑫ 美容所の開設とその届
⑬ 環境衛生監視員の立入検査
⑭ 行政処分・罰則
⑮ まとめと問題演習
⑯ テスト

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出したレポートには、コメントを書いて返却する。小テストをした場合は答案を返却し、回答を授業内で解説する。

(8)成績評価の方法と基準

テスト80％　平常点20％

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】『関係法規・制度　美容』（財団法人日本理容美容教育センター）、
【 参考書 】
【 教材費 】

美容文化論Ⅰ

美容文化コース

2年次　　前　期　　田中裕二

（1）ナンバー

Ｂ１１２

（2）授業の到達目標

人類の文化として築かれてきた「美容」の歴史的意味を理解し、現代社会・個人が求められるものを深く洞察する力を身につける。

（3）授業の概要

「人」と「美容」の歴史を学ぶ中で、さまざまな美意識の移り変わりを知り、「美」について考察する。

（4）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

美容の技術と知識

（5）準備学習

事前に教科書の講義対象範囲を一読する(60分)。

（6）授業の進行計画

① 日本の理容業、美容業の発生
② 江戸時代の理容業、美容業
③ 近代の理容業、美容業
④ 現代の理容業、美容業
⑤ 日本のファッション文化史（縄文、弥生、古墳時代）
⑥ 日本のファッション文化史（古代）
⑦ 日本のファッション文化史（中世）
⑧ 日本のファッション文化史（近代Ⅰ）
⑨ 日本のファッション文化史（近代Ⅱ）
⑩ 日本のファっション文化史（近代Ⅲ）
⑪ 日本のファッション文化史（現代Ⅰ）
⑫ 日本のファッション文化史（現代Ⅱ）
⑬ 日本のファッション文化史（現代Ⅲ）
⑭ 日本のファッション文化史（現代Ⅳ）
⑮ 日本のファッション文化史（現代Ⅴ）
⑯ 期末テスト

（7）課題に対するフィードバック

小テストを行う場合は答案を授業内で返却し解説する。

（8）成績評価の方法と基準

開講授業2/3以上の出席で期末テスト受験資格とする。各テスト、提出物、授業態度、学習意欲を総合的に評価する。

（9）教科書・参考書・教材費

教科書「美容文化論」（公益社団法人　日本理容美容教育センター）※必須教材費に含む

「ワークブック」（公益社団法人　日本理容美容教育センター）※必須教材費に含む プリント配布

衛生管理Ⅱ

美容文化コース

２年次　前期　　永　野　美　里

(1)ナンバー

Ｂ１０２

(2)授業の到達目標

国家試験合格を目標とし、感染症の正しい知識をみにつける。

(3)授業の概要

この講義では、感染症に立ち向かうという視点から学びます。感染症についての一般的な知識を学んだ上で、理容・美容における適切な対処法について学びます。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

美容の知識・技術　　自分で考え、伝える力

(5)準備学習

教科書「衛生管理」を熟読し、理解を深める。覚えなければならない項目の復習・暗記

(6)授業の進行計画

① 人と感染症　（歴史・法律）
② 感染症の分類
③ 病原微生物　形と大きさ
④ 病原微生物　構造と生活現象
⑤ 病原微生物　増殖と環境の影響
⑥ 感染症の予防　微生物の病原性と人体の感受性
⑦ 汚染・感染・発病
⑧ 免疫と予防注射
⑨ 感染症発生の要因
⑩ 感染症予防の３原則
⑪ 空気・飛沫を介して感染する感染症
⑫ 飲食物を介して感染する感染症
⑬ 血液等・動物・節足動物を介して感染する感染症
⑭ 具体的な対策の例
⑮ 全般の復習と小テスト
⑯ 筆記試験

(7)課題に対するフィードバックの方法

テストの答案を授業内で返却し、解説する。

(8)成績評価の方法と基準

平常点（40%）、小テスト・期末試験（60%）

(9)教科書・参考書・教材費

「衛生管理」　（社）日本理容美容教育センター＊必修教材費に含む
必要に応じてプリント配布します。

美容技術理論 Ⅳ

美容文化コース

2年次　　前期　　伊藤美香

〔実務家教員による授業科目〕美容師として勤務した経験を生かして美容所において実際に役立つ知識と技術を指導する。

⑴ナンバー

B115

⑵授業の到達目標

1年次に学習した「美容技術理論Ⅰ」及び「美容技術理論Ⅱ」の範囲において、復習と演習形式において学習し、美容師国家試験において高得点を取得できることを目標とする。

⑶授業の概要

1年次で学習した範囲においての復習と練習問題での演習を行う。

⑷卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

美容の知識、技術　自分で考え伝える力

⑸準備学習

「美容技術理論Ⅰ」の復習をしておくこと授業の内容を復習する（120分）

⑹授業の進行計画

① オリエンテーション

② 人体の名称及び、美容道具についての問題演習

③ シャンプーイング理論問題演習①シャンプーイング総論

④ シャンプーイング理論問題演習②トリートメントについて

⑤ ヘアデザイン理論問題演習①

⑥ ヘアカッティング理論問題演習①ヘアカッティングとは

⑦ ヘアカッティング理論問題演習②ベーシックなカット技法

⑧ パーマネントウェーブ理論問題演習①パーマ剤の分類

⑨ パーマネントウェーブ理論問題演習②縮毛矯正

⑩ ヘアセッティング理論問題演習①ヘアウェービング

⑪ ヘアセッティング理論問題演習②バックコーミング

⑫ ヘアカラーリング理論問題演習①ヘアカラーリング概論

⑬ ヘアカラーリング理論問題演習②酸化染毛料

⑭ まとめ①（美容道具～ヘアカッティング）

⑮ まとめ②（パーマネントウェービング～ヘアカラーリング）

⑯ 期末テスト

⑺課題に対するフィードバック

小テストを行う場合は答案を授業内で返却し、解説する

⑻成績評価の方法と基準

開講授業回数の2／3以上の出席で、期末テストの受験資格とする。評価は期末テストで行う。

⑼教科書・参考書・教材費

教科書 「美容技術理論Ⅰ」（公益社団法人　日本理容美容教育センター）※必須材料費に含む 「ワークブック」（公益社団法人　日本理容美容教育センター）※必須材料費に含む
プリント等配布

美容文化実習5

美容文化コース

2年次　前期　田中　宏一

美容師として勤務した経験を生かし、美容所に於いて実際に役立つ知識と技術を指導する。

(1) ナンバー
Ｂ１２２

(2) 授業の到達目標
ウィッグを用いてパーマネントウェーブ技術の根幹であるワインディング技術を習得する。

(3) 授業の概要
ワインディング技術の理論と技術練習を行う。

(4) 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連
美容の知識・技術

(5) 準備学習とそれに必要な時間
教科書「美容技術理論1」を熟読し、理論と技術の関係性を理解して授業に臨むのが良い。

(6) 授業の進行計画
① ワインディング技術の理論と実際①上巻きと下巻き
② ワインディング技術の理論と実際②スライスとシェーピング
③ ワインディング技術の理論と実際③正しいブロッキング
④ ワインディング技術の理論と実際④ステムの角度と収まり
⑤ ワインディング技術の理論と実際⑤輪ゴムかけと実際　全頭/25分
⑥ ワインディング技術の理論と実際⑥作業姿勢
⑦ ワインディング技術の理論と実際⑦合理性と効率性
⑧ ワインディング技術の理論と実際⑧衛生管理
⑨ ワインディング技術の理論と実際⑨回転動作
⑩ ワインディング技術の理論と実際⑩テンションと収まり　全頭/20分
⑪ ワインディング技術の理論と実際⑪時間と正確性①
⑫ ワインディング技術の理論と実際⑫時間と正確性②
⑬ ワインディング技術の理論と実際⑬時間と正確性③
⑭ ワインディング技術の理論と実際⑭時間と正確性④
⑮ ワインディング技術の理論と実際⑮時間と正確性⑤
テスト　全頭/20分

(7) 課題に対するフィードバックの方法
授業内にて、出来上がった作品に対し個別にポイントをアドバイスする。

(8) 成績評価の方法と基準
開講数の4/5以上の出席をすること。技術テスト100%にて評価する。

(9) 教科書・参考書・教材費
教科書「美容技術理論1」（公益社団法人　日本理容美容教育センター）
美容実習道具一式
※　上記教材は、必修教材費に含む

美容文化実習　6

美容文化コース

2年次　　前期　　中尾　友香

美容師として勤務した経験を生かして美容所において実際に役立つ知識と技術を指導する。

⑴ナンバー

B123

⑵授業の到達目標

美容師養成施設を卒業するものとして必要な技術習得と作品制作を通じ表現力を身につけることを目標とする。オールウエーブセッテイング技術を理論を基に基礎技術を確実に身につ

⑶授業の概要

オールウエーブセッテイングは国家試験課題である。１年次の復習を含め、理論に基づいた基礎技術をしっかり解説指導し正確な作品の完成を目指す。またウィッグ制作を行いイメージを形にするプロセスを学習し、表現力を身につける

⑷卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

美容の知識、技術　自分で考え伝える力

⑸準備学習とそれに必要な時間

教科書「美容技術理論Ⅰ」を熟読し、理論と技術の関係性を理解し授業に臨むこと。授業内容を240分復習すること

⑹授業の進行計画

	A	B
①	オールウエーブ（7段構成について）	オールウエーブ（全体バランスについて）
②	オールウエーブ（ピンカール位置）	オールウエーブ（ピニング）
③	オールウエーブ（ピン方向）	オールウエーブ（ハーフウェーブ）
④	オールウエーブ（半円周）	オールウエーブ（割れや重なり）
⑤	オールウエーブ（１段目）	オールウエーブ（２段目）
⑥	オールウエーブ（３段目）	オールウエーブ（４段目）
⑦	オールウエーブ（５段目）	オールウエーブ（６段目）
⑧	オールウエーブ（７段目）	オールウエーブ（全体のつながり）
⑨	オールウエーブ（リッジの割れ流れ）	オールウエーブ　タイムアップ（ピンカール）
⑩	オールウエーブ（ピンカール浮き毛先）	オールウエーブ　タイムアップ（ウェーブ構成）
⑪	オールウエーブ（ステム方向ねじれ）	オールウエーブ　タイムアップ（全体バランス）
⑫	オールウエーブ（カールスペースの見直し）	ウィッグ制作（デザイン画作成）
⑬	オールウエーブ（全体バランス）	ウィッグ制作（カット制作）
⑭	オールウエーブ（構成のチェック）	ウィッグ制作（カラー制作）
⑮	オールウエーブ（模擬試験）	ウィッグ制作（撮影）
⑯	期末テスト	

⑺課題に対するフィードバック

授業内での作品を評価し改善点を伝える。

⑻成績評価の方法と基準

規定開講数の80％以上を出席のこと。各テスト、授業態度、学習意欲等で評価する。

⑼教科書・参考書・教材費

教科書 「美容技術理論Ⅰ」（公益社団法人　日本理容美容教育センター）美容実習道具一式
※上記教材は、必修教材費に含む

美容文化演習Ⅰ

美容文化コース

２年次　前期　　永　野　美　里

(1)ナンバー

Ｂ１２６

(2)授業の到達目標

美容師国家試験に万全の態勢でのぞめるようにする。

(3)授業の概要

国家試験対策として、『美容保健』テキストを中心に人体の構造の機能における解説と並行して過去問題・関係問題の解説を行う。また、『香粧品化学』に関しても並行して課題小テストを行っていく。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

美容の知識・技術

(5)準備学習

1年次に学んだことの復習、この授業において前回の復習をしてくる(60分）。次回範囲の教科書を読んでくる(60分）。

(6)授業の進行計画

① 美容保健の国家試験対策１．～体表解剖学～

② 美容保健の国家試験対策２．～骨格器系統～

③ 美容保健の国家試験対策３．～筋系統～

④ 美容保健の国家試験対策４．～神経系～

⑤ 美容保健の国家試験対策５．～骨格と筋肉～

⑥ 美容保健の国家試験対策６．～感覚器系～

⑦ 美容保健の国家試験対策７．小テストと解説

⑧ 復習、中間試験と解説

⑨ 美容保健の国家試験対策８．～循環器系～

⑩ 美容保健の国家試験対策９．～呼吸器系、消化器系～

⑪ 美容保健の国家試験対策１０．～泌尿器系、内分泌系～

⑫ 美容保健の国家試験対策１１．～皮膚の構造～

⑬ 美容保健の国家試験対策１２．～皮膚付属器官の構造～

⑭ 美容保健の国家試験対策１３．～皮膚と皮膚付属器官の生理機能～

⑮ 美容保健の国家試験対策１４．復習テストと解説

⑯ 筆記試験

(7)課題に対するフィードバックの方法

小テストの答案を授業内で返却し、解説する。

(8)成績評価の方法と基準

平常点（40%）、小テスト・中間試験・前期末試験（60%）

(9)教科書・参考書・教材費

比田勝美里著『美容国家試験対策　美容保健』テキスト　ふくろう出版(書店購入不可)
樹田美里著『美容国家試験対策　物理・化学』テキスト　ふくろう出版(書店購入不可)
自分専用のまとめ作成用として、ノート・ファイル購入あり（第1回目の授業で説明）
適宜プリント配布

香粧品化学Ⅱ
美容文化コース

2年次　後期　田中　宏一

美容師として勤務した経験を生かし、美容所に於いて実際に役立つ知識と技術を指導する。

(1) ナンバー
Ｂ１０９

(2) 授業の到達目標
美容技術の基礎となる香粧品に関する科学的、体系的な知識の習得を目的とする。

(3) 授業の概要
香粧品総論、香粧品の使用について、香粧品の成り立ちについて学ぶ。

(4) 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連
美容の知識・技術

(5) 準備学習とそれに必要な時間
事前に教科書の授業対象範囲を一読し、大まかな内容を理解しておくこと。
前回授業時の内容を教科書にて復習（60分）、次回授業時の内容を教科書にて予習（60分）

(6) 授業の進行計画
① 授業オリエンテーション
② 溶媒と水性原料及び油性原料について
③ 界面活性剤について
④ 高分子化合物とスタイリング剤について
⑤ 色材と香料について
⑥ その他配合原料について
⑦ 化粧水、スキンケア、サンケア製品について
⑧ パーマ製品について
⑨ カラー製品について
⑩ まとめテスト
⑪ 水性原料と油性原料の復習
⑫ 界面活性剤の復習
⑬ 高分子化合物の復習
⑭ 色材と香料の復習
⑮ その他配合原料の復習

(7) 課題に対するフィードバックの方法
実施したテストの答案を授業内で返却及び解説をする。

(8) 成績評価の方法と基準
10回以上の出席を単位付与条件とする。
授業内小テスト等で評価する。

(9) 教科書・参考書・教材費
教科書：「香粧品化学」（社団法人　日本理容美容教育センター）※　必修教材費に含む
プリント等適宜配布

衛生管理Ⅲ

美容文化コース

2年次　　後　期　　伊藤　愛美

美容所において実際に必要な知識と技術を指導する。

(1)ナンバー

Ｂ１１９

(2)授業の到達目標

国家試験合格を目標とし、衛生管理技術の正しい知識をみにつける。

(3)授業の概要

主として理容院・美容院での設備、備品、人員などの管理体制と衛生行政、関係法規との関連の上で、各種感染症の蔓延の阻止や予防対策を念頭に置いた消毒法の理論と方法を詳論します。

(４)卒業認定・学位授与の方針（デイプロマポリシー）と当該授業科目の関連

美容の知識・技術　自分で考え、伝える力

(5)準備学習とそれに必要な時間

教科書「衛生管理」を熟読し、理解を深める。覚えなければならない項目の復習・暗記

(6)授業の進行計画

① 消毒法の歴史　病原微生物とは　その種類

② 消毒の原理と意義　　消毒・滅菌・殺菌・防腐とは

③ 業務と消毒の関係　消毒に関連のある法の規定

④ 理容師・美容師の責任

⑤ 消毒法の種類　消毒に必要な条件

⑥ 病原微生物の抵抗力　消毒薬の使用・保存方法

⑦ 消毒法　理学的消毒法

⑧ 化学的消毒法

⑨ 優れた消毒法と実施上の注意

⑩ 消毒法の実習（各種消毒薬）

⑪ 消毒法の実習（消毒の実際）

⑫ 理容所・美容所の消毒の実際と現状

⑬ 衛生管理要領（衛生的取扱い）

⑭ 衛生管理要領（自主的管理体制）

⑮ 総合復習

⑯ 期末テスト

(7)課題に対するフィードバックの方法

テストの答案を授業内で返却し、解説する。

(8)成績評価の方法と基準

平常点30％テスト70％にて評価します。

(9)教科書・参考書・教材費

「衛生管理」（社）日本理容美容教育センター＊必修教材費に含む

必要に応じてプリント配布します。

美容文化論Ⅱ

美容文化コース

2年次　　後　期　　田中裕二

（１）ナンバー

Ｂ１１３

（２）授業の到達目標

人類の文化として築かれてきた「美容」の歴史的意味を理解し、現代社会・個人が求められるものを深く洞察する力を身につける。

（３）授業の概要

「人」と「美容」の歴史を学ぶ中で、さまざまな美意識の移り変わりを知り、「美」について考察する。

（４）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

美容の技術と知識

（５）準備学習

事前に教科書の講義対象範囲を一読する(60分)

（６）授業の進行計画

① 西洋のファッション文化史（古代エジプト　ギリシャ　ローマ）
② 西洋のファッション文化史（古代ゲルマン）
③ 西洋のファッション文化史（中世ヨーロッパ）
④ 西洋のファッション文化史（近世Ⅰ）
⑤ 西洋のファッション文化史（近世Ⅱ）
⑥ 西洋のファッション文化史（近世Ⅲ）
⑦ 西洋のファッション文化史（近代）
⑧ 西洋のファッション文化史（現代Ⅰ）
⑨ 西洋のファッション文化史（現代Ⅱ）
⑩ 西洋のファッション文化史（現代Ⅲ）
⑪ 西洋のファッション文化史（現代Ⅳ）
⑫ 西洋のファッション文化史（現代Ⅴ）
⑬ 西洋のファッション文化史（現代Ⅵ）
⑭ 和装の礼装
⑮ 洋装の礼装
⑯ 期末テスト

（７）課題に対するフィードバック

小テストを行う場合は答案を授業内で返却し解説する。

（８）成績評価の方法と基準

開講授業2/3以上の出席で期末テスト受験資格とする。提出物、授業態度、学習意欲を総合的に評価する。

（９）教科書・参考書・教材費

教科書「美容文化論」（公益社団法人　日本理容美容教育センター）※必須教材費に含む
「ワークブック」（公益社団法人　日本理容美容教育センター）※必須教材費に含む　プリント配布

美容技術理論　Ⅴ

美容文化コース

2年次　　後期　　伊藤美香

〔実務家教員による授業科目〕美容師として勤務した経験を生かして美容所において実際に役立つ知識と技術を指導する。

⑴ナンバー

B116

⑵授業の到達目標

1年次に学習した「美容技術理論Ⅰ」及び「美容技術理論Ⅱ」の範囲において、復習と演習形式において学習し、美容師国家試験において高得点を取得できることを目標とする。

⑶授業の概要

1年次で学習した範囲においての復習と練習問題での演習を行う。

⑷卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

美容の知識、技術　自分で考え伝える力

⑸準備学習

「美容技術理論Ⅱ」の復習をしておくこと授業の内容を復習する（120分）

⑹授業の進行計画

① オリエンテーション

② エステティック理論問題演習①カウンセリング

③ エステティック理論問題演習②ボディマッサージ

④ ネイル技術理論問題演習①ネイル技術概論

⑤ ネイル技術理論問題演習②ネイルケア

⑥ メイクアップ理論問題演習①アイクアップ概論

⑦ メイクアップ理論問題演習②メイクアップの道具

⑧ 日本髪理論問題演習①日本髪の由来

⑨ 日本髪理論問題演習②かつら

⑩ 着付け技術理論問題演習①着付けの目的

⑪ 着付け技術理論問題演習②帯

⑫ 着付け技術理論問題演習③洋装花嫁

⑬ まとめ①（エステティック～ネイル技術）

⑭ まとめ②（メイクアップ～日本髪）

⑮ まとめ③着付けの理論と技術

⑯ 期末テスト

⑺課題に対するフィードバック

小テストを行う場合は答案を授業内で返却し、解説する

⑻成績評価の方法と基準

開講授業回数の2／3以上の出席で、期末テストの受験資格とする。評価は期末テストで行う。

⑼教科書・参考書・教材費

教科書 「美容技術理論Ⅱ」（公益社団法人　日本理容美容教育センター）※必須材料費に含む 「ワークブック」（公益社団法人　日本理容美容教育センター）※必須材料費に含む
プリント等配布

美容文化実習７
美容文化コース

2年次　後期　田中　宏一

美容師として勤務した経験を生かし、美容所に於いて実際に役立つ知識と技術を指導する。

(1) ナンバー
Ｂ１２４

(2) 授業の到達目標
グループワークによる人間モデルでの作品を各グループ1点制作する。
授業後半は、美容師が行う衛生上の取り扱いについても修得することとする。

(3) 授業の概要
前半は、グループワークによるヘアメイク作品制作とする。
後半は、美容技術における衛生上の取り扱いと技術について理解する。

(4) 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連
美容の知識・技術

(5) 準備学習とそれに必要な時間
教科書「美容技術理論1」を熟読し、理論と技術の関係性を理解して授業に臨むのが良い。

(6) 授業の進行計画
① グループワーク　～作品制作プロセス決め
② グループワーク　～デザイン決めと必要なモノリストの作成
③ グループワーク　～試作品制作
④ グループワーク　～試作品制作
⑤ グループワーク　～試作品全体チェック
⑥ グループワーク　～作品制作
⑦ グループワーク　～作品制作
⑧ グループワーク　～作品提出
⑨ 美容技術と衛生の取り扱いについて①　～消毒法について
⑩ 美容技術と衛生の取り扱いについて②　～美容道具の衛生上の管理方法について
⑪ 美容技術と衛生の取り扱いについて③　～オールウェーブセッティング技術と衛生の取り扱い
⑫ 美容技術と衛生の取り扱いについて④　～ワインディング技術と衛生の取り扱い
⑬ 美容技術と衛生の取り扱いについて⑤　～ヘアカッティング技術と衛生の取り扱い
⑭ 美容技術と衛生の取り扱いについて⑥　～まとめ①
⑮ 美容技術と衛生の取り扱いについて⑦　～まとめ②
⑯ 期末テスト

(7) 課題に対するフィードバックの方法
授業内にて、出来上がった作品に対し個別にポイントをアドバイスする。

(8) 成績評価の方法と基準
開講数の4/5以上の出席をすること。
グループワークによる作品（50%）、期末テスト（50%）にて評価する。

(9) 教科書・参考書・教材費
教科書「美容技術理論1」（公益社団法人　日本理容美容教育センター）
美容実習道具一式
※　上記教材は、必修教材費に含む

美容文化実習８
美容文化コース

2年次　後期　田中　宏一

美容師として勤務した経験を生かし、美容所に於いて実際に役立つ知識と技術を指導する。

(1) ナンバー
Ｂ１２５

(2) 授業の到達目標
美容師の基礎的技術であるワインディング、セッティング、カッティングを時間内に正確に身につける。

(3) 授業の概要
前半は、カッティングの基礎的技術を習得する。
後半は、ワインディング及びセッティング技術を習得する。

(4) 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連
美容の知識・技術

(5) 準備学習とそれに必要な時間
教科書「美容技術理論1」を熟読し、理論と技術の関係性を理解して授業に臨むのが良い。

(6) 授業の進行計画
① ヘアカッティング基礎理論と実際①道具の扱い方
② ヘアカッティング基礎理論と実際②カッティングによるスタイル構成
③ ヘアカッティング基礎理論と実際③ワンレングスタイルトと応用
④ ヘアカッティング基礎理論と実際④グラデーションスタイルと応用
⑤ ヘアカッティング基礎理論と実際⑤セイムレングススタイルと応用
⑥ ヘアカッティング基礎理論と実際⑥レイヤースタイルと応用
⑦ ヘアカッティング基礎理論と実際⑦カッティングヘアスタイル総合
⑧ ワインディング基礎理論と実際①スライスとシェープ
⑨ ワインディング基礎理論と実際②スタイル別ブロッキング
⑩ ワインディング基礎理論と実際③コームアクション
⑪ ワインディング基礎理論と実際④上巻きと下巻き
⑫ ワインディング基礎理論と実際⑤ワインディングスタイル総合
⑬ セッティング基礎理論と実際①7段構成の理論と実際
⑭ セッティング基礎理論と実際②フィンガーウェーブ技術
⑮ セッティング基礎理論と実際③ピンカール技術
⑯ 期末テスト

(7) 課題に対するフィードバックの方法
授業内にて、出来上がった作品に対し個別にポイントをアドバイスする。

(8) 成績評価の方法と基準
開講数の4/5以上の出席をすること。
テスト（100%）にて評価する。

(9) 教科書・参考書・教材費
教科書「美容技術理論1」（公益社団法人　日本理容美容教育センター）
美容実習道具一式
※　上記教材は、必修教材費に含む

美容保健Ⅲ

美容文化コース

２年次　後期　　永　野　美　里

(1)ナンバー

Ｂ１０７

(2)授業の到達目標

美容師は、頭や顔を中心とする人間の美と健康に携わる保健衛生分野の職業である。よって美容保健Ⅰ及び美容保健Ⅱで学習した内容を復習及び補完し、美容師国家試験に万全の態勢でのぞめるようにする。

(3)授業の概要

前半を美容保健Ⅰの学習範囲（人体の構造及び機能）、後半を美容保健Ⅱの
学習範囲（皮膚科学）とし各々復習し、体系的に講義する。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

美容の知識・技術

(5)準備学習

テキスト・自分用に作成しているまとめノートを毎回復習する(60分）。次回範囲の教科書を読んでくる(60分）。

(6)授業の進行計画

① 授業オリエンテーション

② 頭部、顔部、頸部の体表解剖学の復習とまとめ

③ 骨格器系の復習とまとめ

④ 筋系の復習とまとめ

⑤ 神経系の復習とまとめ

⑥ 感覚器系の復習とまとめ

⑦ 血液・循環器系の復習とまとめ

⑧ 呼吸器系・消化器系の復習とまとめ

⑨ 解剖生理学まとめ復習

⑩ 皮膚の構造の復習とまとめ

⑪ 皮膚付属器官の構造の復習とまとめ

⑫ 皮膚及び皮膚付属器官の生理機能の復習とまとめ

⑬ 皮膚及び皮膚付属器官の保健の復習とまとめ

⑭ 皮膚病の復習とまとめ

⑮ 皮膚科学全般の復習と小テスト

⑯ 筆記試験

(7)課題に対するフィードバックの方法

テストの答案を授業内で返却し、解説する。

(8)成績評価の方法と基準

平常点（40%）、小テスト・期末試験（60%）

(9)教科書・参考書・教材費

教科書：「理容・美容保健」（社団法人　日本理容美容教育センター）※　必修教材費に含む
プリント等適宜配布

美容文化演習Ⅱ

美容文化コース

２年次　後期　　永　野　美　里

(1)ナンバー

Ｂ１２７

(2)授業の到達目標

美容師国家試験に万全の態勢でのぞめるようにする。

(3)授業の概要

国家試験対策として、テキストを中心に講義と並行して過去問題・関係問題を解説していく。『デキ模試』と称して美容国家試験問題の課題である7教科の国家試験模擬試験を行う。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

美容の知識・技術

(5)準備学習

テキスト・自分用に作成しているまとめノートを毎回復習する(60分）。次回範囲の教科書を読んでくる(60分）。

(6)授業の進行計画

①「衛生管理」の国家試験対策１．～過去問題頻出問題について～

②「衛生管理」の国家試験対策２．～過去問題頻出問題の演習～

③「衛生管理」の国家試験対策３．小テストと解説

④「関係法規」の国家試験対策

⑤国家試験模擬試験～デキ模試～

⑥デキ模試の解説

⑦「衛生管理」の国家試験対策７.

⑧復習、中間試験と解説

⑨「香粧品化学」の国家試験対策１．～過去問題頻出問題の演習～

⑩「香粧品化学」の国家試験対策２．小テストと解説

⑪国家試験模擬試験～第二回デキ模試～

⑫第二回デキ模試の解説

⑬国家試験頻出問題の対策１．～関係法規まとめ～

⑭国家試験頻出問題の対策２．～衛生管理まとめ～

⑮国家試験頻出問題の対策３．～香粧品化学まとめ～

⑯筆記試験

(7)課題に対するフィードバックの方法

テストの答案を授業内で返却し、解説する。

(8)成績評価の方法と基準

平常点（40%）、小テスト・デキ模試結果・前期末試験（60%）

(9)教科書・参考書・教材費

樹田美里著『美容国家試験対策　物理・化学』テキスト　ふくろう出版(書店購入不可)
自分専用のまとめノート（前期授業で作成）
適宜プリント配布

美容文化演習Ⅲ（集中）

美容文化コース

２年次　後期　　永　野　美　里

(1)ナンバー

Ｂ１２８

(2)授業の到達目標

美容師国家試験に全員で合格するよう万全の態勢を築く。

(3)授業の概要

学科国家試験の直前対策である。1,2年次で学んだ各教科の復習に加え、過去問題へ取り組み、2年間の総まとめをする。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

美容の知識・技術

(5)準備学習

テキスト・自分用に作成しているまとめノートを毎回復習する(60分)。模擬試験に備え、自分の苦手科目を学習してくる(60分）。

(6)授業の進行計画

① 国家試験対策１.～関係法規・運営管理対策～

② 国家試験対策２.～公衆衛生対策～

③ 国家試験対策３.～環境衛生対策～

④ 国家試験対策４.～感染症対策～

⑤ 国家試験対策５.～消毒法対策～

⑥ 国家試験対策６.～美容保健対策～

⑦ 国家試験対策７.～香粧品化学対策～

⑧ 復習、中間試験

⑨ 中間試験の返却と解説

⑩ 国家試験対策８.　　第1回模擬試験と解説

⑪ 国家試験対策９.　　第2回模擬試験と解説

⑫ 国家試験対策１０.　第3回模擬試験と解説

⑬ 国家試験対策１１.　第4回模擬試験と解説

⑭ 国家試験対策１２.　第5回模擬試験と解説

⑮ 国家試験対策１３.　第6回模擬試験と解説

⑯ 国家試験対策１４.　第7回模擬試験と解説

(7)課題に対するフィードバックの方法

テストの答案を授業内で返却し、解説する。

(8)成績評価の方法と基準

平常点・授業への取り組み（60％）、模擬試験結果（40％）

(9)教科書・参考書・教材費

自分専用のまとめノート（前期授業で作成）
A４ファイル準備（過去問題や各教科のプリント保管用）

食と健康

ビューティメイク、キャリア教養コース

1年次　　前　期　　泉谷　宜宏

(1)ナンバー

K123

(2)授業の到達目標

健康や美容維持のための食に対する考えをより一層深め、将来的なライフスタイル形成に役立つ栄養と健康学を学ばせる

(3)授業の概要

テキスト中心に健康維持、美意識の向上を食を通じて教えていく。

(4)卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)と当該授業科目の関連

外国語(英会話・韓国語)・心理学・情報技術(パソコン)の知識を柱に、食・歴史・文学・美術について広く教養を身に着けている

(5)準備学習とそれに必要な時間

予習(60分)、復習(60分)

(6)授業の進行計画

① オリエンテーション
② 健康の定義と食に含まれる栄養成分Ⅰ
③ 健康の定義と食に含まれる栄養成分Ⅱ
④ 食事と健康、栄養状態の判定
⑤ 食事と健康、栄養状態の判定
⑥ 食品の機能性と栄養
⑦ 食品の機能性と栄養
⑧ 特定保健用食品
⑨ 健康とダイエットⅠ
⑩ 健康とダイエットⅡ
⑪ 健康とダイエットⅢ
⑫ ライフステージと栄養Ⅰ
⑬ ライフステージと栄養Ⅱ
⑭ ライフステージと栄養Ⅲ
⑮ 期末試験
⑯ 期末試験返却解説

(7)成績評価の方法と基準

期末試験成績70%、レポート課題30%

(8)教科書・参考書・教材費

【参考書】改定　栄養と健康　第2版　(社)日本フードスペシャイスト協会編　定価1995円

接客マナー

ビューティーメイクコース

１年次　　前期　　後藤　弥雪

（１）ナンバー

Ｋ１２２

（２）授業の到達目標

ビジネス、特に接客におけるマナーを身につけ、社会人として必要となる実践的な知識を定着させる。接客業以外でも活躍できるようなコミュニケーション能力を身につける。

（３）授業の概要

前半では、接客業を中心としたビジネスにおける最低限のマナーの知識を習得する。
後半では、就職についての知識を深めた後、
実際に接客業で働いている方々の講演を聞くことで、より自身が働いているイメージを膨らませる。

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

センス・マナー、社会貢献・充実した人生

（５）準備学習

企業講演の前には、該当企業について調べておくこと。

（６）授業の進行計画

① オリエンテーション
② ことば遣い・敬語
③ ビジネスメールの基本マナー
④ 文書の取り扱い・封筒の書き方
⑤ 慶事・弔事
⑥ 来客応対
⑦ 面接マナー・電話応対マナー
⑧ 履歴書の書き方
⑨ 求人票の見方
⑩ 就職活動に向けての基礎知識
⑪ 接客マナー①
⑫ 接客マナー②
⑬ 接客マナー③
⑭ 接客マナー④
⑮ 接客マナー⑤
⑯ 筆記試験

（７）課題に対するフィードバックの方法

提出レポートに対しコメントをつけ返却する。

（８）成績評価の方法と基準

筆記試験５０％、平常点５０％

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】プリントにて配布
【 参考書 】
【 教材費 】

デッサン

ビューティーメイクコース／キャリア教養コース

1年次　　前期　　田中　裕二

(1)ナンバー

Ｍ１０２／Ｃ１２５

(2)授業の到達目標

対象物を観察し、的確に表現するする力・イメージしたものを想像する力を身に着ける。

(3)授業の概要

観て・触れて・感じたことを描写を通して表現する。対象物の形をとらえることに慣れてきたら、それをどのように表現するか考える力を養い、ヘアメイクデザインなどに活用していただきたい。

(4)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

美容生活文化・センス・マナー

(5)準備学習とそれに必要な時間

前回の授業で描いたモチーフやテーマについて調べ復習しておく。
次回の授業で描くモチーフについて調べ学習をしておく（60分）。

(6)授業の進行計画

① 教材配布・授業説明・鉛筆基礎練習「グレースケールをつくる」
② 鉛筆での表現技術「リンゴを描く1」
③ 書き込む「リンゴを描く2」
④ 素材の違うものを描く1「ガラス、紙、金属のコップを描く1」
⑤ 素材の違うものを描く2「ガラス、紙、金属のコップを描く2」
⑥ 明暗を描き分ける1「石膏デッサンを模写する１」
⑦ 明暗を描き分ける2「石膏デッサンを模写する2」
⑧ 色彩豊かに描写する1「椅子のデッザンを着彩する1」
⑨ 色彩豊かに描写する2「椅子のデッザンを着彩する2」
⑩ 静物デッサン1「身近なものをデッサンする1」
⑪ 静物デッサン2「身近なものをデッサンする2」
⑫ 浮世絵を描く「写楽の浮世絵を模写する」
⑬ 人物画1「眉・目・鼻・口を描く」
⑭ 人物画2「ヘアスタイルを描く」
⑮ 人物画3「顔全体を描く」

(7)課題に対するフィードバックの方法

1. 授業内で完成作品を掲示し、合評・講評をする。
2. 互いの作品を鑑賞し合う。

(8)成績評価の方法と基準

平常点（取り組み意欲）50%　実技点（作品点）50%。出席回数が3分の2に満たない場合は「単位不認定」とする。

(9)教科書・参考書・教材費

【 教材費 】鉛筆・鉛筆削り・練消しゴム・色鉛筆等デッサンに必要な道具　1,300円

メイク理論Ⅰ

ビューティーメイクコース

１年次　　前期　　新谷　涼子

実務家教員による授業科目19年にわたり、大手化粧品会社勤務やメイクアップアーテイストとしてメディアの第一線で活動した経験を生かしメイク業界の現場で実際に役立つ知識を指導する。

（1）ナンバー

Ｍ１０３

（2）授業の到達目標

IBF国際美容連盟 国際メイクアップアーティストライセンス認定試験筆記試験への合格を目標とし、国際的に通用するメイクアップアーティストに必要とされる基本知識を習得する。

（3）授業の概要

IBF国際美容連盟のNY MaKe-Up Academyのカリキュラムに基づき、国際メイクアップアーティストとして必要な理論、技術を習得する。なお本学科はビューティメイクコース【メイク選 択】の学生において、1年次の必須科目であり、メイクアップの基本となる内容であるので 特に意欲をもって取り組んでいただきたい。

（4）卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

・メイク、ネイルなどの技術と知識
・自分で考え、伝える力

（5）準備学習とそれに必要な時間

メイクアップ理論中心の講義となるが、メイクアップ理論ができてこそメイクアップ技術が 向上するので、テキストの内容は覚えるようにすること。また、メイクアーティストライセ ンス認定試験筆記試験には、デッサンや作文も出題されるので各自復習と練習が必要である。

（6）授業の進行計画

① 授業説明・メイク道具とセッティング
② 化粧品の基礎知識
③ 「メイクアップアーティストとしての心構え」
④ 顔のパーツの名称・写真の撮り方
⑤ 皮膚の構造
⑥ 肌タイプとスキンケア方法
⑦ カラーコーディネート・ベースメイク理論1
⑧ ベースメイク理論
⑨ アイブロウ理論
⑩ アイブロウ理論・デッサン
⑪ アイメイク理論
⑫ アイメイク理論
⑬ リップメイク理論
⑭ リップメイク理論・デッサン
⑮ チークメイク理論
⑯ 前期振り返り・筆記試験

（7）課題に対するフィードバックの方法

小テストの答案を授業内で実施・解説する。

（8）成績評価の方法と基準

授業への取り組み意欲・平常点50%、テスト50%で評価を行う。
出席回数が授業回数の3分の2に満たない場合は「単位不認定」とする。

（9）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】

IBF国際美容連盟監修『TEXT BOOK for International Make-up Artist Part-Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』

【 参考書 】適宜紹介

【 教材費 】

IBF国際美容連盟国際メイクアップアーティスト認定試験筆記試験受験料　¥11,000

(教科書)¥17,325 +(受験料)¥11,000=¥28,325

※上記はメイク必修教材費に含まれています。

メイクⅠ

ビューティーメイクコース

１年次　　前期　　新　谷　涼　子
増　田　京　子

実務家教員による授業科目　２名共に長年にわたって、大手化粧品会社やブライダル業界の第一線で活躍してきた経験を生かし、メイクアップやブライダルなどの現場で実際に役立つ知識を指導する。

（１）ナンバー

Ｍ１０５

（２）授業の到達目標

・一般社団法人JMAセルフメイク検定試験の合格。
・一般社団法人JMAメイクアップ技術検定試験3級の合格。

（３）授業の概要

一般社団法人JMAの認定校である本校にて、ビューテイーメイクコースの学生は、前期においてセルフメイク検定試験及びメイクアップ技術検定試験3級に向けての学習をする。セルフメイク授業においては、自分の顔や肌の特性を知り、なりたいイメージのメイクを仕上げる為の基本のテクニックを習得する。また、セルフメイク検定試験を合格する事で、自身のメイク技術に自信をつける。 また、メイクアップ技術検定試験3級の授業においては、スキンケアやベースメイク、メイクアップの基本技術、メイクモデルに対してのマナーや声掛けの仕方を習得し、3級試験の合格と2級への進級を目指す。

（４）卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

・メイク、ネイルなどの技術と知識
・自分で考え、伝える力

（５）準備学習とそれに必要な時間

知識の習得や技術を身に付ける事に対して、難しさや戸惑いを感じる事もある中で、細やかな指導を心がけ、意欲を高めてもらえるように、日々の練習や復習を促す。また、個人個人の理解力や技術に合わせた指導を行う。授業内にて復習時間やアドバイスの時間を設ける。

（６）授業の進行計画

① 授業の概要説明・教材の配布・セルフメイク検定対策授業1～メイクアップの前に・スキンケア～
② セルフメイク検定対策授業2~自分の顔を知る・メイクの基礎知識～
③ セルフメイク検定対策授業3~基本のメイクアップ～
④ セルフメイク検定対策授業4~基本のメイクアップ～
⑤ セルフメイク検定対策授業5~なりたいイメージ～
⑥ セルフメイク検定対策授業6~なりたいイメージ・修正メイク～
⑦ セルフメイク検定対策授業7～模擬試験～
⑧ セルフメイク検定試験
⑨ メイクアップ技術検定試験3級対策授業1～メイクアップの前に～
⑩ メイクアップ技術検定試験3級対策授業2～スキンケアテクニック～
⑪ メイクアップ技術検定試験3級対策授業3～ベースメイクテクニック～
⑫ メイクアップ技術検定試験3級対策授業4～チーク・ハイライト・ローライト～
⑬ メイクアップ技術検定試験3級対策授業5～通しレッスン～
⑭ メイクアップ技術検定試験3級対策授業6～通しレッスン～
⑮ メイクアップ技術検定試験3級対策授業7～模擬試験～
⑯ メイクアップ技術検定3級試験

（７）課題に対するフィードバックの方法

試験での評価項目を基準にし合格範囲であるかを伝え合格範囲であればよりレベルアップする為の 技術のアドバイスを行う。合格範囲でない場合は、どの部分をどのように改善していけば良いかを 明確に伝え、合格ラインに達成するように細やかな指導を行う。

（８）成績評価の方法と基準

授業に取り組む姿勢や意欲・平常点50%、模擬試験の結果及び検定試験の合否結果テスト50%などにより成績の評価を行う。出席回数が授業回数の3分の2に満たない場合は「単位不認定」とする。

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】一般社団法人JMA発行「JMAセルフメイク検定公式テキスト」2,805円

一般社団法人JMA発行「日本メイクアップ技術検定試験公式テキスト3.2級」

4,394円

【 教材費 】セルフメイク検定受験料9,240円

日本メイクアップ技術検定3級受験料11,220円が必要です。

※上記はメイク必修教材費に含まれています。

メイクⅡ

ビューティーメイクコース

1年次　　前　期　　新 谷 涼 子
岩 嵜 明 奈

実務家教員による授業科目 長年にわたり、大手化粧品会社に所属し、百貨店の美容部員として接客・マネジメント等の業務の経験や、メイクアップアーティストとしてメディアの第一線で活躍した経験を活かし、メイク業界の現場で実際に役立つ知識を指導する

⑴ナンバー

M106

⑵授業の到達目標

IBF国際美容連盟国際メイクアップアーティストライセンス認定試験（実技試験）への合格を目標とし、国際的に通用するメイクアップアーティストに必要とされる基本知識を習得する。

⑶授業の概要

本学はIBF国際美容連盟の認定校であり、IBF国際美容連盟のNY　Make-Up Academynのカリキュラムに基づき、国際メイクアップアーティストとして必要な理論、技術を習得する。基本的なメイクアップ、各パーツ技術を習得後、顔分析を行った上でのフルメイク技術の完成を目指す。

(4) 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

メイク・ネイルなどの技術と知識
自分で考え、伝える力

⑸準備学習とそれに必要な時間

技術をしっかり取得するためにメイクツールは常に清潔に保つこと。授業内で習得した技術は各自自習を行い、向上心を持って取り組む。

⑹授業の進行計画

① 授業説明・教材配布・メイク道具とセッテイング
② 顔分析・肌分析・スキンケア
③ ベースメイク実習
④ ベースメイク・カバーリング実習
⑤ チークメイク・ハイライト・ローライト実習
⑥ アイブロウメイク実習（ナチュラル）
⑦ アイブロウメイク実習（アーチ）
⑧ アイブロウメイク実習（シャープ）
⑨ アイメイク実習①
⑩ アイメイク実習②
⑪ リップメイク実習
⑫ イメージメイク①
⑬ イメージメイク②
⑭ イメージメイク③
⑮ 応用メイク
⑯ メイク実技試験

⑺課題に対するフィードバックの方法

作品の仕上がりやブラシワークをチェックし作業工程や苦手箇所を手直しフィードバックする。

⑻成績評価の方法と基準

授業への取り組み姿勢,意欲　平常点50％　　テスト・レポート提出50％で評価を行う。

⑼教科書・参考書・教材費

【 教科書 】 一般社団法人IBF国際美容連盟『TEXT BOOK for International Make Up Artist Part-Ⅰ・Ⅱ・ ¥17,325

【 参考書 】 な し

【 教材費 】 メイクアップ教材　￥97，507（内部生￥85，737）
※共同教材費含む
IBF国際美容連盟国際メイクアップアーティスト認定試験受験料　￥11，000
IBFメイクパレット　￥11，000
検定リップ　￥2，288

パーソナルカラー理論Ⅰ

ビューティーメイクコース／舞台芸術コース／キャリア教養コース

1年次　　前期　　田中　裕二

(1)ナンバー

Ｍ１２３／Ａ７０６／Ｃ１０４

(2)授業の到達目標

色彩活用としてパーソナルカラー理論を学び、「自分ブランディング」の力を身に着ける。
一般社団法人日本ｶﾗｰｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ協会ﾊﾟｰｿﾅﾙｶﾗｰ検定3級試験への合格を目指す。

(3)授業の概要

パーソナルカラーは広く社会に浸透し、似合う色選びの指針として様々な分野で活用されている。
本授業では、自分ブランディングをテーマにｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力を高め、生活や仕事の現場を豊かにする色彩について実践を取り入れながら学ぶ。
ﾊﾟｰｿﾅﾙカラー検定の３級に必要な知識や技能を身に着ける。

(4)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

美容生活文化・センス・マナー

(5)準備学習とそれに必要な時間

前回の授業で学んだプリントと、テキストを読み返す（60分）。
次回に学ぶ範囲のテキストを読んでおく（60分）。

(6)授業の進行計画

① 授業内容説明・パーソナルカラーの基礎１
② パーソナルカラーの基礎２「色の三属性・色のイメージ」
③ パーソナルカラーの基礎３「トーンのイメージ・シーズンカラー」
④ 色名でイメージをふくらませる
⑤ シーズンカラーのカラーパレット慣用色名
⑥ シーズンカラーのイメージワード
⑦ 似合う色の基準1「P.Ⅰ・色素」
⑧ 似合う色の基準2「対比・反射」
⑨ 似合う色の基準3「光と色の関係」
⑩ ドレーピング方法「似合う色・似合わない色」
⑪ ドレーピング実習１
⑫ ドレーピング実習２
⑬ 似合う色を取り入れる１「ファッション・メイク」
⑭ 似合う色を取り入れる２「素材・アクセサリー」
⑮ 似合う色を取り入れる３「P.Iを活かした自分ブランディング」
⑯ 期末テスト

(7)課題に対するフィードバックの方法

１.グループワーク等で自分ブランディングについて考え、出た結果や内容について解説する。
２.検定試験の内容を授業内で実施、解説する。

(8)成績評価の方法と基準

平常点（取り組み意欲）50%　期末テスト　50%
出席回数が授業回数の3分の2に満たない場合は「単位不認定」とする。

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】産経新聞出版「色彩活用パーソナルカラー検定協会公式テキスト」　2,420円

【 教材費 】400円

特殊メイク

ビューティーメイクコース

１年次　　前　期（集中）岩咲希しのぶ

(1)ナンバー

Ｍ１１３

(２)授業の到達目標

映画などで様々な分野で使用される特殊メイクの基本を学ぶとともにビューティーでも使用できる技術の習得。

(３)授業の概要

特殊メイクの種類、使われる道具についての理解。実技を中心に傷、火傷、痣などの基礎的な技術を身に着ける。

(４)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

メイクなどの知識と技術

(５)準備学習とそれに必要な時間

特に必要なし。

(６)授業の進行計画

① 特殊メイクの道具説明
② 特殊メイクの種類
③ 汚しメイク
④ 痣、打撲
⑤ 基本の切り傷①
⑥ 基本の切り傷②
⑦ 応用の切り傷
⑧ 基本の火傷①
⑨ 基本の火傷②
⑩ ③から⑨までを使った応用メイク
⑪ 知識を深める為ＤＶＤを見て学ぶ
⑫ ゾンビ基本、骨格、陰影
⑬ 習得した技術でゾンビメイク
⑭ 習得した技術でゾンビメイク
⑮ アイモデルでの技術チェック　※授業状況により変更の可能性あり
⑯ アイモデルでの技術チェック　※授業状況により変更の可能性あり

(７)成績評価の方法と基準

授業態度と技術にて評価

(８)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】 必要に応じてプリント配布、個人でノートを取っていただきます。

【 教材費 】　5000円

ネイルⅠ

ビューティメイクコース

１年次　前　期　　遠　藤　江　美

(1)ナンバー

Ｍ１１４

(2)授業の到達目標

ネイルのベーシック技術と知識を習得・JNECネイリスト技能検定3級受験

(3)授業の概要

ネイリストの基礎を中心に検定合格レベルを目標に実技・学科を進めて行き・技術を身につける。ネイルケア・カラーリング・検定アート・ジェルネイル基礎

＊トレーニングハンドでの練習が多いですが、技術向上のため相モデルも行います。授業ではご自身のネイルは外してください。

＊ネイルⅠを履修しないとネイルⅡは履修できません。

(4)卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)と当該授業科目の関連

ネイルの専門的な技術と知識を取得する。主に専門科目により、ネイルに関する理解を深め豊かな表現力を身につけ、社会の一員として貢献できる実践力を身につけている。

(5)授業の進行計画

① オリエンテーション（教材配布・説明、テーブルセッティング）
② ネイル理論①・プレマニキュア
③ ネイル理論②・ファイリング
④ ネイル理論③・ネイルケア基礎
⑤ ネイル理論④・クリーンナップ
⑥ ネイル理論⑤・ネイルケア（検定手順）
⑦ ネイル理論⑥・ポリッシュの理論と実習
⑧ ネイル理論⑦・カラーポリッシュ別の塗り方を習得
⑨ JNECネイリスト技能検定要項説明（手順・理解）
⑩ フラットアートとJNECネイリスト技能検定３級アート
⑪ JNEC検定対策①
⑫ JNEC検定対策①
⑬ JNEC検定対策②
⑭ ジェルネイルの基礎理論①
⑮ ジェルネイルの基礎理論②
⑯ 前期学期末実技・筆記試験

(6)課題に対するフィードバックの方法

授業課題をチェックし苦手分野を軌道修正していく。

(7)成績評価の方法と基準

積極的に検定に取り組んで頂きたく実習態度を重視する。JNEC認定校として40時間以上の授業時間が必要となるため欠席は4回以上は検定受験資格はあるが単位不認定とする。遅刻は2回で1回の欠席扱いとなる。

(8)教科書・参考書・教材費

【教科書】JNECテクニカルシステム(テキスト2冊)
【教材費】ネイル教材　約90,000円(消耗品は各自持参)
＊検定受験希望者は以下の検定料と検定消耗品の購入が必要となります。
JNAジェルネイル技能検定初級検定料　9,900円
JNEC日本ネイリスト技能検定3級試験　6,800円
JNEC認定STハンド （ハンドでの受験の場合のみ）13,000円
（＊受験料金は個人の受験する級によって異なり、
検定希望者の方は検定問題集、用具の消耗品は別途購入が必要です。）

＊ネイル資材・ジェルネイル等で稀にアレルギーを引き起こす場合があります。皮膚疾患やアレルギーがある方は確認の上で判断してください。

ネイルアドバンス
ビューティメイクコース１年

前期・後期　　小川　浩美

(1)　M118
(2)授業の到達目標
JNECネイリスト技能検定3級取得

(3)授業の概要
プロフェッショナルなネイリストとして必要なネイルに関する専門知識
及びネイルケアの基礎テクニックを学び専門知識と技能を身につける。

(4)卒業認定・学位授与
ネイルの専門的な技術と知識を取得する。主に専門科目により、ネイルに
関する理解を深め豊かな表現力を身につけ、社会の一員として貢献できる
実践力を身につけている。

(5)授業の進行計画
①　ネイルアドバンス集中講義
②　ネイルアドバンス集中講義
③　ネイルアドバンス集中講義
④　ネイルアドバンス集中講義
⑤　ネイルアドバンス集中講義
⑥　ネイルアドバンス集中講義
⑦　ネイルアドバンス集中講義
⑧　ネイルアドバンス集中講義
⑨　ネイルアドバンス集中講義
⑩　ネイルアドバンス集中講義
⑪　ネイルアドバンス集中講義
⑫　ネイルアドバンス集中講義
⑬　ネイルアドバンス集中講義
⑭　ネイルアドバンス集中講義
⑮　ネイルアドバンス集中講義

(6)課題に対するフィードバックの方法
授業課題をチェックし苦手分野を軌道修正していく。

(7)成績評価の方法と基準
積極的に検定に取り組んで頂きたく実習態度を重視する。
夏季休み期間中の集中講義となります。

(8)教科書・参考書・教材費
【教科書】JNECテクニカルシステム(テキスト2冊)・検定問題集
【教材費】

教養セミナーⅡ

ビューティーメイク・舞台芸術・幼児教育・キャリア教養コース

1年次　　後　期　　安田　裕樹

(1)ナンバー

K102

(2)授業の到達目標

社会に出てから求められる教養を広く身につける。

(3)授業の概要

人文科学、自然科学の分野に関する内容を広く学ぶ。また、毎回の授業で時事問題を取り上げて学習する。

(4)卒業認定・学位授与(ディプロマポリシー)と当該授業科目の関連

リベラルアーツ、コミュニケーション力

(5)準備学習

前回の授業で使用したプリントの内容を復習する(60分)。次回の授業内容を調べる(60分)

(6)授業の進行計画

① 自然科学分野(1) 世界の地理・歴史分野(1)　時事問題(1)
② 自然科学分野(2) 世界の地理・歴史分野(2)　時事問題(2)
③ 自然科学分野(3) 世界の地理・歴史分野(3)　時事問題(3)
④ 自然科学分野(4) 世界の地理・歴史分野(4)　時事問題(4)
⑤ 自然科学分野(5) 世界の地理・歴史分野(5)　時事問題(5)
⑥ 自然科学分野(6) 世界の地理・歴史分野(6)　時事問題(6)
⑦ 自然科学分野(7) 世界の地理・歴史分野(7)　時事問題(7)
⑧ 日本語表現(1) 世界の地理・歴史分野(8)　時事問題(8)
⑨ 日本語表現(2) 世界の地理・歴史分野(9)　時事問題(9)
⑩ 日本語表現(3) 世界の地理・歴史分野(10)　時事問題(10)
⑪ 日本語表現(4) 世界の地理・歴史分野(11)　時事問題(11)
⑫ 日本語表現(5) 世界の地理・歴史分野(12)　時事問題(12)
⑬ 日本語表現(6) 世界の地理・歴史分野(13)　時事問題(13)
⑭ まとめ(1)
⑮ まとめ(2)
⑯ テスト

(7)課題に対するフィールドバックの方法

小テストを行う場合は、返却して解答を解説する。課題を課す場合はコメントを付けて返却する。

(8)成績評価の方法と基準

テストとレポートにより評価します。テスト80%、平常点20%

(8)教科書・参考書・教材費

プリントを配布します。

法学概論

キャリア教養コース

１年次　後期　　鷺森　正

（１）ナンバー

Ｋ１２４

（２）授業の到達目標

法学の基礎的知識を習得する。法とは何か、市民生活において必須と思われるいくつかの問題を法を通じて認識していく。日本国憲法の三大原理についても学ぶ。

（３）授業の概要

法とは何か、国家と法律の基礎知識・統治機構・基本的人権・犯罪と法・民法学などについてりかいさせていく。

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と該当授業科目の関連

リベラルアーツ・広い教養・国際的な社会人

（５）準備学習とそれに必要な時間

日頃から新聞やテレビの報道に注意を払って下さい。教科書の予習・復習（６０分）各項目ごとの課題演習に取り組む。

（６）授業の進行計画

① 法と道徳の違い
② 六法と日本国憲法
③ 国家と法律の基礎知識・国民主権と天皇制
④ 国家と法律の基礎知識・国会
⑤ 国家と法律の基礎知識・内閣
⑥ 国家と法律の基礎知識・裁判所
⑦ 国家と法律の基礎知識・基本的人権の尊重①
⑧ 国家と法律の基礎知識・基本的人権の尊重②
⑨ 国家と法律の基礎知識・平和主義
⑩ 国家と法律の基礎知識・罪刑法定主義
⑪ 民法学の基礎知識・民法とは
⑫ 民法学の基礎知識・財産法
⑬ 家族法の基礎知識
⑭ 刑法の基礎知識
⑮ 労働法とは
⑯ テスト

（７）課題に対するフィードバックの方法

各項目ごとに課題演習を行い、次の授業で復習確認を行う

（８）成績評価の方法と基準

課題演習（平常点を含む）３０％・テスト７０％

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】ガイドブック　法学［改訂版］　嵯峨野書院　2,450円＋税
【 参考書 】ケースで学ぶ法学ナビ

【 教材費 】

ライフデザインⅢ（海外研修）

全コース

２年次　集中　専任教員

(1)ナンバー

K114

(2)授業の到達目標

数泊の海外研修により海外の文化に触れ、見聞を広げるとともに、外国の美容文化の実態についても学び、美容に関する高度な知識・技術を修得する。

(3)授業の概要

数泊の海外研修を行い、集団生活のマナーを身につける経験を積むとともに、現地の文化に触れ、当地の歴史・社会・経済などについて知識を広げる。また当地の美容文化についてのセミナーを受講し、海外での起業や勤務についてのノウハウや心構えを学ぶ。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

コミュニケーション力・リベラルアーツ・自分で考え、伝える力

(5)準備学習とそれに必要な時間

海外でのマナーや犯罪等の被害に遭わないための知識・心構えを身につけておくこと。

(6)授業の進行計画

① 空港に集合。団体行動を実践し、海外渡航の経験を積む。①
② 空港に集合。団体行動を実践し、海外渡航の経験を積む。②
③ 外国のホテルでのマナー等について学び、実践する。①
④ 外国のホテルでのマナー等について学び、実践する。②
⑤ 外国の文化に触れ、ショッピング等を経験することにより、見聞を広げる。①
⑥ 外国の文化に触れ、ショッピング等を経験することにより、見聞を広げる。②
⑦ 外国の文化に触れ、ショッピング等を経験することにより、見聞を広げる。③
⑧ 外国の代表的な文化遺産を訪れ、その国の歴史・文化を学ぶ。①
⑨ 外国の代表的な文化遺産を訪れ、その国の歴史・文化を学ぶ。②
⑩ 外国の代表的な文化遺産を訪れ、その国の歴史・文化を学ぶ。③
⑪ 現地で活躍している美容等の経営者のセミナーを受講する。①
⑫ 現地で活躍している美容等の経営者のセミナーを受講する。②
⑬ 現地で活躍している美容等の経営者のセミナーを受講する。③
⑭ 海外での団体生活を経験することにより、国際的なコミュニケーション能力を養う。①
⑮ 海外での団体生活を経験することにより、国際的なコミュニケーション能力を養う。②
⑯

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出したレポートには、コメントを書いて返却する。

(8)成績評価の方法と基準

研修姿勢に取り組む姿勢・状況70％と、帰国後のレポートなど30％により判定する。

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書】
【 参考書 】
【 教材費 】

教養セミナーⅠ

ビューティーメイク・舞台芸術・幼児教育・キャリア教養コース

1年次　前　期　安田裕樹

(1)ナンバー

K101

(2)授業の到達目標

社会に出てから求められる教養を広く身につける。

(3)授業の概要

人文科学、自然科学の分野に関する内容を広く学ぶ。また、毎回の授業で時事問題を取り上げて学習する。

(4)卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)と当該授業科目の関連

リベラルアーツ、コミュニケーション力

(5)準備学習

前回の授業内容を復習する(60分)。次回の授業内容を調べる(60分)。

(6)授業の進行計画

① 自然科学分野(1) 日本の地理・歴史分野(1) 時事問題(1)
② 自然科学分野(2) 日本の地理・歴史分野(2) 時事問題(2)
③ 自然科学分野(3) 日本の地理・歴史分野(3) 時事問題(3)
④ 自然科学分野(4) 日本の地理・歴史分野(4) 時事問題(4)
⑤ 自然科学分野(5) 日本の地理・歴史分野(5) 時事問題(5)
⑥ 自然科学分野(6) 日本の地理・歴史分野(6) 時事問題(6)
⑦ 自然科学分野(7) 日本の地理・歴史分野(7) 時事問題(7)
⑧ 日本語表現(1) 日本の地理・歴史分野(8) 時事問題(8)
⑨ 日本語表現(2) 日本の地理・歴史分野(9) 時事問題(9)
⑩ 日本語表現(3) 日本の地理・歴史分野(10) 時事問題(10)
⑪ 日本語表現(4) 日本の地理・歴史分野(11) 時事問題(11)
⑫ 日本語表現(5) 日本の地理・歴史分野(12) 時事問題(12)
⑬ 日本語表現(6) 日本の地理・歴史分野(13) 時事問題(13)
⑭ まとめ(1)
⑮ まとめ(2)
⑯ テスト

(7)課題に対するフィードバックの方法

小テストを行う場合には、返却し解答を解説する。課題を課す場合はコメントを付けて返却する。

(8)成績評価の方法と基準

テストとレポートにより評価します。テスト80%、平常点20%

(9)教科書・参考書・教材費

プリントを配布します。

インターンシップ

ビューティーメイク・舞台芸術・キャリア教養コース

１年次　前期　　吉田　巖

実務家教員による授業科目

（1） ナンバー

Ｋ１１９

（2）授業の到達目標

企業や自治体等で就業体験をすることによって、働く意味や自らの適性を考え、各自の職業選択をはじめとするキャリアアップにつなげる。

（3）授業の概要

インターンシップとは、「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」です。学外での就業体験を通じて、課題発見・解決能力やコミュニケーション能力・協調性・積極性などの大切さを学びます。

（4）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

自ら考え伝える力

（5）準備学習とそれに必要な時間

平素から挨拶、言葉づかいに心がける学生生活を送ること。実習先の決定と実習先での心がまえ等の事前把握。

（6）授業の進行計画

授業は学外で８月から９月にかけて１週間～2 週間程度（のべ 40 時間以上）の予定です。履修届を提出した学生が実際に企業で働ける機会を準備します。対象企業は各地の「経営者協会」等と連携して紹介します。したがって、以下のような順序で授業を進めます。

①実習講座の概要、実習の心がまえ、手続き等を説明し、実習に当たっての目的意識の明確化と参加意欲の向上を図る。また事前・事後に合同オリエンテーションに参加する。

②　〃

③　〃

④　〃

⑤　〃

⑥　〃

⑦　〃

⑧　〃

⑨　〃

⑩　〃

⑪　〃

⑫　〃

⑬　〃

⑭　〃

＜実習の流れ＞

１．実習先の決定（報告書①を提出）。
２．「覚書」②を交換する。
３．実習初日に「誓約書」③を提出する。
４．実習日ごとに「実習日誌」④を作成し、担当者にコメントをもらうこと。
５．実習終了後、「実習報告書」⑤を作成してもらう。
６．「レポート」⑥を作成する。
７．④、⑤、⑥を提出する。
（注）①～⑥は別途配布する。

⑮事後報告　受講者との意見交換、実習日誌、実習報告書及びレポートを提出する。

⑯

（7）課題に対するフィードバックの方法

提出したレポートには、コメントを書いて返却する。

（8）成績評価の方法と基準

学生が提出した実習日誌とレポート（80%）、及び就業先担当者の実習評価票、または実習報告書（20%）で総合的に評価する。

（9）教科書・参考書・教材費

【教科書】特になし

【参考書】プリントを配布し、必要に応じて紹介する。

【教材費】※「短期大学学生総合保障制度」に加入済みであること。

メイク理論Ⅱ

ビューティーメイクコース

１年次　　後期　　新　谷　涼　子

実務家教員による授業科目　19年にわたり大手化粧品勤務やメイクアップアーティストとしてメディアの第一線で活動した経験を生かし、メイクの現場で実際に役立つ知識を指導する。

（1）ナンバー

Ｍ１０４

（2）授業の到達目標

IBF国際美容連盟 国際メイクアップアーティストライセンス認定試験筆記試験への合格を 目標とし、国際的に通用するメイクアップアーティストに必要とされる基本知識を習得する。

（3）授業の概要

IBF国際美容連盟のNY MaKe-Up Academyのカリキュラムに基づき、国際メイクアップアーティストとして必要な理論、技術を習得する。なお本学科はビューティメイクコース【メイク選択】の学生において、1年次の必須科目であり、メイクアップの基本となる内容で あるので特に意欲をもって取り組んでいただきたい。

（4）卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

・メイク、ネイルなどの技術と知識
・自分で考え、伝える力

（5）準備学習とそれに必要な時間

メイクアップ理論中心の講義となるが、メイクアップ理論ができてこそメイクアップ技術が向上するので、テキストの内容は覚えるようにすること。また、メイクアーティストライセンス認定試験筆記試験には、デッサンや作文も出題されるので各自復習と練習が必要である。

（6）授業の進行計画

① IBF国際美容連盟 国際メイクアップアーティスト認定筆記試験対策・作文
② IBF国際美容連盟 国際メイクアップアーティスト認定筆記試験対策・デッサン復習
③ IBF国際美容連盟 国際メイクアップアーティスト認定筆記試験対策・模擬試験
④ IBF国際美容連盟 国際メイクアップアーティスト認定筆記試験 受験
⑤ バリエーションメイク理論・シャープ
⑥ バリエーションメイク理論・ポリッシュ
⑦ バリエーションメイク理論・ウェディング
⑧ バリエーションメイク理論・チャーミング
⑨ バリエーションメイク理論・ファッショナブル
⑩ メイクデッサンの作り方
⑪ メイクデッサン作成
⑫ 化粧品研究コンテスト説明・メイクデッサン作成
⑬ 化粧品研究コンテスト・メイクデッサン作成
⑭ 化粧品研究コンテスト発表
⑮ IBF国際美容連盟 国際メイクアップアーティスト認定実技試験対策
⑯ IBF国際美容連盟 国際メイクアップアーティスト認定実技試験対策

（7）課題に対するフィードバックの方法

小テストの答案を授業内で実施・解説する。

（8）成績評価の方法と基準

授業への取り組み意欲・平常点50%、テスト50%で評価を行う。
出席回数が授業回数の3分の2に満たない場合は「単位不認定」とする。

（9）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】

IBF国際美容連盟監修『TEXT BOOK for International Make-up Artist Part- Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』

【 参考書 】適宜紹介

【 教材費 】

IBF国際美容連盟国際メイクアップアーティスト認定試験筆記試験受験料 ¥11,000

(教科書)¥17,325 +(受験料)¥11,000=¥28,325

※上記はメイク必修教材費に含まれています。

メイクⅢ

ビューティーメイクコース

１年次　　後期　　新　谷　涼　子
増　田　京　子

実務家教員による授業科目　２名共に長年にわたって、大手化粧品会社やブライダル業界の第一してメディアの第一線で活躍した経験を生かし、メイクの現場で実際に役立つ知識を指導する。

（１）ナンバー

Ｍ１０６

（２）授業の到達目標

・一般社団法人JMAメイクアップ技術検定試験2級の合格。
・一般社団法人JMAメイクアップ技術検定試験1級の合格。（受験は任意）
・JMA日本メイクアップ知識検定試験の合格

（３）授業の概要

ビューティーメイクコースの学生は、後期においてメイクアップ技術検定試験2級・1級に向けての学習をする。メイクアップ技術検定試験2級の授業においては、スキンケアやベースメイクにおいての指定項目をクリアしたフルメイクのテクニックを習得する。また、メイクアップ技術検定試験1級の授業においては、モデルの悩みや要望を正しく聴き、希望のイメージメイクを仕上げていくメイク接客技術を身に付ける。また、メイクアップアーテイストとしてふさわしいマナーや接客、カウンセリング方を身に付ける、現場で生かす事の出来る技術を習得する。

（４）卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

・メイク、ネイルなどの技術と知識
・自分で考え、伝える力

（５）準備学習とそれに必要な時間

高度なメイクアップ技術が必要とされ、表現が難しく困惑する事が増える中で、日々の復習やレッスンを促しメイクの技術向上の意欲を高める。また、試験を合格する為のレッスン方法や弱点や強 化すべきポイントを伝え指導を行っていく。授業内にて復習時間やアドバイスの時間を設ける。

（６）授業の進行計画

① メイクアップ技術検定試験2級対策授業1～スキンケアテクニック～
② メイクアップ技術検定試験2級対策授業2～ベースメイクテクニック～
③ メイクアップ技術検定試験2級対策授業3～ポイントメイクテクニック～
④ メイクアップ技術検定試験2級対策授業4～ポイントメイクテクニック～
⑤ メイクアップ技術検定試験2級対策授業5～ポイントメイクテクニック～
⑥ メイクアップ技術検定試験2級対策授業6～通しレッスン～
⑦ メイクアップ技術検定試験2級対策授業7～通しレッスン～
⑧ メイクアップ技術検定試験2級対策授業8～通しレッスン～
⑨ メイクアップ技術検定試験2級対策授業9～模擬試験～
⑩ メイクアップ技術検定2級試験
⑪ メイクアップ技術検定試験1級対策授業・知識検定対策授業
⑫ メイクアップ技術検定試験1級対策授業・知識検定対策授業
⑬ メイクアップ技術検定試験1級対策授業・知識検定対策授業
⑭ メイクアップ技術検定試験1級対策授業・知識検定対策授業
⑮ メイクアップ技術検定試験1級対策授業・知識検定対策授業～模擬試験～
⑯ 知識検定試験

（７）課題に対するフィードバックの方法

試験での評価項目を基準にし合格範囲であるかを伝え合格範囲であればよりレベルアップする為の技術のアドバイスを行う。合格範囲でない場合は、どの部分をどのように改善していけば良いかを明確に伝え、合格ラインに達成するように細やかな指導を行う。

（８）成績評価の方法と基準

授業に取り組む姿勢や意欲・平常点50%、模擬試験の結果及び検定試験の合否結果テスト50%などにより成績の評価を行う。出席回数が授業回数の3分の2に満たない場合は「単位不認定」とする。

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】JMA日本メイクアップ知識検定試験　公式テキスト　　2,805円
JMA日本メイクアップ知識検定試験　問題集　　2,431円
【 教材費 】日本メイクアップ技術検定2級受験料11,220円が必要です。
JMA日本メイクアップ知識検定試験8,360円が必要です。
※上記はメイク必修教材費に含まれています。

メイクⅣ

ビューティーメイクコース

1年次　　後　期　　新谷　涼子
岩嵜　明奈

実務家教員による授業科目　長年にわたり、大手化粧品会社に所属し、百貨店の美容部員として接客・マネジメント等の業務の経験や、メイクアップアーティストとしてメディアの第一線で活躍した経験を活かし、メイク業界の現場で実際に役立つ知識を指導する

⑴ナンバー

M108

⑵授業の到達目標

IBF国際美容連盟国際メイクアップアーティストライセンス認定試験（2月実施）への合格を目標とし、国際的に通用するメイクアップアーティストに必要とされる基本知識を習得する。

⑶授業の概要

本学はIBF国際美容連盟の認定校であり、IBF国際美容連盟のNY　Make-Up Academynのカリキュラムに基づき、国際メイクアップアーティストとして必要な理論、技術を習得する。基本的なメイクアップ、各パーツ技術を習得後、顔分析を行った上でのフルメイク技術の完成を目指す。

⑷卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

メイク・ネイルなどの技術と知識

自分で考え、伝える力

⑸準備学習とそれに必要な時間

技術をしっかり取得するためにメイクツールは常に清潔に保つこと。授業内で習得した技術は各自自習を行い、向上心を持って取り組む。

⑹授業の進行計画

① 検定課題「シャープ」
② 検定課題「ポリッシュメイク」
③ 検定課題「ウエディングメイク」
④ 検定課題「チャーミングメイク」
⑤ 検定課題「フレッシュメイク」
⑥ 検定課題「トレンドメイク」
⑦ 検定課題「ファッショナブルメイク」
⑧ 検定課題「パーティーメイク」
⑨ 検定課題「クリエイティブメイク」
⑩ IBF本部講師による検定課題講習
⑪ 実技検定課題対策授業①
⑫ 実技検定課題対策授業②
⑬ 実技検定課題対策授業③
⑭ 実技検定課題対策授業④
⑮ 実技検定課題対策授業⑤
⑯ IBF国際美容連盟　国際メイクアップアーティスト認定試験実技試験

(7)成績評価の方法と基準

授業への取り組み姿勢,意欲　平常点50％　　実技試験・レポート提出50％で評価を行う。

(8)教科書・参考書・教材費

【教科書】一般社団法人IBF国際美容連盟『TEXT BOOK for International Make Up Artist Part-Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 』￥17,325　　【教材費】メイクアップ教材　￥97, 507（内部生￥85, 737）
IBF国際美容連盟国際メイクアップアーティスト認定試験受験料　￥11, 000
IBFメイクパレット　￥11, 000
検定リップ　￥2, 288

パーソナルカラー理論Ⅱ

ビューティーメイクコース／キャリア教養コース

1年次　　後期　　田中　裕二

(1)ナンバー

Ｍ１２５／Ｃ１０５

(2)授業の到達目標

色彩活用としてﾊﾟｰｿﾅﾙｶﾗｰ理論を学び「ﾊﾟｰｿﾅﾙｶﾗｰ活用ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ」としての力を身に着ける。「一般社団法人日本ｶﾗｰｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ協会ﾊﾟｰｿﾅﾙｶﾗｰ検定２級の試験への合格を目指す。

(3)授業の概要

生活におけるさまざな場面での色の活用方法を学び実践する力をつける。
「似合う色の選び方」や「よりよい自分ブランディング方法」を学ぶ。
ﾊﾟｰｿﾅﾙカラー検定２級に必要な知識や技能を身に着ける。

(4)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

美容生活文化・センス・マナー

(5)準備学習とそれに必要な時間

前回の授業で学んだプリントと、テキストを読み返す（60分）。
次回に学ぶ範囲のテキストを読んでおく（60分）。

(6)授業の進行計画

① 授業内容説明・パーソナルカラーの概要説明
② 色彩の基礎１「ＰＣＣＳの色表示」
③ 色彩の基礎２「色名＝慣用色名、系統色名」
④ シーズンカラーのカラーパレット慣用色名
⑤ 物体の見える仕組み
⑥ 混色＝加法混色、減法混色
⑦ 色の心理効果と色の三属性との関係
⑧ 配色の基本理論「色相」と「トーン」で配色を考える
⑨ 配色における「統一」と「変化」
⑩ 色相配色＝色相を基準に配色を考える
⑪ トーン配色＝トーンを基準に配色を考える
⑫ クライアントを中心としたアドバイス
⑬ 色素をもとにコミュニケーションをはかる
⑭ 典型的な色素傾向と似合う色の関係
⑮ さまざまなアイテムの活用
⑯ 期末テスト

(7)課題に対するフィードバックの方法

１.ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ等で他者への「似合う色の選び方」について考える。結果や内容について解説する。
２.検定試験の内容を授業内で実施、解説する。

(8)成績評価の方法と基準

平常点（取り組み意欲）50%　期末テスト　50%
出席回数が授業回数の3分の2に満たない場合は「単位不認定」とする。

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】産経新聞出版「色彩活用パーソナルカラー検定協会公式テキスト」　2,750円
【 教材費 】400円

文書処理演習Ⅰ

ビューティーメイク・舞台芸術・キャリア教養コース

1年次　　後期　　岡石　績絵子

(1)ナンバー

Ｍ１２９・Ａ７０７・Ｃ１１２

(2)授業の到達目標

社内での通達文の作成などを学び、さらに取引先への諸文書、紹介文などビジネス文書についてもワープロソフトを使って作成できるようにする。コンピュータを常識として活用する能力「コンピュータ・リテラシー」についても学ぶ。
「コンピュータ・リテラシー」が求められる。こうした業界のニーズに応えられる情報処理検定資格を目標に学習する。

(3)授業の概要

コンピュータ及び情報機器・媒体についての知識を学び、その操作・活用が出来るようになると共に文部科学省後援の「日本語ワープロ検定試験」などの検定試験に対応した授業を進める。

(4)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

コミュニケーション力

(5)準備学習とそれに必要な時間

キーボードマスターなどのソフトを使用して、キーボードを速く打つブラインドタッチの練習をさせる。

(6)授業の進行計画

① パソコンの基本操作とタイピング
② 文書作成の基本　文字の書式設定・段落設定
③ 表の挿入　表の書式設定
④ 日本語ワープロ検定の演習・解説
⑤ 日本語ワープロ検定４級演習・解説
⑥ 日本語ワープロ検定４級演習
⑦ 日本語ワープロ検定３級演習・解説
⑧ 日本語ワープロ検定３級演習
⑨ パソコンスピード（日本語）認定試験解説演習
⑩ パソコンスピード・日本語ワープロ演習（１級受験希望学生にも対応する）
⑪ 日本語ワープロ検定２級演習・解説
⑫ 日本語ワープロ検定２級演習
⑬ 日本語ワープロ検定２級演習
⑭ 日本語ワープロ検定２級演習
⑮ テスト前の質疑応答・要点確認整理
⑯ 期末テスト

(7)課題に対するフィードバックの方法

課題提出は授業内で解説する。

(8)成績評価の方法と基準

課題提出を重視する。
検定試験を受験した学生には試験結果も成績評価に加算する。
平常点３０％、課題提出３０％、期末・模擬テスト４０％

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】『30時間アカデミック情報リテラシーOffice2016』 実教出版1,430円（税込）

【 参考書 】『日本語ワープロ検定試験模擬問題集』 ３級

『日本語ワープロ検定試験模擬問題集』 準２級／２級／１級

『パソコンスピード認定試験模擬問題集』（日本情報処理検定協会出版）

エステティックⅠ

ビューティーメイクコース・キャリア教養コース

1年次　　後期　　久保　優子

(1)ナンバー

Ｍ１２１・Ｃ１０６

(2)授業の到達目標

この授業ではエステティックにおける「フェイシャル」の基本技術の取得を目標においてる。

(3)授業の概要

ポイントクレンジング・クレンジング・マッサージ・パックの流れを中心としたフェイシャルケアの実技授業。それぞれの施術内容を取得していき、肌質に合わせた化粧品料を選定できるようになることを目標としています。相モデル（毎回組み合わせを教員が決定）で行う授業です。

(4)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

メイク・ネイルなどの技術と知識

(5)準備学習とそれに必要な時間

前回の授業で習った内容の復習（６０分）。次回に行う施術のプリントを読み、手を動かす練習（６０分）。手首の柔軟体操（３０分）。爪を短く切り、手の手入れを行う。（３０分）

(6)授業の進行計画

① エステティック理論①～エステティック基礎知識・エステ概論～
② エステティック理論②～フェイシャル概論～
③ フェイシャル実習①～セッテング・STタオル作り・ターバン巻き方・ウィッグ練習～
④ フェイシャル実習②～ウィッグ練習、ポイントクレンジング～
⑤ フェイシャル実習③～ポイントクレンジング・ベースクレンジング～
⑥ フェイシャル実習④～ポイントクレンジング・ベースクレンジング・シートパック～
⑦ フェイシャル実習⑤～クレンジング・ディープクレンジング（粒子あり）～
⑧ フェイシャル実習⑥～クレンジング・ディープクレンジング（粒子なし）～
⑨ フェイシャル実習⑦～クレンジング・ディープクレンジング（酵素）～
⑩ フェイシャル実習⑧～マッサージ軽擦法～
⑪ フェイシャル実習⑨～マッサージ強擦法～
⑫ フェイシャル実習１０～マッサージ軽擦法から強擦法まで～
⑬ フェイシャル実習11～テスト練習1～
⑭ フェイシャル実習１２～テスト練習２～
⑮ フェイシャル実習１３～確認テスト１～
⑯ フェイシャル実習１４～確認テスト２～

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出したレポートにはコメントを書いて返却する。

(8)成績評価の方法と基準

平常点（実習態度、レポート提出、ノート提出）５０％
テスト　５０％

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】なし　必要に応じプリント配布
【 参考書 】
【 教材費 】エステティック授業全般教材費　約２００００円

ネイルⅡ

ビューティメイクコース

1年次　遠藤　江美

＊前期にネイルＩを履修した方のみ履修が出来ます。

(1)ナンバー

Ｍ１１５

(2)授業の到達目標

１年次後期に実施されるＪＮＥＣ日本ネイリスト技能検定試験の合格とＪＮＡジェルネイル検定の合格を目標とする。

(3)授業の概要

ネイリストの基礎を中心に検定合格レベルを目標に実技・学科を進めて行き技術を身につける
*相モデル形式で練習をしますのでご自身のネイルはできません。

(4)卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)と当該授業科目の関連

ネイルの専門的な技術と知識を取得する。主に専門科目により、ネイルに関する理解を深め豊かな表現力を身につけ、社会の一員として貢献できる実践力を身につけている。

① ジェルネイルベーシック実技
② ジェルネイルベーシック実技
③ ジェルアート①（初級検定アート）
④ JNAジェルネイル初級概要・手順
⑤ JNAジェルネイル初級検定対策（筆記）
⑥ JNAジェルネイル初級筆記校内検定
⑦ リペア・イクステンションの定義
⑧ リペア・イクステンション（チップラップ①）
⑨ リペア・イクステンション（チップラップ②）
⑩ ポリッシュ別カラーリング定義
⑪ フラットアート（JNECネイリスト技能検定2級アート）
⑫ フラットアート（JNECネイリスト技能検定2級アート）
⑬ ジェルアート①
⑭ ジェルアート②
⑮ ジェルアート③（課題提出・コンテスト）
⑯ 後期学期末テスト（実技・筆記）

(6)課題に対するフィードバックの方法

授業課題をチェックし苦手分野を軌道修正していく。

(7)成績評価の方法と基準

積極的に検定に取り組んで頂きたく実習態度を重視する。JNEC認定校として40時間以上の授業時間が必要となるため欠席は4回以上は検定受験資格はあるが単位不認定とする。遅刻は2回で1日欠席扱いとなる。

(8)教科書・参考書・教材費

【教科書】JNECテクニカルシステム(テキスト2冊)・
【教材費】

＊検定受験希望者は以下の検定料と検定消耗品の購入が必要となります。
JNAジェルネイル技能検定初級検定料　9,900円
JNEC日本ネイリスト技能検定3級試験　6,800円
JNEC日本ネイリスト技能検定2級試験　9,800円
JNEC認定STハンド（ハンドでの受験の場合のみ）13,000円
（＊受験料金は個人の受験する級によって異なり、
検定希望者の方は検定問題集、用具の消耗品は別途購入が必要です。）

メイクアドバンスⅠ

ビューティーメイクコース

2年次　　前　期

岩 嵜 明 奈
新 谷 涼 子

実務家教員による授業科目 長年にわたり、大手化粧品会社に所属し、百貨店の美容部員として接客・マネジメント等の業務の経験や、メイクアップアーティストとしてメディアの第一線で活躍した経験を活かし、メイク業界の現場で実際に役立つ知識を指導する

⑴ナンバー

Ｍ１１０

（2）授業の到達目標

メイクアップというクリエーションにおいて大切な要素【応用技術】【感性】【創造】【分析】を身につけメイクアップアーティストに求められる知識・技術を習得する。

（3）授業の概要

今までに身に付けた基礎知識・基礎技術からさらにスキルアップを目指し、コンテスト入賞のための高度なメイク技術を身に付ける。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

メイク・ネイルなどの技術と知識

自分で考え、伝える力

（5）準備学習とそれに必要な時間

常にトレンドをキャッチし、雑誌やインターネットで最新のメイクやファッションをチェックし、どのように取り入れるかを研究しておくことが必要である。

（6）授業の進行計画

① メイクアップの基本テクニック（スキンケア～立体感ベースメイク）
② メイクアップの基本テクニック（ポイントメイクでの錯覚）
③ メイクの『質感』を知る①(ツヤ・グロッシィー)
④ メイクの『質感』を知る②(マット)
⑤ メイクの『質感』を知る③(ブロンズ肌)
⑥ メイクアップの『色』を知る①（ブラウン応用メイク）
⑦ メイクアップの『色』を知る②（カラフル）
⑧ メイクアップの『色』を知る③（スモーキーアイ）
⑨ メイクアップの『形』を知る①（ラインメイク）
⑩ メイクアップの『形』を知る②（ラウンドメイク）
⑪ メイクアップの『形』を知る③（陰影メイクとWライン）
⑫ 創作メイク演習（フェイスチャート・コンセプトの描き方）
⑬ 創作メイク演習（メイクデザイン）
⑭ 創作メイク演習（ヘアーデザイン）
⑮ 創作メイク演習（トータルヘアメイク）
⑯ 作品課題発表（撮影）

（7）課題に対するフィードバックの方法

作品の仕上がりをチェックし作業工程や苦手箇所を手直ししフィードバックする。

（8）成績評価の方法と基準

授業への取り組み意欲・平常点50％　　作品・課題・レポート提出・50％で評価を行う。

（9）教科書・参考書・教材費

【教科書】なし

【参考書】適宜紹介

【教材費】共同教材費　￥4,000

メイクカウンセリング

ビューティーメイクコース

２年次　前　期　　岩　嵜　明　奈

実務家教員による授業科目　長年にわたり、大手化粧品会社に所属し、百貨店の美容部員として接客・マネジメント等の業務を経験したことを生かし、メイク業界の現場で実際に役立つ知識を指導する

（１）ナンバー

Ｍ１０９

（２）授業の到達目標

メイクアップアドバイザーとして必要な『メイク知識』『メイク接客力』『接客マナー』『カウンセリング力』『メイクアドバイス力』を身につける。日本化粧品検定２級合格を目指す。

（３）授業の概要

美容業界やメイクの現場で仕事をしていくにあたって、知識や技術は言うまでもなく社会人としての礼儀や信頼される人間性が求められる。クライアントの気持ちを察し心から満足していただくために、メイクアップの知識、技術を踏まえた上で、接客やカウンセリングのスキルを磨き、自分ブランディングに繋げる。

（４） 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

メイク・ネイルなどの技術と知識
自分で考え、伝える力

（５）準備学習とそれに必要な時間

授業時だけでなく、日常生活においても人との接し方を考え、人と接する中でプロとしての接し方を学ぶ姿勢を忘れないようにする。

（６）授業の進行計画

① 日本化粧品検定２級対策（日本化粧品検定3級受験）
② 皮膚の構造としくみ
③ 肌悩みの見分け方とお手入れ
④ 肌悩みの原因とお手入れ①（乾燥・ニキビ・毛穴）
⑤ 肌悩みの原因とお手入れ②（シミ・くすみ・クマ・しわ）
⑥ 骨格に合わせたメイクアップ
⑦ パーソナルカラー
⑧ 肌を劣化させる要因
⑨ 生活習慣美容
⑩ 筋肉・ツボ・リンパ
⑪ 日本化粧品検定２級問題集対策
⑫ メイク接客の心得
⑬ メイク接客サービスの流れ
⑭ お客様満足度を高めるサービスとは
⑮ メイクカウンセリングの技法と手順
⑯ 日本化粧品検定２級試験

（７） 課題に対するフィードバックの方法

検定試験対策においては、一人ひとり苦手分野を把握させ、公式対策問題集を解きながら、わからないところは解説を行い理解させる。

（8）成績評価の方法と基準

取り組み意欲・平常点　50％　検定試験の合否結果30％、課題、レポート20％　で成績評価を行う。

（9）教科書・参考書・教材費

【教科書】日本化粧品検定2級対策テキスト
【参考書】適宜紹介
【教材費】日本化粧品検定２級検定費　　８８００円
一般社団法人日本化粧品検定協会・日本化粧品検定２級対策テキスト・主婦の友社　２，２００円

ネイルⅢ

ビューティメイクコース

＊ネイルⅠ・Ⅱを履修した方のみ履修が出来ます。

(1)ナンバー

Ｍ１１６

(2)授業の到達目標

JNECネイリスト技能検定2・1級取得・JNAジェルネイル中級・上級取得

(3)授業の概要

イクステンション技術の知識と技術・サロンワークに通ずる知識の習得
就職活動に活かせる資格習得

(4)卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)と当該授業科目の関連

ネイルの専門的な技術と知識を取得する。主に専門科目により、
ネイルに関する理解を深め豊かな表現力を身につけ、社会の一員として貢献できる
実践力を身につけている。

(5)授業の進行計画

① オリエンテーション（授業の進め方・教材配布・補講説明）
② アクリル基礎知識
③ プロダクトコントロール
④ 3Dアート
⑤ JNAジェルネイル中級校内検定（概要・内容・手順）
⑥ JNAジェル検定中級対策①（アート）
⑦ JNAジェル検定中級対策②
⑧ JNAジェル検定中級対策③
⑨ JNAジェル検定中級対策③
⑩ JNAジェルネイル中級校内検定
⑪ スカルプチュアフォームデモストレーション　実習
⑫ スカルプチュアフォームデモストレーション　実習
⑬ ３Dアート①（制作）
⑭ アクリル③
⑮ アクリル④
⑯ 前期学期末テスト（実技・筆記）

(6)課題に対するフィードバックの方法

授業課題をチェックし苦手分野を軌道修正していく。

(7)成績評価の方法と基準

積極的に検定に取り組んで頂きたく実習態度、課題提出重視する。
欠席は4回以上は検定受験資格はあるが単位不認定とする。

(8)教科書・参考書・教材費

【教科書】JNECテクニカルシステム(テキスト2冊)
【教材費】

2年次教材	約43,000円
	(消耗品は各自持参)

＊検定受験希望者は以下の検定料と検定消耗品の購入が必要となります。

JNAジェルネイル技能検定中級検定料	13,200円
JNAジェルネイル技能検定上級検定料	16,500円
JNEC日本ネイリスト技能検定2級試験	9,800円
JNEC日本ネイリスト技能検定1級試験	12,500円
JNEC認定STハンド （ハンドでの受験の場合のみ）	13,000円

（＊受験料金は個人の受験する級によって異なります。）

エステティックⅡ

ビューティーメイクコース・キャリア教養コース

2年次　　前期　　久保　優子

(1)ナンバー

Ｍ１２２・Ｃ１０７

(2)授業の到達目標

この授業ではエステティックにおける「フェイシャル」の応用技術を学び、デコルテから行うフェイシャルケア技術を身に付けることを目標にしている。

(3)授業の概要

デコルテから行うフェイシャルケアの実技授業。特にいろいろなマスク剤（パック剤）を取り扱うことにより、肌質に合った化粧品料を選定できるようになることを目標としている。相モデル（毎回組み合わせを教員が決定）で行う授業になります。デコルテから行いますので胸より上を露出する授業になります。

(4)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

メイク・ネイルなどの技術と知識

(5)準備学習とそれに必要な時間

前回の授業で習った内容の復習（60分）。次回に行う施術所（技術）のプリントを読み、手を動かす練習（60分）。手の柔軟体操（60分）。爪を短く切り手の手入れを行なう（60分）。

(6)授業の進行計画

① エステティック理論①～皮膚科学～
② エステティック理論②～皮膚科学Ⅱ～
③ フェイシャル実習①～セッティング～ST、ターバン、ウィッグで練習
④ フェイシャル実習②～ポイントクレンジング～
⑤ フェイシャル実習③～クレンジング～
⑥ フェイシャル実習④～マッサージ1～①復習
⑦ フェイシャル実習⑤～マッサージ2～揉捏法
⑧ フェイシャル実習⑥～マッサージ3～打法、振動法
⑨ フェイシャル実習⑦～ディープクレンジング～
⑩ フェイシャル実習⑧～シートパック～
⑪ フェイシャル実習⑨～クレイパック～
⑫ フェイシャル実習⑩～炭酸パック～
⑬ フェイシャル実習⑪～テスト練習（ピールオフパック）～
⑭ フェイシャル実習⑫～テスト練習（ピールオフパック）～
⑮ フェイシャル実習⑬～確認テスト（石膏パック）～
⑯ フェイシャル実習⑭～確認テスト（石膏パック）～

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出したレポートにはコメントを書いて返却する。

(8)成績評価の方法と基準

平常点（実習態度、レポート提出、ノート提出）50%
テスト　50%

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】なし　必要に応じてプリント配布
【 参考書 】
【 教材費 】エステティック授業全般教材費約20,000円
（エステティックⅠ履修者は教材費2000円）

撮影Ⅰ

ビューティーメイクコース／舞台芸術コース／キャリア教養コース

2年次　　前期　　新　谷　涼　子

実務家教員による授業科目19年にわたり、大手化粧品会社勤務やメイクアップアーテイストとしてメディアの第一線で活動した経験を生かしメイク業界の現場で実際に役立つ知識を指導する。

（1）ナンバー

Ｍ１２５／Ａ６０１／Ｃ１０８

（2）授業の到達目標

１年次に得た技術を基に、モデルにテーマに沿ったヘアメイクを考え施し、プロのフォトグラファーと撮影を行う。そして個人又はチームのポートフォリオを完成させる。

（3）授業の概要

ポートフォリオの重要性を理解し、定めたテーマに沿った作品撮りを行う。メイク以外のヘアスタイルや衣装、ポージング構図などもセルフプロデュースする。１テーマに沿った作品撮りを行う。１テーマ毎に、リサーチ、メイク画デッサン　→　テストヘアメイク　→　フォトグラファーによる撮影を行う。

（4）卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

・メイク、ネイルなどの技術と知識
・センス、マナー
・自分で考え伝える力

（5）準備学習とそれに必要な時間

積極的に雑誌や写真集、広告、様々なメディア分析・リサーチを行うこと(90分)。前回撮影した写真をよく見て、写真になった時のメイクの色の出方や、イメージの違いは何が原因でなぜ起きたのかをかなどを研究すること(90分)。

（6）授業の進行計画

① 撮影用のヘアメイクについて・リサーチとメイク画説明
② 撮影用デッサン
③ 撮影用ベース作り、
④ 撮影用ベース作り～ポイントメイク作り
⑤ 撮影用ヘア作り
⑥ 撮影のルールや撮影実践現場でのノウハウ
⑦ 【ナチュラル】課題説明（必要ならデモンストレーション）リサーチ・メイク画デッサン
⑧ 【ナチュラル】テストヘアメイク
⑨ 【ナチュラル】撮影（ポートフォリオ提出）
⑩ 【POP・color】課題説明（必要ならデモンストレーション）リサーチ・メイク画デッサン
⑪ 【POP・color】テストヘアメイク
⑫ 【POP・color】撮影（ポートフォリオ提出）
⑬ 【MODE】課題説明（必要ならデモンストレーション）リサーチ・メイク画デッサン
⑭ 【MODE】テストヘアメイク
⑮ 【MODE】撮影（ポートフォリオ提出）
⑯ 課題作品フィードバック・ポートフォリオ返却

（7）課題に対するフィードバックの方法

リサーチから撮影までの反省点改善点を提出してもらい、次回に活かせるようアドバイスする。

（8）成績評価の方法と基準

実習態度、創作意欲、などの平常点50%、ポートフォリオ・課題作品の完成度50%
出席回数が授業回数の3分の2に満たない場合は「単位不認定」とする。

（9）教科書・参考書・教材費

フォトグラファー撮影料（共同教材費含む）　11,500円

ブライダルⅠ

ビューティーメイクコース/舞台芸術コース/キャリア教養コース

２年次　前　期　　増　田　京　子
岩　嵜　明　奈

(1)ナンバー

Ｍ１２８

(2)授業の到達目標

ブライダルに関する基礎知識を養い、時代と共に変化する挙式、及び披露宴のスタイルを知ると共にウェディングプランナー検定取得を目指す。

(3)授業の概要

ブライダルプロデュースに関わる役割や結婚式を創り上げるための様々なノウハウを学習する。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

メイク・ネイルなどの技術と知識
自分で考え、伝える力

(5)準備学習とそれに必要な時間

５年先、１０年先のブライダルの未来を想像し、自ら結婚式を考え、結婚観や生き方を正せるよう取り組んでいただく。

(6)授業の進行計画

① 授業説明　オリエンテーション
② ウェディングプランナー検定対策授業　ヒューマン・言語・接客概論
③ ウェディングプランナー検定対策授業　実務概論
④ ウェディングプランナー検定対策授業　クリエイティブ・広告・経済概論
⑤ ウェディングプランナー検定対策授業　飲食概論・ブライダルビジネスパートナー
⑥ ウェディングプランナー検定対策授業　婚礼衣装（和装・洋装）
⑦ ウェディングプランナー検定対策授業　写真・映像・音響・照明
⑧ ウェディングプランナー検定対策授業　婚約・結婚指輪・しきたり法令・概論
⑨ ブライダル撮影①（コンセプトシート作成）
⑩ ブライダル撮影②（ドレス着付け）
⑪ ブライダル撮影③（ブライダルメイク実習）
⑫ ブライダル撮影④（ブライダルヘア実習）
⑬ ブライダル撮影⑤（ブライダルヘア実習２）
⑭ 撮影本番①（ウエディングフォト）
⑮ 撮影本番②（ウエディングフォト）
⑯ ウェディングプランナー検定試験

(7)課題に対するフィードバックの方法

作業工程のなかで苦手な箇所があればその都度手直しを行う。

(8)成績評価の方法と基準

受講の取り組み意欲・通常点60％　検定試験の合否結果と課題点40％で評価を行う。

(9)教科書・参考書・教材費

【教科書】榊原哲夫・ASSISTANT　WEDDING　PLANNER　テキスト(日本ウエディングプランナーネットワーク協会)
【参考書】適宜紹介
【教材費】共同教材費　　５２０円
　　テキスト費　２，５３０円
　　検定費　　３，８５０円

女性の発達心理学

ビューティーメイクコース／キャリア教養コース

２年次　　前期　　今峰　大樹

実務家教員による授業科目

臨床心理士、公認心理師として、現在もカウンセリングに従事している経験を生かし、
実社会のコミュニケーションに役立つ臨床心理の知識と技術を指導する。

（１）ナンバー

Ｍ１３０

（２）授業の到達目標

人が誕生してから死ぬまでの間に、どのような身体と心の発達を遂げ、変化していくかを理解すること。
特に女性に起こり得る様々な発達的特徴について理解すること。

（３）授業の概要

講義前半では、各発達段階における心身の特徴とその変化について講義する。講義後半では、女性ならではの発達的特徴について講義する。講義方法：PowerPointを用いて実施する。毎講義、前回の復習小テストを実施する。

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と該当授業科目の関連

「コミュニケーション力」獲得に関連する講義。

（５）準備学習とそれに必要な時間

復習小テストのための準備および授業内容の復習（30分）。

（６）授業の進行計画

① オリエンテーション：女性の発達心理学とは
② ライフサイクル理論
③ 「胎児期」
④ 「乳児期」
⑤ 「幼児期」
⑥ 「児童期」
⑦ 「青年期」
⑧ 「成人期」
⑨ 「高齢期」
⑩ 家族ライフサイクル
⑪ 妊娠・出産時期のリスク
⑫ 育児時期のリスク①
⑬ 育児時期のリスク②
⑭ ジェンダー
⑮ 講義のまとめ
⑯ 学期末試験

（７）課題に対するフィードバックの方法

復習小テストについては、講義中に採点・解説を実施。

（８）成績評価の方法と基準

学期末試験（30%）、毎講義はじめに行う復習小テスト（10%）、平常点と受講態度（60%）

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】
【 参考書 】*適宜紹介

日本語の教養

ビューティーメイク・舞台芸術・キャリア教養コース

２年次　前期　　水谷千秋

(1)ナンバー

Ｋ１３１

(2)授業の到達目標

リベラルアーツ・広い教養・自分で考え、伝える力

(3)授業の概要

日本語で読み、書き、考えるために、不可欠な知識と教養をこの講義で学ぶ。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

リベラルアーツ

(5)準備学習とそれに必要な時間

予習・テキストを読んでおく（60分）。復習・その日読んだテキストを読み直す（60分）

(6)授業の進行計画

① 日本語の特質
② 日本語の文章
③ 文章の種類
④ 散文を読む
⑤ 説明文の読み方１
⑥ 説明文の読み方２
⑦ 説明文の読み方３
⑧ 音読のしかた１
⑨ 音読のしかた２
⑩ 音読のしかた３
⑪ 文章を書いてみよう１
⑫ 文章を書いてみよう２
⑬ 文章を書いてみよう３
⑭ 文章作成と仕事１
⑮ 文章作成と仕事２
⑯ テスト

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出したレポートには、コメントを書いて返却する。

(8)成績評価の方法と基準

テスト80％　平常点20％

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書】 なし。プリントを用いる。

【 参考書 】

【 教材費 】

歴史と現代

ビューティーメイクコース／舞台芸術コース／教養コース

2年次　　前期　　水谷千秋

(1)ナンバー

Ｍ１０４

(2)授業の到達目標

ヒトという種が類人猿の祖先から枝分かれして以来、現在に至るまでの何百万年の歩みをふり返り、私たち人間が長い歴史の中で何を考え、何を行なってきたのかを考える。人間を時間の中で捉える歴史的視点を身につける。

(3)授業の概要

内外の古今の歴史家。知の巨人たちの叡智を読み解き、歴史を学ぶ意義、世界の歴史、日本の歴史について考える。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

リベラルアーツ・広い教養・社会貢献、充実した人生

(5)準備学習とそれに必要な時間

予習（60分）・復習（60分）

(6)授業の進行計画

① 知の巨人たちの求めたもの
② 人類の進化と心のルーツ
③ 神話・宗教・文明の誕生
④ 精神の革命・枢軸時代ー哲学・普遍宗教の誕生ー
⑤ 人類史の構造をとらえる試み
⑥ 現代史との対話ー近代という時代ー
⑦ 明治維新から敗戦までの77年
⑧ 戦争体験を語り継ぐー広島・長崎・沖縄・大阪ー
⑨ 日本の大陸侵略の記憶
⑩ 敗戦からコロナ禍までの77年
⑪ 平成、令和３つのショック
⑫ 人新世と気候危機
⑬ 新自由主義の影響
⑭ SNSとポピュリズム
⑮ 人間性の回復へー文学・芸術の役割ー
⑯ テスト

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出したレポートには、コメントを書いて返却する。

(8)成績評価の方法と基準

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】水谷千秋『教養の人類史　ヒトは何を考えてきたか』（文藝春秋）1,320円
【 参考書 】
【 教材費 】

障害者福祉論

ビュティーメイクコース/舞台芸術コース/キャリア教養コース
2年次　後期　金澤あつ子

(1) ナンバー
Ｋ１２６
(2) 授業の到達目標

障害＝バリアを理解し多様な人々が隔たりなく生活していくために社会はどうあるべきかを授業の中で考えていくことを目標とする。

(3) 授業の概要
できる限り事例に則しながら障害に対する基本的な理解の方法や主要なサービスの規程、自治体で利用できる障害者福祉関連制度などについて教授す

(4) ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）
自分で考え、伝える力

(5) 準備学習
テキストのみならず、参考書を熟読。ボランティアを体験する。
前回の授業の教科書を読み返す（60分）次回の教科書の範囲を読んでおく（60分）
(6) 授業の進行計画
① 「障害」の概念
② バリアの具体例、障害者福祉の基礎と展開、課題
③ バリアの具体例、障害者福祉の基礎と展開、課題
④ 障害の診断と療育。家族や親のサポート。就学支援
⑤ 障害の診断と療育。家族や親のサポート。就学支援
⑥ 障害の多様化、発達障害、重度、高齢化への対応
⑦ 障害の多様化、発達障害、重度、高齢化への対応
⑧ 福祉制度、障害者の権利とその侵害について。障害者差別
⑨ 福祉制度、障害者の権利とその侵害について。障害者差別
⑩ 生活基盤形成のための制度の利用と理解
⑪ 生活基盤形成のための制度の利用と理解
⑫ 自立を目指す（心的自立、経済的自立）
⑬ 自立を目指す（心的自立、経済的自立）
⑭ ボランティアの役割と育成
⑮ 障害者福祉の事例
⑯

(7) 課題に対するフィードバックの方法
提出されたレポート、テストの答案にコメントをつけ返却
(8) 成績評価の方法と基準
期末試験成績、出席状況、レポート課題等により総合的に評価する。

(9) 教科書・参考書・教材費
【 教科書 】 竹端寛　山下幸子　尾崎剛志　著 『障害者福祉』
ミネルヴァ書房　2020 年　2860円

社会心理学

ビューティーメイクコース／舞台芸術コース／キャリア教養コース

２年次　　後期　　今峰　大樹

実務家教員による授業科目

臨床心理士、公認心理師として、現在もカウンセリングに従事している経験を生かし、
実社会のコミュニケーションに役立つ臨床心理の知識と技術を指導する。

（１）ナンバー

Ｍ１３３

（２）授業の到達目標

個人とそれを取り巻く集団や環境の特徴を理解し、人と人が互いに影響を及ぼし合っている相互作用の視点の獲得を目指す。

（３）授業の概要

社会心理学諸領域の基礎知識や考え方を講義する。
講義方法：PowerPointを用いて実施。
毎講義、前回の復習小テストを実施する。

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と該当授業科目の関連

「コミュニケーション力」獲得に関連する講義。

（５）準備学習とそれに必要な時間

復習小テストのための準備および授業内容の復習（30分）。

（６）授業の進行計画

① オリエンテーション：社会心理学とは
② 社会的認知
③ ステレオタイプ
④ 社会的推論
⑤ 自己認知
⑥ 社会的態度
⑦ 対人行動
⑧ 人間関係
⑨ コミュニケーション
⑩ 組織と集団
⑪ 集団の影響
⑫ 社会的ジレンマ
⑬ インターネット
⑭ 文化
⑮ 講義のまとめ
⑯ 学期末試験

（７）課題に対するフィードバックの方法

復習小テストについては、講義中に採点・解説を実施。

（８）成績評価の方法と基準

学期末試験（30%）、毎講義はじめに行う復習小テスト（10%）、平常点と受講態度（60%）

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】
【 参考書 】*適宜紹介

メイクアドバンスⅡ

ビューティーメイクコース

２年次　　後　期　　岩　嵜　明　奈
新　谷　涼　子

実務家教員による授業科目　　長年にわたり、大手化粧品会社に所属し、百貨店の美容部員として接客・マネジメント等の業務の経験や、メイクアップアーティストとしてメディアの第一線で活躍した経験を活かし、メイク業界の現場で実際に役立つ知識を指導する。

（1）ナンバー

M111

（2）授業の到達目標

ショーメイクや作品制作に必要なプロフェッショナルな知識・技術を学ぶ。

（3）授業の概要

２年間の集大成としてメイクアドバンスで身につけた技術を中心に、自分の『感性』や『創造力』を駆使して記念に残る作品を制作していただきたい。

（4）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

メイク・ネイルなどの技術と知識
自分で考え、伝える力

（5）準備学習とそれに必要な時間

常にトレンドをキャッチし、雑誌やインターネットで最新のメイクやファッションをチェックし、どのように取り入れるかを研究しておくことが必要である。

（6）授業の進行計画

① ショーメイクでの活用①（デモンストレーション）
② ショーメイクでの活用②（色のバリエーション）
③ ショーメイクでの活用③（形のメイクアップ）
④ ショーメイクでの活用④(質感の出し方)
⑤ メイクの『ブランド』を知る①
⑥ メイクの『ブランド』を知る②
⑦ メイクの『ブランド』を知る③
⑧ メイクの『ブランド』を知る④
⑨ メイクの応用　模写(モード)
⑩ メイクの応用　模写(ダイナミック)
⑪ メイクの応用　模写（ヌーディー）
⑫ 学期末作品制作①(詳細説明・リサーチ)
⑬ 学期末作品制作①(コンセプト・メイクデザイン)
⑭ 学期末作品制作②(メイクデザイン・ヘアーデザイン)
⑮ 学期末作品制作③(トータルヘアーメイク)
⑯ 学期末作品制作発表

（7） 課題に対するフィードバックの方法

メイク後の仕上がりチェックで個々にアドバイスをし、苦手な個所やメイクの修整が必要なときは手直しを行っていく。

(8)成績評価の方法と基準

授業への取り組み意欲・平常点50％　　作品・課題・レポート提出・50％で評価を行う。

(9)教科書・参考書・教材費

【教科書】なし
【参考書】適宜紹介
【教材費】共同教材費　￥4,000

撮影Ⅱ

ビューティーメイクコース

２年次　　後期　　新　谷　涼　子

実務家教員による授業科目　19年にわたり大手化粧品勤務やメイクアップアーティストとして
メディアの第一線で活動した経験を生かし、メイクの現場で実際に役立つ知識を指導する。

（1）ナンバー

Ｍ１２６

（2）授業の到達目標

1年次に得た技術を基に、モデルにテーマに沿ったヘアメイクを施し、プロのフォトグラファーと　　撮影を行う。そして個人又はチームのポートフォリオを作成する。

（3）授業の概要

ポートフォリオの重要性を理解し、定めたテーマに沿った作品撮りを行う。メイク以外のヘアスタイルや衣装、ポージング構図などもセルフプロデュースする。1テーマ毎にリサーチ、デッサン→テストヘアメイク→実際に活躍しているフォトグラファーによる撮影を行う。※撮影Ⅰと撮影Ⅱの授業は続きの授業である。尚撮影Ⅱについては撮影Ⅰよりも高度なスキルを求める為撮影Ⅰを受講した学生が望ましい。

（4）卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

・メイク、ネイルなどの技術と知識
・センス、マナー
・自分で考え伝える力

（5）準備学習とそれに必要な時間

積極的に雑誌や写真集、広告、様々なメディア分析・リサーチを行うこと(90分)。前回撮影した写真をよく見て、写真になった時のメイクの色の出方や、イメージの違いは何が原因でなぜ起きたのかをかなどを研究すること(90分)。

（6）授業の進行計画

①【デザインヘアメイク】課題説明（必要ならデモンストレーション）
②【デザインヘア】ヘッドピース作り
③【デザインメイク】メイク素材作り
④【デザインヘアメイク】リサーチ・メイク画デッサン・道具作り
⑤【デザインヘアメイク】モデル練習
⑥【デザインヘアメイク】撮影→写真select
⑦【ヘアメイクショー】練習・準備
⑧【ヘアメイクショー】練習・準備
⑨【ロケーション・写真集制作】課題説明（必要ならデモンストレーション）リサーチ・メイク画デッサン
⑩【ロケーション・写真集制作】テストヘアメイク
⑪【ロケーション写真集制作】撮影→写真select
⑫【フリー課題テスト】リサーチ・デッサン、作品に必要な道具作り
⑬【フリー課題テスト】前半テストヘアメイク
⑭【フリー課題テスト】後半テストヘアメイク
⑮【フリー課題テスト】前半撮影
⑯【フリー課題テスト】後半撮影

(7)課題に対するフィードバックの方法

リサーチから撮影までの反省点改善点を提出してもらい、次回に生かせるようアドバイスする。

(8)成績評価の方法と基準

実習態度、創作意欲、などの平常点50%、ポートフォリオ・課題作品の完成度50%
出席回数が授業回数の3分の2に満たない場合は「単位不認定」とする。

(9)教科書・参考書・教材費

フォトグラファー撮影料（共同教材費含む）　11,500円

ネイルⅣ

ビューティメイクコース

２年次　後　期　　遠　藤　江　美

＊ネイルⅠⅡⅢを履修した方のみ履修が出来ます。

(1)ナンバー

Ｍ１１７

(2)授業の到達目標

JNEC・JNA検定対策を中心に、苦手分野を克服する。
就職活動に活かせるサロンワーク

(3)授業の概要

ネイルの専門的な技術と知識を取得する。主に専門科目により、ネイルに関する理解を深め豊かな表現力を身につけ、社会の一員として貢献できる実践力を身につけている。

(4)卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)と当該授業科目の関連

ネイルの専門的な技術と知識を取得する。主に専門科目により、ネイルに関する理解を深め豊かな表現力を身につけ、社会の一員として貢献できる実践力を身につけている。

(5)授業の進行計画

① スカルプチュア応用・３Dアート
② デザインスカルプチュア
③ 学園祭制作①
④ 学園祭制作②
⑤ 検定対策・サロンアート
⑥ 検定対策・サロンアート
⑦ マシーン①
⑧ マシーン②
⑨ 検定対策・サロンアート
⑩ 検定対策・サロンアート
⑪ 検定対策・成人式ネイル（チップ作成）
⑫ 検定対策・成人式ネイル（チップ作成）
⑬ マッサージ理論①
⑭ ハンド＆フットマッサージ
⑮ 総合テスト（実技・筆記）

(6)課題に対するフィードバックの方法

授業課題をチェックし苦手分野を軌道修正していく。

(7)成績評価の方法と基準

積極的に検定に取り組んで頂きたく実習態度、課題提出を重視する。
欠席は4回以上は検定受験資格はあるが単位不認定とする。遅刻は2回で1回欠席扱いとなる。

(8)教科書・参考書・教材費

【教材費】

＊検定受験希望者は以下の検定料と検定消耗品の購入が必要となります。

JNAジェルネイル技能検定中級検定料	13,200円
JNAジェルネイル技能検定上級検定料	16,500円
JNEC日本ネイリスト技能検定2級試験	9,800円
JNEC日本ネイリスト技能検定1級試験	12,500円
JNEC認定STハンド（ハンドでの受験の場合のみ）	13,000円

（＊受験料金は個人の受験する級によって異なります。）

メイクアドバンスⅢ

ビューティーメイクコース

2年次　　後 期　　岩嵜 明 奈
藤木 有希子

実務家教員による授業科目 長年にわたり、大手化粧品会社に所属し、百貨店の美容部員として接客・マネジメント等の業務の経験や、メイクアップアーティストとしてメディアの第一線で活躍した経験を活かし、メイク業界の現場で実際に役立つ知識を指導する

⑴ナンバー
Ｍ１１２

（2）授業の到達目標
プロフェッショナルな技術を学びメイクアップアーティストに求められる知識・技術を習得する。

（3）授業の概要
今までに身に付けた技術・知識をさらにスキルアップする為に現場のメイクをイメージした内容とする。

⑷卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連
メイク・ネイルなどの技術と知識
自分で考え、伝える力

（5）準備学習
プロフェッショナルな技術を学ぶために自らメイクツールを揃え、メイク道具は清潔に保つ。
メイクアップ技術の習得に、常に向上心を持って取り組みこと。

（6）授業の進行計画
① ビューティーメイクの為のスキンケア＆メイクテクニック
② ビューティーベースメイク
③ シーン別メイクアップ【イベントメイク】
④ シーン別ヘアメイクアップ【イベントヘア】
⑤ シーン別メイクアップ【和装メイク】
⑥ シーン別ヘアメイクアップ【和装ヘアメイク】
⑦ シーン別メイクアップ【パーティーメイク】
⑧ シーン別ヘアメイクアップ【パーティーヘア】
⑨ 年代別メイクアップ【1940年・1950年オードリー・ヘプバーン】
⑩ 年代別メイクアップ【1940年・1950年マリリンモンロー】
⑪ 年代別メイクアップ【1960年・1970年ツイッギー】
⑫ 年代別メイクアップ【1960年・1970年ファラフォーセット】
⑬ 年代別メイクアップ【1980年・1990年ジュリアナメイク】
⑭ 年代別メイクアップ【1990年・2000年平成ギャルメイク】
⑮ 年代別メイクアップ【2000年以降のトレンドメイク】
⑯

（7）課題に対するフィードバックの方法
作品の仕上がりをチェックし作業工程や苦手箇所を手直ししフィードバックする。

（8）成績評価の方法と基準
授業への取り組み意欲・平常点50％　　作品・課題・レポート提出・50％で評価を行う。

（9）教科書・参考書・教材費
【教科書】なし
【参考書】適宜紹介
【教材費】共同教材費　￥4,000

ブライダルⅡ

ビューティーメイクコース/舞台芸術コース/キャリア教養コース

２年次　後　期　　増　田　京　子
岩　嵜　明　奈

（１）ナンバー

Ｍ１２８

（２）授業の到達目標

ブライダルに関する基礎知識を養い、挙式、及び披露宴のスタイル、カウンセリング、ヘアセットを学ぶ。

（３）授業の概要

ブライダルの基礎知識、ヘアセットの基礎から結婚式でも使えるスタイルを中心とした実技指導及びディングショーの実践を行う。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

メイク・ネイルなどの技術と知識

自分で考え、伝える力

(5)準備学習とそれに必要な時間

５年先、１０年先のブライダルの未来を想像し、自ら結婚式を考え、結婚観や生き方を正せるよう取り組んでいただく。

(6)授業の進行計画

① 授業オリエンテーション
② ブライダル基礎知識①（ブライダル用語・カウンセリング知識）
③ ブライダル基礎知識②（美容用語・頭部名称）
④ ブライダルに関わる様々な職種と役割
⑤ ブライダヘアメイクの役割と基礎知識
⑥ ヘアセット基礎知識
⑦ ブライダルヘアセット実習①
⑧ ブライダルヘアセット実習②
⑨ ブライダルメイク実習
⑩ ブライダルヘアメイク実習
⑪ グループワーク①模擬挙式（コンセプトシート作成）
⑫ グループワーク②模擬挙式（ドレス選び）
⑬ グループワーク③模擬挙式（ヘアメイク）
⑭ グループワーク④模擬挙式（ブーケ作り）
⑮ コンセプト摸擬挙式本番　撮影①
⑯ コンセプト摸擬挙式本番　撮影②

（7）課題に対するフィードバックの方法

作業工程のなかで苦手な箇所があればその都度手直しを行う。

(8)成績評価の方法と基準

受講の取り組み意欲･通常点60％と課題点40％で評価を行う。

(9)教科書･参考書･教材費

【教科書】 随時プリントを配布

【教材費】　共同教材費　　２，０００円

女性の医学

舞台芸術コース・幼児教育コース・キャリア教養コース

１年次　前期　　永　野　美　里

(1)ナンバー

Ｋ１２７

(2)授業の到達目標

まず、自分（女性）の身体の仕組みを知る。女性ホルモンのバランスを知り、体調や精神に与える影響を学ぶ。また、女性の「体質」をきっちり理解することで、心身のセルフコントロールをできるよう目指す。

(3)授業の概要

人類には、男性と女性、小児から老人がいるように、個人個人が千差万別の外見、身体、心、生理機能といった特徴を持つ。美容に携わる時、身体や心の仕組み、皮膚の構造、生理機能を理解しておくことは大切である。そこで、授業ではまず女性の身体の構造と概要について講義し、精神、食事面からの「体質」について理解を深めるようレポートやグループワークを行う。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

広い教養、社会貢献・充実した人生、美容の知識・技術

(5)準備学習

前授業で配布されたプリントを確認しておく（60分）。次回の授業内容について下調べを行う（60分）。

(6)授業の進行計画

① オリエンテーション

② 男性と女性の脳の違いについて

③ 女性の身体について～生理周期とホルモンバランス～

④ 女性の痩せやすい体質作りⅠ～ダイエットについて～

⑤ 女性の痩せやすい体質作りⅡ～体質理解～

⑥ 女性の痩せやすい体質作りⅢ～個別カウンセリング～

⑦ 女性の皮膚・皮膚付属器官の構造について

⑧ 女性の肌管理について

⑨ 顔の筋肉構造について

⑩ 妊娠のしくみについて

⑫ 女性のライフデザインについて

⑬ 性感染症（STD）について

⑬ 妊娠と出産Ⅰ～産み分けについて～

⑭ 妊娠と出産Ⅱ～妊娠初期から中期へ～

⑮ 妊娠と出産Ⅲ～妊娠中期から後期へ～

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出したレポートにはコメントを書いて返却する。

(8)成績評価の方法と基準

平常点・受講態度（60％）、授業での提出物（40％）

(9)教科書・参考書・教材費

適宜プリント配布
共同使用教材、実習費として1500円

表現

舞台芸術コース

1年次　　前　期　　宇仁菅　　真

実務家教員による授業科目

約30年にわたり俳優として舞台やテレビなどに多数出演した経験を生かして、現場で役立つ知識と演技を指導する。

（1）ナンバー

Ａ１０１

（2）授業の到達目標

ステイタス（立場）による他者との関係、ひらめきなどの自由な行動表現を学ぶ。

（3）授業の概要

他者とのコミュニケーションを円滑にする会話や演技を指導する。アクティブラーニング（実習）

（4）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

自分で考え、伝える力。

（5）準備学習とそれに必要な時間

最初の授業で、これまでの自分の人生の１ページを語ってもらいます。動きやすい服装で受講すること。各回の終わりに次週の課題を与えるので、それのシュミレーションをしてくること。（最低10分）

（6）授業の進行計画

① 子供や動物は天才・・・大人の無気力
② 知性と感情・・・正しい人間関係
③ ステイタス・・・ゲーム感覚で立場の優劣について考える。
④ 喜劇と悲劇・・・開放と犠牲
⑤ 悪口・・・自意識過剰の防御策
⑥ 空間の把握・・・人のオーラ
⑦ 主人と召使い・・・ステイタスの応用
⑧ ひらめき・・・オリジナリティー
⑨ イエスとノー・・・受容と拒絶
⑩ プレゼント・・・セラピーテクニック
⑪ 叙述の技術・・・人を惹きつける技
⑫ 羅列・・・イメージの関連性
⑬ 歌唱①・・・課題曲
⑭ 歌唱②・・・自由曲
⑮ 劇作・・・対立の構図
⑯ まとめ

（7）課題に対するフィードバックの方法

各回チェックテストを行い、その都度修正すべき点を指導する。

（8）成績評価の方法と基準

実技、実技テスト（70％）　平常点（30％）

（9）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】　プリント配布
【 参考書 】
【 教材費 】

演技実習Ⅰ

舞台芸術コース

１年次　　前期　　稲葉　恵子

(1)ナンバー

Ａ５０１

(2)授業の到達目標

演技の基本を通じて　コミュニケーション能力を育成する

(3)授業の概要

心・技・体の訓練を繰り返し行う

(4)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

舞台芸術の知識と技術・自己プロデュース

(5)準備学習とそれに必要な時間

好奇心を持つて様々なものを観察しておくこと　例えば人間観察やどうぶつ観察　生の舞台観劇などで2時間

(6)授業の進行計画

① 感性を養うワークショップ
② 発声
③ 滑舌
④ リズム感を養うワークショップ
⑤ 間＝魔プラス身体表現
⑥ 寸劇
⑦ 寸劇
⑧ 独白
⑨ ナレーション
⑩ 創作落語
⑪ 創作落語
⑫ 少人数での演劇
⑬ 大人数での演劇
⑭ 演技試験課題の中から一つを選択
⑮ 発声の実技試験
⑯ 自ら選択した演技課題の実技試験

(7)課題に対するフィードバックの方法

これまでの授業から試験結果まで　感じたことをコメントする

(8)成績評価の方法と基準

実技試験70%　授業を受ける態度による平常点30%

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】教材適宜配布　各自筆記用具持参のこと
【 参考書 】
【 教材費 】

照明研究

舞台芸術コース

1年次　　前期　　今西　俊夫

(1)ナンバー

Ａ２０４

(2)授業の到達目標

舞台照明の基礎を理解し、上演芸術の歴史と舞台照明の役割を学ぶことを通じて、自己表現に活かす。
調光操作卓の基本操作を身につける。

(3)授業の概要

舞台照明の基本的な技術の習得と表現方法を学ぶことを通じて、上演芸術に対する理解を深め表現力を高めることを目指す。

(4)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

舞台芸術の知識と技術・

(5)準備学習とそれに必要な時間

前回の授業内容を確認し、自分の言葉でまとめる。（120分）

(6)授業の進行計画

① 照明器材の構造
② 照明器材の取り扱い
③ 舞台機構と舞台照明設備
④ 調光システムと調光操作卓
⑤ 調光操作卓の基本操作
⑥ 上演芸術に関わるスタッフワーク
⑦ 舞台芸術における照明の役割を
⑧ 上演芸術の歴史と舞台照明①
⑨ 上演芸術の歴史と舞台照明②
⑩ 光の特性
⑪ カラーフィルターについて
⑫ 基本的な照明オペレーション①～メモリーの打ち込み～
⑬ 基本的な照明オペレーション②～メモリーの修正～
⑭ 基本的な照明オペレーション③～メモリーのコピー～
⑮ 基本的な照明オペレーション④～メモリーの再生～
⑯

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出したレポート課題には、コメントをつけ返却する。

(8)成績評価の方法と基準

平常点50%　レポート課題50%

(9)教科書・参考書・教材費

必要に応じてレジュメを配布する。

ボーカル研究Ⅰ

舞台芸術コース

１年次　　前期　　煌海　ルイセ

(1)ナンバー

Ａ４０１

(2)授業の到達目標

正確な音程、リズム、表現法を学び、歌を通して各々の表現が出来るようになる。

(3)授業の概要

呼吸法、体の使い方や読譜を教えながら、様々なジャンルの課題曲を中心に歌唱法を学ばせる。

(4)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

舞台芸術の知識と技術

(5)準備学習とそれに必要な時間

課題の予習（６０分）復習（６０分）

(6)授業の進行計画

① 発声、ストレッチ、ブレスコントロール、自己PR、歌唱に対する自身の取り組み方の発表
② 発声、ストレッチ、ブレスコントロール、読譜、グループでの歌唱　　課題曲１
③ 発声、ストレッチ、ブレスコントロール、正しい音感を養う　　課題曲の歌唱技術向上
④ 発声、ストレッチ、ブレスコントロール、テスト（課題曲の歌唱）
⑤ 発声、ストレッチ、ブレスコントロール、基本的な音楽用語の説明、楽典
⑥ 発声、ストレッチ、ブレスコントロール、読譜、母音歌唱　　課題曲２
⑦ 発声、ストレッチ、ブレスコントロール、表現法を養う　　課題曲の歌唱技術向上
⑧ 発声、ストレッチ、ブレスコントロール、テスト（課題曲の歌唱）
⑨ 発声、ストレッチ、ブレスコントロール、読譜、グループでの歌唱　　課題曲３
⑩ 発声、ストレッチ、ブレスコントロール、歌詞の理解力を深める　　課題曲の歌唱技術向上
⑪ 発声、ストレッチ、ブレスコントロール、テスト（課題曲の歌唱）
⑫ 発声、ストレッチ、ブレスコントロール、読譜、グループでの歌唱　　課題曲４
⑬ 発声、ストレッチ、ブレスコントロール、リズム感を養う　　課題曲の歌唱技術向上
⑭ 発声、ストレッチ、ブレスコントロール、音楽の構成と成り立ち　　課題曲の歌唱技術向上
⑮ 発声、ストレッチ、ブレスコントロール、テスト（課題曲の歌唱）
⑯ 発声、ストレッチ、ブレスコントロール、表現力向上のグループワーク

(7)課題に対するフィードバックの方法

歌唱における克服した点と、克服すべき点を細かく指摘する。

(8)成績評価の方法と基準

授業態度　７０％　テスト結果　３０％として評価する。

(9)教科書・参考書・教材費

【 参考書 】　楽譜を随時プリント配布

動きやすい服装で参加すること。各自、筆記用具、鏡を持参すること。

子ども家庭支援の心理学

幼児教育コース

１年次　　後期　　谷　芳恵

実務家教員による授業科目

（１）ナンバー

Ｈ２０２

（２）授業の到達目標

①生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、各時期の移行、発達課題等について説明することができる
②家族・家庭の意義や機能、親子関係や家族関係等について発達的に理解し、子どもとその家庭を包括的に捉えることができる
③子育て家庭をめぐる現代の社会状況と課題を説明することができる
④子どもの精神保健とその課題について説明することができる

（３）授業の概要

子どもの発達を支える家族・家庭の機能について学ぶ。また、子どもだけではなく、親をはじめとする家族の発達についても心理学的観点から捉える。そのうえで、現代の子育て家庭が直面する課題に触れ、保育者としての家庭支援のあり方について考える。

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と該当授業科目の関連

「保育・幼児教育の知識と技術」、「自分で考え、伝える力」の獲得に関連する授業。

（５）準備学習とそれに必要な時間

各回テーマについて、テキスト該当ページを読んでくること。配布資料、テキスト、その他関連する資料を熟読し、復習に努めること。（60分）

（６）授業の進行計画

① オリエンテーション/家族・家庭とは何か
② 家族・家庭の理解(1) 親子関係・家族関係の理解
③ 生涯発達(1) 乳幼児期の発達
④ 生涯発達(2) 児童期～青年期の発達
⑤ 生涯発達(3) 成人期～老年期の発達
⑥ 個人と家族のライフサイクル
⑦ 家族・家庭の理解(2) 親としての育ち
⑧ 子育て家庭の現状と課題(1) 子育て家庭を取り巻く社会状況
⑨ 子育て家庭の現状と課題(2) ライフコースと仕事・子育て
⑩ 子育て家庭の現状と課題(3) 多様な家族とその理解
⑪ 子育て家庭の現状と課題(4) 特別な配慮を要する家庭
⑫ 子育て家庭の現状と課題(5) 不適切な養育等が疑われる家庭
⑬ 子どもの精神保健とその課題(1) 子どもの生活・生育環境とその影響
⑭ 子どもの精神保健とその課題(2) 子どもの心の健康に関わる問題
⑮ 子ども家庭支援における保育者の役割
⑯ 最終試験

（７）課題に対するフィードバックの方法

授業各回において確認テストまたはワークシートの提出を課し、翌授業回に採点・解説を行う。

（８）成績評価の方法と基準

平常点：確認テスト/ワークシート（30%）、受講態度（20%）
最終試験（50%）

（９）教科書・参考書・教材費

【　教科書　】沼山博・三浦主博（編著）「子どもとかかわる人のための心理学 -保育の心理学, 子ども家庭支援の心理学, 子どもの理解と援助への扉」（萌文書林）2,200円
【　参考書　】必要に応じて授業時に指示する。
【　教材費　】なし

ジェルネイル

舞台芸術・キャリア教養コース

１年次　前　期　　遠　藤　江　美

(1)ナンバー

Ａ７０８・Ｃ１２４

(2)授業の到達目標

ジェルネイルの基礎知識を理解した上でＪＮＡジェル検定初級筆記試験の取得を目指す。
またジェルネイルアートの様々なアート技法を学びます。

(3)授業の概要

ネイリストの基礎を中心に検定合格レベルを目標に実技・学科を進めて行き技術を身につける。

(4)準備学習とそれに必要な時間

授業内に取得した技術は復習を行い次の授業に臨む。

(5)授業の進行計画

① オリエンテーション（教材配布・準備~片付け、検定の説明）
② テーブルセッティング　・ジェル材料学
③ プレパレーション①
④ プレパレーション②
⑤ ジェルカラーリング①
⑥ ジェルカラーリング②
⑦ ＪＮＡジェルネイル技能検定初級学科・課題アート
⑧ ＪＮＡジェルネイル技能検定初級学科・課題アート
⑨ ジェルアート
⑩ ジェルアート
⑪ ジェルアート
⑫ ジェルアート
⑬ フットジェル
⑭ ネイルチップ制作
⑮ ネイルチップ制作
⑯ 学期末テスト（実技・筆記）

＊JNAジェルネイル初級筆記試験を受験する方は指定カリキュラムの履修時間があります。

(6)課題に対するフィードバックの方法

授業課題をチェックし苦手分野を軌道修正していく。

(7)成績評価の方法と基準

積極的に授業に取り組んで頂きたく毎回の課題提出･実習態度を重視する。欠席した分の制作は全て作成が必要となります。欠席は4回以上は検定受験資格はあるが単位不認定とする。遅刻は2回で1

(8)教科書･参考書･教材費

【教科書】JNECテクニカルシステム(テキスト1冊)
【教材費】

ジェルネイル教材一式	30,000円
JNAジェルネイル技能検定初級検定料（希望者のみ）	9,900円

＊ジェルネイルでまれにアレルギーを引き起こす場合があります。皮膚疾患やアレルギーがある場合は医師に相談してから履修してください。

ヒップホップダンスⅠ

舞台芸術コース

１年次　　前期　　Ｈａｓｓｙ

（1）ナンバー

Ａ３０１

（2）授業の到達目標

ダンスの基礎となるリズム感を養い、身体を使ってリズムを表現できるようになる

（3）授業の概要

身体の使い方によって様々な表現ができることを伝え、楽しむことの延長に学びがあることを教える

（4）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

舞台芸術の知識と技術

（5）準備学習とそれに必要な時間

授業前はストレッチを各自すませておく。授業後は学んだ動きを繰り返し練習し身体に馴染ませる

（6）授業の進行計画

① リズムの基礎　アップダウンを使ったリズム取り
② リズムの基礎　足首を使ったリズム取り
③ リズムの基礎　首を使ったリズム取り
④ リズムの基礎　肩を使ったリズム取り
⑤ リズムの基礎　ジャンプを使ったリズム取り
⑥ リズムの基礎　腕を使ったリズム取り
⑦ リズムの基礎　胸を使ったリズム取り
⑧ リズムの基礎　腰を使ったリズム取り
⑨ リズムの基礎　ステップを使ったリズム取り
⑩ リズムの基礎　ステップと①から⑨を混ぜた動きを使ったリズム取り
⑪ リズムの応用　①～⑩を繋げて一つのルーティンにする
⑫ リズムの応用　①～⑩で学んだ動きを中心とした振付
⑬ テスト課題となる振付前半
⑭ テスト課題となる振付後半
⑮ テスト前半
⑯ テスト後半

（7）課題に対するフィードバックの方法

授業内で一人一人発表する場を設け、アドバイスをする

（8）成績評価の方法と基準

平常点４０％
テスト６０％

（9）教科書

アニメ・イラスト基礎Ⅰ

舞台芸術コース・キャリア教養コース

1年次　　前期　　川原　伊織

（1）ナンバー

Ａ８０１・Ｃ３０１

（2）授業の到達目標

アニメ、コミックイラストにおける人物(キャラクター)を作画するための基本的描写力を身につける。

（3）授業の概要

人物の基本的な構造を学習し、基礎的な描き方を理解する。また、定期的なクロッキーを行い、人物のポーズ表現を身につけることを目指す。

（4）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

舞台芸術の知識と技術

（5）準備学習とそれに必要な時間

前回の授業内容を踏まえ、練習を行う。（60分）

（6）授業の進行計画

① 画材説明と基本的なイラスト用語
② 顔の描き方①
③ 顔の描き方②
④ 顔の描き方③
⑤ 顔の描き方④
⑥ 顔の描き方⑤
⑦ 顔の描き方⑥
⑧ 課題制作
⑨ 課題制作
⑩ 体の描き方①
⑪ 体の描き方②
⑫ 体の描き方③
⑬ 体の描き方④
⑭ 課題制作
⑮ 課題制作 講評
⑯

（7）課題に対するフィードバックの方法

提出した課題にはコメントでの返却、または授業内で解説する。

（8）成績評価の方法と基準

平常点20%　課題80%

（9）教科書・参考書・教材費

必要に応じてプリントを配布する。

基本的な筆記用具。A4サイズ前後のクロッキー帳、濃いめの鉛筆があると好ましい。初回授業で説明。

日本国憲法

舞台芸術コース／キャリア教養コース　　1年次　前期　　鷺森　正
幼児教育コース　　1年次　後期　　鷺森　正

（1）ナンバー

Ｈ８０１

（2）授業の到達目標

私たちの身近にある憲法がどのような意義・目的を有し、どのような役割をはたしているかを考えさせる。そして、次世代の国民を育てる教育に携わる者としての知性・知識の習得を目的とする。

（3）授業の概要

憲法を学ぶに際して必要となる基礎的な概念、歴史的背景を理解した上で、日本国憲法が保障する国民主権・基本的人権・平和主義の内容について理解を深める。現在、日本国憲法をめぐる諸問題について検討していく。

（4）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と該当授業科目の関連

リベラルアーツ・社会貢献・充実した人生

（5）準備学習とそれに必要な時間

日頃から日本国憲法に関するニュース・記事について関心をもつこと。教科書ならびに講義内容を復習し、課題演習に取り組む(６０分)

（6）授業の進行計画

① 憲法の定義と目的・基本原理
② 大日本帝国憲法と日本国憲法の比較
③ 日本国憲法前文
④ 天皇と象徴・国民主権
⑤ 基本的人権の尊重
⑥ 法の下の平等
⑦ 信教の自由と政教分離
⑧ 表現の自由・学問の自由・義務教育
⑨ 職業選択の自由・男女平等・財産権の保障
⑩ 生存権・健康で文化的に生きる権利・新しい人権
⑪ 立法と国会
⑫ 行政と内閣
⑬ 司法と裁判所
⑭ 地方自治
⑮ 平和主義・憲法第９条
⑯ テスト

（7）課題に対するフィードバックの方法

各項目ごとに演習課題を行い、次の授業で復習・確認を行う。

（8）成績評価の方法と基準

演習課題(平常点を含む)３０％・テスト７０％

（9）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】大学生のための日本国憲法　慶應義塾大学出版会１５００円＋税
【 参考書 】保育と日本国憲法　株式会社みらい　　２２００円

【 教材費 】

音響研究

舞台芸術コース

１年次　　後期　　原　野　　功

（１）ナンバー

Ａ２０１

（２）授業の到達目標

音の基礎を学び、自然の音と電気を使って増幅された音との違いを理解し、音響の役割が様々なシーンにおいての必要性を認識できる様にする。

（３）授業の概要

音響の基本、必要性、意義を実習を行いながら学ぶ。授業を通じ、自分でイベントの音響機器を操作できるようになることを目指す。

（４）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

舞台芸術の知識と技術

（５）準備学習とそれに必要な時間

舞台芸術やコンサート等で音響という役割について興味を持ち、その意味と役割を考えてみる。

（６）授業の進行計画

① 音とは？
② 音と、音響の役割について
③ 音の出る仕組みと機器
④ 音響概論１
⑤ 音響概論２
⑥ ミキサー実習１　（簡易ミキサー）
⑦ ミキサー実習２　（簡易ミキサー）
⑧ 音響概論３
⑨ 音響概論４
⑩ ミキサー実習１　（本格ミキサー）
⑪ ミキサー実習２　（本格ミキサー）
⑫ 音響概論５
⑬ 音響概論６
⑭ ミキサー実習１　（デジタルミキサー）
⑮ ミキサー実習２　（デジタルミキサー）
⑯ まとめ

（７）成績評価の方法と基準

課題実施後、授業にて確認、指導。

（８）教科書・参考書・教材費

技術点と授業態度で評価する。

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】 必要時　プリント配布

【 参考書 】 必要時　プリント配布

【 教材費 】

照明実習Ⅰ

舞台芸術コース

1年次　　後期　　今西　俊夫

(1)ナンバー

Ａ２０５

(2)授業の到達目標

照明研究で学んだ基本をもとに、実践的な照明の表現方法を学ぶ。実習を通じて的確なオペレーションを身につけ、プランニングの基本を学ぶ。

(3)授業の概要

実践的なオペレーションと、基本的なプランニングを通じて、表現力を高める方法論を身につけることを目指す。

(4)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

舞台芸術の知識と技術

(5)準備学習とそれに必要な時間

前回の授業の実習を振り返り、自己評価と反省点を明確にし、次回の実習に向けて課題を文章化する。（120分）

(6)授業の進行計画

① 照明オペレーション実習①～光の変化を考える～
② 照明オペレーション実習②～光の変化のスピード～
③ 照明オペレーション実習③～光の変化の流れを把握する～
④ 照明オペレーション実習④～的確な変化を実践する～
⑤ 照明オペレーション実習⑤～光の変化で表現する～
⑥ 照明オペレーション実習⑥～光の変化で表現する～
⑦ 基本的なプランニング①～光の色を考える～
⑧ 基本的なプランニング②～光の色の組み合わせ～
⑨ 基本的なプランニング③～光の方向性を考える～
⑩ 基本的なプランニング④～光の方向性の組み合わせ～
⑪ 基本的なプランニング⑤～光の強さを考える～
⑫ 基本的なプランニング⑥～光の色・方向性・強さの組み合わせ～
⑬ プランニング作品のオペレーション①
⑭ プランニング作品のオペレーション②
⑮ プランニング作品のオペレーション③
⑯

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出したレポート課題には、コメントをつけ返却する。

(8)成績評価の方法と基準

平常点50%　レポート評価50%

(9)教科書・参考書・教材費

必要に応じてレジュメを配布する。

演技実習Ⅱ

舞台芸術コース

１年次　　後期　　稲葉　恵子

(1)ナンバー

Ａ５０２

(2)授業の到達目標

読解力を養い　教材をもとに演じてみることで自己発見を目指す

(3)授業の概要

人前で演じるための　基本テクニックの訓練を積み重ねていく

(4)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

舞台芸術の知識と技術・自己プロデュース

(5)準備学習とそれに必要な時間

演技実習Ⅰで学んだことを自分のものとしておく（30分）演技実習Ⅱの発声課題　台詞を覚えていく（90分）

(6)授業の進行計画

① 戯曲からの発声・滑舌・息のコントロール
② 発声・滑舌・ワークショップ
③ 自己発見のための演劇
④ バラエティーな教材をもとに演じてみる
⑤ バラエティーな教材をもとに演じてみる
⑥ 身体表現を持つて演じてみる
⑦ 皆でディスカッションを交えながら感性を磨いていく
⑧ 少人数での演劇
⑨ 大人数での演劇
⑩ 大人数での演劇
⑪ 大人数での演劇
⑫ 演技試験課題の配布と説明　実習
⑬ 演技試験課題の中から二つを選択　実習
⑭ 発声の実技試験
⑮ シェイクスピア戯曲より発声の試験
⑯ 自ら選択した演技課題の実技試験

(7)課題に対するフィードバックの方法

演技実習ⅠⅡを通して得た一人一人の変化をコメントする

(8)成績評価の方法と基準

実技試験70%　授業を受ける態度による平常点30%

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】教材適宜配布　各自筆記用具持参のこと
【 参考書 】
【 教材費 】

声優実習Ⅰ（ナレーション）

舞台芸術コース

1年次　　後　期　　宇仁菅　　真

実務家教員による授業科目

約30年にわたり俳優として舞台やテレビなどに多数出演した経験を生かして、現場で役立つ知識と演技を指導する。

（1）ナンバー

Ａ５０４

（2）授業の到達目標

声を生みだすのは自分の身体であり、ストレッチ体操をしっかり行うことで、豊かな声量をめざす。ニュース、ラジオCM、映像ナレーションなどの技術を身につける。

（3）授業の概要

発声の基本から簡単な歌唱、ナレーションの台詞術を指導する。アクティブラーニング（実習）

（4）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

舞台芸術の知識と技術。

（5）準備学習とそれに必要な時間

日頃より、身体の柔軟性を保っておいてください。レッスン時はジャージなど動き易い服装、タオル、水を用意してください。前回の授業で使用した脚本を必ず読み返しておいてください。（60分）

（6）授業の進行計画

① 発声の基礎・・・腹式呼吸　リラックス
② 音域と感情・・・解放と緊張
③ 母音と子音・・・美しい日本語
④ 鼻濁音・・・美しい日本語
⑤ 五十音の発声・・・あめんぼ
⑥ ナレーション①・・・簡単なニュース
⑦ ナレーション②・・・簡単なCM
⑧ アクセント・・・朗読
⑨ イントネーション・・・会話文
⑩ プロミネンス・・・長文の朗読
⑪ アーティキュレーション・・・外郎売
⑫ フレージング・・・詩の朗読
⑬ 歌唱①・・・課題曲
⑭ 歌唱②・・・自由曲
⑮ ナレーション③・・・映像のナレーション
⑯ ナレーション④・・・映像のナレーション

（7）課題に対するフィードバックの方法

収録・試聴を行い、随時、問題点の指導を行う。

（8）成績評価の方法と基準

実技、実技テスト（70％）　平常点（30％）

（9）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】　プリント配布
【 参考書 】
【 教材費 】

ポピュラー音楽Ⅰ

舞台芸術コース

１年次　　後期　　中島　　岳

(1)ナンバー

Ａ４０３

(2)授業の到達目標

ポピュラー音楽の歴史や基本的な音楽理論に対する理解を深め、楽器の演奏を通して自分なりの表現ができるようになる。

(3)授業の概要

書籍や映像、音源を用いてポピュラー音楽の歴史を学んで行きます。ポピュラー音楽を演奏する為に必要な基本的な音楽理論を学びます。課題曲を決めてアンサンブルを行います。
授業では主にギターを使用します。

(4)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

舞台芸術の知識と技術

(5)準備学習とそれに必要な時間

前回の授業内容の確認、復習(60分)次回の授業内容の予習(60分)
例:楽曲のコード進行の確認、リズムの確認など。

(6)授業の進行計画

① 前半：オリエンテーション 後半：ポピュラー音楽の歴史1
② コード理論1
③ コード理論2
④ コード理論3
⑤ ポピュラー音楽の歴史2
⑥ アンサンブルの課題曲の分析
⑦ 課題曲の演奏技術の向上①
⑧ 課題曲の演奏技術の向上②
⑨ 前半:ポピュラー音楽の歴史3　後半:課題曲の演奏技術の向上③
⑩ 課題曲の演奏技術の向上④
⑪ 課題曲の演奏技術の向上⑤
⑫ 前半:ポピュラー音楽の歴史4　後半:課題曲の演奏技術の向上⑥
⑬ 課題曲の演奏技術の向上⑦
⑭ 課題曲の演奏技術の向上⑧
⑮ 課題曲の演奏技術の向上⑨
⑯ テスト(課題曲の演奏)

(7)課題に対するフィードバックの方法

毎授業内に教員が課題曲を確認し、演奏技術向上の為のアドバイスをする。

(8)成績評価の方法と基準

授業態度８０％、テスト結果２０％として評価します。

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】
【 参考書 】
【 教材費 】１，１００円（楽譜準備費用）
＊ギターは各自用意すること

ジャズダンスⅠ

舞台芸術コース

1年次　　後期　　ＡＹＡＮＡ

(1)ナンバー

Ａ３０４

(2)授業の到達目標

身体作り、軸づくりに重点を置き、外側で踊るのではなく、内側から踊るという意識を育む。その内側への意識が体の軸・芯の強さとして外側のパワーとなり、強さとしなやかさの両方をしっかりと表現できる魅力的なダンサーを育てる。

(3)授業の概要

毎回のレッスンで、ストレッチ、筋トレ、アイソレーション、リズムトレーニングを行い身体をつくる。また、踊りに安定感を出すため、プリエやタンジュなどのバレエの基礎で軸づくりもしていく。毎回のレッスンの後半では振り付けも行い、踊る楽しさ、流れの中で踊る気持ちよさも実感してもらう。

(4)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

舞台芸術の知識と技術・自己プロデュース

(5)準備学習とそれに必要な時間

柔軟や、振り付けのおさらいをしておく。

(6)授業の進行計画

① 踊るための基礎（アップ、筋トレ、柔軟、バランス）、コンビネーション（振りを付けて踊る）
② 踊るための基礎（アップ、筋トレ、柔軟、バランス）、コンビネーション（振りを付けて踊る）
③ 踊るための基礎（アップ、筋トレ、柔軟、バランス）、コンビネーション（振りを付けて踊る）
④ 踊るための基礎（アップ、筋トレ、柔軟、バランス）、コンビネーション（振りを付けて踊る）
⑤ 踊るための基礎（アップ、筋トレ、柔軟、バランス）、コンビネーション（振りを付けて踊る）
⑥ 踊るための基礎（アップ、筋トレ、柔軟、バランス）、コンビネーション（振りを付けて踊る）
⑦ 踊るための基礎（アップ、筋トレ、柔軟、バランス）、コンビネーション（振りを付けて踊る）
⑧ 踊るための基礎（アップ、筋トレ、柔軟、バランス）、コンビネーション（振りを付けて踊る）
⑨ 踊るための基礎（アップ、筋トレ、柔軟、バランス）、コンビネーション（振りを付けて踊る）
⑩ 踊るための基礎（アップ、筋トレ、柔軟、バランス）、コンビネーション（振りを付けて踊る）
⑪ 踊るための基礎（アップ、筋トレ、柔軟、バランス）、コンビネーション（振りを付けて踊る）
⑫ 踊るための基礎（アップ、筋トレ、柔軟、バランス）、コンビネーション（振りを付けて踊る）
⑬ 踊るための基礎（アップ、筋トレ、柔軟、バランス）、コンビネーション（振りを付けて踊る）
⑭ 踊るための基礎（アップ、筋トレ、柔軟、バランス）、コンビネーション（振りを付けて踊る）
⑮ 踊るための基礎（アップ、筋トレ、柔軟、バランス）、コンビネーション（振りを付けて踊る）
⑯ 実技テスト

(7)課題に対するフィードバックの方法

テーマを決め、（振り付け時のテーマや、基礎の時に意識する事など）一人一人に合ったアドバイスをする。

(8)成績評価の方法と基準

実習態度と授業内で行う実技テスト

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】
【 参考書 】
【 教材費 】

香粧品学

ビューティーメイク・舞台芸術・キャリア教養コース

2年次　　後期　　泉谷宜宏

(1)ナンバー

M101

(2)授業の到達目標

香粧品や基礎化粧品、メイクアップ用品の原材料の特性や性質を理解する。正しく理解することによって、肌の状態や季節、肌を取り巻く状況に応じて香粧品の正しい使い方ができるようになる。

(3)授業の概要

香粧品に関連する法律や規制の学習から始まり、化粧品と医薬部外品の相違点について理解を深める。香粧品の原材料の成分や特性を理解し、自分が使用している化粧品の長所・短所を理解する。

(4)卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)と当該授業科目の関連

自ら学んだ教養をもとに主体的に考え、社会に貢献し、自分自身も充実した人生を生きていこうとする意欲を抱かせる

(5)準備学習とそれに必要な時間

自分が使用している化粧品について、事前に会社名、ブランド名等を知っておく。

(6)授業の進行計画

① オリエンテーション

② 化粧品業界とメーカーについて

③ 香粧品の社会的意義と品質特性

④ 香粧品の社会的意義と品質特性規制

⑤ 香粧品の取り扱い

⑥ 香粧品用原料

⑦ 各化粧品メーカーの香粧品成分

⑧ 自分が使用している化粧品成分」

⑨ 自分の肌分析

⑩ 自分にあった化粧品探し

⑪ スキンケア用香粧品

⑫ メイクアップ用化粧品

⑬ メイクアップとスキンケアの重要性

⑭ 各化粧品メーカーの香粧品成分ブランド戦術

⑮ レポート作成

⑯ 期末試験

(7)成績評価の方法と基準

期末試験70%、各週回提出のレポート課題30%

(8)教科書・参考書

毎回プリントを配布する

アニメ・イラスト基礎Ⅱ

舞台芸術コース・キャリア教養コース

1年次　　後期　　川原　伊織

（1）ナンバー

Ａ８０２・Ｃ３０２

（2）授業の到達目標

「アニメ・イラスト基礎Ⅰ」での内容を踏まえ、様々な表現方法でのキャラクター描写、デジタルイラストの基礎を身につける。

（3）授業の概要

デジタルイラストソフトを使用し、キャラクター制作を行う。

（4）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

舞台芸術の知識と技術

（5）準備学習とそれに必要な時間

前回の授業内容を踏まえ、練習を行う。（60分）

（6）授業の進行計画

① デジタルイラストの基礎知識①
② デジタルイラストの基礎知識②
③ デジタルイラストの基礎知識③
④ デジタルイラストの基礎知識④
⑤ デジタルイラストの基礎知識⑤
⑥ 課題制作
⑦ 課題制作
⑧ デジタルイラストの基礎知識⑥
⑨ **ミニキャラを描く①**
⑩ **ミニキャラを描く②**
⑪ **ミニキャラを描く③**
⑫ レイヤー差分を使ったイラスト①
⑬ 課題制作
⑭ 課題制作
⑮ 講評
⑯

（7）課題に対するフィードバックの方法

提出した課題にはコメントでの返却、または授業内で解説する。

（8）成績評価の方法と基準

平常点20%　課題80%

（9）教科書・参考書・教材費

必要に応じてプリントを配布する。

デジタルイラスト環境必須。「アイビスペイント」を使用予定。授業初回で説明。

音響実習Ⅰ

舞台芸術コース

２年次　　前期　　原　野　　功

（1）ナンバー

Ａ２０２

（2）授業の到達目標

イベントやＰＡ録音の仕組みを理解し、自分でイベントの音響セッティングと、オペレーションが出来るレベルを目指す。

（3）授業の概要

録音や、PAの必要性や役割を理解し、実習を通じて、機器の理解や、実技をマスターし、自分たちで、イベントを企画して、実行し、改良点等を探りながら、身に着けていく。マルチトラックレコーディングの手法について理解する。

（4）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

舞台芸術の知識と技術

（5）準備学習とそれに必要な時間

特に、必要はないが、疑問に思ったことは、その場で質問してくれれば、良い。

（6）授業の進行計画

① イベントで音響さんは　どんな役割？
② PAとは？　録音との　違いは？
③ マイクの役割と種類
④ ミキサーって何するもの？
⑤ ミキサーを理解するために・・
⑥ PAに　必要な機材の理解と接続方法
⑦ ブロックダイヤグラムって何？
⑧ 自分たちで音を出してみる
⑨ ハウリングはなぜ起こる？
⑩ 音響調整ってどうするの？
⑪ 大型ミキサーをさわってみる。
⑫ 自分たちでイベントを企画してみる。
⑬ 企画した、イベントを自分たちだけやってみる。
⑭ イベントで、旨く行ったところ、行かなかったところを振り返る
⑮ 疑問や、質問に答える
⑯ まとめ

（7）課題に対するフィードバッグの方法

課題実施後、授業にて確認、指導。

（8）成績評価の方法と基準

授業態度60％、技術点40％

（9）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】 必要時　プリント配布

【 参考書 】 必要時　プリント配布

【 教材費 】

照明実習Ⅱ

舞台芸術コース

2年次　　前期　　今西　俊夫

(1)ナンバー

Ａ２０６

(2)授業の到達目標

実践的なオペレーションとプランニングを学び、作品として仕上げることで、より高度な表現方法を学ぶ。

(3)授業の概要

感覚やイメージといった抽象を具体化するプランニングとオペレーションを身につけることで、作品として表現を成立させることを目指す。

(4)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

舞台芸術の知識と技術

(5)準備学習とそれに必要な時間

前回の授業での実習を振り返り、自己評価と反省点を明確にし、次回の授業への課題を文章化する。（120分）

(6)授業の進行計画

① 照明プランニング実習①～イメージの明確化～
② 照明プランニング実習②～イメージの明確化～
③ 照明プランニング実習③～イメージを色で表現する～
④ 照明プランニング実習④～イメージを色で表現する～
⑤ 照明プランニング実習⑤～イメージを光の方向性で表現する～
⑥ 照明プランニング実習⑥～イメージを光の方向性で表現する～
⑦ 照明プランニング実習⑦～イメージを光の強さで表現する～
⑧ 照明プランニング実習⑧～イメージを光の強さで表現する～
⑨ 照明プランニング実習⑨～光の要素を組み合わせ表現する～
⑩ 照明プランニング実習⑩～光の要素を組み合わせ表現する～
⑪ プランニング作品のオペレーション①
⑫ プランニング作品のオペレーション②
⑬ プランニング作品のオペレーション③
⑭ プランニング作品のオペレーション④
⑮ プランニング作品のオペレーション⑤
⑯

(7)課題に対するフィードバックの方法

プランニング作品には、コメントをつけ、返却する。

(8)成績評価の方法と基準

平常点50%　作品評価50%

(9)教科書・参考書・教材費

必要に応じてレジュメを配布する。

声優実習Ⅱ（アニメアテレコ）

舞台芸術コース

２年次　前　期　宇仁菅　　真

実務家教員による授業科目

約30年にわたり俳優として舞台やテレビなどに多数出演した経験を生かして、現場で役立つ知識と演技を指導する。

（１）ナンバー

Ａ５０５

（２）授業の到達目標

アニメ動画に声をあて、絵に力を与える声量と技術を身につける。

（３）授業の概要

絵を追うだけでなく、イマジネーションに満ちた台詞術を指導する。アクティブラーニング（実習）

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

舞台芸術の知識と技術。

（５）準備学習とそれに必要な時間

日頃から活字に親しむ時間を作りましょう。筆記用具、水を持参ください。各回の脚本を下読み、声出し練習しておくこと。（60分）

（６）授業の進行計画

① オリエンテーション・・・アテレコの基本
② 発声・・・腹式呼吸と胸式呼吸
③ 実習・・・アニメ台本①の解読
④ 実習・・・アテレコ練習（感情）
⑤ 実習・・・アテレコ練習（身体表現）
⑥ 実習・・・収録
⑦ 実習・・・試聴
⑧ ラジオドラマ・・・イメージの具体化
⑨ ラジオドラマ・・・役作り
⑩ 実習・・・アニメ台本②の解読
⑪ 実習・・・アテレコ練習（速度への対応）
⑫ 実習・・・アテレコ練習（アドリブ・息の使い方）
⑬ 実習・・・アテレコ練習（ウィット・ジョーク）
⑭ 実習・・・収録
⑮ 実習・・・試聴
⑯ まとめ

（７）課題に対するフィードバックの方法

収録・試聴を行い、その都度、問題点の指導を行う。

（８）成績評価の方法と基準

実技、実技テスト（70％）　平常点（30％）

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】　プリント配布
【 参考書 】
【 教材費 】

ポピュラー音楽Ⅱ

舞台芸術コース

２年次　　前期　　中島　　岳

(1)ナンバー

Ａ４０４

(2)授業の到達目標

ポピュラー音楽の歴史や基本的な音楽コード理論に対する理解を深め、楽器の演奏を通して自分なりの表現ができるようになる。

(3)授業の概要

書籍や映像、音源を用いてポピュラー音楽の歴史を学んでいきます。ポピュラー音楽を演奏するために必要な基本的な音楽コード理論を学びます。課題曲を決めてアンサンブルを行います。授業では主にギターを使用します（初心者、未経験者でも問題ありません）。

(4)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

舞台芸術の知識と技術

(5)準備学習とそれに必要な時間

課題の予習・復習

(6)授業の進行計画

① 前半：ポピュラー音楽の歴史１　後半：ギター（楽器）の魅力について（ミニライブ有り）
② 前半：コード理論１　後半：ギターの扱い方（セッション、メンテナンス）
③ 前半：コード理論２　後半：コード理論で学んだコードを弾いてみよう。
④ 前半：コード理論3　後半：コード進行に合わせて弾いてみよう。
⑤ 前半：ポピュラー音楽の歴史２　後半：アンサンブルしてみよう。
⑥ アンサンブルの課題曲の分析
⑦ 課題曲の演奏技術の向上
⑧ 課題曲の演奏技術の向上
⑨ 前半：ポピュラー音楽の歴史3　後半：課題曲の演奏技術の向上
⑩ 課題曲の演奏技術の向上
⑪ 課題曲の演奏技術の向上
⑫ 前半：ポピュラー音楽の歴史4　後半：課題曲の演奏技術の向上
⑬ 課題曲の演奏技術の向上
⑭ 課題曲の演奏技術の向上
⑮ 本番のシュミレーション
⑯ テスト（課題曲の演奏）

(7)課題に対するフィードバックの方法

グループごとに課題曲を発表し、お互いに評価し合う。

(8)成績評価の方法と基準

授業態度80%、テスト結果20%として評価します。

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】
【 参考書 】
【 教材費 】１，１００円（楽譜準備費用）
＊ギターは各自用意すること

演技実習Ⅲ

舞台芸術コース

２年次　前　期　宇仁菅　　真

実務家教員による授業科目

約30年にわたり俳優として舞台やテレビなどに多数出演した経験を生かして、現場で役立つ知識と技術を指導する。

（１）ナンバー

Ａ５０３

（２）授業の到達目標

心と身体の開放、バランスのとれた演技力を身につけ、役作りを学ぶ。

（３）授業の概要

距離感と間を大切にした演技術を身につけさせる。アクティブラーニング（実習）

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

自己プロデュース。

（５）準備学習とそれに必要な時間

日頃より、身体の柔軟性を保っておいてください。レッスン時はジャージなど動き易い服装、タオル、水を用意してください。各回の脚本の下読みをやっておくこと。（60分）

（６）授業の進行計画

① 実習・・・脚本の読解～黙読
② 実習・・・情報分析～探偵のように
③ 実習・・・音読～感情を探る
④ 実習・・・音読～距離感と間
⑤ 実習・・・荒立ち稽古（距離感）
⑥ 実習・・・荒立ち稽古（平面図の把握）
⑦ 実習・・・本稽古（役作り）
⑧ 実習・・・本稽古（貫通行動）
⑨ 実習・・・本稽古（デフォルメ）
⑩ 実習・・・本稽古（コミュニケーション）
⑪ 実習・・・本稽古（ステイタス）
⑫ 実習・・・本稽古（通し）
⑬ 実習・・・本稽古（通し）
⑭ 実習・・・本稽古（通し）
⑮ 実習・・・チーム発表（テスト）
⑯ 実習・・・チーム発表（テスト）

（７）課題に対するフィードバックの方法

演技実習を通して問題点があれば、その都度、細かい指導を行う。

（８）成績評価の方法と基準

実技、実技テスト（70％）　平常点（30％）

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】　プリント配布
【 参考書 】
【 教材費 】

ミザンス（ステージング）

舞台芸術コース

２年次　　前期　　煌海　ルイセ

(1)ナンバー

Ａ１０２

(2)授業の到達目標

体の使い方を学び、体現法を学ぶ。

(3)授業の概要

歌唱、演技、ダンス等の様々な表現を通して、魅せ方を学ばせる。

(4)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

舞台芸術の知識と技術、自己プロデュース

(5)準備学習とそれに必要な時間

課題の予習（６０分）復習（６０分）

(6)授業の進行計画

① 発声、ストレッチ、基本的な感情表現のワーク
② 発声、ストレッチ、基本的な感情表現のワーク
③ 発声、ストレッチ、グループでの演技課題を通して空間の使い方を学ぶ。
④ 発声、ストレッチ、グループでの演技課題を通して空間の使い方を学ぶ。
⑤ 発声、ストレッチ、テスト（演技課題の発表）
⑥ 発声、ストレッチ、筋トレ、ダンスを通してリズム感を養い、美しい体の使い方を学ぶ。
⑦ 発声、ストレッチ、筋トレ、ダンスを通してリズム感を養い、美しい体の使い方を学ぶ。
⑧ 発声、ストレッチ、筋トレ、ダンスを通して空間の使い方、魅せ方を学ぶ。
⑨ 発声、ストレッチ、筋トレ、ダンスを通して空間の使い方、魅せ方を学ぶ。
⑩ 発声、ストレッチ、筋トレ、テスト（ダンス課題の発表）
⑪ 発声、ストレッチ、読譜、グループでの歌唱
⑫ 発声、ストレッチ、マイクを使用した歌唱での動き方を学ぶ。
⑬ 発声、ストレッチ、歌唱による空間の使い方、魅せ方を学ぶ。
⑭ 発声、ストレッチ、歌唱による空間の使い方、魅せ方を学ぶ。
⑮ 発声、ストレッチ、テスト（歌唱課題の発表）
⑯ 発声、ストレッチ、体現による表現力向上のグループワーク

(7)課題に対するフィードバックの方法

各課題に対し努力した点と、今後の課題を細かく指摘する。

(8)成績評価の方法と基準

授業態度　７０％　テスト結果　３０％として評価する。

(9)教科書・参考書・教材費

【 参考書 】　課題を随時プリント配布

動きやすい服装、靴で参加すること
各自、筆記用具を持参すること。

日本国憲法

ビューティーメイクコース

２年次　前期　　髙岡　潤徳

（１）ナンバー

Ｈ８０１

（２）授業の到達目標

私たちの身近にある憲法がどのような意義・目的を有し、どのような役割をはたしているかを考えさせる。そして、次世代の国民を育てる教育に携わる者としての知性・知識の習得を目的とする。

（３）授業の概要

憲法を学ぶに際して必要となる基礎的な概念、歴史的背景を理解した上で、日本国憲法が保障する国民主権・基本的人権・平和主義の内容について理解を深める。現在、日本国憲法をめぐる諸問題について検討していく。

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と該当授業科目の関連

リベラルアーツ・社会貢献・充実した人生

（５）準備学習とそれに必要な時間

日頃から日本国憲法に関するニュース・記事について関心をもつこと。教科書ならびに講義内容を復習し、課題演習に取り組む(６０分)

（６）授業の進行計画

① 憲法の定義と目的・基本原理
② 大日本帝国憲法と日本国憲法の比較
③ 日本国憲法前文
④ 天皇と象徴・国民主権
⑤ 基本的人権の尊重
⑥ 法の下の平等
⑦ 信教の自由と政教分離
⑧ 表現の自由・学問の自由・義務教育
⑨ 職業選択の自由・男女平等・財産権の保障
⑩ 生存権・健康で文化的に生きる権利・新しい人権
⑪ 立法と国会
⑫ 行政と内閣
⑬ 司法と裁判所
⑭ 地方自治
⑮ 平和主義・憲法第９条
⑯ テスト

（７）課題に対するフィードバックの方法

各項目ごとに演習課題を行い、次の授業で復習・確認を行う。

（８）成績評価の方法と基準

演習課題(平常点を含む)３０％・テスト７０％

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】大学生のための日本国憲法　慶應義塾大学出版会１，５００円＋税
【 参考書 】
【 教材費 】

キャリアデザイン概論Ⅲ

キャリア教養コース

２年次　　前期　　後藤　弥雪

（１）ナンバー

Ｃ１２９

（２）授業の到達目標

就職後のキャリアイメージを明確にし、社会に出るまでの準備を整える。
社会においての基礎知識を身につけ、スムーズな社会人１年目になるようマインドセットする。

（３）授業の概要

前半では、キャリアデザインシートを用いて自分だけのキャリアデザインを設計する。
また、個別相談を実施し、自身のキャリアについての不安を解消する。
後半では、社会保障制度や資産運用、保険等、
社会の常識として知っておくべき基礎を身につける。

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

キャリアデザイン、自分で考え、伝える力、社会貢献・充実した人生

（５）準備学習

過去、現在、未来の自分について考え、アウトプットできるようにしておくこと。

（６）授業の進行計画

① オリエンテーション
② キャリアデザインとは
③ キャリアデザイン設計①
④ キャリアデザイン設計②
⑤ キャリアデザイン設計③
⑥ 個別相談（A）
⑦ 個別相談（B）
⑧ キャリアデザインシート
⑨ 個別就職相談＆企業紹介
⑩ 社会保障制度の基礎知識
⑪ 資産運用の基礎知識①
⑫ 資産運用の基礎知識②
⑬ 保険の基礎知識
⑭ 課題提出＆フィードバック（A）
⑮ 課題提出＆フィードバック（B）
⑯ まとめ

（７）課題に対するフィードバックの方法

提出レポートに対しコメントをつけ返却する。

（８）成績評価の方法と基準

期末レポート５０％、平常点５０％

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】プリントにて配布
【 参考書 】
【 教材費 】

ヒップホップダンスⅡ

舞台芸術コース

２年次　　前期　　Ｈａｓｓｙ

（1）ナンバー

Ａ３０２

（2）授業の到達目標

リズム感の応用を中心とした動きを習得し幅広い振付を踊ることができるようになる

（3）授業の概要

基礎の重要さとそこから広がる応用の楽しさを実践の中で伝える

（4）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

舞台芸術の知識と技術

（5）準備学習とそれに必要な時間

授業前はストレッチを各自すませておく。授業後は学んだ動きを繰り返し練習し身体に馴染ませる

（6）授業の進行計画

① リズムの応用　ターンを駆使したリズムコンビネーション
② リズムの応用　①を取り入れた振付前半
③ リズムの応用　①を取り入れた振付後半
④ リズムの応用　足首を使ったリズムコンビネーション
⑤ リズムの応用　④を取り入れた振付前半
⑥ リズムの応用　④を取り入れた振付後半
⑦ リズムの応用　胸を駆使したリズムコンビネーション
⑧ リズムの応用　⑦を取り入れた振付前半
⑨ リズムの応用　⑦を取り入れた振付後半
⑩ リズムの応用　腰を駆使したリズムコンビネーション
⑪ リズムの応用　⑩を取り入れた振付前半
⑫ リズムの応用　⑩を取り入れた振付後半
⑬ テスト課題となる振付前半
⑭ テスト課題となる振付後半
⑮ テスト前半
⑯ テスト後半

（7）課題に対するフィードバックの方法

授業内で一人一人発表する場を設け、アドバイスをする

（8）成績評価の方法と基準

平常点４０％
テスト６０％

（9）教科書

ジャズダンスⅡ

舞台芸術コース

２年次　　前期　　ＡＹＡＮＡ

（１）ナンバー

Ａ３０５

（２）授業の到達目標

ダンサーとして、華のある存在感を身に付ける。基礎となる身体の軸を鍛える。

（３）授業の概要

ダンサーとしての基本的な身体作りをしながら、音楽に合わせて表現をする楽しさを伝える。アップテンポのリズミカルなものから、歌詞の意味を捉えて表現するバラードなど、様々な踊りを通して、与えられた振りを自分の中に取り入れて自分らしくアウトプットすることの大切さを指導します。

（４）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

舞台芸術の知識と技術・自己プロデュース

（５）準備学習とそれに必要な時間

（６）授業の進行計画

① 自己紹介、ストレッチ、筋トレ、アイソレーション、振付①
② ストレッチ、筋トレ、アイソレーション、振付②
③ ストレッチ、筋トレ、アイソレーション、振付③
④ ストレッチ、筋トレ、アイソレーション、振付④
⑤ ストレッチ、筋トレ、アイソレーション、振付⑤
⑥ 実技テスト（振付①～⑤までをすべて繋げた踊り）
⑦ ストレッチ、筋トレ、アイソレーション、バレエ基礎、振付⑥
⑧ ストレッチ、筋トレ、アイソレーション、バレエ基礎、振付⑦
⑨ ストレッチ、筋トレ、アイソレーション、バレエ基礎、振付⑧
⑩ ストレッチ、筋トレ、アイソレーション、バレエ基礎、振付⑨
⑪ 実技テスト（振付⑥～⑨までをすべて繋げた踊り）
⑫ ストレッチ、筋トレ、アイソレーション、バレエ基礎、振付⑩
⑬ ストレッチ、筋トレ、アイソレーション、バレエ基礎、振付⑪
⑭ ストレッチ、筋トレ、アイソレーション、バレエ基礎、振付⑫
⑮ ストレッチ、筋トレ、アイソレーション、バレエ基礎、振付⑬
⑯ 実技テスト（振付⑩～⑬までをすべて繋げた踊り）

（７）課題に対するフィードバックの方法

希望者には実技テストの採点を伝え、より良くなるようアドバイスをします。それぞれの課題を明確にして、克服できるように指導します。

（８）成績評価の方法と基準

授業態度、平常点５０％、実技テスト５０％　　実技テストでは、振付を正しく覚えているか、身体を大きく動かせているか、表現しようとしているか等、様々な観点から評価します。

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】
【 参考書 】
【 教材費 】

アニメ・イラスト研究Ⅰ

舞台芸術コース・キャリア教養コース

2年次　　前期　　川原　伊織

（1）ナンバー

Ａ８０３・Ｃ３０３

（2）授業の到達目標

1年次「アニメ・イラスト基礎Ⅰ」「アニメ・イラスト基礎Ⅱ」での内容を踏まえ、アニメイラストを制作する上での自身に必要な技術を習得する。

（3）授業の概要

作家の研究と模写。シュチュエーションに沿ったキャラクターイラストを制作する。

（4）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

舞台芸術の知識と技術

（5）準備学習とそれに必要な時間

前回の授業内容を踏まえ、練習を行う。（60分）

（6）授業の進行計画

① 様々なキャラクターを描く①
② 様々なキャラクターを描く②
③ 様々なキャラクターを描く③
④ 様々なキャラクターを描く④
⑤ 様々なキャラクターを描く⑤ 講評
⑥ **ヴィネットイラスト①**
⑦ **ヴィネットイラスト②**
⑧ **ヴィネットイラスト③**
⑨ **ヴィネットイラスト④**
⑩ **ヴィネットイラスト⑤ 講評**
⑪ 作家の研究・模写①
⑫ 作家の研究・模写②
⑬ 作家の研究・模写③
⑭ 作家の研究・模写④
⑮ 作家の研究・模写⑤ 講評
⑯

（7）課題に対するフィードバックの方法

提出した課題にはコメントでの返却、または授業内で解説する。

（8）成績評価の方法と基準

平常点20%　課題80%

（9）教科書・参考書・教材費

必要に応じてプリントを配布する。

基本的な筆記用具。デジタルイラスト環境、またはアナログ画材。

芸術と文明

舞台芸術コース／幼児教育コース／教養コース

2年次　　後期　　水谷千秋

(1)ナンバー

Ｋ１２８

(2)授業の到達目標

２１世紀の世界を生きていく上で必須の教養となる古今東西の芸術作品を、それらが生み出された諸文明の中で捉え、歴史的・総合的に理解する。

(3)授業の概要

世界の歴史において各地域で展開した諸文明と宗教（ユダヤ教・キリスト教・仏教・儒教・道教など）、これを代表する優れた芸術作品～絵画・彫刻・建築・詩・小説など～をとりあげ、人類文化を総合的に考察する。授業では、パワーポイントを使用し、さまざまな芸術作品を大画面で鑑賞する。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

リベラルアーツ・広い教養・国際的な社会人

(5)準備学習とそれに必要な時間

美術館・博物館に行くなど、日頃より芸術に触れる機会を持つよう努めて下さい。復習・その日読んだ部分のテキストを読み直す（120分）

(6)授業の進行計画

① 人類の誕生と言語・芸術の発生～チンパンジーの描いた絵と洞窟絵画～

② 古代文明の発生～オリエント・エジプトの宗教・神話と芸術～

③ 旧約聖書とその時代～神話としての聖書～

④ ギリシアの神話と文明～哲学と芸術と演劇～

⑤ 永遠の都ローマとキリスト教～古代から中世へ～

⑥ 仏教の始まりと伝播～文明の生態史観・釈迦の思想～

⑦ 古代中国文明～東アジア世界のルーツ・論語・老子・荘子の教え～

⑧ 日本古代の国家形成と文明～古墳と神話と寺院～

⑨ 平安時代の日本文明～源氏物語とその世界～

⑩ 鎌倉新仏教～法然・親鸞の思想～

⑪ わび・さびの美意識～禅と日本文化～

⑫ ルネサンス～西洋近代の始まり・ダヴィンチ・ミケランジェロ～

⑬ 飾りの日本文化～狩野派・宗達・琳派の世界～

⑭ 西洋美術の近代化と日本～印象派と浮世絵の出会い～

⑮ 20世紀の芸術と文明～映像と小説と戦争の時代～

⑯ テスト

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出したレポートには、コメントを書いて返却する。小テストをした場合は答案を返却し、回答を授業内で解説する。

(8)成績評価の方法と基準

テスト70%、平常点30%

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】水谷千秋『教養の人類史 ヒトは何を考えてきたか』（文藝春秋）1,320円

【 参考書 】

【 教材費 】

舞台スタッフワーク

舞台芸術コース

２年次　後　期　宇仁菅　真　他

実務家教員による授業科目

演出家、音楽家、衣装スタッフ、写真家として舞台活動に携わった経験を生かして、現場で役立つ知識を身につけさせる。

（１）ナンバー

Ａ１０４

（２）授業の到達目標

舞台に関わるスタッフワークを学び、現場で通用する技術を修得する。

（３）授業の概要

各分野の専門家が、実践を交えて指導を行う。アクティブラーニング（実習）

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

自分で考え、伝える力。

（５）準備学習

機会があれば、演劇、オペラ、古典芸能などの舞台を鑑賞しておいていただきたい。

（６）授業の進行計画

①オリエンテーション・・・舞台用語
② 舞台衣装・小道具・・・歴史
③ 舞台衣装・小道具・・・製作
④ 舞台衣装・小道具・・・製作
⑤ 舞台衣装・小道具・・・製作
⑥ 舞台衣装・小道具・・・製作
⑦ 舞台衣装・小道具・・・製作
⑧ 音楽・・・作詞作曲
⑨ 音楽・・・作詞作曲
⑩ 音楽・・・グループサウンド
⑪ 音楽・・・グループサウンド
⑫ 音楽・・・グループサウンド
⑬ 音楽・・・グループサウンド
⑭ 写真・・・写真の基本
⑮ 写真・・・写真の実践
⑯ まとめ

（７）課題に対するフィードバックの方法

提出されたノート、簡易テストのチェックと再テストの徹底を行う。

（８）成績評価の方法と基準

ノート提出、簡易テスト、作品評価（70%） 平常点（30%）

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】　プリント配布
【 参考書 】
【 教材費 】　７０００円

舞台芸術論

舞台芸術コース

２年次　後　期　宇仁菅　　真

実務家教員による授業科目

約30年にわたり俳優として舞台やテレビなどに多数出演した経験を生かして、現場で役立つ知識を身につけさせる。

（１）ナンバー

Ａ１０３

（２）授業の到達目標

制作、演出、美術、著作権、歴史など舞台芸術に関する総合的な知識を身につける。

（３）授業の概要

舞台芸術に関わるスタッフと芸能実演家が行う仕事を理解させる。討論・発表

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

舞台芸術の知識と技術。

（５）準備学習とそれに必要な時間

機会があれば、演劇、オペラ、古典芸能などの舞台を鑑賞しておいていただきたい。（最低3作品）

（６）授業の進行計画

① 舞台芸術専門家の仕事…プロデューサー　脚本家
② 舞台芸術専門家の仕事…演出家　美術家
③ 舞台芸術専門家の仕事…照明家　音楽家
④ 舞台芸術専門家の仕事…舞台監督
⑤ 舞台芸術専門家の仕事…広報
⑥ 舞台機構設備・・・ホール　楽屋
⑦ 舞台の専門用語・・・現場対応のためには
⑧ ペーパーテスト①・・・前半の成果確認
⑨ 舞台メイク・・・基本～年齢・役柄まで
⑩ 舞台メイク（歌舞伎）・・・芸者　鬘頭
⑪ 世界の演劇史・・・ギリシャ～ルネサンス
⑫ 世界の演劇史・・・中世～現代
⑬ 舞台芸術と法律・・・著作権
⑭ 舞台芸術と法律・・・著作権
⑮ 文化経済学・・・俳優の誕生～演出家の時代
⑯ ペーパーテスト②・・・後半の成果確認

（７）課題に対するフィードバックの方法

板書事項のノート提出のチェックとペーパーテストの返却、再テストの徹底を行う。

（８）成績評価の方法と基準

ノート提出、ペーパーテスト（70％）　平常点（30％）

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】　プリント配布
【 参考書 】
【 教材費 】

音響実習Ⅱ

舞台芸術コース

２年次　　後期　　原　野　　功

（１）ナンバー

Ａ２０３

（２）授業の到達目標

イベントやＰＡ録音の仕組みを理解し、自分でイベントの音響セッティングと、オペレーションが出来るレベルを目指す。

（３）授業の概要

録音や、PAの必要性や役割を理解し、実習を通じて、機器の理解や、実技をマスターし、自分たちで、イベントを企画して、実行し、改良点等を探りながら、身に着けていく。マルチトラックレコーディングの手法について理解する。

（４）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

舞台芸術の知識と技術

（５）準備学習とそれに必要な時間

特に、必要はないが、疑問に思ったことは、その場で質問してくれれば、良い。

（６）授業の進行計画

① イベントで音響さんは　どんな役割？
② PAとは？　録音との　違いは？
③ マイクの役割と種類
④ ミキサーって何するもの？
⑤ ミキサーを理解するために・・
⑥ PAに　必要な機材の理解と接続方法
⑦ ブロックダイヤグラムって何？
⑧ 自分たちで音を出してみる
⑨ ハウリングはなぜ起こる？
⑩ 音響調整ってどうするの？
⑪ 大型ミキサーをさわってみる。
⑫ 自分たちでイベントを企画してみる。
⑬ 企画した、イベントを自分たちだけやってみる。
⑭ イベントで、旨く行ったところ、行かなかったところを振り返る
⑮ 疑問や、質問に答える
⑯ まとめ

（７）課題に対するフィードバッグの方法

課題実施後、授業にて確認、指導。

（８）成績評価の方法と基準

授業態度60％、技術点40％

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】 必要時　プリント配布

【 参考書 】 必要時　プリント配布

【 教材費 】

声優実習Ⅲ（外国映画アフレコ）

舞台芸術コース

２年次　後　期　宇仁菅　　真

実務家教員による授業科目

約30年にわたり俳優として舞台やテレビなどに多数出演した経験を生かして、現場で役立つ知識と演技を指導する。

（１）ナンバー

Ａ５０６

（２）授業の到達目標

速度があり、量の多い台詞を感情表現を交えて話せる技術を身につける。

（３）授業の概要

声優としてプロの世界に通用する実力を身につけさせる。アクティブラーニング（実習）

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

舞台芸術の知識と技術。

（５）準備学習とそれに必要な時間

日頃より、活字に親しんでおいてください。レッスン時は筆記用具、水を用意してください。各回の脚本を下読み、声出し練習しておくこと。（60分）

（６）授業の進行計画

① オリエンテーション
② 外国映画アフレコの基本
③ 実習・・・外国映画①の台本解読
④ 実習・・・アフレコ練習（感情）
⑤ 実習・・・アフレコ練習（アドリブ・息の使い方）
⑥ 実習・・・アフレコ練習（距離感と間）
⑦ 実習・・・収録
⑧ 実習・・・収録
⑨ 実習・・・試聴
⑩ 実習・・・外国映画②の台本解読
⑪ 実習・・・アフレコ練習（ウィット・ジョーク）
⑫ 実習・・・アフレコ練習（台詞術）
⑬ 実習・・・アフレコ練習（速度への対応）
⑭ 実習・・・収録
⑮ 実習・・・収録
⑯ 実習・・・試聴、まとめ

（７）課題に対するフィードバックの方法

収録・試聴を行い、その都度、問題点の指導を行う。

（８）成績評価の方法と基準

実技、実技テスト（70％）　平常点（30％）

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】　プリント配布
【 参考書 】
【 教材費 】

ステージメイク

舞台芸術コース

2年次　　前期　　新　谷　涼　子

実務家教員による授業科目19年にわたり、大手化粧品会社やメイクアップアーテイストとして、メディアの第一線で活動した経験を生かし、メイク業界の現場で実際に役立つ知識を指導する。

（１）ナンバー

Ａ６０３

（２）授業の到達目標

舞台表現の内容（演劇・ダンス・パフォーマンス）に応じたメイクアップ方法を習得する。

（３）授業の概要

役を創り上げるうえで不可欠なメイクアップ。舞台用化粧品について学び、場面に応じた技術と知識を身に付ける。

（４）卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

・メイク、ネイルなどの技術と知識
・自分で考え、伝える力

（５）準備学習とそれに必要な時間

様々な分野の舞台を積極的に鑑賞、リサーチし、メイクのイメージを把握しておくこと。　クリアファイルを用意してください

（６）授業の進行計画

① ステージメイクについて説明・老人メイクレクチャー。
② 老人メイク実習
③ ハロウィンメイクー傷レクチャー
④ ハロウィンメイクー傷実習
⑤ ステージメイク白塗り（ペイント・フェイスケーキ）について説明・レクチャー
⑥ ステージメイク白塗り実習・舞子レクチャー
⑦ 舞子実習①
⑧ 舞子実習②
⑨ 歌舞伎レクチャー
⑩ 歌舞伎
⑪ スカルメイク・ピエロメイク・キャッツメイクの説明・レクチャー
⑫ スカルメイク・ピエロメイク・キャッツメイクリサーチデッサン
⑬ スカルメイク・ピエロメイク・キャッツメイクから選択実習
⑭ スカルメイク・ピエロメイク・キャッツメイクから選択実習
⑮ 実技選択テスト・リサーチデッサン
⑯ 実技選択実習テスト

（７）課題に対するフィードバックの方法

毎回の授業で課題のメイクに必要な化粧品、メイク手順を配布レポート用紙に書いてもらい後日まとめて提出。実習の中で個々それぞれに合わせてアドバイスやフィードバックを行う。

（８）成績評価の方法と基準

実習態度、参加意欲、メイクの完成度50％　　テスト、提出物50％
出席回数が授業回数の3分の2に満たない場合は「単位不認定」とする。

（９）教科書・参考書・教材費

【 教材費 】舞台用化粧品（共同使用）　8,000円

文学入門

舞台芸術コース・キャリア教養コース

１年次　後期　　水谷千秋

(1)ナンバー

Ａ７０７・Ｃ１１４

(2)授業の到達目標

中原中也の詩とカフカの小説『変身』を読む。

(3)授業の概要

まず中原中也の詩、次に「変身」を講読し、その読解していく。その文学的な意味、中也とその周辺、中也の人生を見ていき、続いて「変身」の文学性、哲学的意味について考える。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

リベラルアーツ・自ら考え、伝える力

(5)準備学習とそれに必要な時間

予習と復習。日頃から新聞を読む習慣をつけること。

(6)授業の進行計画

① 文学とは何か
② 日本と西洋の文学観ー共通性と相違点ー
③ 近代の名詩
④ 中原中也の詩①
⑤ 中原中也の詩②
⑥ 中原中也の詩③
⑦ 中原中也の詩④
⑧ 中原中也の詩⑤
⑨ カフカ『変身』①
⑩ カフカ『変身』②
⑪ カフカ『変身』③
⑫ カフカ『変身』④
⑬ カフカ『変身』⑤
⑭ カフカ『変身』⑥
⑮ まとめ
⑯ テスト

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出したレポートには、コメントを書いて返却する。

(8)成績評価の方法と基準

テスト70％　平常点30％

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書】『中原中也詩集』、カフカ『変身』
【 教材費 】

アニメ・イラスト応用Ⅰ

舞台芸術コース・キャリア教養コース

2年次　　前期　　川原　伊織

（1）ナンバー

Ａ８０５・Ｃ３０４

（2）授業の到達目標

「アニメ・イラスト研究Ⅰ」での内容を踏まえ、商品向けイラスト展開を身に着ける。

（3）授業の概要

商品として利用する想定のイラスト制作を行う。

（4）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

舞台芸術の知識と技術

（5）準備学習とそれに必要な時間

前回の授業内容を踏まえ、練習を行う。（60分）

（6）授業の進行計画

① **テーマに沿ったキャラクターデザイン①**
② **テーマに沿ったキャラクターデザイン②**
③ **テーマに沿ったキャラクターデザイン③**
④ **テーマに沿ったキャラクターデザイン④**
⑤ **テーマに沿ったキャラクターデザイン⑤**
⑥ **個人でも始められるイラスト依頼・販売について**
⑦ **グッズ化を想定したイラスト制作①**
⑧ **グッズ化を想定したイラスト制作②**
⑨ **グッズ化を想定したイラスト制作③**
⑩ **グッズ化を想定したイラスト制作④ 講評**
⑪ LINEスタンプを想定したイラスト制作①
⑫ LINEスタンプを想定したイラスト制作②
⑬ LINEスタンプを想定したイラスト制作③
⑭ LINEスタンプを想定したイラスト制作④
⑮ LINEスタンプを想定したイラスト制作⑤ 講評
⑯

（7）課題に対するフィードバックの方法

提出した課題にはコメントでの返却、または授業内で解説する。

（8）成績評価の方法と基準

平常点20%　課題80%

（9）教科書・参考書・教材費

必要に応じてレジュメを配布する。

基本的な筆記用具。デジタルイラスト環境、またはアナログ画材。

健康科学

幼児教育コース

１年次　　前期　　足立　博子

(1)ナンバー

Ｈ６０１

(2)授業の到達目標

環境および生活習慣と健康との関係について授業で得た知識に基づき、自身や社会の健康に意識を向け、より健康的な生活の構築に向けて積極的に取り組む姿勢と実行力を身につけることを目標とする。

(3)授業の概要

発育発達および加齢と身体活動をはじめとする生活行動の関係について講義を行う。特に、乳幼児を取り巻く現代の社会環境と健康に関する課題、保育者を志す自身の生活と健康の維持向上についての考察を促す。

(4)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術

(5)準備学習とそれに必要な時間

現代社会全体や子ども達が直面している健康課題について、メディアなどを通じて知見を広げておく(60分)。前回のプリントを読み返しておく(60分)。

(6)授業の進行計画

① 現代社会における健康問題について
② 身体活動と健康について
③ 食生活と健康について
④ 休養と健康について
⑤ ストレスと健康について
⑥ 発達発育と健康について
⑦ 女性のライフステージと健康について
⑧ 日常生活における応急処置について

(7)課題に対するフィードバックの方法

毎回授業時に確認テストを行い、授業内で返却・解説を行う。レポートはコメントを書いて返却する。

(8)成績評価の方法と基準

毎回授業時の確認テスト(80%)　レポート(20%)

(9)教科書・参考書・教材費

【　教科書　】
【　参考書　】出村慎一「テキスト保健体育」大修館書店 2011年 1980円
【　教材費　】

社会的養護　Ⅰ

幼児教育コース

１年次　前期　　鷺森　正

（１）ナンバー

Ｈ　１　０　５

（２）授業の到達目標

社会的養護の基礎知識を習得する。児童福祉施設の目的を理解し、児童福祉の動向、施策への理解を深める。さらに虐待などの問題への支援についても学ぶ

（３）授業の概要

社会的養護の現状と保育士の役割について学ぶ。児童福祉施設の具体的な役割の理解を深めながら、保育士としてどのように向き合い、支援することがもとめられているかを学ぶ。

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と該当授業科目の関連

自分で考え、伝える力・保育・幼児教育の知識と技術

（５）準備学習とそれに必要な時間

日頃より新聞・ニュース等で社会・家族・子ども等について関心をもつこと。各授業の予習（６０分）・各授業の復習を兼ねた課題演習で内容の確認（６０分）

（６）授業の進行計画

① 社会的養護の意義と変換
② 児童の権利擁護と社会的養護
③ 児童家庭福祉としての社会的養護
④ 社会的養護の原理Ⅰ　養育
⑤ 社会的養護の原理Ⅰ　保護
⑥ 社会的養護の原理Ⅰ　子どもであることへの回復
⑦ 社会的養護の原理Ⅰ　生活文化と生活力の習得
⑧ 社会的養護の原理Ⅰ　生命倫理感の醸成
⑨ 社会的養護の制度と実施体系
⑩ 施設養護の実際①
⑪ 施設養護の実際②
⑫ 施設養護の実際③
⑬ ヤングケアラーについて
⑭ ヤングケアラー支援事例
⑮ 社会的養護の現状と課題
⑯ テスト

（７）課題に対するフィードバックの方法

各項目ごとの課題演習を行い、次の授業で復習確認する

（８）成績評価の方法と基準

課題演習（平常点を含む）３０％・テスト７０％

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】児童の福祉を支える社会的養護Ⅰ　萌文書林　２２００円
【 参考書 】

【 教材費 】

保育の心理学

幼児教育コース

１年次　　前期　　谷　芳恵

実務家教員による授業科目

（１）ナンバー

Ｈ２０１

（２）授業の到達目標

①保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識をふまえ、発達を捉える視点について理解することができる
②子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を深めることができる　③子どもの学びの過程や特性について基礎的な知識を習得し、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義を理解することができる

（３）授業の概要

子どもの発達について、身体・運動・感情・言語・認知・社会性などの側面からとらえる。また、学習理論、動機づけ、集団づくりなど、子どもの学びに関する基礎的知識について学習する。それにより、養護及び教育の一体性や発達に即した援助、子どもの主体的学習 を支える指導のあり方について考えていく。

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と該当授業科目の関連

「保育・幼児教育の知識と技術」

（５）準備学習とそれに必要な時間

各回テーマのテキスト該当ページを読んでくること。配布資料、テキスト、その他関連する資料を熟読し、復習に努めること。（60分）

（６）授業の進行計画

① オリエンテーション－保育の心理学とは
② 子どもの発達の規定因・発達を理解することの意義
③ 発達理論
④ 子どもの学びに関わる理論
⑤ 乳児期の子どもの発達
⑥ 幼児期前期の子どもの発達
⑦ 幼児期後期の子どもの発達
⑧ 児童期・青年期の発達
⑨ 認知の発達
⑩ 身体的機能と運動機能の発達
⑪ 社会情緒的発達
⑫ 言語の発達とコミュニケーション
⑬ 子どもの学びにおける動機づけ
⑭ 子どもの学びにおける集団
⑮ 乳幼児期の学びを支える保育
⑯ 最終試験

（７）課題に対するフィードバックの方法

授業各回において確認テストを課し、翌授業回に採点・解説を行う。

（８）成績評価の方法と基準

平常点：確認テスト（30%）、受講態度（20%）
最終試験（50%）

（９）教科書・参考書・教材費

【　教科書　】沼山博・三浦主博（編著）「子どもとかかわる人のための心理学 -保育の心理学，子ども家庭支援の心理学，子どもの理解と援助への扉」（萌文書林）2,200円
【　参考書　】必要に応じて授業時に指示する。
【　教材費　】なし

保育内容総論

幼児教育コース

１年次　　前　期　　小川　深香

実務家教員による授業科目

公立こども園で40年間　保育教諭、こども園長として勤務した経験を活かし、保育の現場で実際に役立つ知識と技術を指導する。

（１）ナンバー

Ｈ３０１

（２）授業の到達目標

保育所保育指針を理解し、保育の全体構造と保育内容を理解する

（３）授業の概要

保育指針・教育要領・教育・保育要領に基づく保育の基本と保育内容の理解

（４）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術

（５）準備学習とそれに必要な時間

保育指針・教育要領・教育・保育要領の理解と熟読

（６）授業の進行計画

① 保育（生活）と保育内容
② 保育所保育指針と幼稚園教育要領における保育内容を理解
③ 保育内容の理解と展開
④ 保育内容と領域
⑤ 子ども像　主体性とは
⑥ 乳幼児期の子どもの姿「エピソードを学ぶ}
⑦ ０歳児の保育
⑧ １歳児の保育
⑨ ２歳児の保育
⑩ ３歳児の保育
⑪ ４歳児の保育
⑫ ５歳児の保育
⑬ 多文化共生の保育実態
⑭ 保育を観察するとは・保育を記録するとは
⑮ 現代社会での保育課題と現状
⑯ 学びの振り返りと課題のまとめ「テスト形式」

（７）課題に対するフィードバックの方法

保育内容の多様性　各年齢の発達の発達を個人差から考察

（８）成績評価の方法と基準

平均点　20%　　テスト　80%

（９）教科書・参考書・教材費

【　教科書　】『平成29年告知　幼稚園教育要領　保育所保育指針　幼保連携型認定こども園教育・保育要領　原本』　出版社　チャイルド本社　550円（税込）
『保育・幼児教育シリーズ　保育内容総論』　大豆生田啓友・田澤里喜　編著　2,640円（税込）

【　参考書　】『イラストで読む！幼稚園教育要領　保育所保育指針　幼保連携型認定こども園教育・保育要領　はやわかりbook』 無藤隆・汐見稔幸　編　1320円（税込）
『絵本の読み方・選び方』　仲宗根敦子　著　1,430円（税込）

保育の内容演習Ⅰ（健康）

幼児教育コース

１年次　前期　　永　野　美　里

(1)ナンバー

Ｈ３０３

(2)授業の到達目標

子どもの健康を守り育てる為、運動機能の発達と乳幼児期にふさわしい運動遊び、基本的生活習慣の形成、安全の指導、それらに伴い必要とされる保育者の役割について、演習や事例を通して考察する。豊かなあそびを通して身体の器官や機能の発達をうながすこと、将来の運動文化を享受するための基礎となる身体能力を育成すること、さらに自己の命を守る為の安全能力を育てる保育者の役割について学ぶ。

(3)授業の概要

講義及び、グループワークによる発表形式とする。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術。自分で考え、伝える力。

(5)準備学習

教科書を熟読すること、前回の授業の復習する(60分）。教科書の次回の範囲を読んでくる（60分）。

(6)授業の進行計画

① オリエンテーション

② 領域「健康」のねらいと内容

③ 領域「健康」のめざすもの

④ 他領域との関連

⑤ 子どもの育ちと領域「健康」

⑥ 幼児の発達理解

⑦ 幼児の体格・運動能力の現状と問題

⑧ 幼児の生活スタイルと保育者のさまざまな役割

⑨ 幼児教育の基本まとめ～育ってほしい姿～

⑩ 子どもの健康と遊びⅠ～乳児期～

⑪ 子どもの健康と遊びⅡ～幼児期～

⑫ 子どもの健康と遊びⅢ～ルールのある遊び～

⑬ 子どもの興味を引き出す環境の構成

⑭ グループ発表

⑮ 領域健康をめぐる現代的課題

⑯ 期末試験

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出したレポートにはコメントを書いて返却する。

(8)成績評価の方法と基準

平常点と提出物（60%）、試験（40%）

(9)教科書・参考書・教材費

教科書
無・隆監修、倉持清美編『事例で学ぶ保育内容　健康』萌文書林　2018年　2200円
共同使用教材として￥1500
参考書
清水将之、相樂真樹子　編著　改訂版『＜ねらい＞と＜内容＞から学ぶ保育内容・領域健康』　わかば社　2018年　1760円

保育内容演習Ⅱ（人間関係）

幼児教育コース

１年次　　前　期　　金　澤　あつ子

(1)ナンバー

Ｈ３０５

(2)授業の到達目標

五領域を理解する。保育内容の人間関係の重要性を理解する。「他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う」保育ができるよう、人間関係の視点の獲得と、それを応用し実践に繋げることができる。

(3)授業の概要

乳幼児期は子どもの人間形成の基礎を作る重要な時期であり、その多くは、人のかかわりの中で培われていく。生きる力の基礎は、子どもの人間関係や、子どもを取り巻く人間関係の中で、自らつかみ取ったり、教えられたりすることによって身につけていく。しかし、近年、子どもたちを取り巻く人間関係の希薄さ、子ども自身の人間関係作りの弱さ、生きる力の衰退が危惧されている。
このような問題に対し、どのように対応すればいいのか人間関係について考えていく。

(４)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と該当授業科目の関連

「保育･幼児教育の知識と技術」､「自分で考え､伝える力」､「社会貢献･充実した人生」の 獲得に関連する授業。

(5)準備学習とそれに必要な時間

教科書の次回授業範囲を読んでおくこと（30分）。またその日の授業内容の復習と準備（30分）。

(6)授業の進行計画

① 環境としての人間関係
② 現代社会の人間関係の特徴
③ 社会から人間関係へ
④ 保育の中の人間関係
⑤ 園内の協力体制
⑥ 家庭での人間関係
⑦ 発達
⑧ 乳児期
⑨ 幼児期
⑩ 遊びと人間関係
⑪ 人のかかわりを育てる保育者の援助
⑫ 心理的安定とかかわり
⑬ 幼児の仲間づくり
⑭ だれが、なぜ気になるのか
⑮ ともに育つ
⑯

(7) 課題に対するフィードバックの方法

提出されたレポート、テストの答案を授業内で返却し、解説する。

(8)成績評価の方法と基準

評価は授業の中で５回程度の小レポート・発表・テストを実施、評価します。
評価の具体的な内容は１回目の授業のときに説明するので必ず出席すること。
各レポート・テストはそれぞれ２０点の配点とする。

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】　小田　豊・奥野正義 編著
『保育ライブラリ　保育の内容方法を知るシリーズ　保育内容人間関係』
北大路書房　２００９年　1,870円
【 参考書 】　松　麻実子 『人と関わる力を伸ばす社会性が幼い子への援助方法』円
鈴木出版　　２００２年　1,600円
湯汲英史　『わがままといわれる子どもたち　自己中心性の原因と対応』

保育原理

幼児教育コース

1年次　　前　期　　泉谷宜宏

(1)ナンバー

H101

(2)授業の到達目標

保育専門職者としての知識、法律、技術はもちろんのこと、保育者として必要な人間性や倫理観も併せて学ぶ

(3)授業の概要

現在、めまぐるしく変化する保育環境に伴い、保育士の需要が日々増大している。このようなことを踏まえ、保育の意義、保育の目標、保育の歴史、保育の課題について学んでもらう。

(4)卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)と当該授業科目の関連

子どものの発達や福祉・教育に関する専門性を修得し、保育士資格あるいは幼稚園教諭資格を取得する。

(5)準備学習とそれに必要な時間

保育に関するニュースや新聞に目を通す

(6)授業の進行計画

① オリエンテーション

② 子ども、子育てをめぐる状況と保育への期待

③ 保育の成り立ち

④ 子育て支援制度と保育制度改革

⑤ 幼保一体化の流れ

⑥ 保育の理念と概念

⑦ 保育所保育指針と保育所の特性

⑧ 保育目標と方法(1)

⑨ 保育目標と方法(2)

⑩ 諸外国の保育の思想と歴史(1)

⑪ 諸外国の保育の思想と歴史(2)

⑫ 日本の保育の現状と課題(1)

⑬ 日本の保育の現状と課題(2)

⑭ 諸外国の保育の現状と課題

⑮ 課題レポート

⑯

(7)成績評価の方法と基準

試験レポート70%、各週回のレポート課題30%

(7)教科書・参考書・教材費

適宜プリントを配布する

乳児保育Ⅰ

幼児教育コース

１年次　　前期　　辻　富士子

実務家教員による授業科目

保育所での保育士、主任、所長としての経験、市役所での企画・指導担当の経験をもとに、保育の基本的な考え方や現場に活かせる知識・技術が習得できるように指導する。

（１）ナンバー

Ｈ３０８

（２）授業の到達目標

乳児保育を取り巻く状況や課題、及びその意義や目的について理解する。また、3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容や連携について理解し、実践に活かす。

（３）授業の概要

乳児期の養育者との信頼関係を基盤に、3歳未満児の発達の特徴や道すじを踏まえて「保育のねらいと内容」について、具体的な実践を交えて講義する。

（４）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術

（５）準備学習とそれに必要な時間

・前回の授業の内容について教科書とレジュメを読んで復習する（60分）
・次回の授業の内容について教科書を読んでで予習する（60分）
・各回に出される課題（レポート・実践）について準備をする（120分）

（６）授業の進行計画

① 乳児保育の目的と役割
② 乳児保育の現状と課題
③ 乳児保育の基本
④ ０・１・２歳児の発達と保育
⑤ 乳児（0歳児）の保育内容①発達の特徴や道すじ
⑥ 乳児（０歳児）の保育内容②ねらい及び内容
⑦ 1歳以上3歳未満児の保育内容①発達の特徴や道すじ
⑧ 1歳以上3歳未満児の保育内容②ねらい及び内容
⑨ 乳児保育の生活と遊びの基本的事項
⑩ 乳児保育の生活
⑪ 乳児保育の遊び
⑫ 乳児保育の環境構成
⑬ 乳児保育における全体的な計画
⑭ 乳児保育における子育て支援
⑮ 乳児保育における連携
⑯ 授業のまとめ・期末テスト

（７）課題に対するフィードバックの方法

課題レポートにはコメントを記入して返却する。

（８）成績評価の方法と基準

期末テスト50％、レポートなどの課題20％、平常点30％で評価する。

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】善本眞弓編著・小山朝子・亀崎美沙子「演習で学ぶ乳児保育」　わかば社
2020年5月　（1,600円税別）
【 参考書 】監修公益財団法人児童育成協会　編集寺田清美・大方美香・塩谷香
「乳児保育Ⅰ・Ⅱ」中央法規　2019年3月　（2600円税別）
【 教材費 】

造形Ⅰ

幼児教育コース

１年次　前期　　田中裕二

（１）ナンバー

Ｈ３２１

（２）授業の到達目標

保育士として造形表現に関する理解を深め、知識や技能を習得する。

（３）授業の概要

子どもの発達と造形表現の特徴を理解するとともに、子どもが自分の思いを表現し、その楽しさやよさを実感できるような造形表現活動の適切な援助や環境設定ができるようになっていただきたい。

（４）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術

（５）準備学習とそれに必要な時間

子どもに適切な援助ができるよう、日頃から子どもの絵や造形作品に興味関心を持ち印象に残ったことや、日常生活の中で起きた出来事、驚き、感動、面白い事・物を記録しておく。(60分)

（６）授業の進行計画

①オリエンテーション（授業概要説明等）
②造形表現の材料・用具について
③造形表現：描画材料を用いた技法について①
④造形表現：描画材料を用いた技法について②
⑤日常保育に応じた制作：実習した材料、技法等を応用して①
⑥造形表現：紙類を用いた制作①
⑦造形表現：紙類を用いた制作②
⑧日常保育に応じた制作：実習した材料、技法等を応用して②
⑨造形表現：粘土を用いた制作
⑩日常保育に応じた制作：実習した材料、技法等を応用して③
⑪造形表現：身近な材料等を用いた制作
⑫日常保育に応じた制作：実習した材料、技法等を応用して④
⑬季節に応じた制作
⑭行事に応じた制作
⑮造形Ⅰまとめ：保育における造形表現、環境について
⑯

（７）課題に対するフィードバックの方法

制作物(作品)を授業内で講評する。

（８）成績評価の方法と基準

授業に対する意欲と制作物（作品）の提出状況にて、総合的に評価する。

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】プリントを配布

【 教材費 】はさみ、粘土、画用紙、2000円

音楽Ⅰ

幼児教育コース

１年次　　前期　　寺田　真綾

(1)ナンバー

Ｈ３１５

(2)授業の到達目標

保育者には子どもたちの表現力を、音楽的な面からも指導することが必要とされる。音楽表現の基礎となる「楽譜から音楽を読み取る力」に必要な知識と技能を習得する。

(3)授業の概要

楽譜上のリズムや音読の早期上達をはかり、保育現場での即戦力となるよう、「生活のうた」を弾くことから取り組み始め、更に歌唱も加えていく。保育現場に入った時にスムーズに音楽活動ができるように、現場を想定し弾き合いを行い、人前で弾く・歌うことに慣れることが第一目標である。本学独自のグレード曲に従って、レパートリー曲を増やすことができるようレッスンする。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術
自分で考え、伝える力

(5)準備学習

課題曲の練習。爪が伸びすぎていると奏法にも保育にも適切でないため、短くしておくこと。

(6)授業の進行計画

① 授業内容、実技に関するガイダンス。クラス分けアンケート記入。
② ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）鍵盤の仕組み・正しい手と指の使い方
③ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）進度に応じ、楽譜の読み方・知識
④ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）進度に応じ、弾き歌い練習
⑤ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑥ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑦ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑧ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑨ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑩ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑪ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑫ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑬ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑭ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑮ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑯ ピアノ弾き歌い実技試験（各自の課題曲の弾き歌い）

(7)課題に対するフィードバックの方法

練習してきた課題曲に対して、次のステップアップ方法をレッスンする。

(8)成績評価の方法と基準

ピアノ弾き歌い試験７０％、平常点３０％にて総合評価します。

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】堺女子短期大学ピアノ弾き歌いグレード表・楽譜はプリントにて配布。
【 参考書 】
【 教材費 】

こども音楽療育概論

幼児教育コース

１年次　　前期

寺田　真綾・今峰大椹

(1)ナンバー

Ｈ７０３

(2)授業の到達目標

障害児の発達に関する知識と、音楽が発達能力に及ぼす影響について理解している。また、障害児の発達特性に応じて、具体的関わりの方法とその効果について考えることができる。

(3)授業の概要

こども音楽療育士資格の取得に向け、障害児の発達過程についての基礎知識および、音楽活動が障害児の発達能力に及ぼす影響について説明します。また、それぞれ具体的な働きかけの方法についても取り扱います。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術
自分で考え、伝える力

(5)準備学習

毎授業に配布するプリントの課題（ピアノ・リズム）の練習、指定された曲を視聴すること

(6)授業の進行計画

① オリエンテーションーこども音楽療育士とは
② 障がい児についての基礎理解１－身体障害
③ 障がい児についての基礎理解２－知的障害
④ 障がい児についての基礎理解３－発達障害
⑤ 療育について①
⑥ 療育について②
⑦ 前半講義のまとめ
⑧ 中間試験
⑨ 音楽療法とは
⑩ 音楽療法の歴史
⑪ 音楽療法と音楽療育
⑫ 音楽療育によるコミュニケーション
⑬ 音楽療育の実践と方法１
⑭ 音楽療育の実践と方法２
⑮ 即興演奏の必要性について
⑯ 試験

(7)課題に対するフィードバックの方法

毎授業はじめに行う確認小テストについては、その場で答え合わせと解説を行う。

(8)成績評価の方法と基準

試験（60%）、講義最初に行う復習小テスト、平常点など（40%）

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】プリントにて配布
【 参考書 】原哲也「発達障害の子の療育が全部わかる本」（講談社）1,540円
【 教材費 】

保育内容演習Ⅴ（表現）

幼児教育コース

１年次　前期　　前田　享美

（１）授業の到達目標

Ｈ３０５

（２）授業の到達目標

自分らしく人前で表現する勇気や意欲を持ち表現する楽しさを身につける

（３）授業の概要

表現とは何かを学び子どものありのままの表現を受け止め共感できる感性豊かな保育者になるために、教材作りや表現演習を多く取り入れる

（４）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術

（５）準備学習とそれに必要な時間

それぞれの教材で演習した内容を整理し自分なりに稽古する（１時間）教材作りのための題材探しをする（３０分）前回の授業で読んだ教科書とノートを読み返す（３０分）

（６）授業の進行計画

① 保育内容表現とはについて
② 手作り教材の紹介と扱い方（実演）
③ 物との出会い、対話（乳児の表現）
④ 物との出会い、対話（幼児の表現）
⑤ 絵本の演習
⑥ 紙芝居の演習
⑦ ペープサートの演習
⑧ 教材作り（ペープサート製作）
⑨ 教材作り（ペープサート製作）
⑩ 手作り教材の発表
⑪ パネルシアターの演習
⑫ パネルシアターの演習
⑬ 表現と環境構成
⑭ 表現における環境構成の実際
⑮ 表現の指導方法、保育構想
⑯

（７）課題に対するフィードバックの方法

グループで表現しあい、意見を出し合うことでお互いの表現力を高める

（８）成績評価の方法と基準

平常点２０％、表現演習実技８０％

（９）教科書・参考書・教材費

【教科書】小林紀子・砂上史子・刑部育子『保育内容　「表現」』ミネルヴァ書房
２０１９年　２，４２０円
『保育で役立つ０～５歳児の手遊び・うたあそび』阿部直美編
ナツメ２０２０年２７５０円

【参考書】
【教材費】

健康科学実習Ⅰ

幼児教育コース

１年次　　後期　　足立　博子

(1)ナンバー

Ｈ６０２

(2)授業の到達目標

多様な運動を経験することによって、自己管理能力と体力の維持増進に努めるとともに、保育者にふさわしい他者との協調性や感情の共有、コミュニケーションスキルの獲得を目標とする。

(3)授業の概要

本授業は実技にて行い、全身持久力、筋力、柔軟性、敏しょう性など、各体力要素をバランス良く向上させることを目的として多様な運動種目を実践する。授業の展開においては、運動技術の習得のみならず、運動の実践を通して、他者との協調性や共感、コミュニケーションスキルを高めることをも重視しながら進める。

(4)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術

(5)準備学習とそれに必要な時間

普段から規則正しい生活を心がけ、積極的な姿勢で運動実技に取り組めるような体調管理に努める(60分)。授業で学んだストレッチや筋力トレーニングなどを日常生活で実践し、運動習慣を身につける(60分)。

(6)授業の進行計画

① 身体ほぐし運動
② オリジナル体力測定
③ スタティックストレッチ
④ ダイナミックストレッチ
⑤ ボディウエイトトレーニング
⑥ ペットボトルトレーニング
⑦ 伝承遊び
⑧ レクリエーションゲーム
⑨ エアロビックダンス
⑩ ボクササイズ
⑪ ボールゲーム
⑫ コーディネーショントレーニング
⑬ ヨガ
⑭ ピラティス
⑮ サーキットトレーニング
⑯ 多種目運動による総括

(7)課題に対するフィードバックの方法

レポートはコメントを書いて返却する。

(8)成績評価の方法と基準

実技課題への取り組み姿勢(60%)　各運動種目の技術習得状況(20%)　レポート(20%)

(9)教科書・参考書・教材費

【　教科書　】
【　参考書　】日下裕弘・加納弘二「生涯スポーツの理論と実際」大修館書店 2011年 2530円
【　教材費　】

ホスピタリティ演習

全コース

１年次　　後期　　新　谷　涼　子

実務家教員による授業科目　18年にわたり大手化粧品勤務やメイクアップアーティストとして
メディアの第一線で活動した経験を生かし、メイクの現場で実際に役立つ知識を指導する。

（１）ナンバー

Ｋ１３１

（２）授業の到達目標

学生参加型の授業を実施し、コミュニケーション力・対応力・自己分析・自己表現力・自己プロデュースの向上を目指す。オープンキャンパススタッフ育成・２年次対象広報活動委員SAKATAN候補事前育成を目的とする。※授業の７回目以降は授業内で学んだ印象学を元に、ヘアメイク・服装を意識して授業に参加する。

（３）授業の概要

授業はロールプレイング型を実施し、学んだことを2年次オープンキャンパスで、候補生として参加の際に実践や体験をする。※１年次は候補生としてこちらの指定した日数、オープンキャンパスの参加をしていただきます。また２年次のSAKATANは基本オープンキャンパス全日程参加していただきます
【本年度オープンキャンパス日程・4/21, 5/19, 6/1,6/16, 7/7, 7/21,8/3, 8/24 】

（４）卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

・自分で考え伝える力
・センス、マナー
・メイクなどの技術と知識

（５）準備学習とそれに必要な時間

自身の生活の中で意識をし授業で学んだスキルをアウトプットする(90分)。
授業で自己プロデュースを学び、自身でもファッション、ヘアメイクの雑誌やSNSなどを見て好印象の見せ方の研究する(60分)。

（６）授業の進行計画

① 授業概要説明・SAKATAN心構え
② 【ディスカッション】印象学・自己プロデュース（メイク）についてレクチャー
③ 【実習】印象学（メイク）
④ 【ディスカッション】印象学・自己プロデュース（ヘア）についてレクチャー
⑤ 【実習】印象学（ヘア）
⑥ 【ディスカッション】自己プロデュース・ファッション
⑦ コミュニケーション力①（アイスブレイク）
⑧ コミュニケーション力②（アイスブレイク）
⑨ オープンキャンパスの仕事レクチャー
⑩ 学校案内①説明・レクチャー
⑪ 学校案内②マニュアル作り
⑫ 【ディスカッション】在籍コースについて発表
⑬ 各教科担当教員によるコース説明
⑭ 最終課題自己マニュアル作成①
⑮ 【ロールプレイング】最終課題自己マニュアル作成②・自己マニュアルを使用してロールプレイング
⑯ 自己マニュアル提出

(7)課題に対するフィードバックの方法

毎授業後にフィードバックの時間を設け各学生にする。

(8)成績評価の方法と基準

実習態度、参加意欲70%　　レポート30%
出席回数が授業回数の3分の2に満たない場合は「単位不認定」とする。

(9)教科書・参考書・教材費

保育実習Ⅰ（保育所）

幼児教育コース

１年次　　後期（集中）　　保育実習連絡委員会

(1)ナンバー

Ｈ４０２

(2)授業の到達目標

保育所の生活に参加し、子どもへの理解を深めると共に、保育所の機能と保育士の職務・職業倫理について学ぶ。

(3)授業の概要

１．保育所の内容、機能等を実践現場での体験を通して理解する。
２．既習の強化全体の知識・技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用力を養う。
３．保育士としての職業倫理を理解すると共に、子どもの最善の利益を如何に具体化させるかについて学ぶ。
〈内容〉１．実習施設について理解する。２．保育の一日の流れを理解し参加する。３．子どもの観察や関わりを通してニーズを理解する。４．援助計画を理解する。５．生活や援助等の一部分を担当し、養護技術を習得する。６．職員間の役割分担とチームワークを理解する。７．記録や保護者とのコミュニケーションを通して家庭・地域社会を理解する。８．子どもの最善の利益についての配慮を学ぶ。９．保育士の職業倫理を理解する。１０．安全及び疾病予防への配慮について学ぶ。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術
自分で考え、伝える力

(5)準備学習とそれに必要な時間

「実習のてびき（保育所）」を熟読する。
〈受講資格〉「保育実習指導Ⅰ（保育所）」の単位を取得し、実践に関わる準備をする。

(6)授業の進行計画

① 学内事前ガイダンス
② 実習先の施設見学と打ち合わせ（オリエンテーション）
③ 事前指導　１．決意表明　２．保育技術披露　３．マナー研修
④ 実習（１０日間８０時間以上）
⑤ 事後指導　１．実習日誌・自己評価表の提出
⑥　　２．グループディスカッションにおける体験発表と考察
⑦　　３．振り返りレポート　４．お礼状
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出された振り返りレポート、自己評価表、実習園からの評価表をもとに個人面談を行う。

(8)成績評価の方法と基準

実習先評価６０％、学内評価（事前指導・事後指導）４０％

(9)教科書・参考書・教材費

【教科書】『実習のてびき(保育所)』保育実習連絡委員会編
【教材費】　実習に関わる費用　14，500円（風疹麻疹抗体検査4，000円を含む）
【その他】　実習委託金13，000円（実習先への謝礼金）、細菌検査代440円が実習前に必要になります

保育実習指導Ⅰ（保育所）

幼児教育コース

１年次　後期　　前田　享美

（1）ナンバー

Ｈ４０１

（2）授業の到達目標

保育実習の意義・目的を理解し自己の実習課題を明らかにする。部分実習計画を理解し実習日誌の取り方、自己評価の記入の仕方を学ぶ。

（3）授業の概要

歳児別の子どもの姿や保育者の動き援助方法を理解し記録の仕方を指導する。

（4）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術

（5）準備学習とそれに必要な時間

手遊び・歌遊び等の実演稽古や教材研究をする。（６０分）授業で学んだ内容の復習と次回に向けて教科書の範囲を読んでおく。（６０分）

（6）授業の進行計画

① 保育実習の意義、目的
② 実習の形態・方法・心得　内容形態・方法・心得
③ 保育所の一日（デイリープログラム）の理解
④ 実習課題の必要性と課題の明確化、及び立案方法
⑤ 観察実習日誌の書き方（グループワーク）
⑥ 実習日誌の説明と書式、書き方
⑦ 実習日誌の書き方（０歳児）
⑧ 実習日誌の書き方（1歳児、２歳児）
⑨ 実習日誌の書き方（３歳児、４歳児）
⑩ 実習日誌の書き方（３歳児、４歳児）
⑪ 実習日誌の書き方（５歳児）
⑫ 書類作成
⑬ 部分実習の指導案の書き方（未満児）
⑭ 部分実習の指導案の書き方（幼児）
⑮ 実習前のオリエンテーション
⑯

（7）課題に対するフィードバックの方法

提出した日誌にはコメントを書き、返却時に解説する

（8）成績評価の方法と基準

平常点２０％、実習日誌８０％

（9）教科書・参考書・教材費

【教科書】浅井拓久也編著『保育実習　実習からの学びを広げ、ふかめるために』
萌文書林２０２３年２０９０円
『堺女子短期大学実習の手引き』

【 参考書 】

【 教材費 】

乳児保育Ⅱ

幼児教育コース

１年次　後期　辻　富士子

実務家教員による授業科目

保育所での保育士、主任、所長としての経験、市役所での企画・指導担当の経験をもとに、保育の基本的な考え方や現場に活かせる知識・技術が習得できるように指導する。

（１）ナンバー

Ｈ３０９

（２）授業の到達目標

３歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方や、配慮の実際、計画の作成について、具体的に理解する。

（３）授業の概要

養護と教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子ども生活や遊びと保育内容及び環境について、講義に加えて実践や演習を交えて授業を進めていく。

（４）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術

（５）準備学習とそれに必要な時間

・前回授業の内容についての復習及び、次回授業の内容について教科書を読んでで予習する（60分）
・各回に出される課題（レポート・実践）について準備をする（60分）

（６）授業の進行計画

① 乳児保育の意義①養護と教育の一体性
② 乳児保育の意義②主体性の尊重と自己の育ち
③ 0～3歳までの発育・発達①0歳児
④ 0～3歳までの発育・発達②1～2歳児
⑤ 食事に関する援助と環境
⑥ 排泄に関する援助と環境
⑦ 睡眠・休憩に関する援助と環境
⑧ 着脱に関する援助と環境
⑨ 清潔に関する援助と環境
⑩ 乳児保育における健康と安全
⑪ 乳児（0歳）の保育内容と遊び
⑫ 1歳以上3歳未満児の保育内容
⑬ 1歳以上3歳未満児の遊び
⑭ 乳児保育における計画と評価
⑮ 乳児保育を支える連携
⑯ 授業のまとめ・期末テスト

（７）課題に対するフィードバックの方法

課題レポートにはコメントを記入して返却する。

（８）成績評価の方法と基準

期末テスト50％、レポートなどの課題20％、平常点30％で評価する。

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】乳児保育Ⅰと同じ教科書を使用する

【 参考書 】監修公益財団法人児童育成協会　編集寺田清美・大方美香・塩谷香
「乳児保育Ⅰ・Ⅱ」中央法規　2019年3月　（2,600円税別）

【 教材費 】

障害児保育Ⅰ

幼児教育コース

1年次　　後期　　金　澤　あつ子

(1)ナンバー

Ｈ３０１

(2)授業の到達目標

特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達の理解や援助の方法、環境構成等について理解できる。
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の保護者支援や関係機関との協力・連携について学び、現状と課題について理解できる。

(3)授業の概要

本講義では、通常学級に通級する発達障害児・軽度知的障害児をはじめとし、様々な障害等により特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が、集団・学習活動に達成感や実感を持ち参加・学び、生きる力を身につけることができるようにその援助の方法を示す。学習・生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズ・心身発達の援助や配慮に対し、他の教員や関係機関と連携、協働しながら対応していく必要な知識や支援方法の理解に導く。

(4)ディプロマポリシー

社会貢献・充実した人生

(5)準備学習

毎回の授業に該当する教科書や参考資料を読んで復習する。また、レポートなどの課題は指定された期日までに完成させて提出すること。ボランティアを体験し、多くの子どもに触れ合う機会を見つける。前回の授業の教科書を読み返す(60分)次回の教科書の範囲を読んでおく(60分)

(6)授業の進行計画

① 障害児保育を支える理念や歴史的変遷
② 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の理解
③ 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性・心身の発達を理解する
④ 障害の特性理解と発達の援助　肢体不自由児Ⅰ
⑤ 障害の特性理解と発達の援助　肢体不自由児Ⅱ
⑥ 障害の特性理解と発達の援助　言語障害児Ⅰ
⑦ 障害の特性理解と発達の援助　言語障害児Ⅱ
⑧ 障害の特性理解と発達の援助　知的障害児
⑨ 障害の特性理解と発達の援助　情緒障害児
⑩ 障害の特性理解と発達の援助　発達障害児
⑪ 障害児その他特別な配慮を要する子どもの家庭への支援について
⑫ 障害児その他特別な配慮を要する子どもの関係機関との連携・協働について
⑬ 障害児とその他特別な配慮を要する子ども保育に関する現状と課題
⑭ 障害は無いが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の把握や支援
⑮ 障害児その他の特別な配慮を要する子どもにおける計画の作成や援助の方法

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出されたレポート、テストの答案を授業内で返却し、解説する

(8)成績評価の方法と基準

評価は授業の中で５回程度の小レポート・発表・テストを実施、評価します。
評価の具体的な内容は１回目の授業のときに説明するので必ず出席すること。
各レポート・テストはそれぞれ２０点の配点とする。

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】前田泰弘　編書　『実践に生かす　障害児保育・特別支援教育』
萌文書林　2200円
【 参考書 】　中島　雅之輔　　『最新障害児保育マニュアル』

保育実習Ⅰ（施設）

幼児教育コース

１年次　　後期（集中）　　保育実習連絡委員会

(1)ナンバー

Ｈ４０４

(2)授業の到達目標

児童養護施設や障害児・障害者支援施設等の生活に参加し、子どもや利用者への理解を深めると共に、福祉施設の機能と保育士の職務について学ぶ。

(3)授業の概要

１．児童養護施設等の内容、機能等を実践現場での体験を通して理解する。
２．既習の強化全体の知識・技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用力を養う。
３．保育士としての職業倫理を理解すると共に、利用者の最善の利益を如何に具体化させるかについて学ぶ。
〈内容〉１．実習施設について理解する。２．施設の一日の流れを理解し参加する。３．利用者の観察や関わりを通してニーズを理解する。４．援助計画を理解する。５．生活や援助等の一部分を担当し、養護技術を習得する。６．職員間の役割分担とチームワークを理解する。７．記録や保護者とのコミュニケーションを通して家庭・地域社会を理解する。８．利用者の最善の利益についての配慮を学ぶ。９．保育士の職業倫理を理解する。１０．安全及び疾病予防への配慮について学ぶ。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術
自分で考え、伝える力

(5)準備学習とそれに必要な時間

「実習のてびき（施設）」を熟読する。
〈受講資格〉「保育実習指導Ⅰ（施設）」「社会的用語」の単位を取得し、実践に関わる準備をする。

(6)授業の進行計画

① 学内事前ガイダンス
② 実習先の施設見学と打ち合わせ（オリエンテーション）
③ 事前指導　１．決意表明　２．保育技術披露　３．マナー研修
④ 実習（１０日間８０時間以上）
⑤ 事後指導　１．実習日誌・自己評価表の提出
⑥　　２．グループディスカッションにおける体験発表と考察
⑦　　３．振り返りレポート　４．お礼状
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出された振り返りレポート、自己評価表、実習園からの評価表をもとに個人面談を行う。

(8)成績評価の方法と基準

実習先評価６０％、学内評価（事前指導・事後指導）４０％

(9)教科書・参考書・教材費

【教科書】『実習のてびき（施設）』保育実習連絡委員会編
【教材費】
【その他】　実習委託金13，000円（実習先への謝礼金）、細菌検査代440円が実習前に必要になります

保育実習指導Ⅰ（施設）

幼児教育コース

１年次　　後　期　　金　澤　あつ子

(１)ナンバー

Ｈ４０３

(2)授業の到達目標

施設実習の意義・目的を明確にするとともに実習課題を明確にする。施設が生活の場、訓練や治療の場であること。何より生活を守り、人権を保障する場であること、実習の場であることを学び、実習で福祉実践できることをめざす。
・実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務について理解し説明することができる。
・指導案の作成、実践、観察、記録、評価の方法や内容を具体的に理解できる。
・実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確に示し、実習へ備えた準備ができる。

(3)授業の概要

施設実習の概要を学び、各施設での支援の方法を学ぶ。基本となる福祉実践の目標を確認する。また、部分実習のためのプログラム作成、準備、実施までを事前に演習する。自分の得意分野を深め、実践につなげる。 実習の事後指導において、総括と自己評価を行い、自己課題と自己目標を明確にする。それらの課題や目標へ向かって、実習の意義・目的・内容を理解したうえで、課題克服や目標達成のための学びを深める。演習や実践を通して、子ども理解に基づいた実習記録の書き方、指導案の考え方、教材準備の方法、保育の実践方法などの知識を深め、保育技術の習得を図る。

(4)ディプロマポリシー

保育実習・体験学習

(５)準備学習

社会的養護原理で学んだことを基に、日ごろより保育園や施設の毎日を意識して過ごす。日々の声かけの仕方、日常生活を大切にするなど意識を高めておく。
前回の授業の教科書を読み返す(60分)次回の教科書の範囲を読んでおく(60分)

(６)授業の進行計画

① 施設での生活について 保育実習Ⅰ（施設実習）の目的と概要及び全体的な流れの確認
② 指導案の作成と実習記録
③ 施設実習における実習の意義・心構えについての確認
④ 施設の社会的役割についての理解
⑤ 環境的要因で養護が必要な子どもの対応
⑥ 利用児（者）に身体障害がある場合
⑦ 利用児（者）に知的障害がある場合
⑧ 施設で生活する子どもや利用者の理解
⑨ 施設実習における課題と目標の設定、実習記録についての理解
⑩ 施設保育士の役割、業務内容についての理解
⑪ 施設における子どもの最善の利益、子どもの権利擁護への理解
⑫ 施設の生活と1 日の流れ及び実習の留意点
⑬ 施設の記録及び個別支援計画の理解
⑭ 部分実習発表
⑮ 施設実習における課題と目標の設定、実習前の最終確認

(７)課題に対するフィードバックの方法

提出されたレポート、テストの答案を授業内で返却し、解説する

(８)成績評価の方法と基準

評価は授業の中で５回程度の小レポート・発表・テストを実施、評価します。また、部分実習発表で評価します。評価の具体的な内容は１回目の授業のときに説明するので必ず出席すること。
各レポート・テスト・発表・制作はそれぞれ２０点の配点とする。

(９)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】これだけは知っておきたい保育の基礎用語　わかば社　長島和代編　1100円

保育実践演習Ⅰ

幼児教育コース

１年次　後期　南　口　みどり

実務家教員による授業科目

保育所での保育士、主任、所長としての経験、市役所での企画・指導担当の経験をもとに、保育の基本的な考え方や現場に活かせる知識・技術が習得できるように指導する。

（１）授業の到達目標

Ｈ５０１

（２）授業の到達目標

保育をめぐる社会的状況に関心を持ち、保育者に求められる役割を理解する。また様々な場面における保育の実践力を習得する。

（３）授業の概要

保育実習経験や様々な情報、保育指針等から、保育士の仕事や役割について講義や演習を行う。また、事例研究やロールプレイ等で、保育の基本理念に基づいた保育実践力が習得できるように指導する。

（４）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術、保育実習・体験学習

（５）準備学習とそれに必要な時間

前回の授業の振り返りや、次回授業の課題（レポートなど）の準備を行う（120分）

（６）授業の進行計画

① 保育・保育者の仕事とは①保育士の仕事
② 保育・保育者の仕事とは②保育をめぐる社会的状況
③ 保育・保育者の仕事とは③保育をめぐる今日的な課題
④ 保育・保育者の仕事とは④求められる保育者の役割
⑤ 保育実践力を育む①保育実践力とは
⑥ 保育実践力を育む②保育士の専門性とは
⑦ 保育実践力の実際①事例研究（エピソード事例）
⑧ 保育実践力の実際②事例研究（映像事例）
⑨ 保育実践力の実際③ロールプレイイング
⑩ 保育実践力の実際④グループでの保育実践
⑪ 綜合的な遊びの保育実践①題材を決める。
⑫ 綜合的な遊びの保育実践②遊びに必要な物などを作成する。
⑬ 綜合的な遊びの保育実践③実際に遊ぶ。
⑭ 綜合的な遊びの保育実践④発表し合う。
⑮ 綜合的な遊びの保育実践⑤評価と反省
⑯ 授業のまとめ・テスト

（７）課題に対するフィードバックの方法

レポート課題や遊びの実践評価には、コメントを書いて返却する。

（８）成績評価の方法と基準

レポート課題・テスト50％、遊び実践30％、平常点20％で評価する。

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】なし、適宜プリントを配布する。

【 参考書 】小原敏郎・上倉幸子・長睦子編著　榎田二三子等共著「保育・教職実践演習」
建帛社　2018年3月発行　1800円＋税

【 教材費 】

音楽Ⅱ

幼児教育コース

１年次　　後期　　寺田　真綾

(1)ナンバー

Ｈ３１６

(2)授業の到達目標

音楽Ⅰを基礎として、子どもたちの表現力を音楽的な面から指導する保育者に必要な読譜力と技能を習得する。

(3)授業の概要

歌唱中心に子どもの歌の伴奏を弾き歌いにより演奏能力を高め、保育者としての音楽的素質をさらに深める。保育の活動に用いられるリズム活動曲（マーチ・スキップなど）も取り入れ、さらに簡単なコード伴奏法や弾き歌いの初見演奏法のポイントについて解説する。音楽Ⅰに引き続き、本学独自のグレードに従ったレッスンを行う。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術
自分で考え、伝える力

(5)準備学習

課題曲の練習。爪が伸びすぎていると奏法にも保育にも適切でないため、短くしておくこと。

(6)授業の進行計画

① ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）進度に応じ、楽譜の読み方・知識の復習
② ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）進度に応じ、弾き歌い練習
③ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
④ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑤ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑥ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑦ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑧ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑨ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑩ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑪ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑫ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑬ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑭ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑮ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑯ ピアノ弾き歌い実技試験（各自の課題曲の弾き歌い）

(7)課題に対するフィードバックの方法

練習してきた課題曲に対して、次のステップアップ方法をレッスンする。

(8)成績評価の方法と基準

ピアノ弾き歌い試験７０％、平常点３０％にて総合評価します。

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】堺女子短期大学ピアノ弾き歌いグレード表・楽譜はプリントにて配布。
【 参考書 】
【 教材費 】

倫理学概論(やさしい哲学)

ビューティーメイクコース／舞台芸術コース

１年次　後期　　髙岡　潤徳

(１)ナンバー

Ｋ１３２

(２)授業の到達目標

古今東西それぞれの特色に満ちた倫理思想に触れ、教養を培うと共に、自らが充実した人生を生きていく上での糧とする。

(３)授業の概要

各思想の代表的な人物史を中心に、答えの出ない問題を学生と一緒に考えていく

(４)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と該当授業科目の関連

リベラルアーツ・広い教養・充実した人生

(５)準備学習とそれに必要な時間

(６)授業の進行計画

① 倫理学とは
② ギリシア思想(アリストテレス)
③ キリスト教(イエス)
④ イスラーム(ムハンマド)
⑤ 仏教(ゴータマ･シッダッタ)
⑥ 中国の思想(孔子)
⑦ 人間の尊厳(パスカル)
⑧ 科学革命と自然観(デカルト)
⑨ 社会契約の思想(ルソー)
⑩ ドイツ観念論(カント)
⑪ イギリス功利主義(アダム･スミス)
⑫ 社会主義の思想(マルクス)
⑬ 実存主義（キルケゴール)
⑭ 現代の思想(フロイト)
⑮ 現代のヒューマニズム(ガンディー)
⑯ テスト

(７)課題に対するフィードバックの方法

各項目ごとに演習課題を行い、次の授業で復習・確認を行う。

(８)成績評価の方法と基準

演習課題(平常点を含む)３０％・テスト７０％

(９)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】いちばんやさしい哲学の本　　彩図社　　沢辺有司著　　￥667＋税
【 参考書 】

【 教材費 】

音楽Ⅴ（合唱）

幼児教育コース

１年次　　後期　　寺田　真綾

（1）ナンバー

Ｈ３１９

（2）授業の到達目標

合唱は多人数の活動を通して歌詞の解釈、ハーモニーの美しさや響きなど全員の協力で成り立つ。発声練習でそれぞれの声に向き合い、美しい声で楽しく歌うことを目指し、多くの童謡唱歌を知る。子どもたちが耳にする初めての一曲になるという意識を持ち、表現する。

（3）授業の概要

数多くの童謡・唱歌を取り入れ、曲や作曲家についての知識を深めていく。また歌唱表現の方法や発声・発語に関して現場を想定させ、自らが表現方法を工夫できるように指導する。

（4）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術
自分で考え、伝える力

（5）準備学習

課題曲の練習。

（6）授業の進行計画

① 声種と音域。発声練習。
② 発声練習。課題曲（邦人作曲家による童謡１）譜読み・歌詞内容について
③ 発声練習。課題曲（邦人作曲家による童謡１）歌唱・表現方法
④ 発声練習。課題曲（邦人作曲家による童謡１）歌唱・表現方法
⑤ 発声練習。課題曲（邦人作曲家による童謡１）歌唱・表現方法・保育現場での実践に向けて
⑥ 発声練習。課題曲（邦人作曲家による童謡２）譜読み・歌詞内容について
⑦ 発声練習。課題曲（邦人作曲家による童謡２）歌唱・表現方法
⑧ 発声練習。課題曲（邦人作曲家による童謡２）歌唱・表現方法
⑨ 発声練習。課題曲（邦人作曲家による童謡２）歌唱・表現方法・保育現場での実践に向けて
⑩ 発声練習。課題曲（世界の愛唱歌）譜読み・歌詞内容について、ハーモニー練習
⑪ 発声練習。課題曲（世界の愛唱歌）ハーモニー練習・保育現場での実践に向けて
⑫ 発声練習。課題曲（ミュージカルナンバー）ハーモニー練習
⑬ 発声練習。課題曲（保育現場で歌われる曲を各自で用意）譜読み・歌詞内容について
⑭ 発声練習。課題曲（保育現場で歌われる曲を各自で用意）ハーモニー練習
⑮ 課題曲（試験に向けて、レポート作成）
⑯ 試験・レポート

（7）課題に対するフィードバックの方法

練習してきた課題曲に対して、次のステップアップ方法をレッスンする。

（8）成績評価の方法と基準

レポート７０％、平常点３０％にて総合評価します。

（9）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】使用楽譜はプリントにて配布
【 参考書 】
【 教材費 】

造形Ⅱ

幼児教育コース

１年次　後期　田中裕二

（１）ナンバー

Ｈ３２２

（２）授業の到達目標

保育士として造形表現に関する理解を深め、知識や技能を習得する。

（３）授業の概要

子どもの発達と造形表現の特徴を理解するとともに、子どもが自分の思いを表現し、よさを実感できるような造形表現活動の適切な援助や環境設定ができるようになっていただきたい。

（４）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術

（５）準備学習とそれに必要な時間

子どもに適切な援助ができるよう、日頃から子どもの絵や造形作品に興味関心を持ち印象に残ったことや、日常生活の中で起きた出来事、驚き、感動、面白い事・物を記録しておく。（60分）

（６）授業の進行計画

①オリエンテーション（授業概要説明等）
②造形表現：描画材料を用いた技法について①
③造形表現：描画材料を用いた技法について②
④日常保育に応じた制作：実習した材料、技法等を応用して①
⑤日常保育に応じた制作：実習した材料、技法等を応用して②
⑥造形表現：紙類等を用いた制作
⑦日常保育に応じた制作：実習した材料、技法等を応用して①
⑧日常保育に応じた制作：実習した材料、技法等を応用して②
⑦造形表現：粘土を用いた制作
⑧造形表現：身近な材料等を用いた制作
⑨日常保育に応じた制作：実習した材料、技法等を応用して
⑩季節に応じた制作①
⑪季節に応じた制作②
⑫季節に応じた制作③
⑬行事に応じた制作①
⑬行事に応じた制作②
⑭行事に応じた制作③
⑮造形Ⅱまとめ：保育における造形表現、環境について
⑯

（７）課題に対するフィードバックの方法

制作物(作品)を授業内で講評する。

（８）成績評価の方法と基準

授業に対する意欲と制作物（作品）の提出状況にて、総合的に評価する。

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】プリントを配布
【 教材費 】画用紙、粘土、　2000円

表現（読み聞かせ）

幼児教育コース

1年次　　後　期　　宇仁菅　　真

実務家教員による授業科目

約30年にわたり俳優として舞台やテレビなどに多数出演した経験を生かして、現場で役立つ知識と演技を指導する。

（1）ナンバー

Ｈ３２４

（2）授業の到達目標

子供の年齢や発達にあわせた絵本選びや絵本の読み方を理解し、それを実践できる技術を身につける。

（3）授業の概要

単に言葉を伝えるだけでなく、心で読むことの大切さを教える。アクティブラーニング（実習）

（4）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

自分で考え、伝える力。

（5）準備学習

図書館などを利用して、１冊でも良いので、絵本を一読しておいてください。ノートを準備してください。前回のノートや課題絵本の下読みをやっておくこと。（30分）

（6）授業の進行計画

① オリエンテーション
② 発声の基本・・・腹式呼吸
③ 標準語・・・美しい日本語
④ 標準語・・・母音と子音、鼻濁音
⑤ 子供の年齢に合わせた絵本の選び方・・・０歳～２歳
⑥ 子供の年齢に合わせた絵本の選び方・・・３歳～５歳
⑦ 素話・・・昨日の私
⑧ 素話・・・昔話
⑨ アニマシオン課題・・・間違い探し
⑩ アニマシオン課題・・・仲間はずれ
⑪ 絵本の読み聞かせ①・・・０歳～２歳
⑫ 絵本の読み聞かせ②・・・３歳～５歳
⑬ 自由課題の読み聞かせ・・・準備
⑭ 自由課題の読み聞かせ・・・練習
⑮ 自由課題の読み聞かせ・・・発表
⑯ まとめ

（7）課題に対するフィードバックの方法

板書事項のノート提出チェックと実技の注意点の徹底指導を行う。

（8）成績評価の方法と基準

提出物、実技テスト（70%）　平常点（30%）

（9）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】　プリント配布
【 参考書 】
【 教材費 】

子どもの保健

幼児教育コース

１年次　　後　期　　小川　深香

実務家教員による授業科目

公立こども園で４0年間、保育教諭・園長としての経験をもとに現場で活かせる実践的指導をする。

（１）ナンバー

Ｈ２０５

(2)授業の到達目標

子どもの健康と保健の意義や疾病の予防、適切な対応など、保育士として必要な知識を習得すること。

(3)授業の概要

子どもの健康と保健の意義。子どもの発育、生理機能のさまざまな発達。疾病との予防と適切な対応。子どもの健康状態の把握などについて学ぶ。

(4)卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術

（５）準備学習

日頃から子どもに関する保健分野への興味を抱き、情報収集しておく。教科書を元に予習・復習しておく（120分）

（６）授業の進行計画

①オリエンテーション・子どもの健康と保健の意義ー健康の概念と指標ー
②子どもの健康と保健の意義ー現代の子どもの健康とその課題ー
③子どもの健康と保健の意義ー地域の保健活動と児童虐待ー
④子どもの身体発育と生理機能の発達ー身体の発育と保育ー
⑤子どもの身体発育と生理機能の発達ー運動機能・精神機能の発達ー
⑥子どもの身体発育と生理機能の発達ー子どもの成長と発達ー
⑦子どもの疾病とその予防、適切な対応ー感染症ー
⑧子どもの疾病とその予防、適切な対応ー感染症ー
⑨子どもの疾病とその予防、適切な対応ー消化器疾患ー
⑩子どもの疾病とその予防、適切な対応ー免疫・アレルギー疾患ー
⑪子どもの疾病とその予防、適切な対応ー循環器疾患ー
⑫子どもの疾病とその予防、適切な対応ー血液系・神経系の疾患ー
⑬子どもの疾病とその予防、適切な対応ー腎・泌尿器系の疾患ー
⑭学校保健安全法で定める疾患とその対応ー感染症・出席停止・臨時休業ー
⑮予防接種・疾病への国の対応
⑯テスト

（７）課題に対するフィードバックの方法

提出したレポートには、コメントを書いて返却する。

（８）成績評価の方法と基準

期末試験成績、レポート課題、平常点等により総合的に評価する。

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】「保育者・養護教諭を目指す人のための子どもの保健～健康と安全～」
第2版補訂版　へるす出版　税込み2,750円
【 参考書 】
【 教材費 】

子どもの理解と援助

幼児教育コース

１年次　　後期　　谷　芳恵

実務家教員による授業科目

（１）ナンバー

Ｈ２０３

（２）授業の到達目標

①保育実践において、ひとりひとりの子どもの実態に応じた心身の発達を把握することの意義を理解することができる
②子どもの体験や発達過程において子どもを理解するうえでの基本的な視点を理解することができる
③子どもを理解するための具体的な方法を理解することができる
④子ども理解に基づく保育士の援助や態度の基本を理解することができる

（３）授業の概要

心理学理論に基づく理解を下敷きに、実際場面における子どもの姿をいかにして理解してくのか、またその理解を保育にどう活かしていくのか、演習なども通して学習する。それにより、保育者として子どもを正しくわかろうとする姿勢を養い、より実践的な保育を行うための力を修得する。

（４）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

「保育・幼児教育の知識と技術」の獲得に関連する授業。

（５）準備学習とそれに必要な時間

各回テーマのテキスト該当ページを読んでくること。配布資料、テキスト、その他関連する資料を熟読し、復習に努めること。（60分）

（６）授業の進行計画

① 保育における子どもの理解の意義
② 子ども理解に基づく養護及び教育の一体的展開
③ 子どもに対する共感的理解と保育
④ 子どもの生活とあそび
⑤ 子どもの集団の中での育ち
⑥ 保育における葛藤やつまづき
⑦ 人的環境としての保育者と子どもの発達
⑧ 保育環境の理解と構成
⑨ 環境の変化と適応
⑩ 子どもを理解するための観察・記録・省察・評価
⑪ 職員間の円滑なコミュニケーション
⑫ 保護者と保育者の連携
⑬ 発達課題に応じた援助
⑭ 特別な配慮を必要とする子どもの理解と援助
⑮ 発達の連続性と就学に向けた支援
⑯ 最終試験

（７）課題に対するフィードバックの方法

ワーク、ワークシートの内容に基づいて、授業時に解説を行う。

（８）成績評価の方法と基準

平常点：ワークシート（30%）、受講態度（20%）
最終試験（50%）

（９）教科書・参考書・教材費

【　教科書　】沼山博・三浦主博（編著）「子どもとかかわる人のための心理学 -保育の心理学，子ども家庭支援の心理学，子どもの理解と援助への扉」（萌文書林）2,200円

【　参考書　】必要に応じて授業時に指示する。

【　教材費　】なし

子どもの食と栄養Ⅰ

幼児教育コース

１年次　後期　　永　野　美　里

(1)ナンバー

Ｋ２０６

(2)授業の到達目標

小児期の栄養、食生活の重要性を学ぶ。また後半は厚生労働省作成の「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」に基づいた授業カリキュラムとし、修了課題に合格すると「アレルギーマイスター認定証」を取得できるものとする。

(3)授業の概要

乳児期から幼児期、学童期、思春期と各発達段階に応じた栄養生理と摂取方法を学び、栄養・食生活の重要性を理解する。幼少期のアレルギー疾患についての専門的な知識を身につけてほしい。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術。自分で考え、伝える力。

(5)準備学習

教科書を熟読すること、前回の授業の復習する(60分）。教科書の次回の範囲を読んでくる（60分）。

(6)授業の進行計画

① オリエンテーション
② 子どもを取り巻く現代の食生活状況
③ 栄養・食生活の基礎知識
④ 子どもの発育・発達と栄養の基礎
⑤ 子どもの発育・発達と栄養の問題と課題
⑥ アレルギー疾患の基礎
⑦ 食物アレルギー発生のしくみ
⑧ アレルギー疾患各論
⑨ 保育所における食物アレルギー対応に関する現状及び問題点
⑩ 保育所における生活指導票の活用Ⅰ～生活管理指導票、児の管理表～
⑪ 保育所における生活指導票の活用Ⅱ～エピペン対応表、緊急時対応表～
⑫ 事例から学ぶアレルギー対応策
⑬ 配慮が必要なアレルギー性疾患
⑭ 緊急時の対応
⑮ アレルギーマイスターまとめ
⑯ 修了試験

(7)課題に対するフィードバックの方法

講義ごとに小テストを行い、解説を行うともにコメントを記入して返却する。

(8)成績評価の方法と基準

平常点・授業への取り組み（60%）、試験（40%）

(9)教科書・参考書・教材費

【教科書】児玉浩子編　太田百合子　風見公子　小林陽子　藤澤由美子『子どもの食と栄養』
中山書店 2022年　2310円
【教材費】テキスト代、共同使用教材費として 1500円（食と栄養Ⅱを通しての金額）
【参考書】『小児科臨床特集最新アレルギー予防・治療戦略-これからのアレルギーを考える-』
日本小児医事出版社　2017年　Vol.70 No.12

こども音楽療育演習

幼児教育コース

１年次　　後期　　寺田　真綾

(1)ナンバー

Ｈ７０４

(2)授業の到達目標

音楽療育の実践に必要な基礎的音楽知識と技術を身につけ、子どもの発達状況を理解し、適切な音楽活動の仕掛けをしていくことができる。

(3)授業の概要

障がいのある子どもの音楽療育に関する知識や、障がいに応じた具体的な援助方法を毎回の授業でエピソードから紹介し、考えていく。また療育の現場では即興演奏が求められるので、主にコード伴奏を授業で扱う。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術
自分で考え、伝える力

(5)準備学習

課題曲の練習を必ず行うこと。出した課題曲については次の授業時には仕上げた状態で参加する必要がある。

(6)授業の進行計画

① 音楽療育のあり方
② 使用する楽器と演奏方法
③ 鍵盤楽器の基本的奏法
④ 鍵盤楽器のコード伴奏法
⑤ 鍵盤楽器のコード伴奏法
⑥ 鍵盤楽器のコード伴奏法
⑦ 鍵盤楽器のコード伴奏法
⑧ 音楽療育の実践（打楽器）
⑨ 音楽療育の実践（歌唱）
⑩ 音楽療育の実践（身体活動）
⑪ 音楽療育プラン
⑫ 音楽療育プラン
⑬ 156
⑭ 模擬セッション
⑮ まとめ
⑯ 即興演奏試験

(7)課題に対するフィードバックの方法

練習してきた課題曲に対して、次のステップアップ方法をレッスンする。

(8)成績評価の方法と基準

実技試験５０％、平常点５０％にて総合評価します。

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】プリントにて配布
【 参考書 】
【 教材費 】

チャイルドヘアメイク演習１(ヘアー)

幼児教育コース

１年次　　後期　　伊藤美香

美容師として勤務した経験を活かして、サロンワークにおいて実際に役立つ知識と技術を指導する。

(１)ナンバー

Ｈ７０１

(２)授業の到達目標

「美容技術を身につけた保育士」を目指し、ヘアスタイリングに関する基礎知識ならびに基本技術を習得する。また習得した内容と合わせて、季節ごとのイベントにふさわしいヘアスタイルを提案したり、保護者へこどもヘアー―アドバイスができるよう、美容技術の習得に励んでいただきたい。

(３)授業の概要

保育士にふさわしい髪型や身だしなみを身につける。こども達に髪の毛を整えることの大切さを伝えることのできる技術を身につける。

(４)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

ヘアースタイルの基礎技術と知識

(５)準備学習

忘れ物のないようにしてください。

(６)授業の進行計画

① ヘアーについての基礎知識・道具の使い方
② 三つ編み・編み込みヘアー①
③ 三つ編み・編み込みヘアー②
④ ヘアアクセサリー作り
⑤ こどものヘアー(ゴムアレンジ)
⑥ こどものヘアー(ハートアレンジ)
⑦ こどものヘアー(リボンアレンジ)
⑧ ヘアアクセサリー作り
⑨ こどものヘアー(アップスタイル①)
⑩ こどものヘアー(アップスタイル②)
⑪ 子どものヘアー―(ダウンスタイル①)
⑫ こどものヘアー(ダウンスタイル②)
⑬ 園行事の時ヘアセット(先生)
⑭ こどものヘアー　まとめ①
⑮ こどものヘアー　まとめ②
⑯ 期末テスト

(７)課題に対するフィードバック

授業内での作品を評価し改善点を伝える。

(８)成績評価の方法と基準

開講授業2/3以上の出席で期末テスト受験資格とする。提出物、授業態度、学習意欲を総合的に評価する。

(９)教科書・参考書・教材費

共同教材費５５０円

社会福祉

幼児教育コース

2年次　　前期　　鷲森　正

（1）ナンバー

Ｍ１０５

（2）授業の到達目標

社会福祉とは何かを理解する。社会保障における弱者(児童・老人・母子・障害者)について視点を持つ。また、社会福祉の歴史・社会福祉の基本的な事項を理解する。

（3）授業の概要

社会保障制度の４本柱(社会保険・公的扶助・社会福祉・公衆衛生)を学び、特に今日の社会福祉を取り巻く高齢化社会と少子化の現状の課題など社会福祉とは何かという問題について理解を深めていく。

（4）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と該当授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術・社会貢献・充実した人生

（5）準備学習とそれに必要な時間

平素から社会福祉に関するニュース・記事に関心をもってもらいたい。講義で学んだことをしっかり復習し(６０分)、課題演習に取り組みより理解を深める(６０分)

（6）授業の進行計画

① 社会保障制度の歴史
② 社会保障制度の４本柱
③ 日本を取り巻く高齢化社会と少子化
④ 介護保険と少子化対策
⑤ 公的扶助と社会福祉・社会的弱者の救済
⑥ 日本国憲法における基本的人権
⑦ 基本的人権と社会福祉
⑧ 社会保障制度の課題
⑨ 医療保険・年金保険・その他の社会保険
⑩ 生活保護制度の実態
⑪ 児童家庭福祉の法律と施設
⑫ 子ども虐待への対応
⑬ ヤングケアラーについて
⑭ ヤングケアラー支援事例(演習)
⑮ 社会福祉の今後の課題
⑯ テスト

（7）課題に対するフィードバックの方法

授業のまとめとして演習課題を行い。次授業で復習を行う。

（8）成績評価の方法と基準

課題演習(平常点を兼ねる)３０％・テスト７０％

（9）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】新プリマーズ社会福祉【第６版】　ミネルヴァ書房(２２００円)
【 参考書 】

【 教材費 】

子どもの食と栄養Ⅱ

幼児教育コース

２年次　前期　　永　野　美　里

(1)ナンバー

Ｈ２０７

(2)授業の到達目標

小児期の栄養、食生活の重要性を理解する。またこの授業後半は厚生労働省作成の「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」に基づいた授業カリキュラムとし、修了課題に合格すると「アレルギーマイスター認定証」を取得できるものとする。

(3)授業の概要

小児期の栄養と食生活は、生涯にわたる、健康な生活を送るための基本となる。そのために、乳児期から幼児期、学童期、思春期と各発達段階に応じた栄養生理と摂取方法を学び、栄養・食生活の重要性を理解する。幼少期のアレルギー疾患についての専門的な知識を備える。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術。自分で考え、伝える力。

(5)準備学習

教科書を読んでおくこと。

(6)授業の進行計画

① オリエンテーション
② 食物アレルギー発生のしくみ
③ アレルギー疾患各論
④ 保育所における食物アレルギー対応に関する現状及び問題点
⑤ 保育所における生活指導票の活用Ⅰ～生活管理指導票、児の管理表～
⑥ 保育所における生活指導票の活用Ⅱ～エピペン対応表、緊急時対応表～
⑦ 事例から学ぶアレルギー対応策
⑧ 配慮が必要なアレルギー性疾患
⑨ 緊急時の対応
⑩ アレルギーマイスターまとめ
⑪ アレルギーマイスター修了試験
⑫ 子どもを取り巻く現代の食生活状況
⑬ 栄養・食生活の基礎知識
⑭ 子どもの発育・発達と栄養の基礎
⑮ 子どもの発育・発達と栄養の問題と課題
⑯ 修了試験と解説

(7)課題に対するフィードバックの方法

講義ごとに小テストを行い、解説を行うともにコメントを記入して返却する。

(8)成績評価の方法と基準

平常点・授業への取り組み（30%）、授業内提出物（70%）

(9)教科書・参考書・教材費

教科書
児玉浩子編　太田百合子　風見公子　小林陽子　藤澤由美子『子どもの食と栄養』　中山書店
2018年　2200円　　※子どもの食と栄養Ⅰで購入済み

保育の計画と評価

幼児教育コース

２年次　　前期　　谷　芳恵

実務家教員による授業科目

（1）ナンバー

Ｈ３０２

（2）授業の到達目標

①保育内容の充実と質の向上に資する保育の計画及び評価について理解することができる
②全体的な計画と指導計画の作成について、その意義と方法を理解することができる
③子どもの理解に基づく計画、実践、省察・評価、改善の過程についてその全体構造を捉え、理解することができる

（3）授業の概要

保育における教育課程や計画についての考え方や意義、子どもの発達に応じた保育計画の重要性について学習する。指導計画立案に必要な基礎的技能を演習を通じて身につけるとともに、保育の内容の充実と質の向上を図るために必要な省察力を修得することを目指す。

（4）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

「保育・幼児教育の知識と技術」

（5）準備学習とそれに必要な時間

保育所保育指針解説、配布資料、テキスト、その他関連する資料を熟読し、自主的・自律的に学習に努めること。（60分）

（6）授業の進行計画

① 保育の計画と評価の考え方
② 保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の内容及び社会的背景
③ カリキュラムの基礎理論
④ 子どもの理解に基づく計画、実践、省察・評価、改善の過程の循環
⑤ 保育所保育指針における保育の目標と計画の基本的考え方
⑥ 全体的な計画と指導計画
⑦ 全体的な計画の作成
⑧ 短期的・長期的指導計画の作成(1)
⑨ 短期的・長期的指導計画の作成(2)
⑩ 指導計画の作成(1)
⑪ 指導計画の作成(2) 保育の省察及び記録
⑫ 指導計画の作成(3) 保育の質向上に向けた改善の取り組み
⑬ 指導計画の作成(4) 計画に基づく保育の柔軟な展開
⑭ 生活と発達の連続性をふまえた保育所児童保育要録
⑮ 保育士及び保育所の自己評価
⑯ 最終試験

（7）課題に対するフィードバックの方法

提出物を添削のうえ、授業時に解説を行う。

（8）成績評価の方法と基準

平常点：提出物（40%）、受講態度（20%）
最終試験（40%）

（9）教科書・参考書・教材費

【　教科書　】厚生労働省（編）「保育所保育指針解説 平成30年3月」（フレーベル館）352円
【　参考書　】必要に応じて授業時に指示する。
【　教材費　】なし

保育内容演習Ⅲ（環境）

幼児教育コース

２年次　　前　期　　小川　深香

実務家教員による授業科目

公立こども園で４0年間、保育教諭・園長としての経験をもとに現場で活かせる実践的指導をする。

（１）ナンバー

Ｈ３０６

(2)授業の到達目標

子どもを取り巻く環境とその発達的意義を理解する。保育内容「環境」のねらいと内容を理解する。
「環境」に関わる具体的場面を想定した保育を展開できる知識、技能を身につける。

(3)授業の概要

子どもの成長発達に大きな影響を与える「環境」について基本と保育の実際について説明する。子どもの発達、四季折々の自然、身の回りの環境などについて解説し、また具体的な保育場面を通して「環境」のねらいと内容を理解し、実践に活かす方法を検討する。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

子どもの発達や福祉・教育に関する専門性を修得し、保育士資格あるいは幼稚園教諭資格を取得する。

(5)準備学習

・前回の授業内容について、教科書とレジュメを読んで復習する。(60分)
・季節の移り変わり、社会で起こっている問題について日頃から関心を寄せておく。
・各回に出される課題（レポート、実践）について準備する。(120分)

（６）授業の進行計画

① 領域「環境」の意義　～ねらいと内容～
② 子どもを取り巻くさまざまな環境
③ 保育内容「環境」における自然
④ 保育施設における自然環境の工夫
⑤ 乳幼児期のこどもの自然との関わり（1）～大学周辺の自然環境探索について～
⑥ 乳幼児期のこどもの自然との関わり（2）～自然物を使った活動～
⑦ 乳幼児期の子どもの認知的発達
⑧ 地域社会・施設との関わり
⑨ 領域「環境」を中心とした保育実践
⑩ 数量、図形との関わり
⑪ 標識、文字との関わり
⑫ 文化、伝統、行事、ＥＳＤに関わる保育について
⑬ 子どもの安全環境
⑭ 小学校との連携
⑮ 領域「環境」をめぐる変化と保育の課題
⑯ 期末試験または課題レポート

（７）課題に対するフィードバックの方法

課題レポートにはコメントを記入して返却する。

(8)成績評価の方法と基準

期末試験成績、レポート課題等により総合的に評価する。

(9)教科書・参考書・教材費

【教科書】　佐藤　純子編著　『領域　環境ワークブック　基礎理解と指導法』（萌文書林）2020年出版
定価　1,980円（税込）

【参考書】　『発達障害の子どもを伸ばす　魔法の言葉かけ　Shizu ASD発達支援アドバイザー』　監修　平岩幹男
1,540円（税込）

障害児保育Ⅱ

幼児教育コース

２年次　　前　期　　金　澤　あつ子

(1)ナンバー

Ｈ３１１

(2)授業の到達目標

発達障害についての基本的知識と理解、援助の方法とその教育課程を理解する。特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する教育課程や保育計画を作成し、個別支援および仲間関係の中で育ち合う保育について理解できる。障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上、生活上の困難とその対応を理解する。

(3)授業の概要

発達障害児について、言語・行為・視覚認知など心理活動と脳の構造との関連において捉える。その観点から障害児に対する理解を深め、障害児教育における指導・支援のあり方についての考えを促す。また、障害児を取り巻く諸問題を取り上げ、保護者支援、関係機関との連携のあり方についてグループディスカッションなどを通して考えることを示す。ソーシャルスキルトレーニングの手法を学び、社会性発達を助け、発達障害児の自己肯定感を高める。発達障害児・特別な教育的ニーズのある幼児のスムーズな学習活動・集団生活への移行を支える方法を展開する。

（4）ディプロマポリシー

保育・幼児教育の知識と技術　　社会貢献・充実した人生

(5)準備学習

テキストのみならず、参考書を熟読。ボランティア等を体験し多くの子どもと触れ合う機会を持つ。また、保育実習で一人ひとりの子どもの様子をよく観察する。
前回の授業の教科書を読み返す(60分)次回の教科書の範囲を読んでおく(60分)

(6)授業の進行計画

① 発達障害と脳神経学とのかかわり

② 神経心理学的手法①–脳の構造と高次機能について

③ 神経心理学的手法②–幼児期の心と脳の発達について

④ 神経心理学的手法③–神経心理学的検査、発達検査

⑤ 発達障害の理解–神経心理学的検査・発達検査からわかること

⑥ 注意欠如・多動性障害（ADHD）の理解と支援

⑦ 自閉症スペクトラム障害（ASD）の理解と支援

⑧ 学習障害（LD）の理解と支援

⑨ 気になる子ども–特性の理解と支援

⑩ 発達障害と医療・発達検査

⑪ SST・社会性を学ぶ方法について

⑫ 個別の発達を促す生活や遊びの環境 1

⑬ 個別の発達を促す生活や遊びの環境　2

⑭ 保護者・家族に対する理解と支援について

⑮ 関係機関との連携について

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出されたレポート、テストの答案を授業内で返却し、解説する。

(8)成績評価の方法と基準

評価は授業の中で５回程度の小レポート・発表・テストを実施。また、おもちゃを製作評価します。
評価の具体的な内容は１回目の授業のときに説明するので必ず出席すること。
各レポート・テストはそれぞれ２０点の配点とする。

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】　プリントを配布

【 参考書 】　中島　雅之輔　　『最新障害児保育マニュアル』
新興医学出版　　２００７年　３,２００円＋税

高松　鶴吉　　『入門障害児保育の原理心身に障害を持つ幼児の理解と保育』
学研　　２００６年　　１,５００円＋税

音楽Ⅲ（ピアノ）

幼児教育コース

２年次　　前期　　寺田　真綾

（１）ナンバー

Ｈ３１７

（２）授業の到達目標

音楽Ⅰ・Ⅱを基礎として、子どもたちの表現力を音楽的な面から指導する保育者に必要な読譜力を習得する。

（３）授業の概要

子どもの歌の伴奏を表現豊かな演奏ができるようにレッスンする。弾き歌いを通して、保育者としての音楽的素質や表現方法をさらに追及させる。保育の活動に用いられるリズム活動曲（マーチ・スキップなど）も取り入れ、さらに簡単なコード伴奏法や弾き歌いの初見演奏法をより多く行う。それぞれの進度に応じたレッスンを行う。

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術
自分で考え、伝える力

（５）準備学習

課題曲の練習。爪が伸びすぎていると奏法にも保育にも適切でないため、短くしておくこと。

（６）授業の進行計画

① ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
② ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
③ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
④ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑤ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑥ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑦ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑧ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑨ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑩ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑪ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑫ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑬ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑭ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑮ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑯ ピアノ実技試験（各自の課題曲の弾き歌い）

（７）課題に対するフィードバックの方法

練習してきた課題曲に対して、次のステップアップ方法をレッスンする。

（８）成績評価の方法と基準

ピアノ実技試験・弾き歌い試験８０％、平常点２０％にて総合評価します。

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】楽譜はプリントにて配布
【 参考書 】
【 教材費 】

音楽Ⅵ（合奏）

幼児教育コース

２年次　　前期　　寺田　真綾

（１）ナンバー

Ｈ３２０

（２）授業の到達目標

保育の現場では様々なジャンルの音楽・楽器が使用されている。打楽器をはじめとする各種楽器の奏法や保育現場での留意点を学び、楽器演奏からアンサンブルの楽しさを味わう。またリズム感を養い、リトミック指導法を学ぶ。

（３）授業の概要

アンサンブルを通した心の交流によって音楽を楽しみ協力することが目的である。読譜力の向上にも力を入れる。また保育現場における音楽発表を企画し、実行していくための指導をする。２・３歳児のリトミックを取り入れ、音楽に合わせて身体を動かすことからリズム指導へとつなげる。

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術
自分で考え、伝える力

（５）準備学習

課題曲の練習。

（６）授業の進行計画

① 楽器の種類と基本的な奏法について
② 楽器の種類と基本的な奏法について・課題曲（リズム練習を中心に）
③ リトミックとは・保育現場でのリトミック指導について
④ 課題曲（リズム練習を中心に）・保育現場でのリトミック指導（３歳児）
⑤ 課題曲（リズム練習を中心に）・保育現場でのリトミック指導（３歳児）
⑥ 課題曲（リズム練習を中心に）・保育現場でのリトミック指導（３歳児）
⑦ 課題曲（季節や生活のうたに楽器パートを加えて）・音楽の基礎知識について
⑧ 課題曲（季節や生活のうたに楽器パートを加えて）・保育現場でのリトミック指導（２歳児）
⑨ 課題曲（季節や生活のうたに楽器パートを加えて）・保育現場でのリトミック指導（２歳児）
⑩ 課題曲（季節や生活のうたに楽器パートを加えて）・保育現場でのリトミック指導（２歳児）
⑪ 課題曲（保育現場で歌われる曲を各自で用意）
⑫ 課題曲（保育現場で歌われる曲を各自で用意）
⑬ 課題曲（保育現場で歌われる曲を各自で用意）
⑭ 課題曲（試験・発表に向けて）
⑮ 課題曲（試験・発表に向けて）
⑯ 実技試験（各自の課題曲を演奏する）

（７）課題に対するフィードバックの方法

練習してきた課題曲に対して、次のステップアップ方法をレッスンする。

（８）成績評価の方法と基準

実技試験５０％、平常点５０％にて総合評価します。

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】プリントにて配布
【 参考書 】
【 教材費 】

幼児体育Ⅰ

幼児教育コース

２年次　　前期　　足立　博子

(1)ナンバー

Ｈ３２２

(2)授業の到達目標

様々な運動遊びの体験を通して、それらの実践方法および展開を理解するとともに、個々の運動遊びと乳幼児の発育発達との関連についても理解することを目標とする。

(3)授業の概要

本授業は演習形式にて実施し、基本的動作に基づく運動遊び、鬼ごっこ、じゃんけん遊び、伝承遊び、身近な素材や遊具を用いた遊び、大小遊具を用いた遊び、リズム遊びその他を紹介し、実践する。また、遊びの方法と目的および乳幼児の発達段階に応じた展開については、学生相互のディスカッションも行う。

(4)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術

(5)準備学習とそれに必要な時間

乳幼児の発育発達段階と代表的な運動遊びについて調べておく(60分)。授業で紹介した運動遊びについて振り返り、展開方法について整理しておく(60分)。

(6)授業の進行計画

① 歩く・走る・跳ぶなどの基本的動作を用いた運動遊び
② かけっこ・リレー遊び
③ 鬼ごっこ
④ じゃんけん遊び
⑤ 伝承遊び
⑥ ごっこ遊び
⑦ 新聞紙やタオルを使った運動遊び
⑧ 縄を使った運動遊び
⑨ フープを使った運動遊び
⑩ マットを使った運動遊び
⑪ 跳び箱を使った運動遊び
⑫ 鉄棒を使った運動遊び
⑬ サーキット遊び
⑭ リズム遊び
⑮ ダンス・遊戯
⑯ 多種目の運動遊びによる総括

(7)課題に対するフィードバックの方法

レポートはコメントを書いて返却する。

(8)成績評価の方法と基準

各運動方法の理解状況(60%)　ディスカッションへの取り組み姿勢(20%)　レポート(20%)

(9)教科書・参考書・教材費

【　教科書　】「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月内閣府)非売品
【　参考書　】杉原隆/河邉貴子「幼児期における運動発達と運動遊びの指導」ミネルヴァ書房 2014年 2640円
【　教材費　】

言葉（絵本）

幼児教育コース

２年次　前　期　宇仁菅　　真

実務家教員による授業科目

約30年にわたり俳優として舞台やテレビなどに多数出演した経験を生かして、現場で役立つ知識と演技を指導する。

（１）ナンバー

Ｈ３２５

（２）授業の到達目標

保育士として知っておくべき絵本の特性と魅力について学ぶ。また絵本製作を通して自由な発想を具体化する力を身につける。

（３）授業の概要

年齢、発達に応じた絵本の選び方、作り方を理解させる。製作・発表

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

自分で考え、伝える力。

（５）準備学習とそれに必要な時間

日頃より、好きな絵本、子供の頃によく読んだ絵本について調べておきましょう。絵の具持参。課題作業は自宅でも進めること。（60分）

（６）授業の進行計画

① オリエンテーション
② 絵本の定義・・・絵本の必要性
③ 絵本の種類・・・ジャンルの上手な使用方法
④ 絵本の歴史・・・絵巻物～幼児向き絵本の出現
⑤ 年齢による絵本の選び方・・・０歳～６歳
⑥ 絵本作成の基礎・・・自由な発想で描く①
⑦ 絵本作成の基礎・・・自由な発想で描く②
⑧ 言葉の機能・・・意味世界の共有
⑨ 小さな絵本作成・・・絵コンテの延長
⑩ 童謡の絵本・・・既成の童謡で絵本作成
⑪ 童謡の絵本・・・既成の童謡で絵本作成
⑫ オリジナル絵本・・・絵コンテ、文の作成
⑬ オリジナル絵本・・・下書き
⑭ オリジナル絵本・・・完成
⑮ オリジナル絵本・・・朗読
⑯ まとめ

（７）課題に対するフィードバックの方法

課題・ノートチェックを随時行う。

（８）成績評価の方法と基準

実技テスト（50％）提出物（50％）

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】　プリント配布
【 参考書 】
【 教材費 】　ケント紙　500円

保育実習Ⅱ

幼児教育コース

２年次　　前期（集中）　　保育実習連絡委員会

（1）ナンバー

Ｈ４０６

（2）授業の到達目標

保育所の生活に参加し、子どもへの理解を深めると共に、保育所の機能と保育士の職務・職業倫理について学ぶ。

（3）授業の概要

１．保育所の内容、機能等を「保育実習Ｉ」での経験を生かして更なる実践現場での体験を通して理解する。
２．既習の強化全体の知識・技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用力を養う。
３．保育士としての職業倫理を理解すると共に、子どもの最善の利益を如何に具体化させるかについて学ぶ。
〈内容〉１．実習施設について理解する。２．保育の一日の流れを理解し参加する。３．子どもの観察や関わりを通してニーズを理解する。４．援助計画を理解する。５．生活や援助等の一部分を担当し、養護技術を習得する。６．職員間の役割分担とチームワークを理解する。７．記録や保護者とのコミュニケーションを通して家庭・地域社会を理解する。８．子どもの最善の利益についての配慮を学ぶ。９．保育士の職業倫理を理解する。１０．安全及び疾病予防への配慮について学ぶ。

（4）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術
自分で考え、伝える力

（5）準備学習

「実習のてびき（保育所）」を熟読する。実践に関わる準備をする。
〈受講資格〉「保育実習Ｉ（施設）・（保育所）」の単位を取得していること。

（6）授業の進行計画

① 学内事前ガイダンス
② 実習先の施設見学と打ち合わせ（オリエンテーション）
③ 事前指導　１．決意表明　２．保育技術披露　３．マナー研修
④ 実習（１０日間８０時間以上）
⑤ 事後指導　１．実習日誌・自己評価表の提出
⑥　　２．グループディスカッションにおける体験発表と考察
⑦　　３．振り返りレポート　４．お礼状
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯

（7）課題に対するフィードバックの方法

提出された振り返りレポート、自己評価表、実習園からの評価表をもとに個人面談を行う。

（8）成績評価の方法と基準

実習先評価６０％、学内評価（事前指導・事後指導）４０％

（9）教科書・参考書・教材費

【教科書】『実習のてびき(保育所)』保育実習連絡委員会編
【参考書】　「これだけは知っておきたい保育のマナーと言葉」　わかば社　1，100円
【その他】　実習委託金13，000円（実習先への謝礼金）、細菌検査代440円が実習前に必要になります

保育実習Ⅲ

幼児教育コース

２年次　　前期（集中）　　保育実習連絡委員会

（1）ナンバー

Ｈ４０８

（2）授業の到達目標

児童養護施設や障害児・障害者支援施設等の生活に参加し、子どもや利用者への理解を深めると共に、福祉施設の機能と保育士の職務について学ぶ。

（3）授業の概要

１．児童養護施設等の内容、機能等を「保育実習Ⅰ（施設）」での経験を生かして、更なる実践現場での体験を通して理解する。
２．既習の強化全体の知識・技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用力を養う。
３．保育士としての職業倫理を理解すると共に、利用者の最善の利益を如何に具体化させるかについて学ぶ。
〈内容〉１．実習施設について理解する。２．施設の一日の流れを理解し参加する。３．利用者の観察や関わりを通してニーズを理解する。４．援助計画を理解する。５．生活や援助等の一部分を担当し、養護技術を習得する。６．職員間の役割分担とチームワークを理解する。７．記録や保護者とのコミュニケーションを通して家庭・地域社会を理解する。８．利用者の最善の利益についての配慮を学ぶ。９．保育士の職業倫理を理解する。１０．安全及び疾病予防への配慮について学ぶ。

（4）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術
自分で考え、伝える力

（5）準備学習

「実習のてびき（施設）」を熟読する。実践に関わる準備をする。
〈受講資格〉「保育実習Ⅰ（施設）・（保育所）」の単位を取得していること。

（6）授業の進行計画

① 学内事前ガイダンス
② 実習先の施設見学と打ち合わせ（オリエンテーション）
③ 事前指導　１．決意表明　２．保育技術披露　３．マナー研修
④ 実習（１０日間８０時間以上）
⑤ 事後指導　１．実習日誌・自己評価表の提出
⑥　　２．グループディスカッションにおける体験発表と考察
⑦　　３．振り返りレポート　４．お礼状
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯

（7）課題に対するフィードバックの方法

提出された振り返りレポート、自己評価表、実習園からの評価表をもとに個人面談を行う。

（8）成績評価の方法と基準

実習先評価６０％、学内評価（事前指導・事後指導）４０％

（9）教科書・参考書・教材費

【教科書】『実習のてびき（施設）』保育実習連絡委員会編
【参考書】　「これだけは知っておきたい保育のマナーと言葉」　わかば社　1，100円
【その他】　実習委託金13，000円（実習先への謝礼金）、細菌検査代440円が実習前に必要になります

保育実習指導Ⅱ

幼児教育コース

２年次　前期　辻　富士子

（１）ナンバー

Ｈ４０５

（２）授業の到達目標

保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解する。また、実習や既習教科目の内容及び関連性を踏まえ、保育の実践力を習得する。

（３）授業の概要

保育実習１の経験から自己課題と目標を明確にする。また、模擬保育の計画・実践・観察・記録に主体的に取り組み反省・評価を通して実践能力を高めることができるように指導する。

（４）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術

（５）準備学習とそれに必要な時間

・担当年齢の模擬保育や、手遊びの準備をする。（120分）

（６）授業の進行計画

① 保育実習1の振り返り・自己課題の明確化
② 保育所の役割や機能の具体的展開・保護者や地域との連携
③ 全体の計画に基づく指導計画の作成・実践・観察・評価について
④ 指導案の作成①ねらい・内容の決定
⑤ 指導案の作成②内容の作成
⑥ 指導案の作成③修正・完成・提出
⑦ 0歳児の保育実践（遊びと援助）
⑧ 1歳児の保育実践（遊びと援助）
⑨ 保育実習２の準備（オリエンテーション・実習日誌）
⑩ 2歳児の保育実践（遊びと援助）
⑪ 3歳児の保育実践（遊びと援助）
⑫ 4歳児の保育実践（遊びと援助）
⑬ 5歳児の保育実践（遊びと援助）
⑭ 観察に基づく保育の理解
⑮ 保育士の業務と職業倫理・自己課題への学習成果
⑯ 実習に必要な書類の作成

（７）課題に対するフィードバックの方法

指導案・自己評価にはコメントを書いて返却する。

（８）成績評価の方法と基準

模擬保育の指導案・実践・自己評価60％、課題（レポート・手遊び）20％、平常点20％

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】監修　古林ゆり「実習の日誌と指導案　完全サポート」
新星出版社　2019年1月発行　（1,400円税別）

【 参考書 】監修公益財団法人児童育成協会　編集近喰春子・寅屋嘉廣・松田純子　中央法規
2019年2月発行　（2,400円税別）

【 教材費 】

保育実習指導Ⅲ

幼児教育コース

２年次　　前　　期　金　澤　あつ子

(１)ナンバー

Ｈ４０３

(2)授業の到達目標

施設実習の意義・目的を明確にするとともに実習課題を明確にする。保育実習Ⅰ(施設）の施設実習で経験・理解した知識・技術をさらに深める。実習で福祉実践できることをめざす。

・実習や既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、保育実践力を培い実践することができる。
・保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して学び実施することができる。
・保育士の専門性と職業倫理について理解し説明することができる。
・実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にし説明することができる。

(3)授業の概要

施設実習の経験を踏まえ、より一層充実した各施設での支援の方法を学ぶ。基本となる福祉実践の目標を確認する。実習課題達成のためのプログラム作成、準備、実施までを事前に演習する。自分の得意分野を深め、実践につなげる。新たな課題や目的意識を明確にすることができるようにするため、施設養護の目的や施設で暮らす子どもや利用者の理解、施設保育士の役割等について解説する。次に、保育所以外の児童福祉施設、その他の社会福祉施設での実習の留意点を概説し、参加実習に向けての心構えや準備、実習課題、実習計画の作成等、実習に臨むための必要な能力を醸成する。さらに、実習の総括と自己評価を行うことをとおして、自己課題が明確になるように授業を進めていく。

(4)ディプロマポリシー

保育実習・体験学習

(５)準備学習

新聞や保育関係資料から日常問題意識を高く持つこと。社会の動向や子ども家庭福祉にを深めていく。日々の声かけの仕方、日常生活を大切にするなど意識を高めておく。
前回の授業のプリントを読み返す(60分)次回のプリントを読んでおく(60分)

(６)授業の進行計画

① ソーシャルワーク的視点に基づく理解
② 施設内の理解から利用者を取り巻く地域社会へという視点
③ 子どもたちや、障害者をかかえる家族のニーズ
④ 施設サービスを利用するにいたった理由
⑤ 社会的養護を担う施設機能
⑥ 子どもたちとのかかわりにおける留意事項
⑦ 施設内の人的環境
⑧ 施設内の物的環境
⑨ 利用者を取り巻く生活環境
⑩ 現場の保育士連携の重要性
⑪ 施設内外の他専門職や他機関との連携
⑫ 実習施設の沿革、地域特性等を理解する
⑬ 近隣住民とのかかわり
⑭ 部分実習計画
⑮ 部分実習発表

(７)課題に対するフィードバックの方法

提出されたレポート、テストの答案を授業内で返却し、解説する

(８)成績評価の方法と基準

評価は授業の中で５回程度の小レポート・発表・テストを実施、評価します。また、部分実習発表で評価します。評価の具体的な内容は１回目の授業のときに説明するので必ず出席すること。
各レポート・テスト・発表・制作はそれぞれ２０点の配点とする。

(９)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】 プリントを配布します。

保育実践演習Ⅱ

幼児教育コース

２年次　前期　南　口　みどり

実務家教員による授業科目

約40年にわたり保育士、保育園長として勤務した経験を活かし、保育の現場で実際に役立つ知識と技術を指導する。

（1）ナンバー

Ｈ５０２

（2）授業の到達目標

①保育士としての使命感、責任感、教育的愛情、②社会性や対人関係能力、③乳幼児理解やクラス運営、④保育内容等の指導力など、保育現場に即応できる資質能力を養う。

（3）授業の概要

「保育実践演習Ｉ」に引き続き保育士としての知識や技術を会得し、より高い専門性や資質をもつ保育士になれるよう課題を提供していく。

（4）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術、保育実習・体験学習

（5）準備学習とそれに必要な時間

保育士としての資質を育てていけるよう日頃から保育士らしい言動をするなど意識を高めておくとともに、保育に関するツールや行事等について関心を持つ。

（6）授業の進行計画

① クラス運営の観点からの保育現場について
② クラス運営の観点からの実践演習準備
③ クラス運営の観点からの実践演習
④ 保育者対応の観点からの保育現場について
⑤ 保育者対応の観点からの実践演習
⑥ 保育者対応の観点からの実践演習
⑦ 子育て支援の観点からの保育現場について
⑧ 子育て支援の観点からの実践演習準備
⑨ 子育て支援の観点からの実践演習
⑩ 行事開催の観点から保育現場について
⑪ 行事開催の観点から実践演習準備
⑫ 行事開催の観点から実践演習
⑬ 保育者としての自己課題について・リフレーミングの効果と活用を解説する
⑭ 自己課題をふまえた実践演習準備
⑮ 自己課題をふまえた実践演習
⑯ テスト・発表・授業のまとめ

（7）課題に対するフィードバックの方法

実践の方法論を出し合いコメントする

（8）成績評価の方法と基準

授業態度３０％、提出物２０％、テスト・発表５０％で総合的に評価する。

（9）教科書・参考書・教材費

適宜プリントを配布する。

チャイルドヘアーメイクⅡ（メイク）

幼児教育コース

2年次　　前　期　　岩嵜　明奈

実務家教員による授業科目　長年にわたり、大手化粧品会社に所属し、百貨店の美容部員として接客・マネジメント等の業務を経験したことを生かし、メイク業界の現場で実際に役立つ知識を指導する

⑴ナンバー

Ｈ７０２

（2）授業の到達目標

保育士にふさわしい身だしなみと、周囲の人に好印象を持ってもらえるメイクアップ技術を身につける。メイクを通して自分を表現する楽しさを知る。

（3）授業の概要

保育士にふさわしい身だしなみを身につけ、保護者の方や地域社会から安心して子ども達を任せられるという信頼感が得られるように美容技術を習得する。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

自分で考え、伝える力

（5）準備学習とそれに必要な時間

メイク実習ですので、メイク道具などの忘れ物がないようにしてください。セルフメイク又は相モデルメイクができるよう授業にはノーメイクで受講してください。

（6）授業の進行計画

① メイクの基礎知識
② 顔分析・肌分析・スキンケア
③ スキンケア・ベースメイク
④ ベースメイク（ナチュラルスキン）・カバーリング
⑤ アイブロウドローイング（ナチュラル・キュート・シャープ）
⑥ アイブロウ実習
⑦ アイメイク（グラデーションアイシャドウ）
⑧ アイメイク実習（アイメイク、アイライン、マスカラ）
⑨ リップメイク実習
⑩ チークメイク・ハイライト・ローライト実習
⑪ イメージメイク（ナチュラル）
⑫ イメージメイク（キュート）
⑬ イメージメイク（クール）
⑭ イメージメイク（就活メイク）
⑮ トータルメイク実習
⑯ メイク実技試験

（7）課題に対するフィードバックの方法

メイク後の仕上がりチェックで個々にコメントをし、苦手な箇所やメイクの修正が必要なときは手直しをおこなっていく。

（8）成績評価の方法と基準

授業への取り組み意欲・姿勢・平常点50％　課題点・30％　実技テスト20％で評価を行う。

（9）教科書・参考書・教材費

【教科書】あり

【参考書】適宜紹介

【教材費】 メイクアップ教材（カラー・リップパレット、ブラシ）　￥20，695（共同教材費含む）
　　一般社団法人JMA・セルフメイクの教科書　　￥2，805

子どもの健康と安全

幼児教育コース

2年次　　前期　　泉谷宜宏

(1)ナンバー

Ｈ２０６

(2)授業の到達目標

子どもの保健で学んだこととををふまえ、さらに子どもの疾病とその予防対策、保育における保健的対応、安全管理の実際について具体的に学び、子どもの健康と安全について理解を深める。

(3)授業の概要

子どもの保健において学んだことを基に、各カテゴリーについての理解を更に深められるよう、今後の実践へと繋げていく。保育、看護、養護、などの学問を包括して健康、環境、安全管理など保育に携わる際の実践力を身につけてほしい。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術。自分で考え、伝える力。

(5)準備学習とそれに必要な時間

教科書を熟読する(60分）。次回の授業範囲の教科書を熟読する(60分)。

(6)授業の進行計画

① 子どもの健康と保健の意義
② 子どもの発育・発達と保健
③ 子どもの保健に関わる個別対応と集団全体の健康安全管理
④ 保育における衛生管理
⑤ 事故及び安全対策
⑥ 子どもの疾病の予防及び適切な対応～こどもの病気の特徴～
⑦ 子どもの疾病の予防及び適切な対応～感染症～
⑧ 子どもの疾病の予防及び適切な対応～免疫・アレルギー疾患～
⑨ 子どもの疾病の予防及び適切な対応～体調不良や傷害～
⑩ 先天性疾患
⑪ 健康安全管理の実施体制～職員間の連携と組織的取り組み～
⑫ 健康安全管理の実施体制～保健活動の計画及び評価～
⑬ 健康安全管理の実施体制～母子保健と地域保健～
⑭ 健康安全管理の実施体制～家庭・専門機関・地域との連携～
⑮ 子どもの事故と対策
⑯ テスト

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出したレポートには、コメントを書いて返却する。

(8)成績評価の方法と基準

テスト80％　平常点20％

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】小國美也子編著『保育者・養護教諭を目指す人のための子どもの保健～健康と安全～』
2022年　へるす出版　2750円
※「子どもの保健」で購入済み

【 参考書 】
【 教材費 】

子ども家庭福祉

幼児教育コース

２年次　後期　　南　口　みどり

実務家教員による授業科目

約40年にわたり保育士、保育園長として勤務した経験を活かし、保育の現場で実際に役立つ知識と技術を指導する。

（１）ナンバー

Ｈ１０７

（２）授業の到達目標

子ども家庭福祉の概念及び具体的な内容を理解すると共に社会的サービスについて学ぶ。

（３）授業の概要

現代社会における子ども、家庭がどのように変容してきたか、又、子ども家庭福祉施策の現状について講義する。

（４）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術

（５）準備学習とそれに必要な時間

日頃から子どもをとりまく諸問題について関心を持ち、テレビやインターネットなどで情報を得ておく。

（６）授業の進行計画

① 子ども家庭福祉とは
② 日本の子ども家庭福祉の歴史
③ イギリスの子ども家庭福祉の歴史
④ アメリカの子ども家庭福祉の歴史
⑤ 児童福祉法について
⑥ 児童福祉施設の役割
⑦ 少子化と子育て支援サービス
⑧ 多様な保育ニーズへの対応
⑨ 母子保健サービス
⑩ 障害のある子どもへの支援
⑪ 子ども家庭に関する各種手当て
⑫ 児童虐待とＤＶへの対応
⑬ 社会的養護サービス
⑭ ひとり親家庭福祉サービス
⑮ これからの子ども家庭福祉について
⑯ テスト

（７）課題に対するフィードバックの方法

先週講義した内容の中で重要なところを再度確認する。

（８）成績評価の方法と基準

平常点20％、提出物30％、テスト50%

（９）教科書・参考書・教材費

適宜プリントを配布する。

社会的養護Ⅱ

幼児教育コース

２年次　後期　　鷺森　正

（１）ナンバー

Ｈ　１　１　０

（２）授業の到達目標

子どもの理解を踏まえた社会的養護の基本的な内容について具体的に理解できる。施設養護及び家庭養護の実際について理解できる。社会的養護に関わる相談方法・技術について理解できる。社会的養護における子どもの虐待の防止と家庭支援について理解し、説明できる。

（３）授業の概要

社会的養護や子育て家庭への援助の始まりから終わり、アフターケアについて理解する。また、施設で生活する子どもの日常生活の援助や自立支援の実際について、臨床事例などにより具体的に学ぶ。

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と該当授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術・自分で考え、伝える力・社会貢献・充実した人生

（５）準備学習とそれに必要な時間

日頃から社会的養護に関するニュース・記事に関心をもつこと。教科書をしっかり読み、自分の考えを事前に持っておく（６０分）課題演習により復習確認を行う（６０分）

（６）授業の進行計画

① 子どもたちの最善の利益
② 生存と発達の保障
③ 子どもの権利を守るしくみ
④ 支援者としての資質と倫理
⑤ 児童養護の体系
⑥ 児童福祉施設の概要
⑦ 児童養護施設の暮らし
⑧ 乳児院と母子生活支援施設の暮らし
⑨ 医療型障害児入所施設の暮らし
⑩ 児童自立支援施設・情緒障害児短期治療施設の暮らし
⑪ 福祉型障害児入所施設の暮らし
⑫ 里親制度の特徴とその実際
⑬ 心の傷を癒やし、心を育むための援助
⑭ 親子関係の調整
⑮ ソーシャルワーカーに関わる知識と技術
⑯ テスト

（７）課題に対するフィードバックの方法

項目ごとの課題演習を行い、次の授業で復習確認を行う。

（８）成績評価の方法と基準

課題演習（平常点を含む）３０％・テスト７０％

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】児童の福祉を支える社会的養護Ⅱ　萌文書林２０００円＋税
【 参考書 】

【 教材費 】

子育て支援

幼児教育コース

2年次　　後　期　　泉谷宜宏

(1)ナンバー

H313

(2)授業の到達目標

保育の専門性を活かした子育て支援に関する技術、方法、助言などを理解し、それを背景に保護者に支援できる
総合的な専門力を身に付ける

(3)授業の概要

保育士が行う子育て支援について、実践例を通して理解する。

(4)卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)と当該授業科目の関連

子どものの発達や福祉・教育に関する専門性を修得し、保育士資格あるいは幼稚園教諭資格を取得する。

(5)準備学習とそれに必要な時間

新聞、ニュース、保育雑誌等による子育てに関する情報を入手しておく

(6)授業の進行計画

① オリエンテーション
② 子育て支援とは
③ 子育て支援の意義
④ 子育て支援の意義基本的価値・倫理
⑤ 子育て支援の基本的姿勢
⑥ 子育て支援の基本的技術
⑦ 園内・園外との連携と社会資源
⑧ 記録・評価・研修
⑨ 日常会話を活用した子育て支援
⑩ 文書を活用した子育て支援
⑪ 行事などを活用した子育て支援
⑫ 環境を活用した子育て支援
⑬ 地域子育て支援拠点における支援
⑭ 入所施設における子育て支援
⑮ 通所施設における子育て支援
⑯ 期末試験

(7)成績評価の方法と基準

期末試験70%、課題レポート30%

(8)教科書・参考書・教材費

適時プリントを配布する。参考図書　二宮祐子著「子育て支援」15のストーリーで学ぶワークブック

保育者論

幼児教育コース

２年次　　後　期　　小川　深香

実務家教員による授業科目

公立こども園で40年間　保育教諭、こども園長として勤務した経験を活かし、保育の現場で実際に役立つ知識と技術を指導する。

（１）ナンバー

Ｈ１０２

（２）授業の到達目標

保育者の専門性を通し、知識・役割について理解し学ぶ

（３）授業の概要

保育者の専門性の視点と求められるスキルを学ぶ

（４）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術

（５）準備学習とそれに必要な時間

保育者になるために日常生活を見なおし、いろいろな物に触れたり体験・経験をし視野を広める

（６）授業の進行計画

① 保育者の仕事の実際（職業としての具体構築）
② 魅力的な保育者とは（保育者の強み）
③ 保育者の専門性とスキル
④ 保育者の一日と考察
⑤ 倉橋惣三著書「育ての心」を紹介し、保育者としての資質を考える
⑥ 保育者のまなざし（言動・態度・社会性・礼儀作法・立ち居振る舞い）
⑦ 子ども理解の二つの側面
⑧ 絵本を通して豊かな生活を生み出す保育者保育者
⑨ 保育所保育の専門性と役割・職務内容
⑩ 実際に役立つ援助の基本を学ぶ
⑪ 子育て支援における保育者の役割と必要性
⑫ 保育者と保護者は子育ての
⑬ 園（組織）の中で保育者としての役割と責任
⑭ 生活習慣の振り返り
⑮ 理想の保育者になるには
⑯ テスト（論文形式と課題）

（７）課題に対するフィードバックの方法

授業で学んだこと・もっと深く学びたいこと・自分自身を振り返り授業に対する自己課題と自己評価を構築する

（８）成績評価の方法と基準

平常点　20%　　テスト　80%　　毎回授業後　小論文

（９）教科書・参考書・教材費

【　教科書　】『最新保育講座２保育者論』　汐見稔幸 大豆生田啓友著（2,200税別）

【　参考書　】『発達障害の子どもを伸ばす　魔法の言葉かけ』　講談社
Shizu　ASD発達支援アドバイザー　監修　平岩幹男　1540円（税込）

【　教材費　】

人間関係論

幼児教育コース　　２年次　後期　鷺森　正

（１）ナンバー

Ｈ１０９

（２）授業の到達目標

日頃、子どもたちへのかかわりを支えている人間関係について考え、子ども、職員や多職種の専門家と良好な関係を築いていく方法を理解する。

（３）授業の概要

人間関係を学ぶ３つの分野(多様な言語・文化とコミュニケーション、心理学と人間理解、福祉と社会)という観点から考えていく。人間関係を成り立たせるためのコミュニケーションの仕組みと人間関係を深めたり崩壊させたりする要素なとについて学ぶ

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と該当授業科目の関連

社会貢献・充実した人生・自分で考え、伝える力の獲得に関連

（５）準備学習とそれに必要な時間

授業内容とその課題演習、つぎの授業で復習確認する(６０分)

（６）授業の進行計画

① 人間関係論とは
② 人間関係の心理学とは
③ 第一印象
④ 自分らしさの再発見
⑤ コミュニケーションの原点
⑥ 良好な人間関係わ築きやすい要因
⑦ 公的自己意識と自己提示
⑧ 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション
⑨ 聞き方・話し方フィードバック
⑩ 自己表現
⑪ 社会現象と人間関係①
⑫ 社会現象と人間関係②
⑬ 組織・集団の人間関係
⑭ 職場における人間関係
⑮ 人間関係の心理学とは総論
⑯

（７）課題に対するフィードバックの方法

課題演習は次の時間に解説し、復習確認を行う。

（８）成績評価の方法と基準

課題演習(平常点を含む)５０％・授業内に実施はするレポート・発表５０％

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】適宜紹介
【 参考書 】人間関係づくりトレーニング　金子書房　1,800円＋税
　　社会心理学　日本文芸社　850円＋税
【 教材費 】

地域福祉論

幼児教育コース

２年次　　後　期　　金　澤　あつ子

(１)ナンバー

Ｈ１０８

(2)授業の到達目標

地域で取り組む子育て支援について、自分で調べ発表することで地域福祉の理解を深める。
1. 大学において様々な事柄を主体的に学ぶための方法を、実践的に習得することができる。
2. 幼児教育保育者に求められる地域との協働について理解を向上させることができる。
3. 自身の設定したテーマについてのレポート作成、及びプレゼンテーション方法を習得することができる。

(3)授業の概要

子どもを取り巻く環境の悪化に伴い、地域で子どもの安全対策に取り組む必要が生じてきた。
少子化、高齢化、都市化、過疎化など地域の福祉に関わる課題は多い。地域住民が主体的に地域の課題を解決していく方法を探る。授業は事例を学生が発表していく方法を取り入れる。幼児教育保育者という専門職としての基礎的学力の向上と、大学における主体的な学習方法を習得することを目的とする。具体的には、幼児教育保育分野における自身の研究課題を明確に設定し、テーマに沿ったレポート制作を通して、必要な資料の収集・整理・分析、及び考察方法を学ぶ。同時に、記述、討論、プレゼンテーション力を高めるために、レジメ作成能力、取材等での社会的マナーの向上、並びに地域連携を通して、実践的にコミュニケーション方法を学ぶ。

(4)ディプロマポリシー

社会貢献・充実した人生

(５)準備学習

新聞に目を通す。教科書を熟読する。発表準備をする。前回の授業の教科書を読み返す(60分)次回の教科書の範囲を読んでおく(60分)

(６)授業の進行計画

① 子育て支援
② 保育制度から見た子育て支援
③ 子どもの放課後の支援
④ 子育て支援の類型と民間活動
⑤ 拠点を核とした多様な活動
⑥ 仲間としての支援
⑦ 地域との共生をめざした活動
⑧ 子育て支援のネットワークづくり
⑨ 市民視点の予防活動
⑩ 女性の自立支援を意識した活動
⑪ 地域支援・地域連携のタイプ分け
⑫ 場や拠点の整備
⑬ 子育て支援における一つの協働
⑭ 要支援家庭へのサポート
⑮ 父母や保護者たちのエンパワーメント
⑯

(７)課題に対するフィードバックの方法

提出されたレポート、テストの答案を授業内で返却し、解説する

(８)成績評価の方法と基準

評価は授業の中で小レポート・テストを実施、評価します(６０点)。事例発表(２０点)、出席点・平常点(２０点)とします。評価の具体的な内容は１回目の授業のときに説明するので必ず出席すること。

(９)教科書・参考書・教材費

資料は授業内にて配布します

子どもの心理学

幼児教育コース

２年次　　後期　　今峰　大樹

実務家教員による授業科目

臨床心理士、公認心理師として、現在も心理学的支援に従事している経験を生かし、子どもの特性や実社会のコミュニケーションで役に立つ知識と技術を指導する。

（１）ナンバー

Ｈ２０４

（２）授業の到達目標

子どもに関わる様々な諸問題を多角的に捉え、行政・民間の福祉サービスなどの支援体制について理解すること。

（３）授業の概要

現代における子どもに関わる様々な諸問題について講義する。講義方法：PowerPointを用いて実施。毎講義、前回の復習小テストを実施する。

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と該当授業科目の関連

「保育・幼児教育の知識と技術」の子どもの発達や福祉・教育に関する専門性を習得することに関連する講義。

（５）準備学習とそれに必要な時間

復習小テストのための準備および授業内容の復習（30分）。

（６）授業の進行計画

① オリエンテーション：子どもの心理学とは
② 子どもを取り巻く諸問題
③ 知的障害とその支援体制
④ 身体障害とその支援体制
⑤ 発達障害とその支援体制①
⑥ 発達障害と支援体制②
⑦ 発達障害と支援体制③
⑧ 児童虐待①
⑨ 児童虐待②
⑩ 貧困と子ども①
⑪ 貧困と子ども②
⑫ 親の精神疾患と子ども①
⑬ 親の精神疾患と子ども②
⑭ その他の諸問題と支援体制
⑮ 講義のまとめ
⑯ 学期末試験

（７）課題に対するフィードバックの方法

復習小テストについては、講義中に採点・解説を実施。

（８）成績評価の方法と基準

学期末試験（30%）、毎講義はじめに行う復習小テスト（10%）、平常点と受講態度（60%）

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】
【 参考書 】*適宜紹介

子ども家庭支援論

幼児教育コース

２年次　　後　期　　小川　深香

実務家教員による授業科目

公立こども園での40年間の保育教諭・園長として実務経験をもとに現場で活かせる実践的指導をする。

(1)ナンバー

Ｈ１０６

(2)授業の到達目標

現代の家庭の意義と機能について理解する。家庭支援のシステムについて理解する。
自分自身が多様な価値観を持ち、様々なニーズに応じた支援や関係機関との連携について考えられる。

(3)授業の概要

子どもの健やかな育ちを支援するためには、家庭を支援することが欠かせない。養育者が主体的に子育てに関われるような環境作りや方策について概説する。またグループワークなどで保育者の立場に立って具体的な支援について検討する。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

子どもの発達や福祉・教育に関する専門性を修得し、保育士資格あるいは幼稚園教諭資格

を取得する。

(５)準備学習

・前回の授業内容について、教科書とレジュメを読んで復習する。（60分）
・地域社会の中にある子育て家庭を支援しているサービス、施設に目を留め、関心を寄せておく。
・各回に出される課題（レポート、実践）について準備する。（120分）

(６)授業の進行計画

① 子ども家庭支援の意義と必要性
② 子ども家庭支援の目的と機能
③ 子どもの発達と家族
④ 保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義
⑤ 子どもの育ちの喜びの共有
⑥ 保護者及び地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援
⑦ 保育士に求められる基本的態度
⑧ 家庭状況に応じた支援
⑨ 子育て家庭の福祉を図るための社会資源
⑩ 子育て支援施策・次世代育成支援施策について
⑪ 子ども家庭支援の内容と対象
⑫ 保育所等による家庭支援
⑬ 地域の子育て家庭への支援
⑭ 要保護児童及びその家庭に対する支援
⑮ 子ども家庭支援の現状と課題
⑯ 期末試験または課題レポート

(７)課題に対するフィードバックの方法

課題レポートにはコメントを記入して返却する。

(8)成績評価の方法と基準

期末試験と課題レポートの総合評価。

(9)教科書・参考書・教材費

【教科書】吉田真理著　「児童の福祉を支える子ども家庭支援論」（萌文書林）
2019年出版　定価2,200円（税込）

保育内容演習Ⅳ言葉

幼児教育コース

２年次　後期　　水谷千秋

(1)ナンバー

Ｈ３０７

(2)授業の到達目標

言語活動の本質と幼児の習得プロセス、保育における言葉の重要性について、十分な知識を得る。

(3)授業の概要

人間と言葉、進化の過程における言葉の起源、言葉とは何か、乳幼児の発達過程における言葉の発達などについて講ずる。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術

(5)準備学習とそれに必要な時間

日頃から言語への興味を抱き、言葉について意識する。教科書を予習・復習しておく（120分）。

(6)授業の進行計画

① オリエンテーション
② 領域「言葉」とは何か
③ ことばはどのように育つのか～言葉の発達～
④ ことばはどのように育つのか～初語のころまで～
⑤ ことばはどのように育つのか～幼児期前期～
⑥ ことばはどのように育つのか～幼児期後期～
⑦ ことばはどのように育つのか～言葉の発達の背後にあるもの「～
⑧ こどもの言葉と保育者～子ども理解～
⑨ こどもの言葉と保育者～遊びの中での関わり～
⑩ こどもの言葉と保育者～活動の中での関わり～
⑪ こどもの言葉と保育者～保育者の関わり～
⑫ 特別な配慮の必要な子どもとの関わり～言葉の発達～
⑬ 特別な配慮の必要な子どもとの関わり～保育者の関わり～
⑭ 特別な配慮の必要な子どもとの関わり～保護者・専門機関との関わり～
⑮ 言葉をめぐる児童文化の世界
⑯ テスト

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出したレポートには、コメントを書いて返却する。小テストをした場合は答案を返却し、回答を授業内で解説する。

(8)成績評価の方法と基準

テスト80％　平常点20％

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】「保育内容・言葉」　（同文出版）2,310円
【 参考書 】
【 教材費 】

音楽Ⅳ（ピアノ）

幼児教育コース

２年次　　後期　　寺田　真綾

（１）ナンバー

Ｈ３１８

（２）授業の到達目標

音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを基礎として、子どもたちの表現力を音楽的な面から指導する保育者に必要な読譜力を習得し、さらなる発展を目指す。

（３）授業の概要

ピアノの演奏技術をさらに高めるために、基礎練習を多く含めたレッスンを行う。保育者としての表現技術を深め、必要に応じたアレンジ方法をレベルに応じて提案する。指導者自身にも必要な音楽的鑑賞力・表現力を養い、幼児教育に音楽を活かすことのできる独創性を身につけられるよう指導する。

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術
自分で考え、伝える力

（５）準備学習

課題曲の練習。爪が伸びすぎていると奏法にも保育にも適切でないため、短くしておくこと。

（６）授業の進行計画

① ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
② ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
③ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
④ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑤ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑥ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑦ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑧ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑨ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑩ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑪ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑫ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑬ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑭ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑮ ピアノ実技（各自進度に応じた楽曲）
⑯ ピアノ実技試験（各自の課題曲の弾き歌い）

（７）課題に対するフィードバックの方法

練習してきた課題曲に対して、次のステップアップ方法をレッスンする。

（８）成績評価の方法と基準

ピアノ実技試験・弾き歌い試験８０％、平常点２０％にて総合評価します。

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】楽譜はプリントにて配布
【 参考書 】
【 教材費 】

幼児体育Ⅱ

幼児教育コース

２年次　　後期　　足立　博子

(1)ナンバー

Ｈ３２３

(2)授業の到達目標

音楽と身体活動の融合によるリトミカルムーブメントを中心として、乳幼児自身が興味と関心を持って遊びを繰り広げていけるような環境や雰囲気および仕掛けを構築できる力を身につけることを目標とする。

(3)授業の概要

本授業は演習形式にて実施し、音楽と身体活動を融合させたリトミカルムーブメントを中心に進める。リズム運動、指遊び、手遊び、ダンスなどを通して、子ども達が音楽と運動に親しみ、より自由で主体的な表現活動に取り組むことのできる環境設定や展開方法について学びを深めていく。

(4)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術

(5)準備学習とそれに必要な時間

乳幼児の発育発達段階と幼児体育Ⅰで学習した運動遊びについて復習しておく(60分)。授業で配付したプリントを読み返しておく(60分)。

(6)授業の進行計画

① 身体表現・表現遊び
② 模倣運動
③ 指遊び・手遊び
④ ビートに乗って身体を動かす
⑤ 拍子を感じながら身体を動かす
⑥ 音のイメージで身体を動かす
⑦ ボールや縄を使ったリトミカルムーブメント
⑧ 童謡によるリトミカルムーブメント
⑨ １歳のリトミカルムーブメント
⑩ ２歳のリトミカルムーブメント
⑪ ３歳のリトミカルムーブメント
⑫ ４歳のリトミカルムーブメント
⑬ ５歳のリトミカルムーブメント
⑭ リトミカルダンス
⑮ リトミカルダンス
⑯ リトミカルダンス

(7)課題に対するフィードバックの方法

レポートはコメントを書いて返却する。

(8)成績評価の方法と基準

各教材の理解状況(60%)　教材への取り組み姿勢(20%)　レポート(20%)

(9)教科書・参考書・教材費

【　教科書　】「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月内閣府)非売品
【　参考書　】杉原隆/河邉貴子「幼児期における運動発達と運動遊びの指導」ミネルヴァ書房 2014年 2640円
【　教材費　】

こども音楽療育実習

幼児教育コース

２年次　　後期集中　　寺田　真綾

(1)ナンバー

Ｈ７０５

(2)授業の到達目標

音楽療育を実践するための知識と技術を、保育所等の生活の中で総合的に実践し学ぶ。

(3)授業の概要

施設・保育所・通園事業・放課後デイサービスでの障害のある子どもたちとのグループ体験やボランティア活動を通した総合的な外部実習プログラムである。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術
自分で考え、伝える力

(5)準備学習

「実習のてびき」の熟読、こども音楽療育概論・こども音楽療育演習の内容復習。

(6)授業の進行計画

① 事前指導　１オリエンテーション　２実習先施設見学と打ち合わせ
② 事前指導　３設定保育計画　　４模擬実践発表
③ 実習（５日間・４０時間）
④ 事後指導　１実習体験の発表　２グループディスカッション　３自己評価
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯

(7)課題に対するフィードバックの方法

学内での練習のサポート、自己評価・レポートへはコメントをつけて返却する

(8)成績評価の方法と基準

事前指導２０％、当日の発表内容・日誌５０％、事後指導の振り返り・レポート３０％

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】『実習のてびき(保育所)・（施設）』保育実習連絡委員会編
【 参考書 】
【 教材費 】実習謝礼金　７，５００円

キャリア演習Ⅰ

キャリア教養コース

１年次　　前期　　寺田　真綾

（1）ナンバー

Ｃ２００

（2）授業の到達目標

音楽についての理解を通して、コミュニケーションツールとしての音楽について考える。

（3）授業の概要

音楽とは何か。その起源や様々なジャンル、癒しや作用についてを解説する。また、コミュニケーションのひとつとして、教育現場や福祉施設で行われる音楽療法やリトミックの内容にも触れる。

（4）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

学んだ教養をもとに主体的に考え、充実した人生を生きていこうとする意欲
自分自身の考えを相手に効果的に表現できる能力

（5）準備学習

授業内で紹介した曲や作曲家について調べる。

（6）授業の進行計画

① 音から音楽へ
② 音楽の癒しと作用
③ 音楽療法１
④ 音楽療法２
⑤ 音楽療法３
⑥ 音楽のジャンル１
⑦ 音楽のジャンル２
⑧ 音楽のジャンル３
⑨ 子どもと音楽１
⑩ 子どもと音楽２
⑪ 子どもと音楽３
⑫ 音楽家と聴衆
⑬ 音楽による自己表現１
⑭ 音楽による自己表現２
⑮ 音楽による自己表現３
⑯ 試験

（7）課題に対するフィードバックの方法

提出レポートに対しコメントをつけ返却する。

（8）成績評価の方法と基準

試験５０％、平常点５０％

（9）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】プリントにて配布
【 参考書 】
【 教材費 】

生活の科学

キャリア教養コース

1年次　　後　期　　泉谷　宜宏

(1)ナンバー

C118

(2)授業の到達目標

日常の自然科学分野に触れ、なりたち、しくみ、構造などを理解する

(3)授業の概要

家庭用電化製品のしくみや、自然災害が起こる原因、人間のからだの仕組み等に触れながら、
生活に密着した科学を理解させる

(4)卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)と当該授業科目の関連

外国語(英会話・韓国語)・心理学・情報技術(パソコン)の知識を柱に、科学・食・歴史・文学・美術について広く教養を身につけている

(5)準備学習とそれに必要な時間

予習(60分)復習(60分)

(6)授業の進行計画

① オリエンテーション
② 家庭用電化製品のエネルギー源の**電気**について、事例を踏まえ学ぶ
③ 照明器具から発せられる**光**のしくみについて学ぶ
④ 小さな力を大きな**力**に変えられるてこの原理について学ぶ
⑤ 自然界の**熱**の移動や熱力学について学ぶ
⑥ 人間のからだのしくみ**(血液)**について学ぶ
⑦ 人間のからだのしくみ**(恒常性)**について学ぶ
⑧ 人間のからだのしくみ**(遺伝)**について学ぶ
⑨ 生活必需品の石けん、洗剤などの**界面活性剤**について学ぶ
⑩ 生活に使われる化粧品の成分について学ぶ
⑪ **地震や津波**が発生するメカニズムを学ぶ
⑫ **台風**が発生するメカニズムを学ぶ
⑬ ゲリラ豪雨を発生させる**積乱雲**について学ぶ
⑭ 日常生活において不思議だと考える現象を取り上げ、探求し、レポートを作成する①
⑮ 日常生活において不思議だと考える現象を取り上げ、探求し、レポートを作成する②
⑯ 期末試験

(7)成績評価の方法と基準

期末試験80%、⑭⑮のレポート課題20%

(8)教科書・参考書・教材費

適時プリントを配布する

キャリアデザイン概論Ⅰ

キャリア教養コース

１年次　　前期　　後藤　弥雪

(1)ナンバー

Ｃ１２７

(2)授業の到達目標

自己分析を通して、自分がやりたいこと、自分に向いている働き方を見つける。
将来ビジョンを考え、就職活動を円滑に進められるようになる。

(3)授業の概要

前半では、エンゲージメントカード、自分史、モチベーショングラフ等、様々な
ツールを利用し、自分に向いていること、ストレスに感じる環境、やりたいこと等
を見つけていく。
後半では就職活動に向けての基礎知識を身につけ、
面接に向けた第一歩として「自己PR」が話せるように準備をする。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

キャリアデザイン、自分で考え、伝える力、社会貢献・充実した人生

(5)準備学習

過去の自分を振り返り、アウトプットできるようにしておくこと。

(6)授業の進行計画

① オリエンテーション
② 自己分析とは
③ エンゲージメントカード
④ 自分史
⑤ モチベーショングラフ
⑥ 「好きなこと」の見つけ方
⑦ 「働く意味」の見つけ方
⑧ 自己分析（実践）①
⑨ 自己分析（実践）②
⑩ 就職活動に向けての基礎知識①
⑪ 就職活動に向けての基礎知識②
⑫ 業界研究
⑬ 職種研究
⑭ 自己PRとは
⑮ 自己PR作成
⑯ まとめ

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出レポートに対しコメントをつけ返却する。

(8)成績評価の方法と基準

期末レポート５０％、平常点５０％（各種レポートを含む）

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】プリントにて配布
【 参考書 】
【 教材費 】

キャリア調理実習Ⅰ

キャリア教養コース

1年次　　前期　　水谷千秋・調理実習委員会

実務家教員による授業科目

長年、飲食の現場で経験を積んできているスタッフが、調理業務について適宜指導を行なう。

（1）ナンバー

Ｃ２０１

（2）授業の到達目標

調理師免許受験資格をめざす学生を対象とする。調理の現場で実習をし、知識と経験、技術を獲得する。

（3）授業の概要

調理師免許受験資格を得るために、２年間給食施設,飲食店等で、1週間に４日以上、かつ24時間以上の実習が必要となる。本実習は、このうちの１年前期期間における１週間４日各６時間勤務のうちの前半３時間を以って充てる。

（4）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と該当授業科目の関連

調理に関する知識と技術

（5）準備学習とそれに必要な時間

実習に備えての予習・復習

（6）授業の進行計画

① 事前指導として、実習先との連絡調整と実習先でのマナー等の習得。
② 実習先の指示に従い、現場実習として、1週間に４日以上、かつ24時間以上時間以上の職業体験。
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯

（7）課題に対するフィードバックの方法

（8）成績評価の方法と基準

受け入れ先の担当者のコメント（30%）と実習者のレポート（80%）、及び全体的な参加意欲、態度（30%）で総合的に評価する。

（9）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】
【 参考書 】
【 教材費 】※個人で社会保険に加入すること。

キャリア調理実践実習Ⅰ

キャリア教養コース

1年次　前期　　水谷千秋・調理実習委員会

実務家教員による授業科目

長年、飲食の現場で経験を積んできているスタッフが、調理業務について適宜指導を行なう。

（1）ナンバー

Ｃ２０５

（2）授業の到達目標

調理師免許受験資格をめざす学生を対象とする。調理の現場で実習をし、知識と経験、技術を獲得する。

（3）授業の概要

調理師免許受験資格を得るために、２年間給食施設,飲食店等で、1週間に４日以上、かつ24時間以上の実習が必要となる。本実習は、このうちの１年前期期間における１週間４日各６時間勤務のうちの後半３時間を以って充てる。

（4）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と該当授業科目の関連

（5）準備学習とそれに必要な時間

（6）授業の進行計画

① 事前指導として、実習先との連絡調整と実習先でのマナー等の習得。
② 実習先の指示に従い、現場実習として、1週間に４日以上、かつ24時間以上
③ の職業体験。
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯

（7）課題に対するフィードバックの方法

（8）成績評価の方法と基準

受け入れ先の担当者のコメント（30%）と実習者のレポート（80%）、及び全体的な参加意欲、態度（30%）で総合的に評価する。

（9）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】
【 参考書 】
【 教材費 】※個人で社会保険に加入すること。

キャリア演習Ⅱ

キャリア教養コース　１年次　　後期　　水谷千秋

(１)ナンバー

Ｃ１２７

(2)授業の到達目標

河合隼雄著『こころの処方箋』を読みながら、心の成長について一緒に考える。自らの内面を見つめ、自覚して生きることに気づきたい。

(3)授業の概要

テキストを読みながら、その言わんとするところを学生と一緒に考える。毎回、感想を提出させる。臨床心理学の考え方を学び、繊細な心と向き合う大切さを理解する

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

コミュニケーション力、自分で考え、伝える力、社会貢献・充実した人生

(5)準備学習とそれに必要な時間

テキストをあらかじめ読んでおく（60分）。復習・その日読んだ部分のテキストを読み直す（60分）。

(6)授業の進行計画

① 人の心などわかるはずがない
② ふたつよいことさてないものよ
③ 100%正しい忠告はまず役に立たない
④ 「理解ある親」をもつ子はたまらない
⑤ 灯台に近づきすぎると難破する。
⑥ イライラは見通しのなさを示す。
⑦ 己を殺して他人を殺す
⑧ 100以外はダメな時がある
⑨ マジメも休み休み言え
⑩ やりたいことはまずやってみる
⑪ 一番生じやすいのは180度の変化である
⑫ 説教の効果はその長さと反比例する
⑬ 人間理解は命がけの仕事である
⑭ 自立は依存によって裏付けられている
⑮ 灯を消すほうがよく見えることがある
⑯ テスト

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出したレポートには、コメントを書いて返却する。

(8)成績評価の方法と基準

筆記試験80%　平常点20%

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書】河合隼雄『こころの処方箋』（新潮文庫）税込み649円
【 教材費 】

キャリアデザイン概論Ⅱ

キャリア教養コース

1年次　　後　期　　宇仁菅　　真

実務家教員による授業科目

約30年にわたり俳優として舞台やテレビなどに多数出演した経験を生かして、現場で役立つ知識と演技を指導する。

（1）ナンバー

Ｃ１２８

（2）授業の到達目標

演劇スキルを基に、教養を身につけ、就職活動に役つ表現を学ぶ。

（3）授業の概要

自由な発想を培うために、自己肯定感が充実するように指導する。グループワーク・発表

（4）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

自分で考え、伝える力。

（5）準備学習とそれに必要な時間

各授業内で行った課題を自分のものにするまで復習することが大切である。発声練習を自宅でも行なうこと。（30分）

（6）授業の進行計画

① オリエンテーション
② 良い声・・・腹式呼吸　滑舌
③ 心・・・感情表現
④ 行動・・・身体表現
⑤ 言葉・・・補足　説明
⑥ 自己肯定感・・・自信　責任
⑦ 知性と感情・・・正しい人間関係
⑧ ステイタス・・・立場の優劣
⑨ 喜劇と悲劇・・・解放と緊張
⑩ 悪口・・・ストレスの発散
⑪ 空間把握・・・人間のオーラ
⑫ イエスとノー・・・受容と遮断
⑬ 羅列・・・イメージの関連付け
⑭ 模擬面接・・・１対１
⑮ 模擬面接・・・１対多数
⑯ まとめ

（7）課題に対するフィードバックの方法

自己肯定感の獲得のために、きちんとできるまで反復練習を行う。

（8）成績評価の方法と基準

実技テスト（40％）　ノート提出（30％）　平常点（30％）

（9）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】　プリント配布
【 参考書 】
【 教材費 】

キャリア調理実習Ⅱ

キャリア教養コース

1年次　後期　　水谷千秋・調理実習委員会

実務家教員による授業科目

長年、飲食の現場で経験を積んできているスタッフが、調理業務について
適宜指導を行なう。

（1）ナンバー

Ｃ２０２

（2）授業の到達目標

調理師免許受験資格をめざす学生を対象とする。調理の現場で実習をし、
知識と経験、技術を獲得する。

（3）授業の概要

調理師免許受験資格を得るために、２年間給食施設,飲食店等で、
1週間に４日以上、かつ24時間以上の実習が必要となる。本実習は、
このうちの１年後期期間における１週間４日各６時間勤務のうちの
前半３時間を以って充てる。

（4）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と該当授業科目の関連

調理に関する知識と技術

（5）準備学習とそれに必要な時間

（6）授業の進行計画

① 事前指導として、実習先との連絡調整と実習先でのマナー等の習得。
② 実習先の指示に従い、現場実習として、1週間に４日以上、
③ かつ24時間以上時間以上の職業体験。
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯

（7）課題に対するフィードバックの方法

（8）成績評価の方法と基準

受け入れ先の担当者のコメント（30%）と実習者のレポート（80%）、
及び全体的な参加意欲、態度（30%）で総合的に評価する。

（9）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】
【 参考書 】
【 教材費 】※個人で社会保険に加入すること。

キャリア調理実践実習Ⅱ

キャリア教養コース

１年次　　後期　　水谷千秋・調理実習委員会

実務家教員による授業科目
長年、飲食の現場で経験を積んできているスタッフが、調理業務について適宜指導を行なう。

（1）ナンバー
Ｃ２０６

（2）授業の到達目標
調理師免許受験資格をめざす学生を対象とする。調理の現場で実習をし、知識と経験、技術を獲得する。

（3）授業の概要
調理師免許受験資格を得るために、２年間給食施設,飲食店等で、1週間に４日以上、かつ24時間以上の実習が必要となる。本実習は、このうちの１年後期期間における１週間４日各６時間勤務のうちの後半３時間を以って充てる。

（4）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と該当授業科目の関連
調理に関する知識と技術

（5）準備学習とそれに必要な時間

（6）授業の進行計画
① 事前指導として、実習先との連絡調整と実習先でのマナー等の習得。
② 実習先の指示に従い、現場実習として、1週間に４日以上、かつ24時間以上の職業体験。
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯

（7）課題に対するフィードバックの方法

（8）成績評価の方法と基準
受け入れ先の担当者のコメント（30%）と実習者のレポート（80%）、及び全体的な参加意欲、態度（30%）で総合的に評価する。

（9）教科書・参考書・教材費
【 教科書 】※個人で社会保険に加入すること。
【 参考書 】
【 教材費 】

文書処理演習Ⅱ

キャリア教養コース

２年次　　前期　　岡石　績絵子

(1)ナンバー

Ｃ１１３

(2)授業の到達目標

１．１年次で学習したＷｏｒｄの知識・技能を深め、上級の情報処理検定資格の取得をめざす。
２．ビジネスですぐ役立つ、効果的な社外文書・社内文書が作成できる様になる。

(3)授業の概要

コンピュータ及び情報機器・媒体についての知識を学び、その操作・活用が出来るようになると共に文部科学省後援の「日本語ワープロ検定試験」などの上級の検定試験に対応した授業を進める。

(4)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

コミュニケーション力

(5)準備学習とそれに必要な時間

キーボードマスターなどのソフトを使用して、キーボードを速く打つブラインドタッチの練習をさせる。

(6)授業の進行計画

① １年次に学んだWordの復習
② 文書作成の基本　文字の書式設定・段落設定
③ 図形の挿入　図の書式設定
④ 表の挿入　表の書式設定
⑤ 日本語ワープロ検定の演習・解説
⑥ 日本語ワープロ検定準２級演習・解説
⑦ 日本語ワープロ検定準２級演習
⑧ 日本語ワープロ検定準２級演習
⑨ 日本語ワープロ検定２級演習・解説
⑩ 日本語ワープロ検定２級演習
⑪ 日本語ワープロ検定２級演習
⑫ 日本語ワープロ検定準１級演習・解説
⑬ 日本語ワープロ検定準１級演習
⑭ 日本語ワープロ検定準１級演習
⑮ テスト前の質疑応答・要点確認整理
⑯ 期末テスト

(7)課題に対するフィードバックの方法

課題提出は授業内で解説する。

(8)成績評価の方法と基準

課題提出を重視する。
検定試験を受験した学生には試験結果も成績評価に加算する。
平常点３０％、課題提出３０％、期末・模擬テスト４０％

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】『30時間アカデミック情報リテラシーOffice2016』 実教出版1,430円（税込）
【 参考書 】『日本語ワープロ検定試験模擬問題集』 準２級／２級／１級
『パソコンスピード認定試験模擬問題集』（日本情報処理検定協会出版）

韓国語会話Ⅱ

キャリア教養コース

２年次　　後期　　沈 玉均

（１）ナンバー

Ｋ１１６

（２）授業の到達目標

初級レベルの韓国語の文型と語彙を覚え、日常的な韓国語の会話ができるようになる。

（３）授業の概要

韓国語の初級レベルの文型と語彙を習得し、より自然な表現で韓国語の日常的な会話ができるようになることを目的とする。本科目では、「読む・書く・聞く・話す」のうち「話す」を重視する。加えて個々の場面における自然な韓国語コミュニケーション能力を身につけるため、毎回の授業でインタビュー形式の小テストを行う。

（４）卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

リベラルアーツ・自分で考え、伝える力

（５）準備学習とそれに必要な時間

韓国語会話１Ａ・１Ｂの授業を振り返ること（16時間）、教科書の該当箇所を再読しておくこと。

（６）授業の進行計画

① 第19課　なにをしましたか。～過去・完了表現～
② 第19課　練習問題～答案を授業内で解説する～
③ 第20課　何にされますか（レストランで）。～意志・推量・婉曲表現～
④ 第20課　練習問題～答案を授業内で解説する～
⑤ 第21課　何時に会いましょうか。～勧誘表現～
⑥ 第21課　練習問題～答案を授業内で解説する～
⑦ 第22課　水泳をしています。～現在進行形・動詞の不可能表現～
⑧ 第22課　練習問題～答案を授業内で解説する～
⑨ 第23課　うちの家に一度遊びに来てください。～用言の並列・先行・様態表現～
⑩ 第23課　練習問題～答案を授業内で解説する～
⑪ 第24課　支庁から近いですか。～仮定表現～
⑫ 第24課　練習問題～答案を授業内で解説する～
⑬ まとめ
⑭ まとめ
⑮ まとめ
⑯ 授業の全体まとめ・テスト

（７）課題に対するフィードバックの方法

小テストの答案を授業内説明する。

（８）成績評価の方法と基準

平常点５０％、小テスト２０％、授業内試験30％

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】厳基珠・金三順・金天鶴・申鉉竣・吉川友丈『韓国語の初歩〈改訂版〉』2,420円
【 参考書 】
【 教材費 】

接客マナー

舞台芸術コース・キャリア教養コース

１年次　　後期　　後藤　弥雪

（１）ナンバー

Ｋ１２２

（２）授業の到達目標

ビジネス、特に接客におけるマナーを身につけ、社会人として必要となる実践的な知識を定着させる。接客業以外でも活躍できるようなコミュニケーション能力を身につける。

（３）授業の概要

前半では、接客業を中心としたビジネスにおける最低限のマナーの知識を習得する。
後半では、就職についての知識を深めた後、
実際に接客業で働いている方々の講演を聞くことで、より自身が働いているイメージを膨らませる。

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

社会貢献・充実した人生

（５）準備学習

企業講演の前には、該当企業について調べておくこと。

（６）授業の進行計画

① オリエンテーション
② ことば遣い・敬語
③ ビジネスメールの基本マナー
④ 文書の取り扱い・封筒の書き方
⑤ 慶事・弔事
⑥ 来客応対
⑦ 面接マナー・電話応対マナー
⑧ 履歴書の書き方
⑨ 求人票の見方
⑩ 企業の探し方
⑪ 接客マナー①
⑫ 接客マナー②
⑬ 接客マナー③
⑭ 接客マナー④
⑮ 接客マナー⑤
⑯ 接客マナー⑥
⑰ 筆記試験（A）
⑱ 筆記試験（B）
⑲ まとめ

（７）課題に対するフィードバックの方法

提出レポートに対しコメントをつけ返却する。

（８）成績評価の方法と基準

筆記試験５０％、平常点５０％

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】プリントにて配布
【 参考書 】
【 教材費 】

文学の世界

キャリア教養コース

２年次　後期　　水谷千秋

(1)ナンバー

Ａ７０５

(2)授業の到達目標

文学作品を味読することにより、その醍醐味を味わい、人生の糧にできるようにしたい。そのための基礎的な読解力も身につける。

(3)授業の概要

ゴーゴリ『外套』と石川啄木『一握の砂・悲しき玩具』とを読む。いずれも青春時代にぜひ読んでおきたい作品である。この二作品に触れることで、その他の多くの名作群への招待となるに違いない。若い時の文学作品との出会いは一生の財産であり、人生をより深く豊かにしてくれるものである。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

社会貢献・充実した人生、リベラルアーツ

(5)準備学習とそれに必要な時間

日頃から読書する習慣を身につけてほしい。予習・テキストをあらかじめ読んでおく（60分）。復習・その日読んだ部分のテキストを読み直す（60分）

(6)授業の進行計画

① 文学とはなにか

② 近代文学、近代小説とその魅力

③ ゴーゴリ「外套」その背景

④ ゴーゴリ「外套」ペテルブルグという都市

⑤ ゴーゴリ「外套」風刺の世界

⑥ ゴーゴリ「外套」そのヒューマニズム（人間愛）

⑦ ゴーゴリ「外套」そのセンチメンタリズム（人生の悲しさ）

⑧ ゴーゴリ「外套」その幻想性

⑨ 短歌と日本の文学

⑩ 石川啄木「一握の砂・悲しき玩具」～東海の小島の～

⑪ 石川啄木「一握の砂・悲しき玩具」～たはむれに母を背負ひて～

⑫ 石川啄木「一握の砂・悲しき玩具」～友が皆我より偉く～

⑬ 石川啄木「一握の砂・悲しき玩具」～春の雪 銀座の奥の～

⑭ 石川啄木「一握の砂・悲しき玩具」～いつとなく我に近づき～

⑮ 啄木の生涯と文学

⑯ テスト

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出したレポートには、コメントを書いて返却する。小テストをした場合は答案を返却し、回答を授業内で解説する。

(8)成績評価の方法と基準

平常点20%　テスト・レポート80%

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】ゴーゴリ『外套』（岩波文庫） 560 円（税込み）、
石川啄木『一握の砂・悲しき玩具』（新潮文庫）473円（税込み）

【 参考書 】

【 教材費 】

キャリアデザイン概論Ⅳ

キャリア教養コース

２年次　後期　　髙岡　潤徳

（１）ナンバー

Ｃ１３１

（２）授業の到達目標

基本的なマナーを身につける。様々な職種、年齢層の人達とどう接していくか、特に苦手な人達とも上手に付き合っていく(付き合っていかない)方法を知る。

（３）授業の概要

社会人としての大切なマナーを知り、卒業後の人との付き合い方を学生と一緒に考える

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と該当授業科目の関連

コミュニケーション力・キャリアデザイン・充実した人生

（５）準備学習とそれに必要な時間

前回の授業の復習（60分）

（６）授業の進行計画

① 社会人として人との付き合い方
② 身だしなみ
③ コミュニケーション
④ 話し方・聞き方
⑤ テレワーク
⑥ 電話対応
⑦ 敬語
⑧ 指示・報告・連絡・相談・確認
⑨ 来客対応
⑩ 他社訪問
⑪ ビジネス文書
⑫ ビジネスメール
⑬ 会食
⑭ 葬式
⑮ 結婚式・お見舞い
⑯ テスト

（７）課題に対するフィードバックの方法

各項目ごとに演習課題を行い、次の授業で復習・確認を行う。

（８）成績評価の方法と基準

演習課題(平常点を含む)３０％・テスト７０％

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】入社1年目ビジネスマナーの教科書　　プレジデント社　　西出ひろこ著　　1300円
【 参考書 】

【 教材費 】

ゼミナールⅡ

全コース

２年次　前期　水谷千秋

(1)ナンバー

Ｚ１０２

(2)授業の到達目標

ライフヒストリーインタビューを実践し、これをまとめ、発表する試みに取り組む。ライフヒストリーインタビューとは、一人のひとのこれまでの人生の歩みをふりかえるインタビューを行い、これを文章にまとめることである。この実践を通じて、人生について学び、深く考える契機にしたい。

(3)授業の概要

ライフヒストリーインタビューのテーマを３つに設定したい。１．身近な高齢者から戦争体験、戦後の体験を聞き取り、記録する。２.身近な親の世代からこれまでの歩みを聞き取り、まとめる。３.自分が興味を持っている人にこれまでの人生の歩みを聞き取り、まとめる。まずこれらの作業ができるように、話の聞き方、聞き取りの仕方、文章のまとめかたなどを学ぶ。そのうえで実践する。

(4)卒業認定・学位授与の方針（デイプロマポリシー）との関連

コミュニケーション力・リベラルアーツ

(5)準備学習とそれに必要な時間

予習・テキストをあらかじめ読んでおく（60分）。復習・その日読んだ部分のテキストを読み直す（60分）。

(6)授業の進行計画

① ライフヒストリーインタビューについて①

② ライフヒストリーインタビューについて②

③ ライフヒストリーインタビューの実例を読む①

④ ライフヒストリーインタビューの実例を読む②

⑤ ライフヒストリーインタビューの実例を読む③

⑥ ライフヒストリーインタビューの実例を読む④

⑦ 最初の試みの発表①

⑧ 最初の試みの発表②

⑨ 最初の試みの発表③

⑩ 戦争体験・戦後体験

⑪ 親の世代のインタビュー

⑫ 興味のある人からインタビュー

⑬ 二度目の試みの発表①

⑭ 二度目の試みの発表②

⑮ 二度目の試みの発表③

⑯ テスト

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出したレポートには、コメントを書いて返却する。

(8)成績評価の方法と基準

レポート60％　平常点40％

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】

【 参考書 】

【 教材費 】

ゼミナールⅠ

全コース

２年次　後期　　水谷千秋

(1)ナンバー

Ｚ１０１

(2)授業の到達目標

「20世紀の日本映画ー鑑賞と評論ー」と題し、20世紀を代表する芸術である映画の特に日本の作品を鑑賞し、それについての評論を併せ読む。リベラルアーツとしての映画を鑑賞する能力を養う。

(3)授業の概要

取り上げる作品は、古今世界映画史上最高傑作との評価もある小津安二郎監督作品『東京物語』、戦後の日本映画史上最も多くの人に支持されたとも言われる山田洋次監督作品『砂の器』、1970年代の日本映画最高傑作ともいわれる長谷川和彦監督作品『太陽を盗んだ男』の三作品。各作品に関する批評としては、佐藤忠男、蓮実重彦、山根貞男らによるものを読む。最後に受講生は自ら批評文を作成し、提出する。

(4)卒業認定・学位授与の方針（デイプロマポリシー）との関連

リベラルアーツ・自ら考え、伝える力・社会貢献、充実した人生

(5)準備学習とそれに必要な時間

予習・テキストをあらかじめ読んでおく（60分）。復習・その日読んだ部分のテキストを読み直す（60分）。

(6)授業の進行計画

① 映画の面白さ、独自性。古今の名作
② 溝口健二作品『雨月物語』その1
③ 溝口健二作品『雨月物語』その２
④ 溝口健二作品『雨月物語』その３
⑤ 佐藤忠男の映画評論『雨月物語』
⑥ 溝口作品の俳優たち
⑦ 作品『砂の器』前編
⑧ 野村芳太郎作品『砂の器』その１
⑨ 野村芳太郎作品『砂の器』その２
⑩ 野村芳太郎作品『砂の器』その３
⑪ 松本清張原作と橋本忍の脚本
⑫ 長谷川和彦作品『太陽を盗んだ男』前編
⑬ 長谷川和彦作品『太陽を盗んだ男』後編
⑭ 山根貞男らの映画評論『太陽を盗んだ男』
⑮『太陽を盗んだ男』の評価の高まり
⑯ テスト

(7)課題に対するフィードバックの方法

提出したレポートには、コメントを書いて返却する。

(8)成績評価の方法と基準

テスト80％　平常点20％

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】なし

【 参考書 】

ゼミナールⅠ

全コース

２年次　前　期　宇仁菅　　真

実務家教員による授業科目

約30年にわたり俳優として舞台やテレビなどに多数出演した経験を生かして、現場で役立つ知識と演技を指導する。

（１）ナンバー

Ｚ１０１

（２）授業の到達目標

質の高い教育を提供し、パートナーシップでグループワークを推進する。

（３）授業の概要

不特定多数の顔写真で人物相関図を作成し、シナリオを製作させる。討論・発表

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

自分で考え、伝える力。

（５）準備学習

機会があれば、小説、エッセイ、ミステリー作品などを読んでおいてください。シナリオ作成を自宅でも行なうこと。（60分）

（６）授業の進行計画

① オリエンテーション・・・グループワークについて
② 人物相関図作成・・・オリジナリティー
③ 内的性格作り・・・本当の姿、性格
④ 外的性格作り・・・他者との交流で現れる性格
⑤ 理由付け・・・貫通行動
⑥ ドラマチック・・・対立の構図
⑦ 進行状況発表
⑧ 進行状況発表
⑨ 音響・効果・・・シーンに合う音選び
⑩ シーンの流れ・・・起承転結
⑪ 台詞手直し
⑫ 配役・練習
⑬ 練習
⑭ 収録
⑮ 収録
⑯ 試聴

（７）課題に対するフィードバックの方法

収録・試聴を行い、問題点の指導を行う。

（８）成績評価の方法と基準

レポート（70％）平常点（30％）

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】　プリント配布

【 参考書 】

【 教材費 】

ゼミナールⅡ

全コース

２年次　後　期　宇仁菅　　真

実務家教員による授業科目

約30年にわたり俳優として舞台やテレビなどに多数出演した経験を生かして、現場で役立つ知識と演技を指導する。

（１）ナンバー

Ｚ１０２

（２）授業の到達目標

質の高い教育を提供し、パートナーシップでグループワークを推進する。

（３）授業の概要

脚本を多角的に研究することにより、人物や人生について深く考える素地を身につける。

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

自分で考え、伝える力。

（５）準備学習

舞台の脚本や映画のシナリオなどを機会があれば、読んでおいていただきたい。脚本研究を行い、付帳の作成を自宅で行なうこと。（60分）

（６）授業の進行計画

① オリエンテーション・・・グループワークについて
② 脚本①本読み・・・黙読　音読
③ 脚本①本読み・・・音読
④ 脚本研究・・・情報収集
⑤ 脚本研究・・・人物像
⑥ 脚本研究・・・時代考証
⑦ 脚本研究・・・美術　照明　音響
⑧ 脚本研究・・・衣裳　小道具～付帳作成
⑨ 脚本②本読み・・・黙読　音読
⑩ 脚本②本読み・・・音読
⑪ 脚本研究・・・情報収集
⑫ 脚本研究・・・人物像
⑬ 脚本研究・・・時代考証
⑭ 脚本研究・・・美術　照明　音響
⑮ 脚本研究・・・衣裳　小道具～付帳作成
⑯ まとめ

（７）課題に対するフィードバックの方法

研究成果のレポートへの加筆修正を徹底的に行う。

（８）成績評価の方法と基準

レポート提出（70％）　平常点（30％）

（９）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】　プリント配布
【 参考書 】
【 教材費 】

ゼミナールⅠ

全コース

２年次　　前期　　新　谷　涼　子

実務家教員による授業科目　19年にわたり大手化粧品勤務やメイクアップアーティストとして
メディアの第一線で活動した経験を生かし、メイクの現場で実際に役立つ知識を指導する。

（1）ナンバー

Ｚ１０１

（2）授業の到達目標

学生参加型の授業を実施し、コミュニケーション力・対応力・自己分析・自己表現力の向上を目指す。
SDGsの目標４の質の高い教育を目標とするものである。

（3）授業の概要

授業はロールプレイング型を実施し、定めたテーマの授業で自己向上を目指し、授業で学んだことをオープンキャンパス参加の際に実践する。オープンキャンパス後の授業では各学生反省と学びをデスカッションし次回のオープンキャンパスの向上を目指す。※基本オープンキャンパス全日程参加していただきます【オープンキャンパス日程・4/20,5/11,5/24,6/7,6/22,7/6,7/19,8/2,8/23】
またSDGｓ12番作る責任、使う責任に焦点をあて、がん患者へ私たちが出来る社会貢献をディスカッションし考えていく。

（4）卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

・自分で考え伝える力
・センス、マナー
・ヘアメイクなどの技術と知識
・コミュニケーション力

（5）準備学習とそれに必要な時間

自身の生活の中で意識をして学んだスキルをアウトプットする（９０分）。
自己プロデュースなどファッション、ヘアメイクの雑誌やSNSなどを見て
研究する（６０分）。

（6）授業の進行計画

① 授業概要説明・SAKATAN心構え（学内見学ロープレ）

② 【ディスカッション】SDGｓの話・来学生・保護者対応・コース説明確認・シフト決め（4/20,5/11のオープンキャンパス）

③ 【ディスカッション】前回のオープンキャンパスフィードバック
【ロールプレイング】次回のオープンキャンパスの詳細を自ら調べ当日の動きシュミレーション
【ディスカッション】次回持ち場練習

④ 【ディスカッション】前回のオープンキャンパスフィードバック・学生主体体験授業説明・考案
【ロールプレイング】次回のオープンキャンパスの詳細を自ら調べ当日の動きシュミレーション

⑤ 【ディスカッション】シフト決め（5/24,6/7オープンキャンパス）・学生主体体験授業考案（準備）・SDGｓ考案

⑥ 【ディスカッション】・前回のオープンキャンパスフィードバック・学生主体体験授業考案続き（準備）・SDGｓ

⑦ 【ロールプレイング】学生主体体験授業発表・フュードバック

⑧ 【ディスカッション】前回のオープンキャンパスフィードバック
【ディスカッション】シフト決め（6/22オープンキャンパス）・学生主体体験授業考案

⑨ 【ロールプレイング】学生主体体験授業発表・フュードバック・SDGｓ

⑩ 【ディスカッション】前回のオープンキャンパスフィードバック
【ディスカッション】シフト決め（7/6,7/19オープンキャンパス）・学生主体体験授業考案

⑪ 【ロールプレイング】学生主体体験授業発表・フュードバック・SDGｓ

⑫ 【ディスカッション】前回のオープンキャンパスフィードバック
【ディスカッション】シフト決め（8/2,8/23オープンキャンパス）・学生主体体験授業考案

⑬ 【ディスカッション】後輩指導について・SDGｓ

⑭ 【ディスカッション】前回のオープンキャンパスフィードバック・学生主体体験授業考案

⑮ 【ロールプレイング】学生主体体験授業発表・フュードバック・SDGｓ

⑯ 【ディスカッション】前回オープンキャンパスフードバック・レポートファイル提出・SDGｓ

(7)課題に対するフィードバックの方法

オープンキャンパス後の授業でディスカッションしフィードバックを各学生にする。

(8)成績評価の方法と基準

実習態度、参加意欲７0%　　レポート３0%
出席回数が授業回数の3分の2に満たない場合は「単位不認定」とする。

(9)教科書・参考書・教材費

【 教材費 】SDGｓ（共同使用）　3,000円

ゼミナールⅠ

全コース

２年次　　前期　　寺田　真綾

（1）ナンバー

Ｚ１０１

（2）授業の到達目標

出前保育・学外発表の企画を通して、保育者としてだけでなく社会人としてのコミュニケーション力や表現力を向上させる。

（3）授業の概要

出前保育プログラムとして、子どもたちが楽しめるような内容（音楽劇・ダンス・紙芝居・クイズ・マジック他）を考え、近隣地域の保育園やこども園など学外において発表する。発表内容については受講者全員で企画していく。また身近な素材や廃材を使うなどSDGｓに取り組んだ内容とし、必要に応じた稽古をする。

（4）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術
自分で考え、伝える力

（5）準備学習

発表に向けての準備。

（6）授業の進行計画

① 受講メンバー顔合わせ。発表内容について話し合い、企画立案する。
② 練習・準備
③ 練習・準備
④ 練習・準備
⑤ 練習・準備
⑥ 練習・準備
⑦ 練習・準備
⑧ 練習・準備
⑨ 練習・準備
⑩ 練習・準備
⑪ 練習・準備
⑫ 練習・準備
⑬ 練習・準備
⑭ 練習・準備
⑮ 練習・準備
⑯ 出前保育にて発表

（7）課題に対するフィードバックの方法

練習した発表内容に対して、次のステップアップ方法をレッスンする。

（8）成績評価の方法と基準

発表５０％、平常点５０％にて総合評価します。参加者全員で作り上げる発表であるため、前向きな参加ができるか・協調性を重視します。

（9）教科書・参考書・教材費

【 教科書 】プリントにて配布
【注意】出前保育へ伺う際の費用（交通費）、企画によっては制作物にかかる費用は自己負担とする。

ゼミナールⅡ

全コース

２年次　　後期　　寺田　真綾

(1)ナンバー

Ｚ１０２

(2)授業の到達目標

出前保育・学外発表の企画を通して、保育者としてだけでなく社会人としてのコミュニケーション力や表現力を向上させる。

(3)授業の概要

出前保育プログラムとして、子どもたちが楽しめるような内容（音楽劇・ダンス・紙芝居・クイズ・マジック他）を考え、近隣地域の保育園やこども園など学外において発表する。発表内容については受講者全員で企画していく。また身近な素材や廃材を使うなどSDGｓに取り組んだ内容とし、必要に応じた稽古をする。

(4)卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

保育・幼児教育の知識と技術
自分で考え、伝える力

(5)準備学習

発表に向けての練習。

(6)授業の進行計画

① 受講メンバー顔合わせ。発表内容について話し合い、企画立案する。
② 練習・準備
③ 練習・準備
④ 練習・準備
⑤ 練習・準備
⑥ 練習・準備
⑦ 練習・準備
⑧ 練習・準備
⑨ 練習・準備
⑩ 練習・準備
⑪ 練習・準備
⑫ 練習・準備
⑬ 練習・準備
⑭ 練習・準備
⑮ 練習・準備
⑯ 出前保育にて発表

(7)課題に対するフィードバックの方法

練習した発表内容に対して、次のステップアップ方法をレッスンする。

(8)成績評価の方法と基準

発表５０％、平常点５０％にて総合評価します。参加者全員で作り上げる発表であるため、前向きな参加ができるか・協調性を重視します。

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】プリントにて配布
【注意】出前保育へ伺う際の費用（交通費）、企画によっては制作物にかかる費用は自己負担とする。

ゼミナールⅠ

全コース

２年次　前　期　　岩　嵜　明　奈

実務家教員による授業科目　長年にわたり、大手化粧品会社に所属し、百貨店の美容部員として接客・マネジメント等の業務を経験したことを生かし、メイク業界の現場で実際に役立つ知識を指導する

（１）ナンバー

Ｚ１０１

（２）授業の到達目標

美容・化粧品の知識やスキルを学び、最終的に日本化粧品検定２級を取得することで、美容業界への就職につなげる（検定は１１月実施予定）受講者は必ず受験すること。

（３）授業の概要

日本化粧品検定にむけて美容皮膚科学を中心にトータルビューティーを学び、合格することを目標とする。日本化粧品検定２級対策授業

（４） 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

メイク・ネイルなどの技術と知識
自分で考え、伝える力

(5)準備学習とそれに必要な時間

対策授業を受講しながら公式テキストを読み込み、自主的に２級対策問題集を解き、学習をすること。

(6)授業の進行計画

① オリエンテーション（日本化粧品検定２級対策）
② 基本的な美容知識
③ 皮膚の構造
④ 皮膚の付属器官
⑤ 肌タイプと見分け方
⑥ 肌悩みの原因とお手入れ
⑦ 骨格に合わせたメイクアップと基本テクニック
⑧ 肌を劣化させる外的・内的要因
⑨ 紫外線が肌に与える影響
⑩ 筋肉と骨格とリンパの基礎知識
⑪ パーソナルカラー
⑫ 生活習慣美容
⑬ 美容に役立つ顔のツボ
⑭ 問題集対策①
⑮ 問題集対策②
⑯ 日本化粧品検定２級検定対策　学期末試験

(7) 課題に対するフィードバックの方法

対策授業において個々それぞれの苦手分野に応じたフィードバックを行う。

(8)成績評価の方法と基準

平常点50％・課題点10％と学期末試験の結果40％で評価する。

(9)教科書・参考書・教材費

日本化粧品検定１級　検定受験料　　１３，２００円
日本化粧品検定２級　検定受験料　　８，８００円
一般社団法人日本化粧品検定協会・日本化粧品検定２級対策テキスト・主婦の友社　２，２００円

ゼミナールⅡ

全コース　　2年次　　後　期　　岩嵜　明奈

⑴ナンバー
Z102

⑵授業の到達目標
①日本化粧品検定1級を取得する。
②化粧品の成分を理解し化粧品を製作す

⑶授業の概要
日本化粧品検定1級に向けて学び、合格することを目標とする。
日本化粧品検定1級内容を学び、理解し、化粧品に関わるあらゆる知識を身に着ける。
SDGs 項目３「 すべての人に健康と福祉を」の取り組みとして、美容の力で社会貢献を目指す

⑷卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連
化粧品の成分・効能効果の知識。
自分で考え、アイディアを出し、形にする力。

⑸準備学習とそれに必要な時間
検定対策授業を受講しながら、対策プリント及び問題を解き、自発的に学習すること。
化粧品の種類や特徴の情報収集を行う。

⑹授業の進行計画
① オリエンテーション（日本化粧品検定1級試験対策）
② 世界と日本の化粧品の始まり
③ 化粧品の原料
④ 化粧品の種類と特徴①
⑤ 化粧品の種類と特徴②
⑥ 化粧品にまつわるルール
⑦ 化粧品の官能評価
⑧ 問題集対策
⑨ 日本化粧品検定1級試験
⑩ ナチュラルスキンケアとSDGSへのつながり
⑪ 化粧品制作①化粧品の歴史
⑫ 化粧品制作②エッセンシャルオイルの有用性
⑬ 化粧品制作③エッセンシャルオイルの基礎知識
⑭ 化粧品製作④植物系ミネラルと動物系ミネラルについて
⑮ SDGSにつながる手づくりコスメ体験

⑺課題に対するフィードバックの方法
問題の答案・解説を授業内で行い、個々それぞれの苦手分野に応じたフィードバックを行う。

⑻成績評価の方法と基準
平常点50％・課題点10％と学期末試験の結果40％で評価する。

⑼教科書・参考書・教材費
日本化粧品検定1級　検定受験料　13,200円
一般社団法人日本化粧品検定協会・日本化粧品検定1級対策テキスト・主婦の友社　2,530円

ゼミナールⅠ

全コース

2　年次　　前　　期　　田中　宏一

美容師として勤務した経験を生かし、美容所に於いて実際に役立つ知識と技術を指導する。

(1) ナンバー

Ｚ１０１

(2) 授業の到達目標

学外で実施される美容技術コンテストの出場を目指すこととする。
出場種目に特化した技術練習を行い、最終的にレポートにまとめる。
またSDGS17の目標4.質の高い教育をみんなにの観点より、仕事に関係する技術習得を
学外でも実践している学生と競うことでより高いレベルを体感し実践する。

(3) 授業の概要

本年7/8（火）に実施される美容学生技術大会の出場準備をすすめていきます。
種目は、ワインディング、ヘアカット、まつ毛エクステンション、ネイルアート、オールウェーブ等になります。参加人数に限りがあるので、話し合いで持って出場種目を決定します。
※　美容養成課程（昼間・通信）以外の方は、出場種目に制限があります。

(4) 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連

美容の知識・技術
自分で考え、伝える力

(5) 準備学習とそれに必要な時間

平素の授業を大切にすること。

(6) 授業の進行計画

① オリエンテーション
② 各種コンテスト出場種目決め、エントリー
③ 技術練習①
④ 技術練習②
⑤ 技術練習③
⑥ 技術練習④
⑦ 技術練習⑤
⑧ 技術練習⑥
⑨ 技術練習⑦
⑩ 技術練習⑧
⑪ 技術練習⑨
⑫ 技術練習⑩
⑬ 技術練習⑪
⑭ 技術練習⑫
⑮ コンテスト出場
⑯ コンテスト出場レポート作成

(7) 課題に対するフィードバックの方法

提出レポートの内容を精査し、コメント添付の上、返却する。

(8) 成績評価の方法と基準

取り組み状況とレポートにて評価する。

(9) 教科書・参考書・教材費

適宜プリント等配布。
コンテスト出場料無料。必要な道具などは各自負担。

ゼミナールⅡ
全コース

2　年次　　後　　期　　伊藤　美香

(1) ナンバー
Ｚ１０２

(2) 授業の到達目標
簡単なヘアアレンジができるようになること。
SDGSへの取り組みとして、不要になったものの再生利用方法調べ、ヘアアクセサリー等を作成する。
最終的には、ヘアアレンジに似合うヘアアクセサリー等が作成できるようになり、
トータルコーディネートできるようになる。

(3) 授業の概要
ヘアアレンジの基本のゴムのくくり方から始め、簡単なアレンジができる技術を身に付ける。
ヘアアクセサリー等を作成し、実際に使用する。

(4) 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連
美容の知識・技術
自分で考え、伝える力

(5) 準備学習とそれに必要な時間
平素の授業を大切にすること。

(6) 授業の進行計画
① オリエンテーション
② ヘアアレンジ①
③ ヘアアレンジ②
④ アクセサリー作成①
⑤ アクセサリー作成②
⑥ レポート及びアクセサリー等の提出
⑦ ヘアアレンジ③
⑧ ヘアアレンジ④
⑨ アクセサリー作成③
⑩ アクセサリー作成④
⑪ レポート及びアクセサリー等の提出
⑫ ヘアアレンジ⑤
⑬ ヘアアレンジ⑥
⑭ アクセサリー作成⑤
⑮ アクセサリー作成⑥
⑯ レポート及びアクセサリー等の提出

(7) 課題に対するフィードバックの方法
提出レポート、ヘアアクセサリー等の内容を精査し、コメント添付の上、返却する。

(8) 成績評価の方法と基準
取り組み状況とレポートなどの提出物にて評価する。

(9) 教科書・参考書・教材費
筆記用具。
実習に必要な道具及び作成に必要なものは各自負担とする。

情報処理演習Ⅱ

幼児教育コース

２年次　　前期　　三宅 香代子

(1)ナンバー

Ｋ１２９

(2)授業の到達目標

近年、あらゆる業界において情報化が進み、様々なデータの活用が可能となっている。コンピュータの基礎的なスキルと共に、名簿や物品管理等のデータを実践的に活用できる能力が求められている。業務を円滑に行うための情報処理能力を習得し、その証明として情報処理検定資格取得を目指し学修を進める。

(3)授業の概要

代表的な表計算ソフトウェアであるExcelを用いて、表作成や計算機能と適切な数式の活用による集計処理の習得と、グラフなど視覚的に説得力ある資料作成を可能とする。
その能力の証明として、文部科学省後援の情報処理技能検定「表計算」などの検定試験取得を目指し学修を進める。

(4)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

コミュニケーション力

(5)準備学習とそれに必要な時間

情報処理技能検定試験の計算基礎知識として、四則演算や構成比率の計算式から、一般的な業務で実践されている計算を確認する。また、基本的な関数の活用を理解する。

(6)授業の進行計画

① 授業ガイダンス、検定試験の科目説明と各級の内容 情報処理議の検定の演習・解説
② 表計算ソフトの基本演習①Excelの画面構成、基本操作、データの入力と編集
③ 表計算ソフトの基本演習②表作成と列幅・行の高さの変更、計算式の設定
④ 表計算ソフトの基本演習③基本的な関数（SUM・AVERAGE・MAX・MIN・COUNT（CONTA）関数
⑤ 表計算ソフトの基本演習④相対参照と絶対参照、構成比率計算、順位付け（RANK.EQ関数）
⑥ 表計算ソフトの基本演習⑤基本的な関数（端数処理関数）、印刷設定
⑦ 表計算ソフトの基本演習⑥判断処理（IF関数）
⑧ 表計算ソフトの基本演習⑦グラフ作成Ⅰ 棒グラフ、グラフの編集
⑨ 表計算ソフトの基本演習⑧グラフ作成Ⅱ 円グラフ、レーダーチャート
⑩ 表計算ソフトの基本演習⑨データベース機能（並べ替え・フィルター）
⑪ 情報処理技能検定3級演習・解説
⑫ 情報処理技能検定3級演習
⑬ 情報処理技能検定３級演習
⑭ 情報処理技能検定３級演習
⑮ 課題提出の確認、まとめ
⑯ 期末テスト

(7)課題に対するフィードバックの方法

課題提出は授業内で解説する。

(8)成績評価の方法と基準

課題提出を重視する。
平常点２０％、課題提出４０％、期末４０％

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】『30時間アカデミック　情報リテラシー　Office2016 』　　実教出版 1,430円（税込）
（注）１年次と同じ教科書
【 参考書 】『表計算情報処理技能検定試験模擬問題集』 ３級
『文書デザイン検定試験模擬問題集』 ３級／２級／１級編
『表計算情報処理技能検定試験模擬問題集』 ２級編
『パソコンスピード認定試験模擬問題集』（検定協会出版）

情報処理演習Ⅰ

舞台芸術コース

2年次　　前期　　三宅 香代子

(1)ナンバー

Ｋ１０７

(2)授業の到達目標

現代社会では、あらゆる場面で情報の利活用能力が求められる。このコンピュータリテラシーの習得は、社会生活において仕事に関わらず日常でも情報を扱う基本的なスキルといえる。保育の現場においてもIOTの活用が活発になっている。そのため、授業を通して広く情報の視野を持ち、情報のモラルとセキュリティを理解し、その知識と技術を身につける。

(3)授業の概要

パソコンの基本知識から、前期はワープロソフトの代表的なWordを活用し、知識と技術を身に付け操作できるようになる。その能力の証明として、文部科学省後援の「文書デザイン検定」などの情報処理検定資格の取得を目指し学修を進める。

(4)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

コミュニケーション力

(5)準備学習とそれに必要な時間

タッチタイピングの練習を実施し、タイピングスピードの向上を図る。

(6)授業の進行計画

① パソコン基本操作とタイピング
② 文書作成の基本、文字の書式設定、段落設定
③ 図家の挿入、図形の書式設定
④ 検定試験の科目説明と各級の内容　文書デザイン検定の演習・解説
⑤ 文書デザイン検定３級演習・解説
⑥ 文書デザイン検定３級演習
⑦ 文書デザイン検定２級演習・解説
⑧ 文書デザイン検定２級演習
⑨ パソコンスピード認定試験解説演習
⑩ パソコンスピード・文書デザイン演習（1級受験希望学生にも対応する）
⑪ 文書デザイン検定２級・３級演習
⑫ 文書デザイン検定２級・３級演習
⑬ 文書デザイン検定２級・３級演習
⑭ 課題作成
⑮ テスト前の質疑応答・要点確認整理
⑯ 期末テスト

(7)課題に対するフィードバックの方法

課題の解説は授業内で実施する。

(8)成績評価の方法と基準

課題提出を重視する。
平常点２０％、課題提出４０％、期末テスト４０％

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】『30時間アカデミック　情報リテラシー　Office2016 』　　実教出版 1,430円（税込）
（注）前期/後期と通年利用

【 参考書 】『表計算情報処理技能検定試験模擬問題集』 ３級
『文書デザイン検定試験模擬問題集』 ３級／２級／１級編
『表計算情報処理技能検定試験模擬問題集』 ２級編
『パソコンスピード認定試験模擬問題集』（検定協会出版）

心理学

ビューティーメイクコース／舞台芸術コース／キャリア教養コース

２年次　　後期　　今峰　大樹

実務家教員による授業科目
臨床心理士、公認心理師として、現在もカウンセリングに従事している経験を生かし、
実社会のコミュニケーションに役立つ臨床心理の知識と技術を指導する。

（１）ナンバー
Ｋ１２４

（２）授業の到達目標
心理学の基礎知識を幅広く学び、他者や自分についての理解や視野を広げることができるような心理学的視点の理解・獲得すること。

（３）授業の概要
心理学諸領域の知識や考え方を講義する。講義方法：PowerPointを用いて実施。毎講義、前回の復習小テストを実施する。

（４）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と該当授業科目の関連
「コミュニケーション力」獲得に関連する講義。

（５）準備学習とそれに必要な時間
復習小テストのための準備および授業内容の復習（30分）。

（６）授業の進行計画
① オリエンテーション：心理学とは
② 生理心理学
③ 知覚心理学
④ 記憶
⑤ 認知心理学
⑥ 学習心理学
⑦ 動悸づけ
⑧ 人格心理学
⑨ 発達心理学
⑩ 犯罪心理学
⑪ 社会心理学
⑫ 集団心理学
⑬ 家族心理学
⑭ 臨床心理学
⑮ 講義のまとめ
⑯ 学期末試験

（７）課題に対するフィードバックの方法
復習小テストについては、講義中に採点・解説を実施。

（８）成績評価の方法と基準
学期末試験（30%）、毎講義はじめに行う復習小テスト（10%）、平常点と受講態度（60%）

（９）教科書・参考書・教材費
【 教科書 】
【 参考書 】*適宜紹介

情報処理演習Ⅰ

キャリア教養コース

１年次　　後期　　三宅 香代子

(1)ナンバー

Ｋ１３６

(2)授業の到達目標

近年、あらゆる業界において情報化が進み、様々なデータの活用が可能となっている。コンピュータの基礎的なスキルと共に、名簿や物品管理等のデータを実践的に活用できる能力が求められている。業務を円滑に行うための情報処理能力を習得し、その証明として情報処理検定資格取得を目指し学修を進める。

(3)授業の概要

代表的な表計算ソフトウェアであるExcelを用いて、表作成や計算機能と適切な数式の活用による集計処理の習得と、グラフなど視覚的に説得力ある資料作成を可能とする。
その能力の証明として、文部科学省後援の情報処理技能検定「表計算」などの検定試験取得を目指し学修を進める。

(4)卒業認定・学位記授与の方針（ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ）と当該授業科目の関連

コミュニケーション力

(5)準備学習とそれに必要な時間

情報処理技能検定試験の計算基礎知識として、四則演算や構成比率の計算式から、一般的な業務で実践されている計算を確認する。また、基本的な関数の活用を理解する。

(6)授業の進行計画

① 授業ガイダンス、検定試験の科目説明と各級の内容 情報処理議の検定の演習・解説
② 表計算ソフトの基本演習①Excelの画面構成、基本操作、データの入力と編集
③ 表計算ソフトの基本演習②表作成と列幅・行の高さの変更、計算式の設定
④ 表計算ソフトの基本演習③基本的な関数（SUM・AVERAGE・MAX・MIN・COUNT（CONTA）関数
⑤ 表計算ソフトの基本演習④相対参照と絶対参照、構成比率計算、順位付け（RANK.EQ関数）
⑥ 表計算ソフトの基本演習⑤基本的な関数（端数処理関数）、印刷設定
⑦ 表計算ソフトの基本演習⑥判断処理（IF関数）
⑧ 表計算ソフトの基本演習⑦グラフ作成Ⅰ 棒グラフ、グラフの編集
⑨ 表計算ソフトの基本演習⑧グラフ作成Ⅱ 円グラフ、レーダーチャート
⑩ 表計算ソフトの基本演習⑨データベース機能（並べ替え・フィルター）
⑪ 情報処理技能検定3級演習・解説
⑫ 情報処理技能検定3級演習
⑬ 情報処理技能検定３級演習
⑭ 情報処理技能検定３級演習
⑮ 課題提出の確認、まとめ
⑯ 期末テスト

(7)課題に対するフィードバックの方法

課題提出は授業内で解説する。

(8)成績評価の方法と基準

課題提出を重視する。
平常点２０％、課題提出４０％、期末・模擬テスト４０％

(9)教科書・参考書・教材費

【 教科書 】『30時間アカデミック　情報リテラシー　Office2016 』　　実教出版 1,430円（税込）
（注）前期/後期と通年利用
【 参考書 】『表計算情報処理技能検定試験模擬問題集』 ３級
『文書デザイン検定試験模擬問題集』 ３級／２級／１級編
『表計算情報処理技能検定試験模擬問題集』 ２級編
『パソコンスピード認定試験模擬問題集』（検定協会出版）